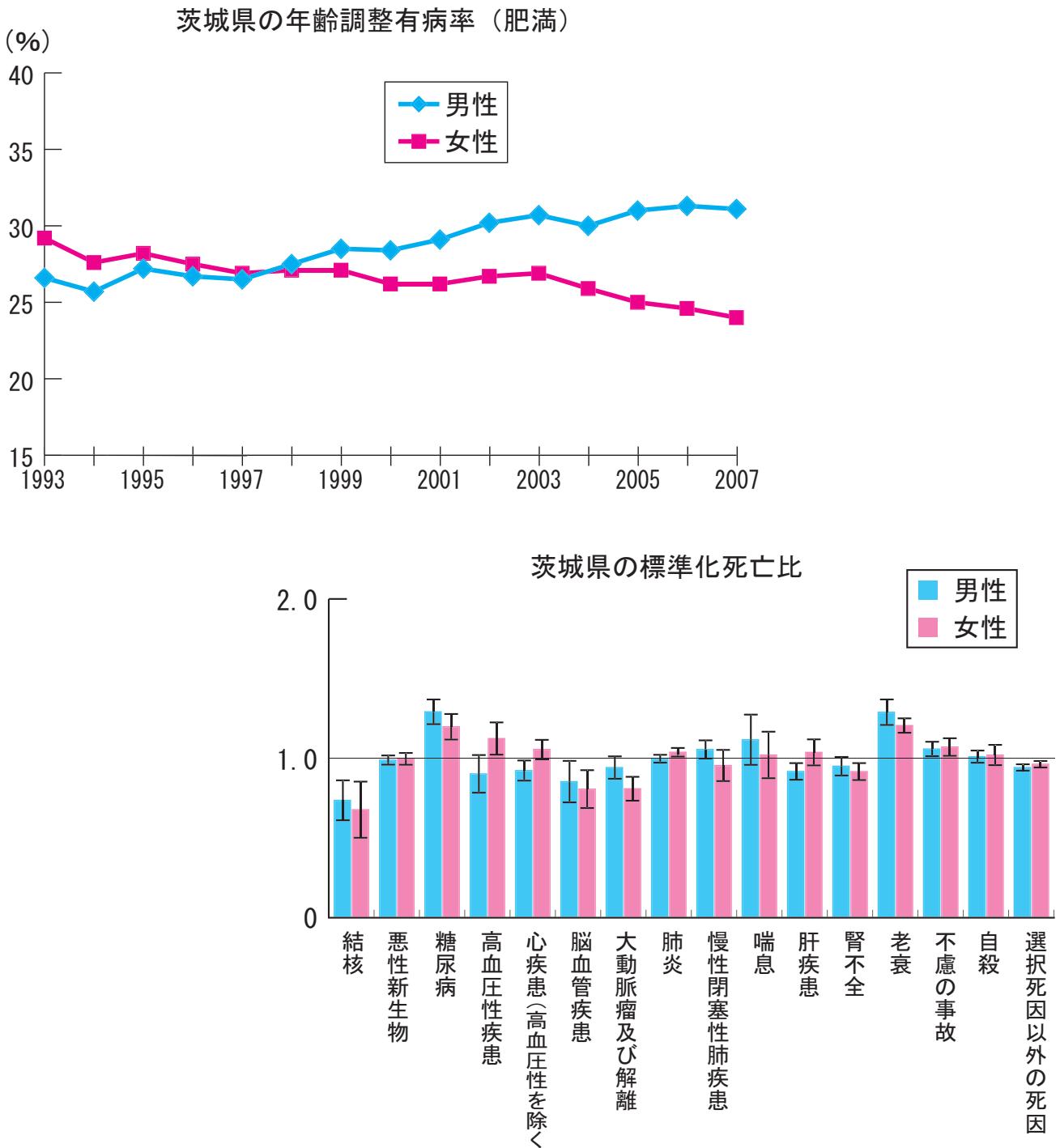


平成22年 茨城県市町村別健康指標IV

基本健康診査年齢調整有病率（1993年～2007年）
5年間の標準化死亡比（2003年～2007年）



茨 城 県
茨城県立健康プラザ
平成22年3月

はじめに

急速な高齢化の進展、生活習慣病の増加等による疾病構造の変化に伴い、医療費・介護給付費の増大などによる医療保険制度や介護保険制度の危機に対処するために、医療構造改革として介護保険制度や医療保険制度の改革が行われました。

その戦略の一つが「予防」であり「病気にならずに」また「要介護状態にならずに」生活していくような政策により健康寿命を延伸し、結果として医療費の伸びが抑制されることが期待されております。

そのような医療制度改革の一環として、生活習慣病予防の徹底を図るため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した、科学的根拠に基づいた効果的・効率的な健診・保健指導が、平成20年度から導入されています。

一方で、ポピュレーション・アプローチも重要であるとして、地域診断を行い、管内の状況を客観的に把握することにより、保健衛生・国保・介護保険の三部門とが密接に連携しながら共通認識を持つことが求められています。当プラザでは、こうした市町村の地域診断を支援するため、本冊子を刊行しています。

重篤な生活習慣病の発生状況を推測するために標準化死亡比を、それらの原因（危険因子）の状況を把握する手段として、肥満、高血圧、高血糖、中性脂肪高値の有病率の経年変化を掲載しています。

これらを活用して、地域における重点課題の設定、優先順位や目標の設定などを実施して頂き、市町村健康増進計画や特定健診・特定保健指導実施計画等の策定に役立てていただけるよう祈念いたします。

平成22年3月

(財)茨城県総合健診協会

茨城県立健康プラザ

管理者 大田 仁史

目 次

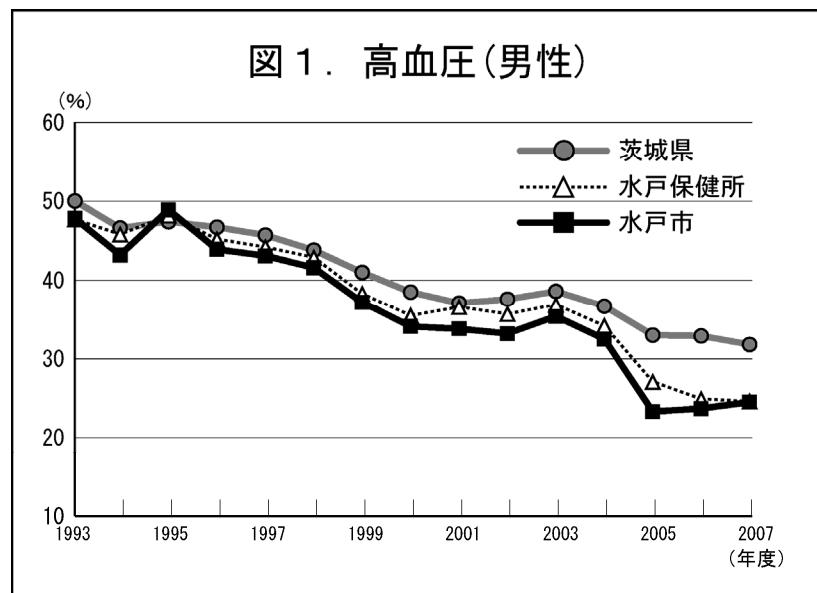
I グラフのみかた	2
II 算出方法	3
III 年齢調整有病率の経年度変化及び標準化死亡比	5
茨城県	6
水戸保健所	8
常陸大宮保健所	10
日立保健所	12
鉾田保健所	14
潮来保健所	16
竜ヶ崎保健所	18
土浦保健所	20
筑西保健所	22
古河保健所	24
つくば保健所	26
ひたちなか保健所	28
常総保健所	30
水戸市	32
笠間市	34
小美玉市	36
茨城町	38
大洗町	40
城里町	42
常陸太田市	44
常陸大宮市	46
那珂市	48
大子町	50
日立市	52
高萩市	54
北茨城市	56
行方市	58
鉾田市	60
鹿嶋市	62
潮来市	64
神栖市	66
龍ヶ崎市	68
取手市	70
牛久市	72
守谷市	74
稲敷市	76
河内町	78
利根町	80
土浦市	82
石岡市	84
かすみがうら市	86
美浦村	88
阿見町	90
結城市	92
筑西市	94
桜川市	96
古河市	98
五霞町	100
境町	102
つくば市	104
つくばみらい市	106
ひたちなか市	108
東海村	110
下妻市	112
常総市	114
坂東市	116
八千代町	118

I グラフのみかた

1 基本健康診査年齢調整有病率の経年度変化

図1のグラフは、人口構成の影響(高齢化率など)を除外した場合の有病率を表しています。

折れ線は、茨城県、各保健所および各市町村の3本です。年齢調整をしていますので、市町村が茨城県より高いとしても「高齢者が多いから」という理由は成り立ちません。同様に、年々上昇(下降)していたとしても、「高齢化の影響」ということにはなりません。

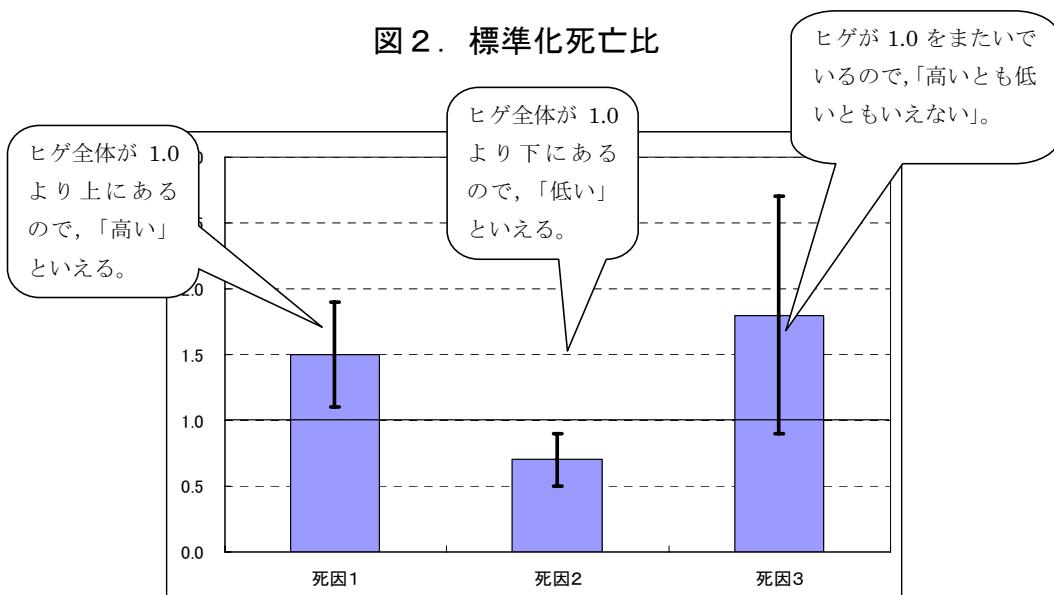


2 茨城県・保健所・市町村別標準化死亡比

図2の太い縦棒は、人口構成の影響(高齢化率など)を除外した場合に、茨城県、各保健所、各市町村が全国の何倍かを表しています。縦棒の先についているヒゲのようなものは、結果がどのくらいの信頼性があるかを示しています。(95%信頼区間)ヒゲが1.0をまたいでいる場合は、死亡率が「高いとも低いともいえない」ということです。

ヒゲ全体が1.0より上にある場合は、死亡率が「高い」といって間違いないでしょう。

逆にヒゲ全体が1.0より下にある場合は、死亡率が「低い」といって間違いません。



3 コメントのみかた

主に、日本人の3大死因である悪性新生物、心疾患、脳血管疾患について、記載しています。

II 算出方法

1 基本健康診査年齢調整有病率の経年度変化

(1) 資料

老人保健法に基づき、県下全市町村で行われた基本健康診査のデータのうち、市町村が旦立メディカルセンター、茨城県総合健診協会、取手医師会に委託して実施した平成5年度から平成19年度のデータ（毎年約30万件）を集計しています。

(2) 集計項目

基本健康診査の項目の中からBMI、血圧、血糖、中性脂肪などについて集計しました。

(3) 計算方法

県、保健所、市町村ごとに、年度・性別の有病率を算出しました。その際、各年齢階級の人数が常に同じになるような補正を行っています。具体的には最小二乗法とよばれる方法を使用しています。これにより、高齢化の影響を考えることなく、結果の解釈ができることがあります。

◇肥満

BMI<25（正常）、BMI≥25（肥満）、ALL（全数）の3群に分けて、茨城県、各保健所、各市町村別の対象者数（N）、パーセント（PctN）を記載しました。

◇高血圧

正常範囲内（最高血圧<140あるいは最低血圧<90）、高血圧（最高血圧≥140あるいは最低血圧≥90）、ALL（全数）の3群に分けて、茨城県、各保健所、市町村別の対象者数（N）、パーセント（PctN）を記載しました。

◇高血糖

正常範囲内（空腹時血糖<126あるいは隨時血糖<200）、高血糖（空腹時血糖≥126あるいは隨時血糖≥200）、ALL（全数）の3群に分けて、茨城県、各保健所、市町村別の対象者数（N）、パーセント（PctN）を記載しました。

◇中性脂肪高値

正常範囲内（空腹時中性脂肪<150あるいは隨時中性脂肪<150）、中性脂肪高値（空腹時中性脂肪>=150あるいは隨時中性脂肪>=150）、ALL（全数）の3群に分けて、茨城県、各保健所、市町村別の対象者数（N）、パーセント（PctN）を記載しました。

2 保健所・市町村別標準化死亡比 (Standardized Mortality Ratio: SMR)

(1) 資料

厚生労働省の「人口動態統計」、茨城県の「保健福祉統計年報」および総務省の「住民基本台帳人口要覧」のデータから算出しました。

※注 厚生労働省は、標準化死亡比を算出する際、推計日本人人口を使用していますが、市町村別男女別年齢階級別の推計日本人人口は公表されていないため、ここでは、総務省の「住民基本台帳要覧」の人口を使用しています。このため、厚生労働省が発表する標準化死亡比と若干異なる可能性があります。あらかじめ、ご了承ください。

(2) 算出方法

①各年齢階級別に、「全国と同じ死亡率ならこの市町村では何人死亡するはずか」（期待死亡数）を求めます。

(全国の死亡率) × (市町村の人口)

②上記①で算出した年齢階級別の期待死亡数を累計して、全年齢の期待死亡数を算出します。

③実際の死亡数を上記②で算出した期待死亡数でわり算します。

(実際の死亡数) ÷ (期待死亡数)

(3) 解釈と 95%信頼区間

「全国と同じ死亡率なら○人死亡するはずなのに、実際には△人死亡しているから、その市町村の死亡率は全国に比べて ($\triangle \div ○$) 倍である」というのが標準化死亡比です。

しかし、もし○の部分（期待死亡数）が 0.5 人で、実際には 1 人死亡していたらどうでしょうか。計算すると 2 倍ということになります。「これは死亡率が高くて問題だ」といえるでしょうか。別な時期の標準化死亡比を計算すると、やはり期待死亡数が 0.5 人で、実際には 0 人死亡だとすると、0 倍ということになります。「これは死亡率が低くてよいことだ」といえるでしょうか。

このような現象は、人口が少ない（死亡数が少ない）ために起こることです。そこで、「人口がとっても多かったら標準化死亡比はどうなるか」を推定することになります。推定ですから、一つの値として言い当てることは困難なため、だいたいの範囲で言い当てることになります。その範囲は、95%信頼区間と呼ばれるものです。95%信頼区間は、「人口がとっても多かったなら、標準化死亡比はだいたいこの範囲にあるだろう」という値です。

グラフでは 95%信頼区間を「ヒゲ」として表しています。信頼性が高いほどヒゲは短くなります。ヒゲ全体が 1.0 をまたいでいる場合は、「人口がとっても多かったら 1.0 倍より小さいかもしれないし、大きいかもしれない」ということですので、「何ともいえない」ということになります。ヒゲ全体が 1.0 より上にある場合には、「人口がとっても多かったとしても、1.0 倍を下回ることはないだろう」ということですので、「間違いなく高い」といえます。統計学的には「有意に高い」といいます。一方、ヒゲ全体が 1.0 より下にある場合、「人口がとっても多かったとしても、1.0 倍を上回ることはないだろう」ということですので、統計学的には「有意に低い」ということになります。

(4) 95%信頼区間の算出方法

ここでは、次式により算出しています。

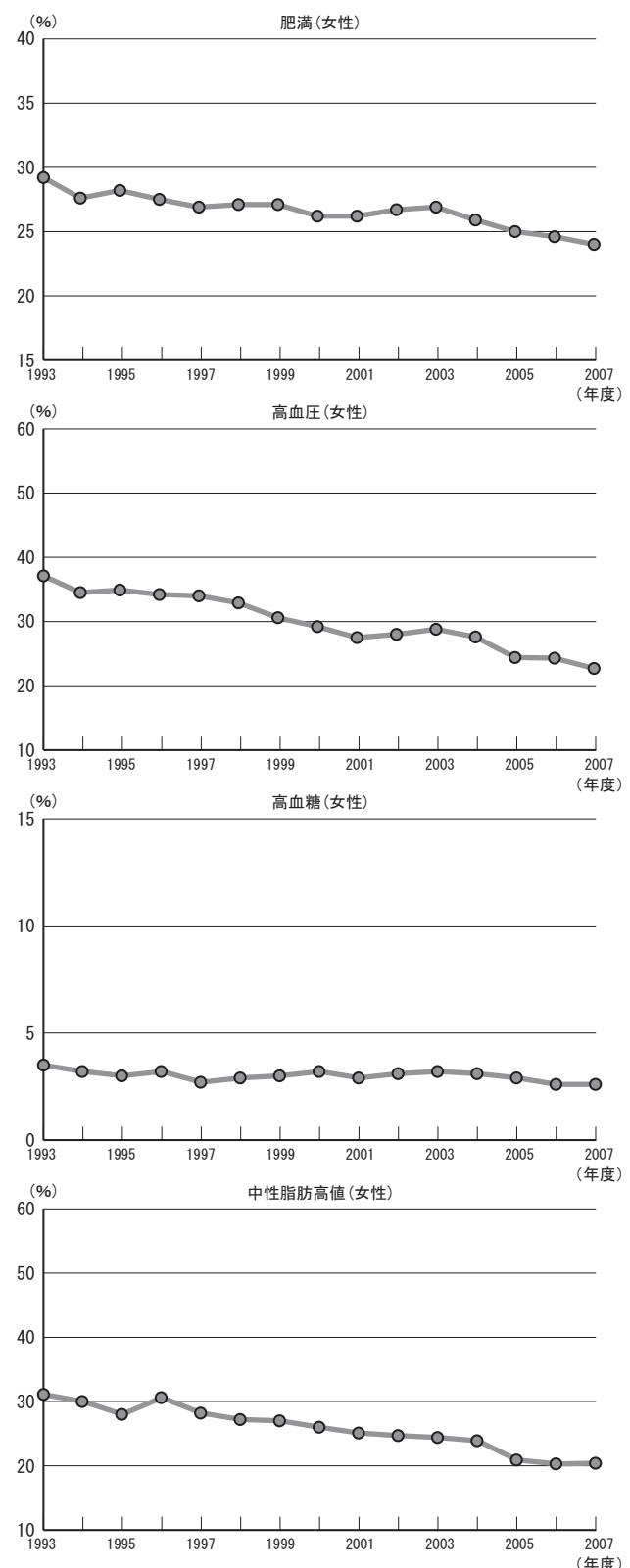
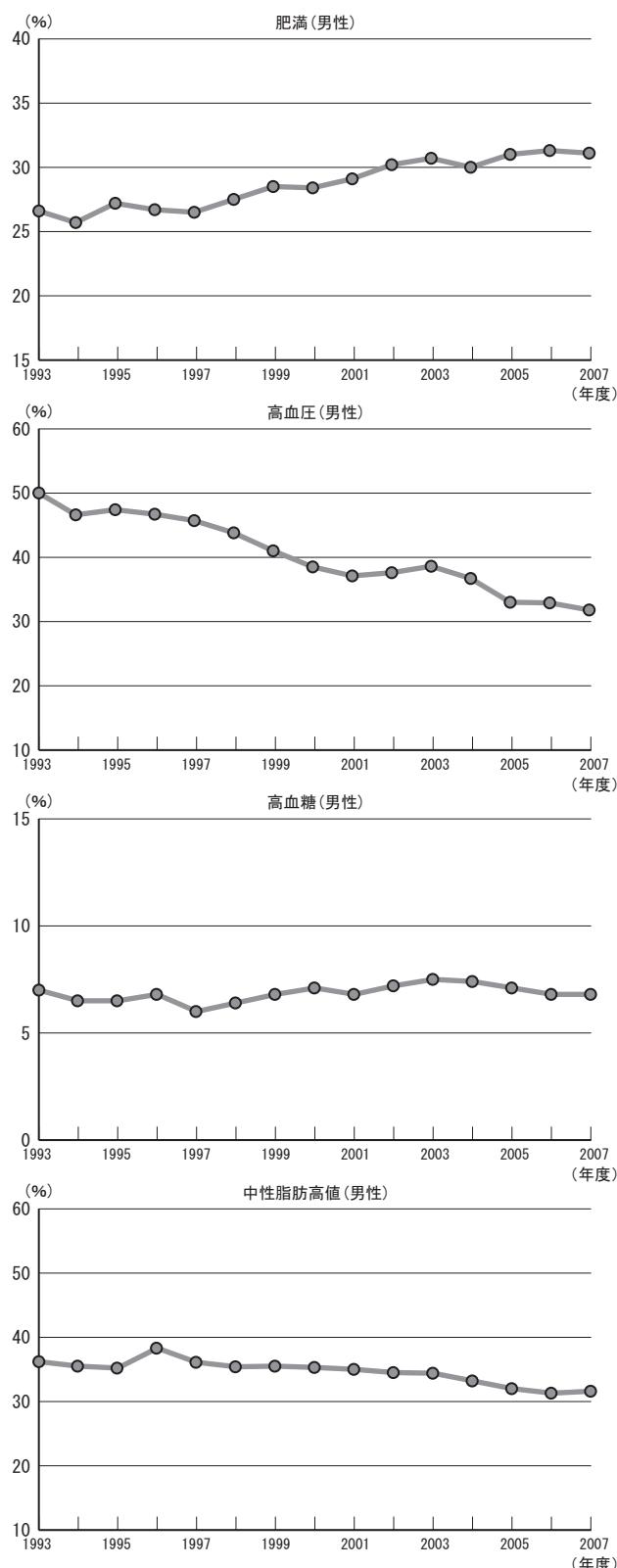
$$(\text{標準化死亡比}) \pm 1.96 \times (\text{標準化死亡比}) \div \sqrt{(\text{実死亡数})}$$

これは、ポアソン分布の正規近似と呼ばれる方法です。

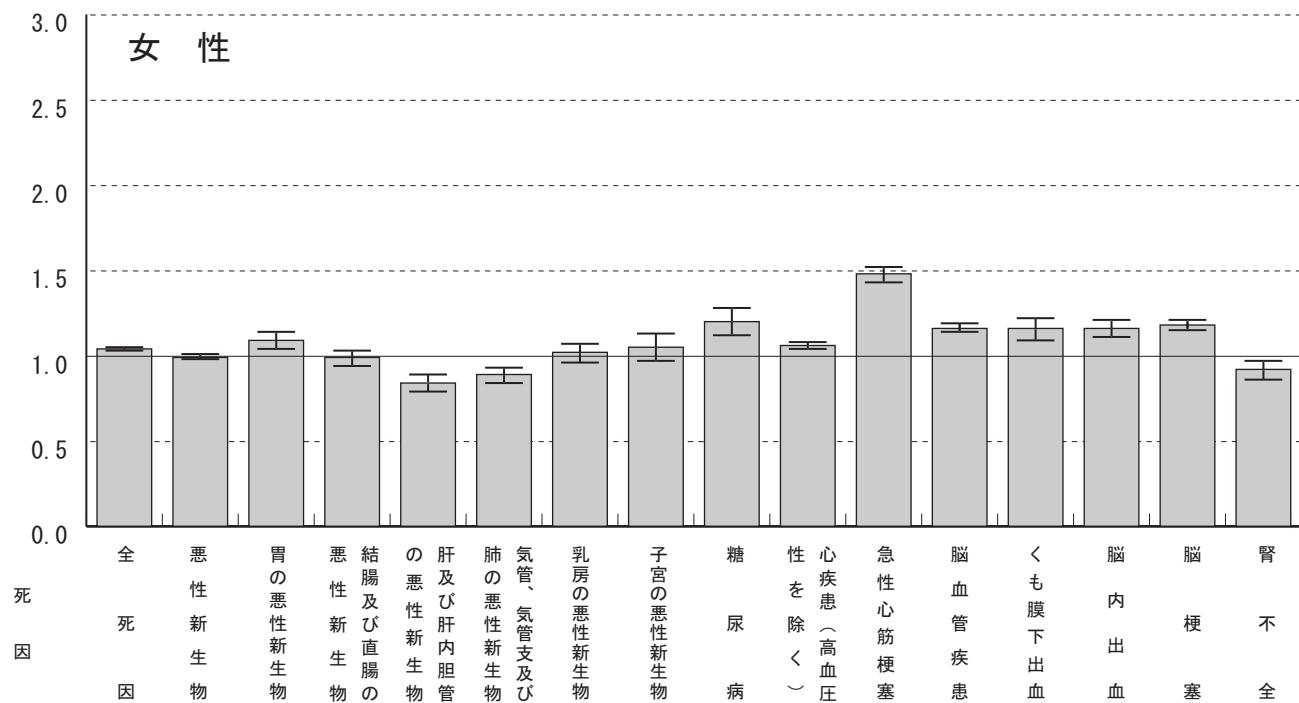
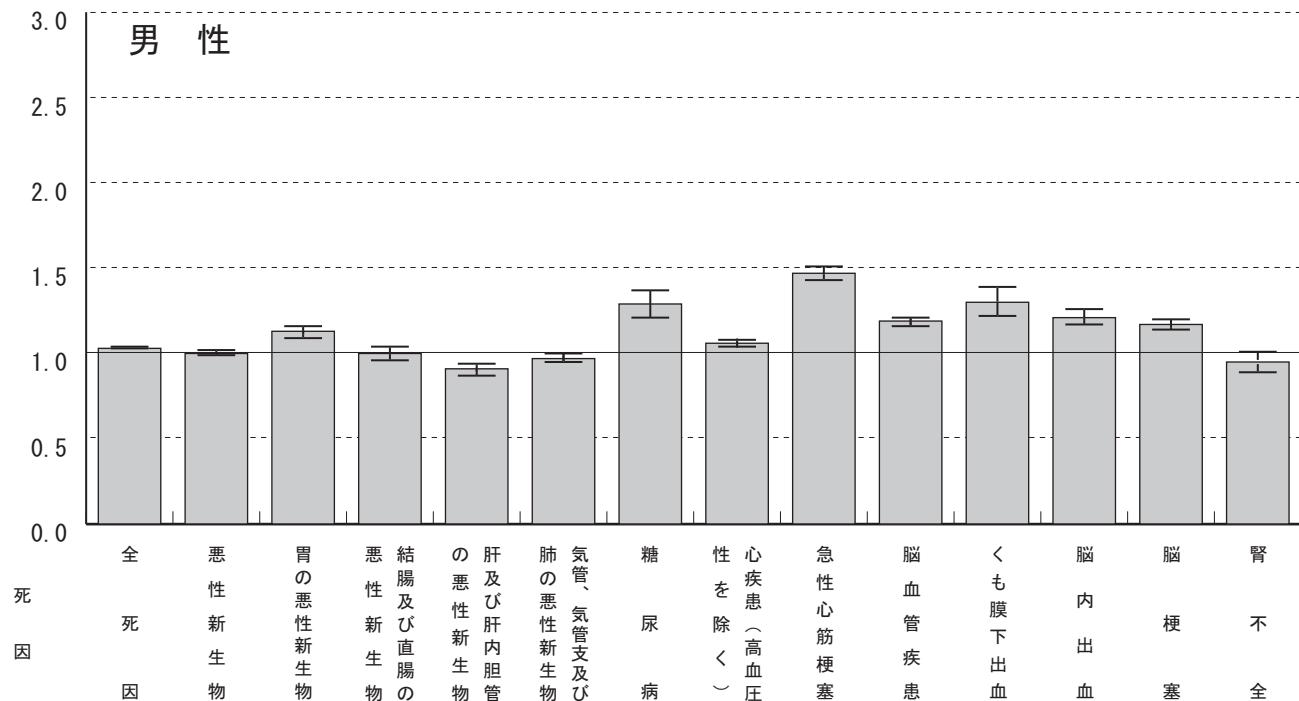
Ⅲ 年齢調整有病率の経年度変化 及び標準化死亡比

年齢調整有病率の経年度変化(茨城県)

凡例
—○— 08:茨城県



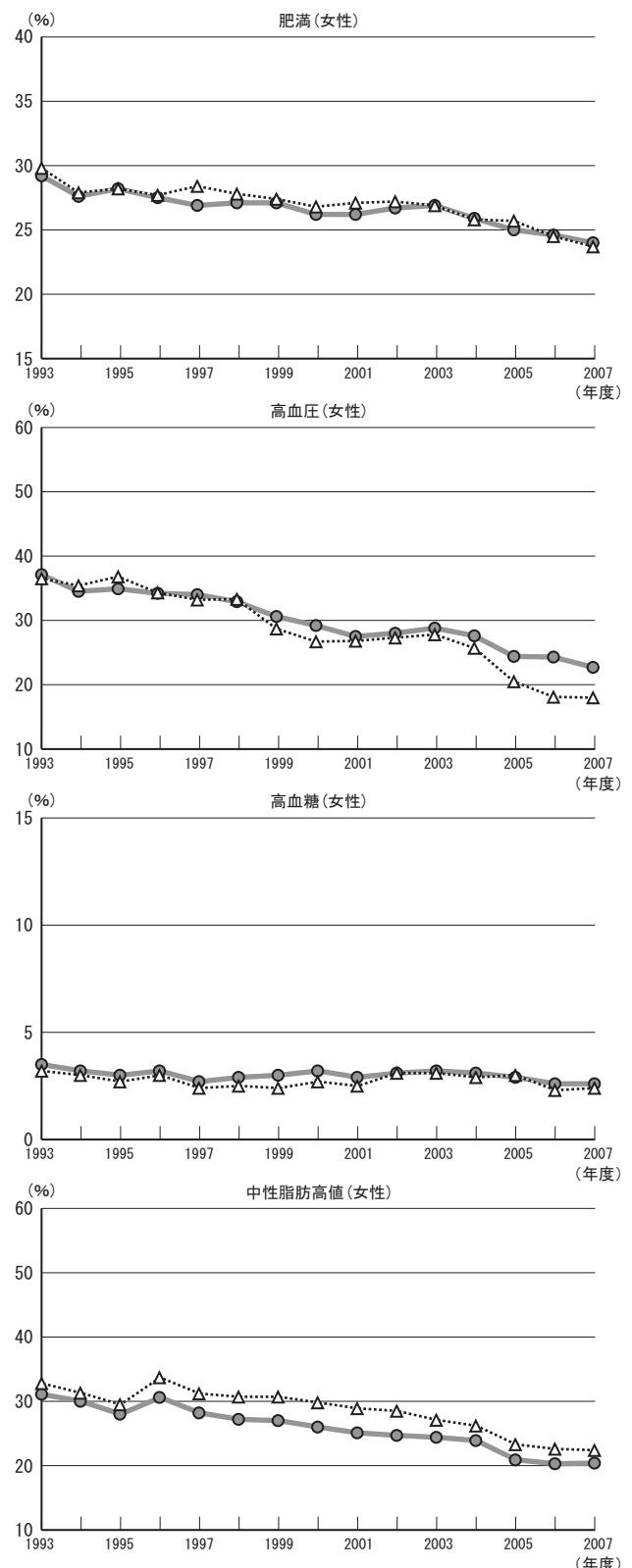
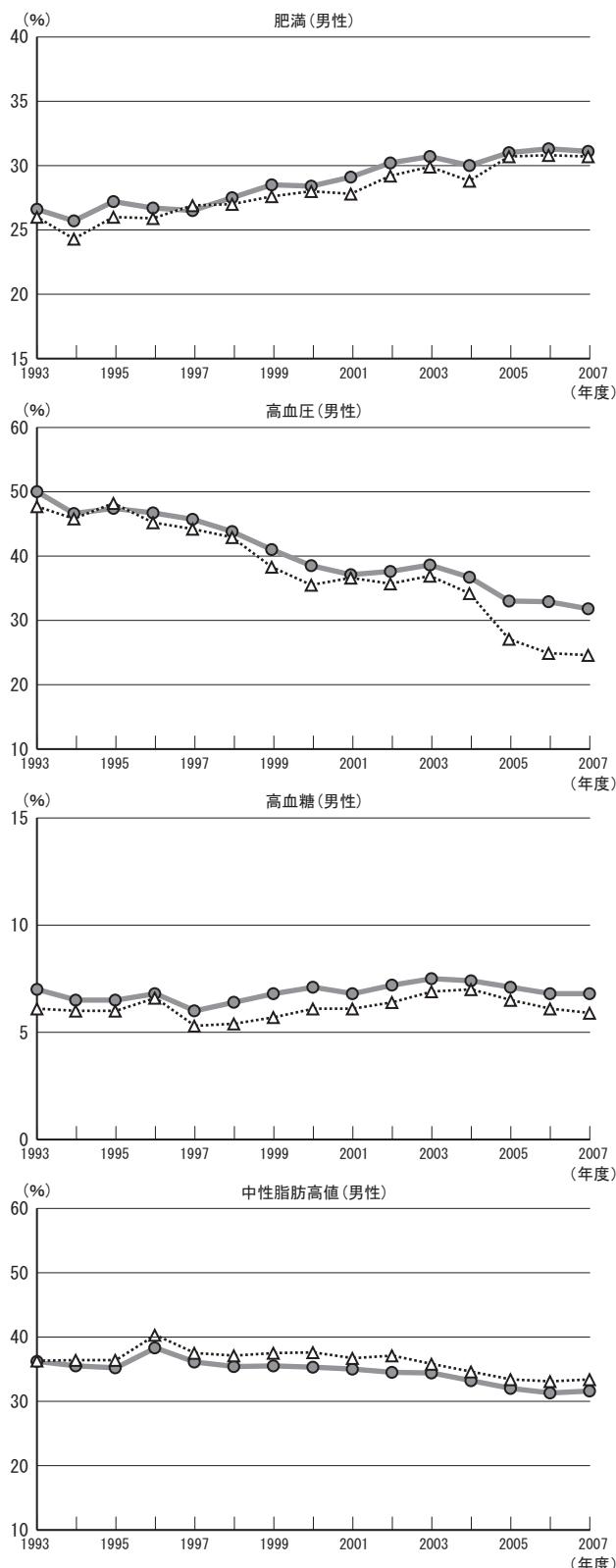
茨城県標準化死亡比（2003～2007）



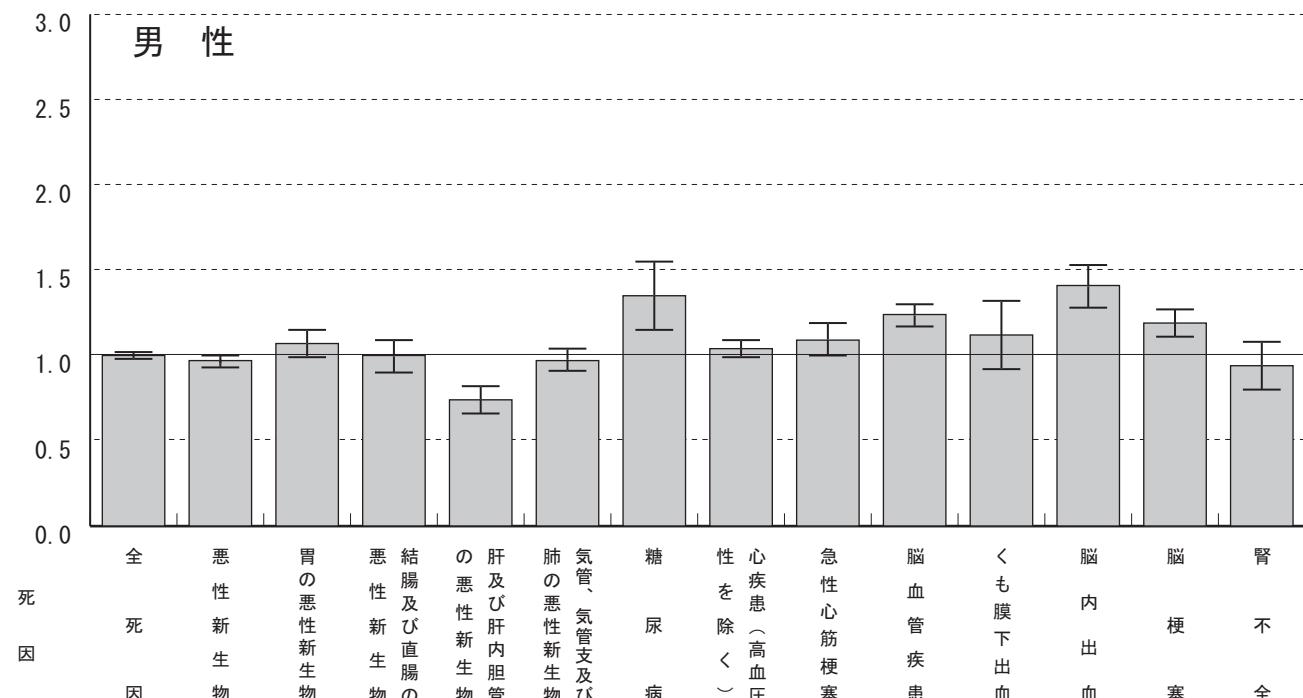
男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

年齢調整有病率の経年度変化(水戸保健所)

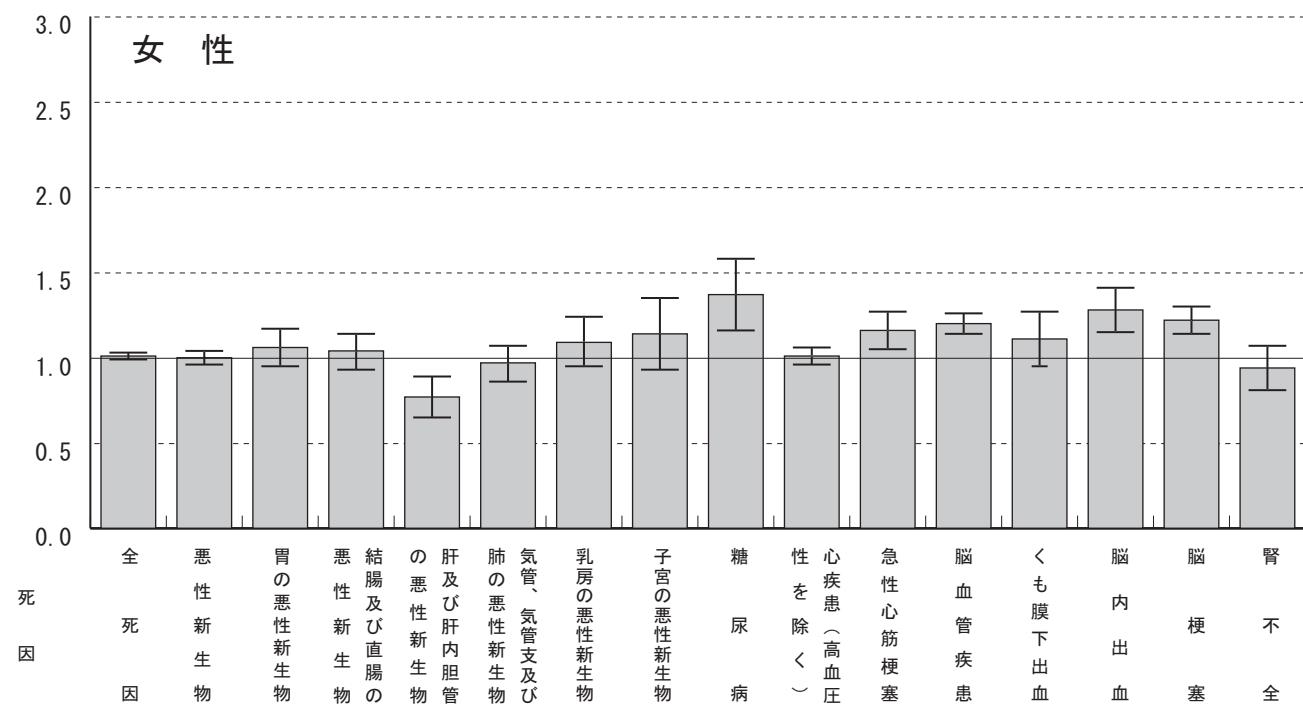
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 51:水戸保健所



水戸保健所標準化死亡比 (2003~2007)



標準化死亡比	1.00	0.97	1.07	1.00	0.74	0.97	1.35	1.04	1.09	1.24	1.12	1.41	1.19	0.94
死 亡 数	11027	3602	668	418	323	836	181	1619	519	1481	118	486	855	170
全国に比べて有意に高い							○			○		○	○	
全国に比べて有意に低い		○			○									

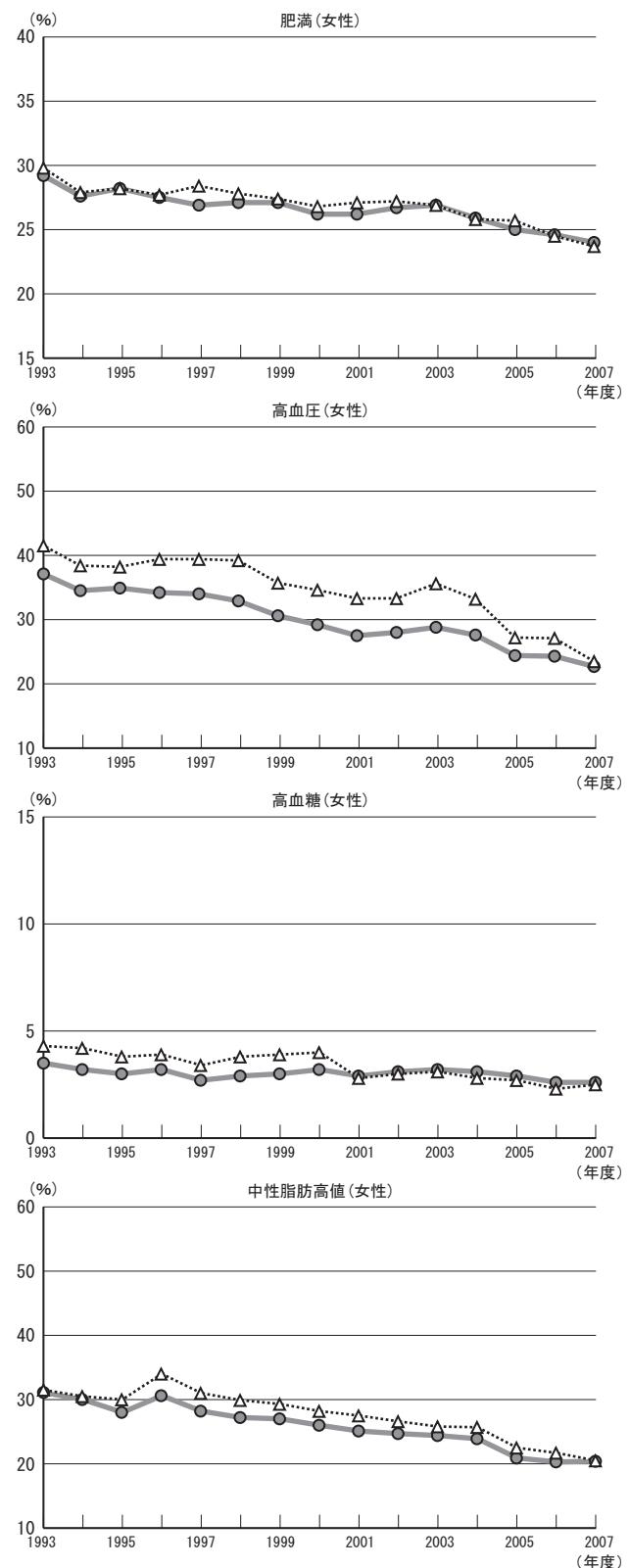
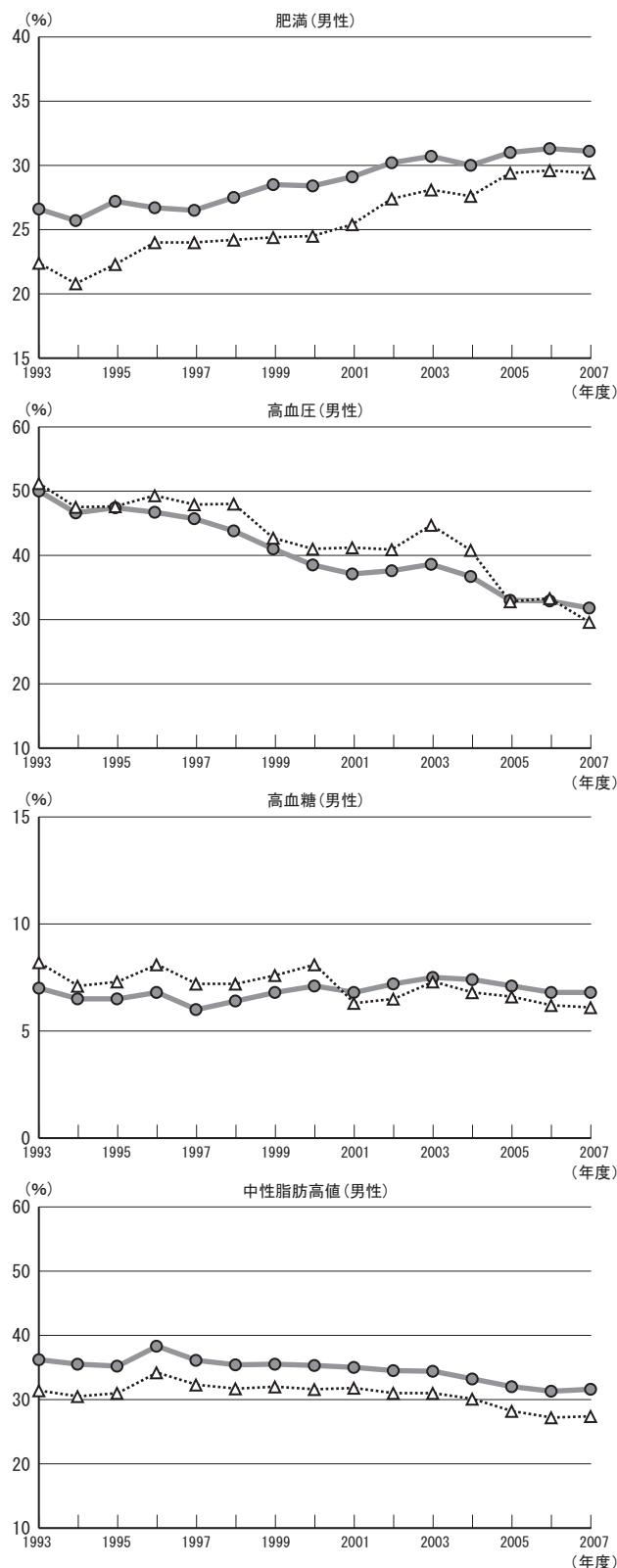


標準化死亡比	1.01	1.00	1.06	1.04	0.77	0.97	1.09	1.14	1.37	1.01	1.16	1.20	1.11	1.28	1.22	0.94
死 亡 数	9355	2403	350	359	158	301	217	116	163	1678	454	1545	189	357	974	195
全国に比べて有意に高い								○		○	○		○	○		
全国に比べて有意に低い					○											

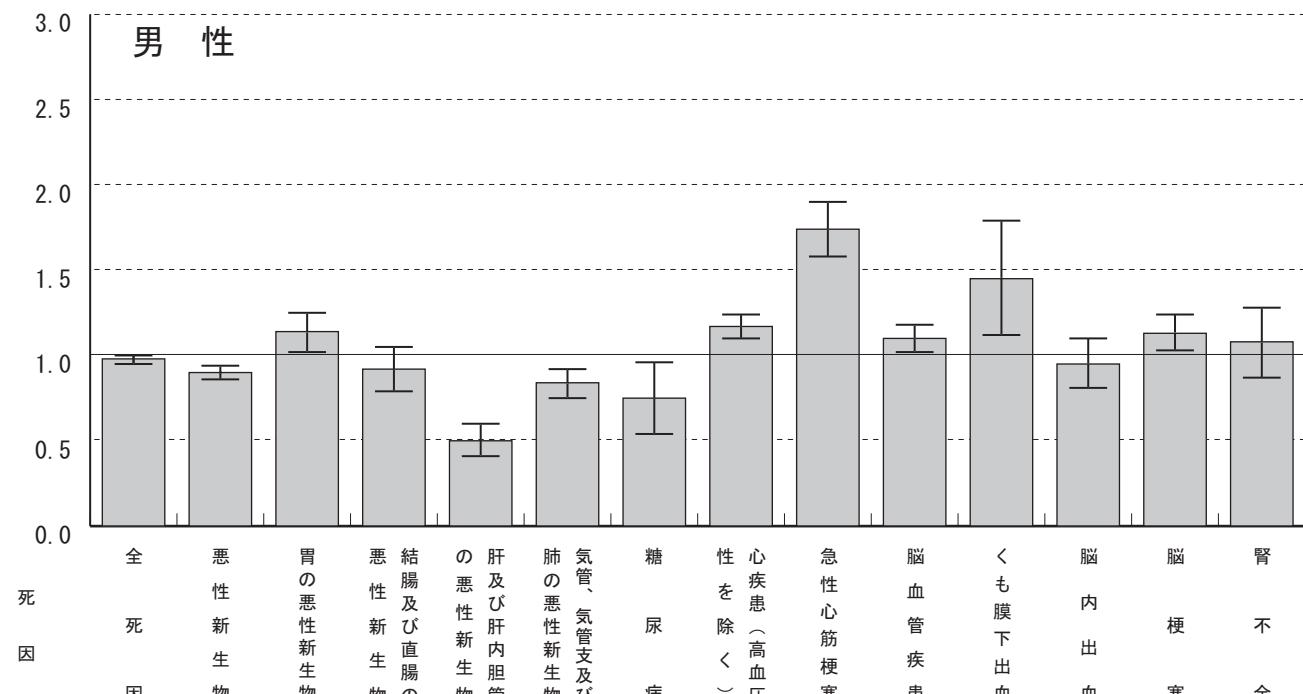
男女とも脳血管疾患の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

年齢調整有病率の経年度変化(常陸大宮保健所)

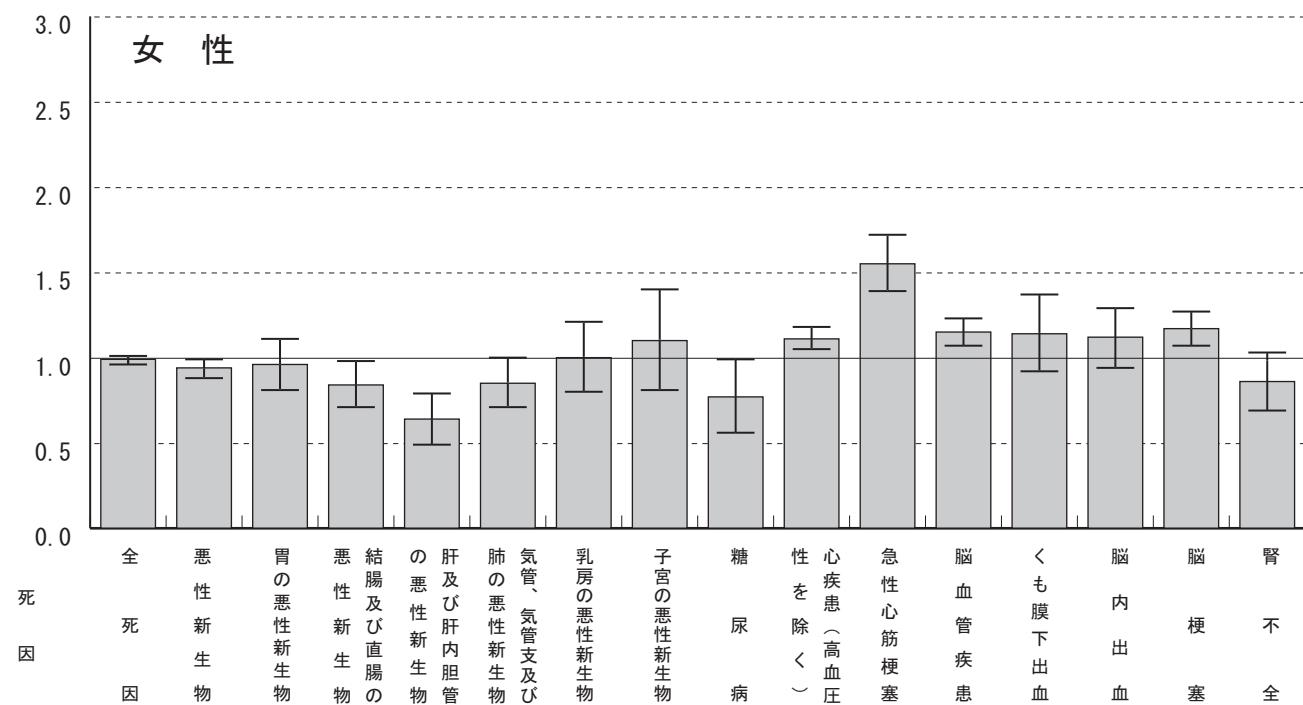
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 53:常陸大宮保健所



常陸大宮保健所標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.98	5582		
死 亡 数	1715	363	○	
全国に比べて有意に高い				
全国に比べて有意に低い			○	○

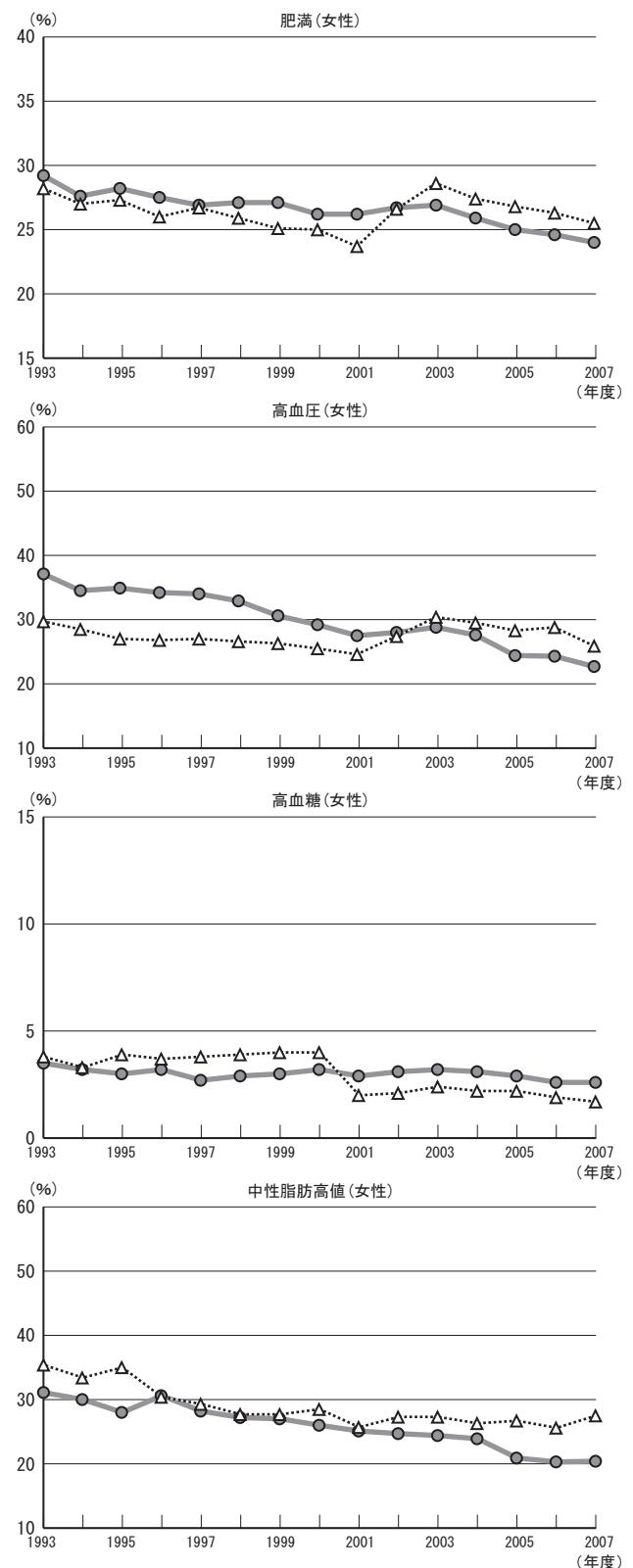
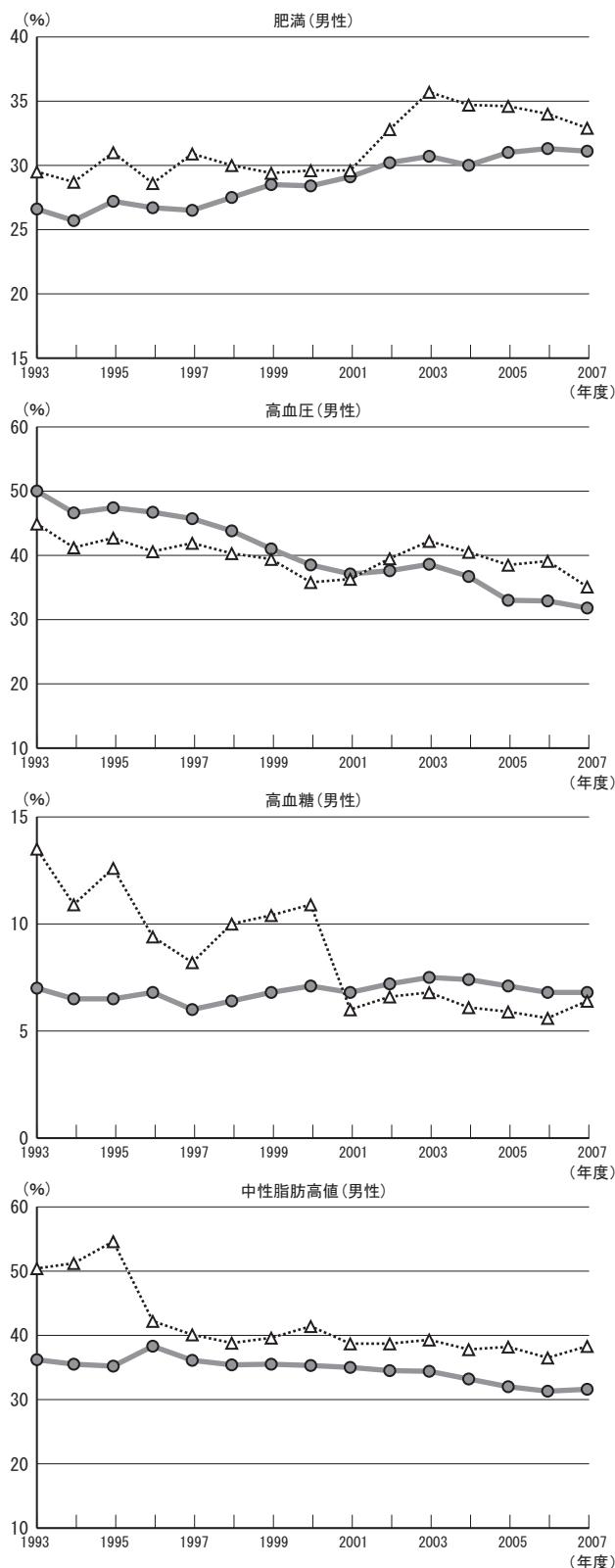


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.99	4856		
死 亡 数	1139	162		
全国に比べて有意に高い				
全国に比べて有意に低い			○	○

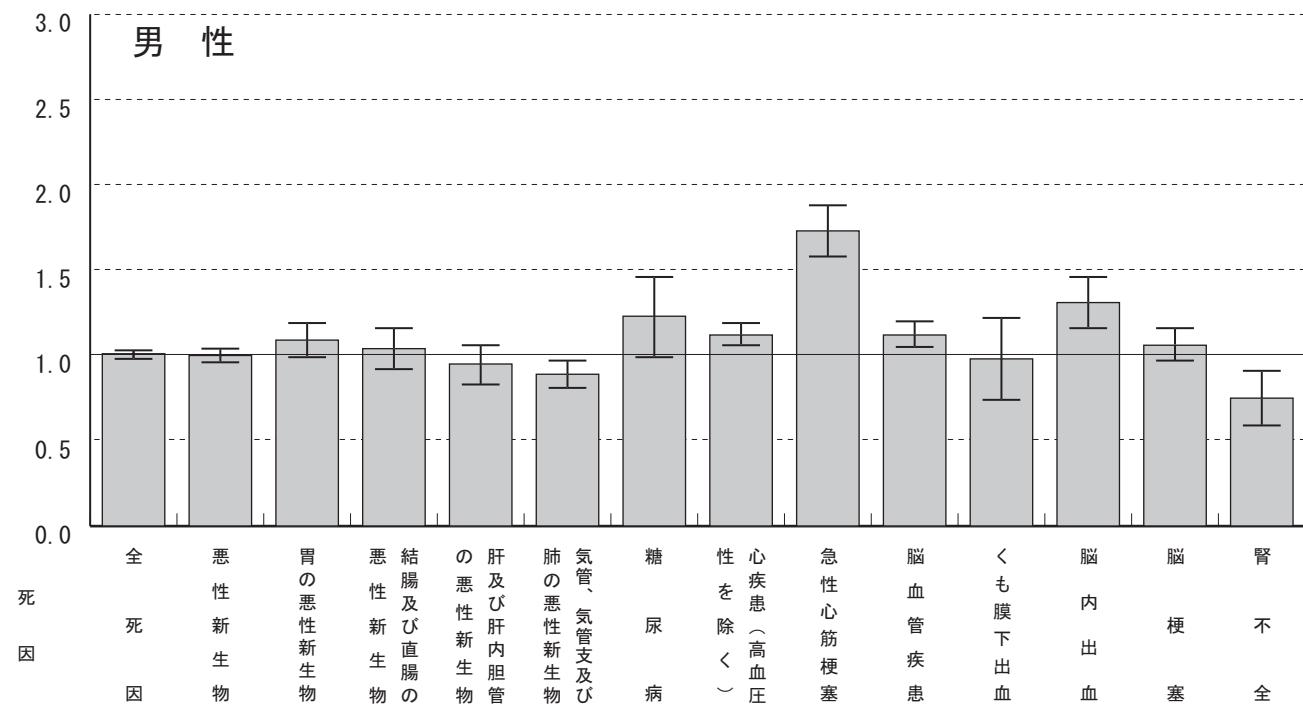
男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

年齢調整有病率の経年度変化(日立保健所)

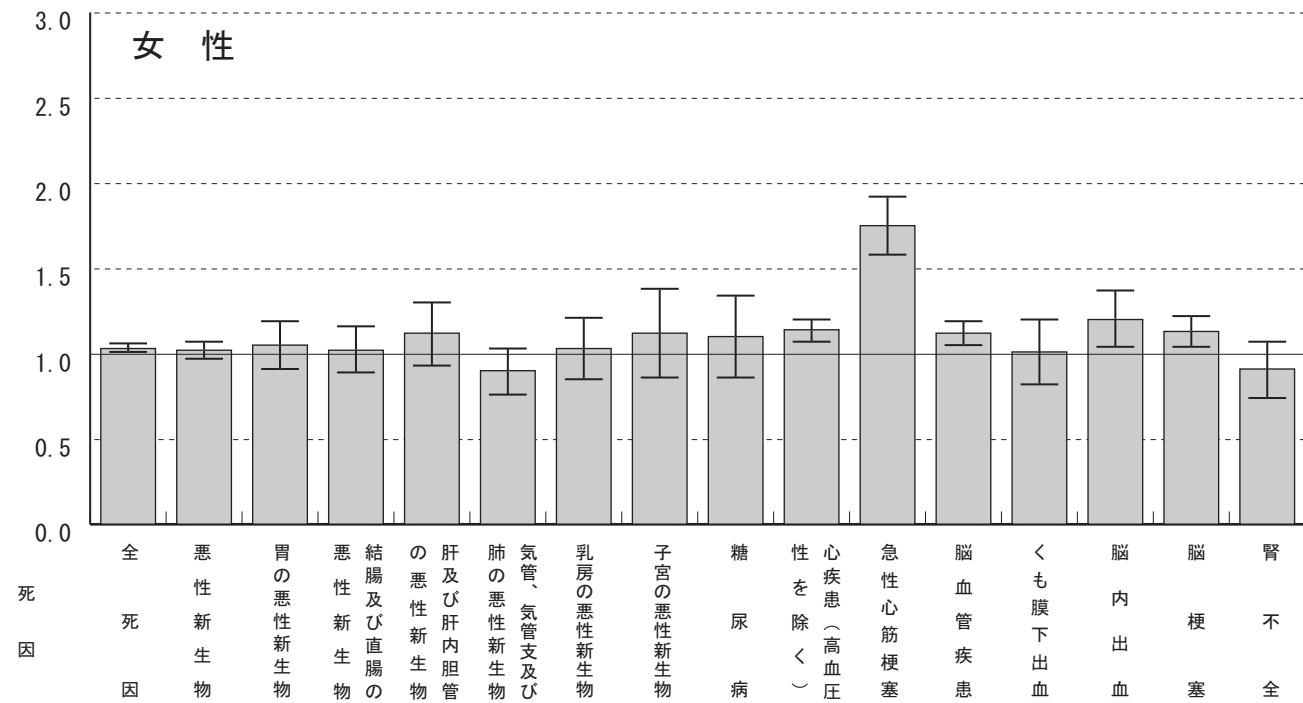
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 55:日立保健所



日立保健所標準化死亡比 (2003~2007)



標準化死亡比	1.01	1.00	1.09	1.04	0.95	0.89	1.23	1.12	1.73	1.12	0.98	1.31	1.06	0.75
死 亡 数	6946	2350	430	277	263	480	104	1096	516	840	65	285	472	84
全国に比べて有意に高い							○	○	○		○			
全国に比べて有意に低い						○								○

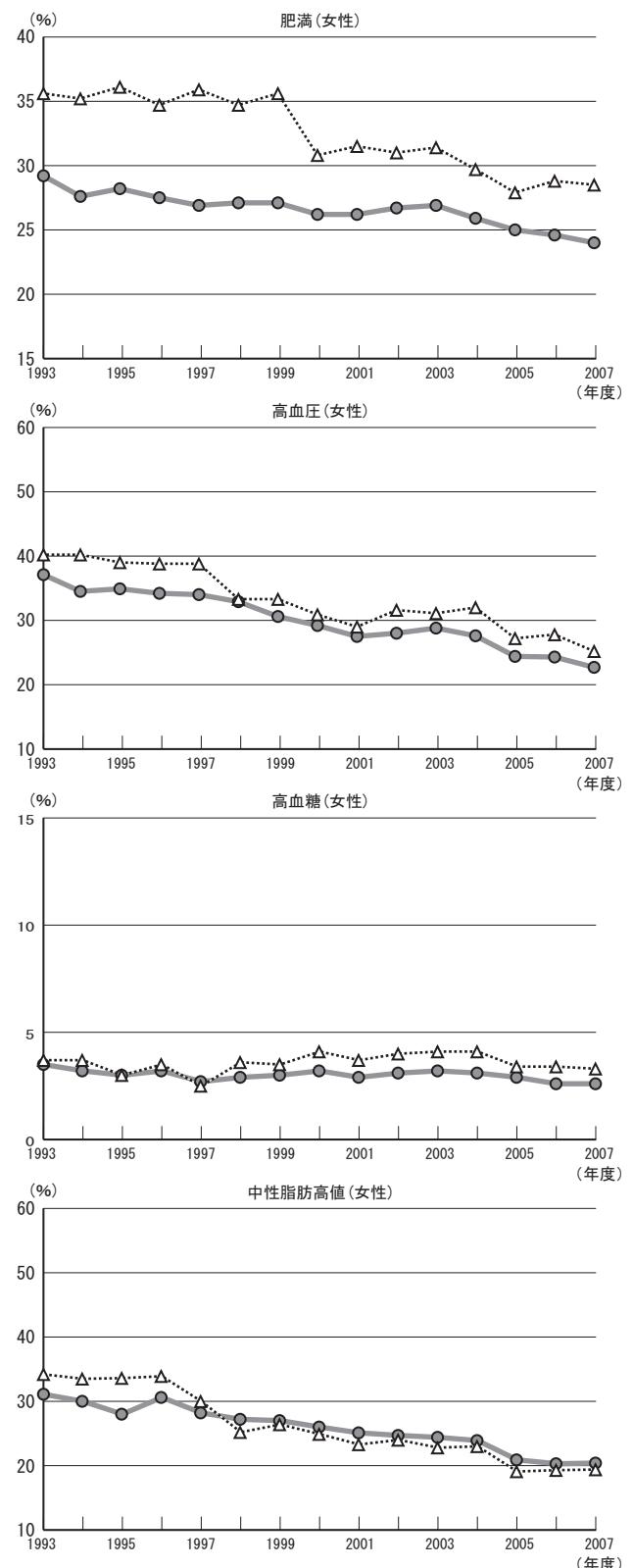
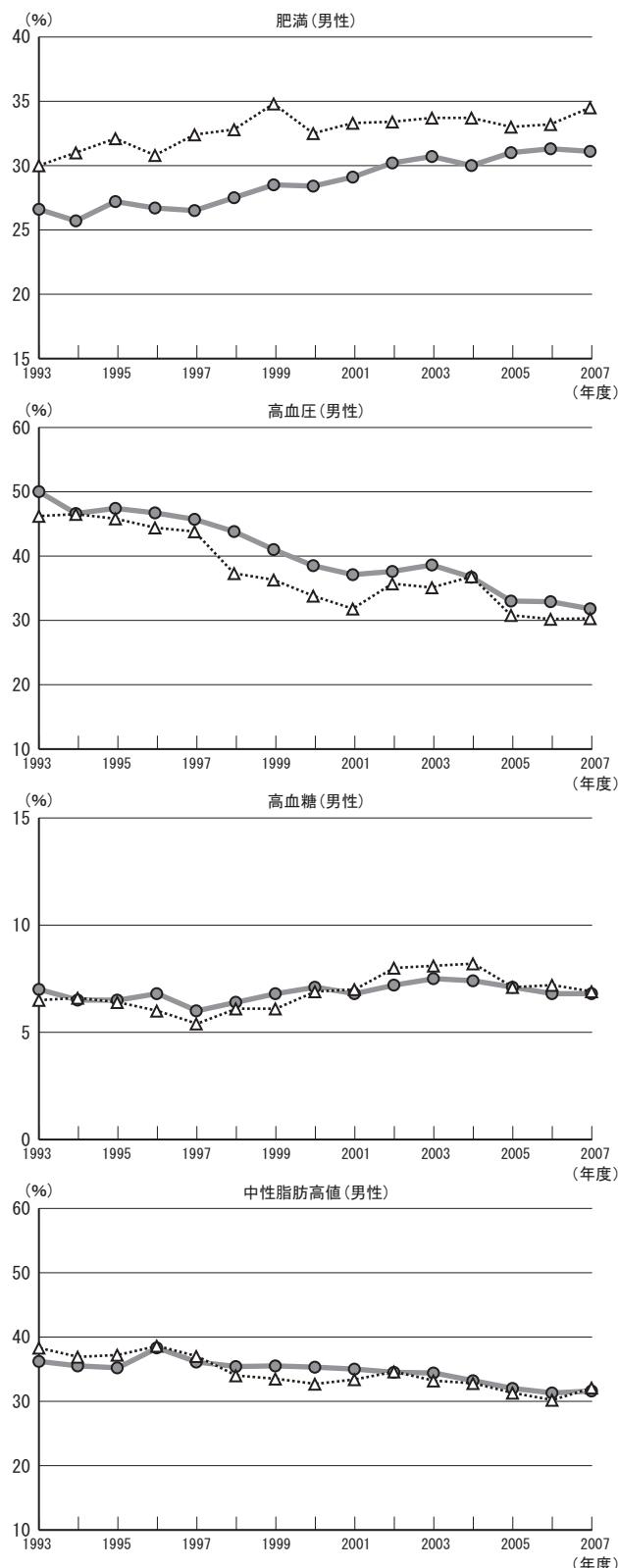


標準化死亡比	1.03	1.02	1.05	1.02	1.12	0.90	1.03	1.12	1.10	1.14	1.75	1.12	1.01	1.20	1.13	0.91
死 亡 数	5980	1531	215	221	143	174	126	70	82	1178	428	901	107	209	568	118
全国に比べて有意に高い	○									○	○	○		○	○	
全国に比べて有意に低い																

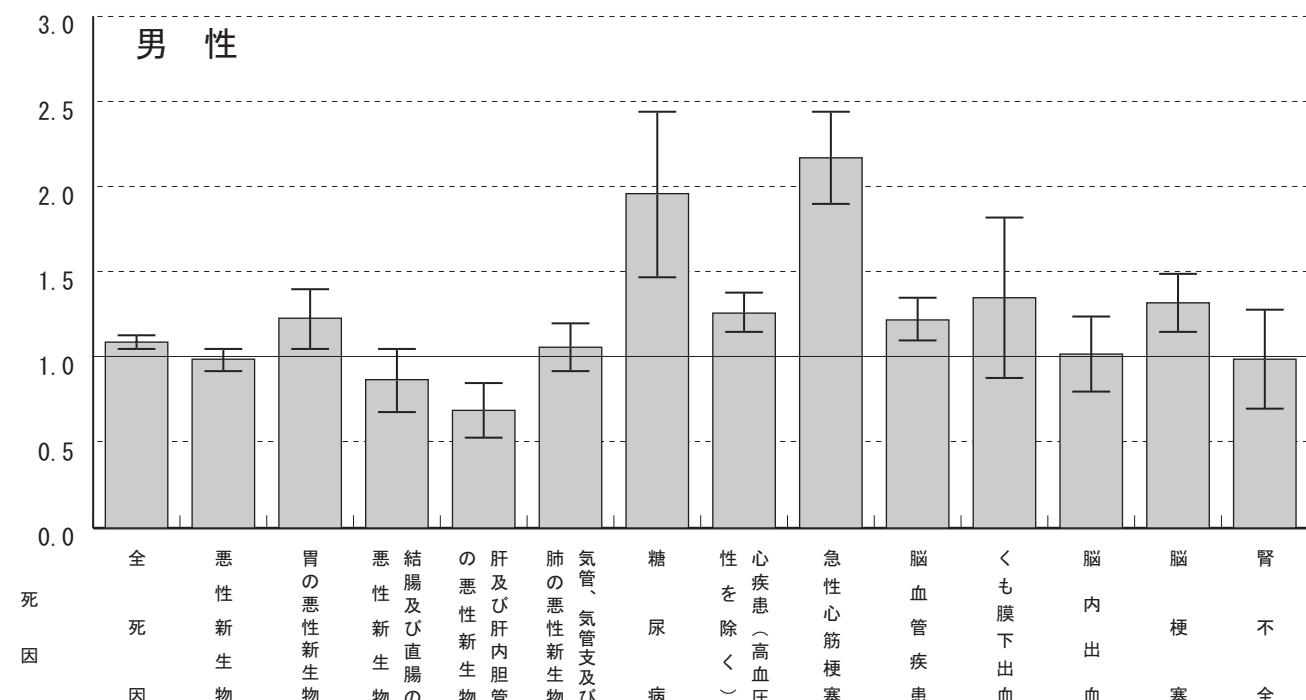
男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

年齢調整有病率の経年度変化(鉢田保健所)

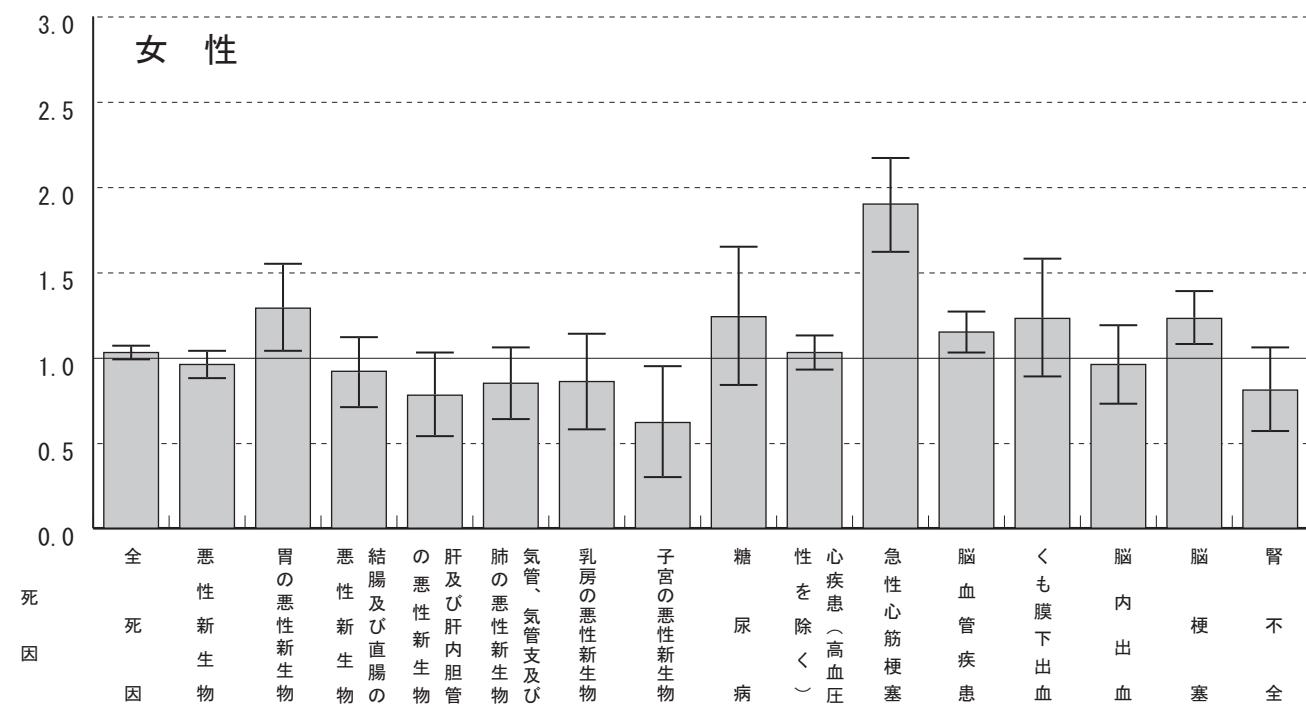
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 56:鉢田保健所



銚田保健所標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.09	2875	○	
死 亡 数	0.99	876	○	
全国に比べて有意に高い	1.23	182		
全国に比べて有意に低い	0.87	86		○
標準化死亡比	0.69	71		
死 亡 数	1.06	219		
全国に比べて有意に高い	1.96	62	○	
全国に比べて有意に低い	1.26	473	○	
標準化死亡比	2.17	246	○	
死 亡 数	1.22	356	○	
全国に比べて有意に高い	1.35	32		
全国に比べて有意に低い	1.02	83		○
標準化死亡比	1.32	235		
死 亡 数	0.99	44		

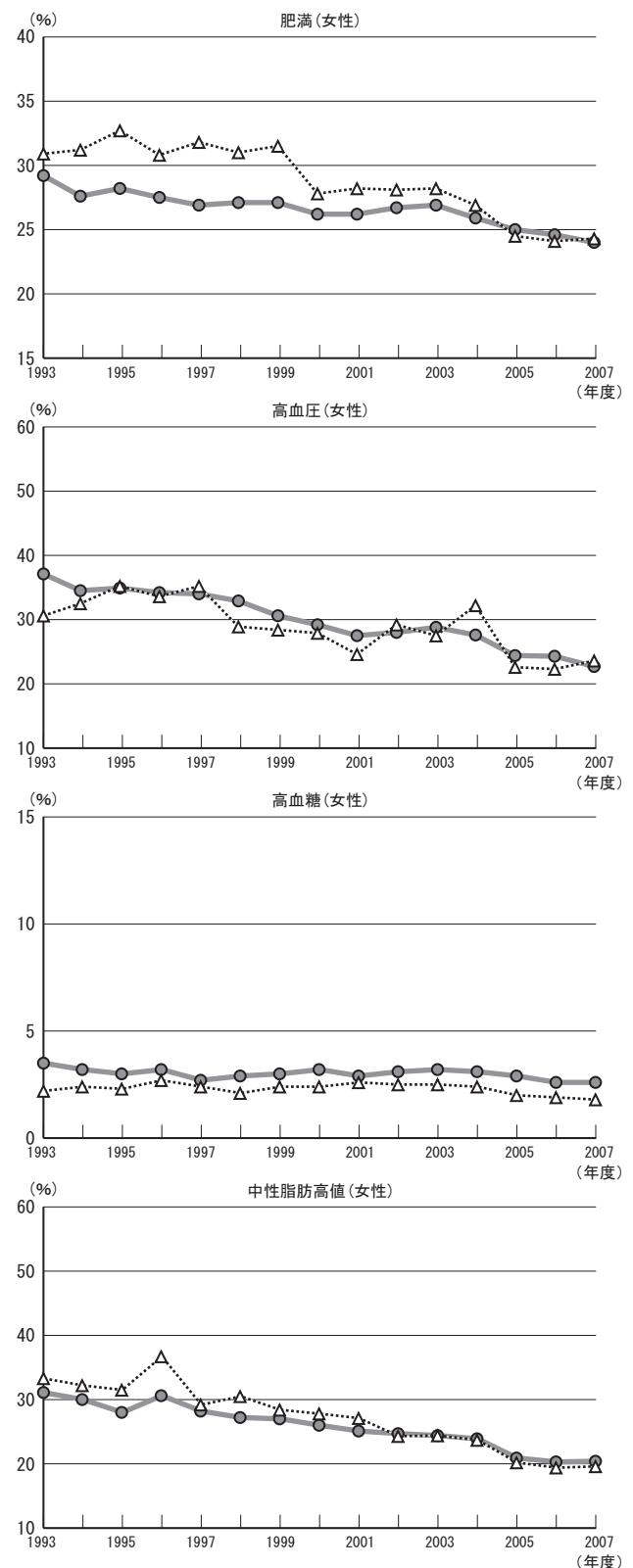
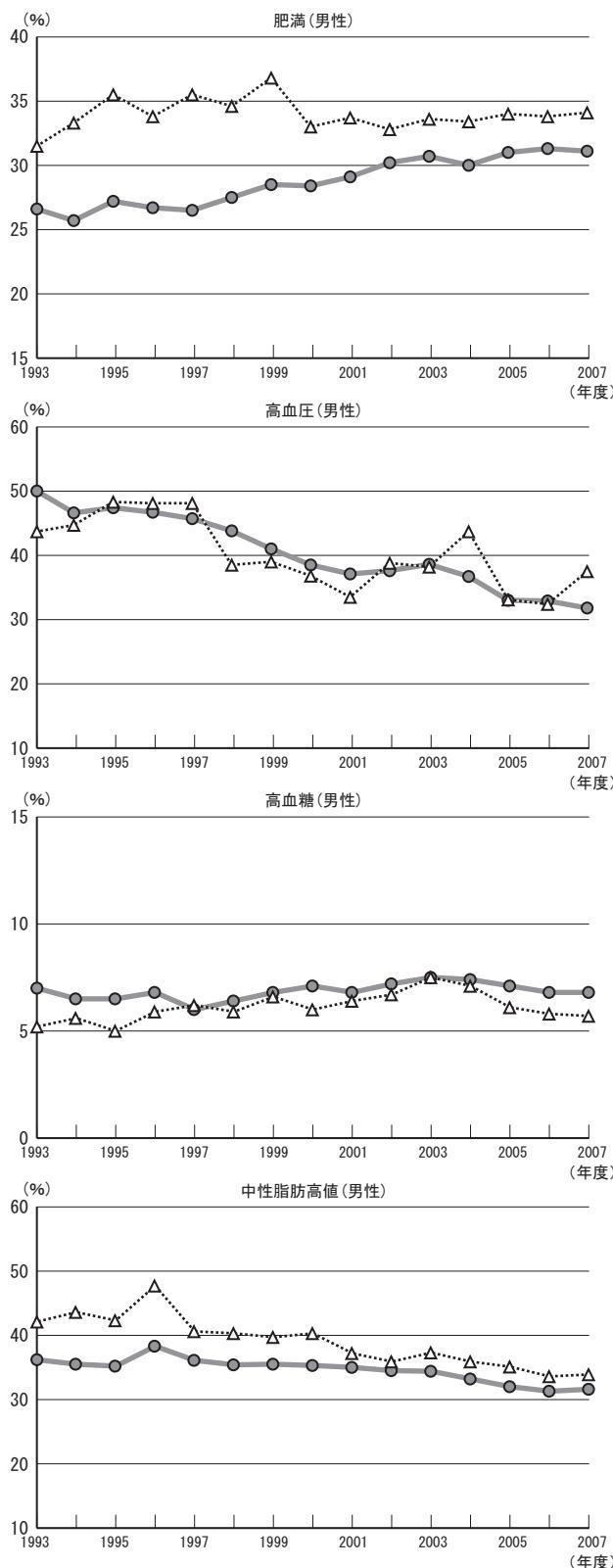


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.03	2315		
死 亡 数	0.96	542	○	
全国に比べて有意に高い	1.29	101		
全国に比べて有意に低い	0.92	75		
標準化死亡比	0.78	39		
死 亡 数	0.85	63		
全国に比べて有意に高い	0.86	36		
全国に比べて有意に低い	0.62	14		○
標準化死亡比	1.24	36		
死 亡 数	1.03	422		
全国に比べて有意に高い	1.90	183	○	
全国に比べて有意に低い	1.15	364	○	
標準化死亡比	1.23	49		
死 亡 数	0.96	65		○
全国に比べて有意に高い	1.23	246		
全国に比べて有意に低い	0.81	42		

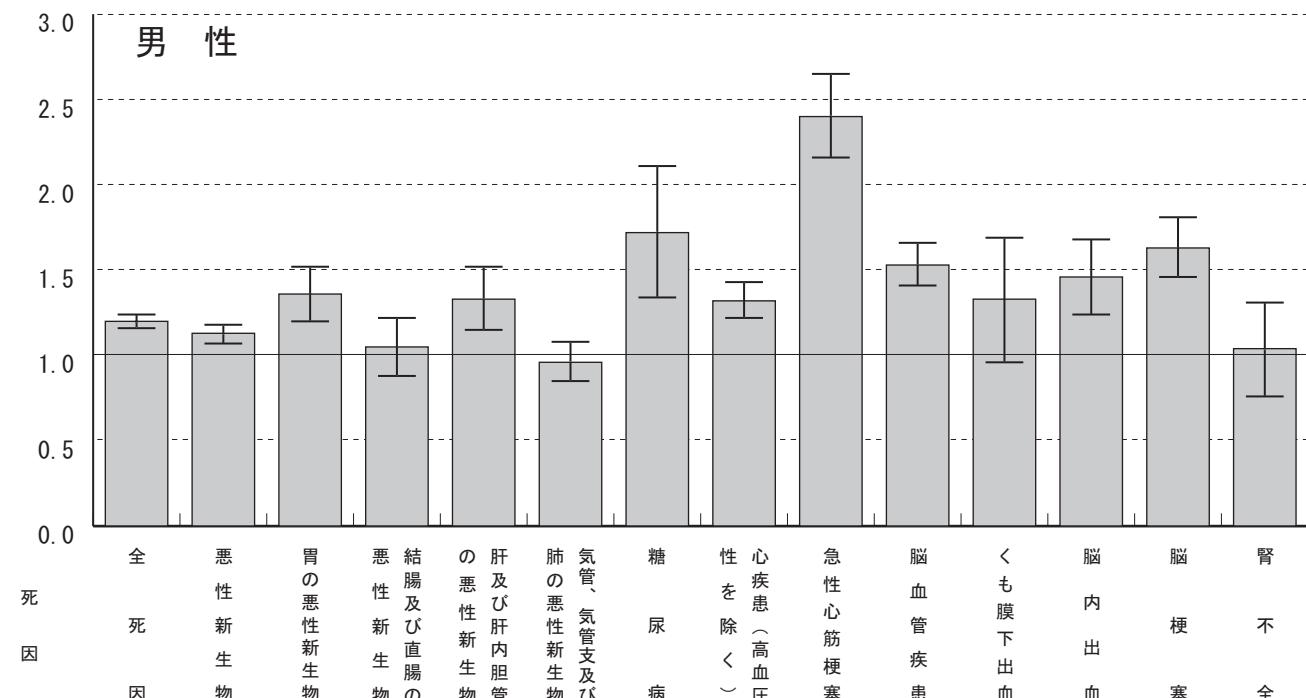
男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

年齢調整有病率の経年度変化(潮来保健所)

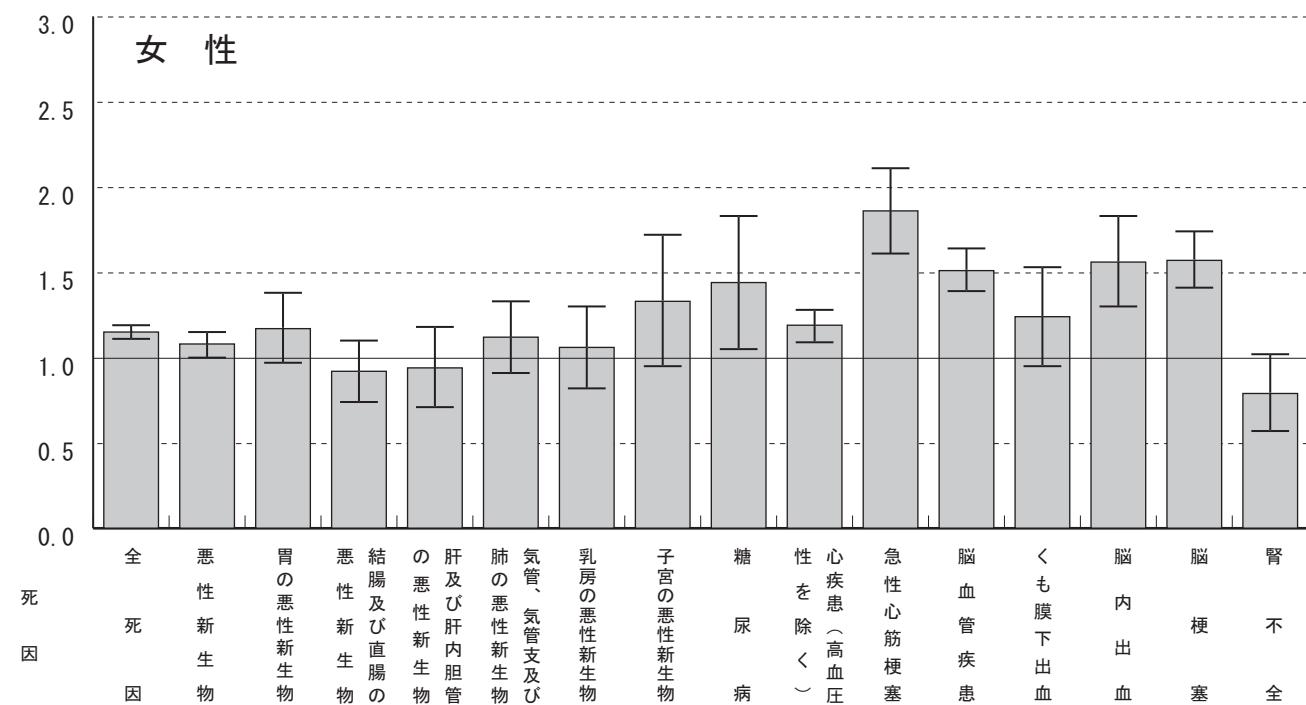
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 57:潮来保健所



潮来保健所標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.20	4188	○	
死 亡 数	1.13	1379	○	
全国に比べて有意に高い	1.36	279	○	
全国に比べて有意に低い	1.05	147	○	
標準化死亡比	1.33	199		
死 亡 数	0.96	266		
全国に比べて有意に高い	1.72	77	○	
全国に比べて有意に低い	1.32	644	○	
標準化死亡比	2.40	364	○	
死 亡 数	1.53	560	○	
全国に比べて有意に高い	1.33	51	○	
全国に比べて有意に低い	1.46	168	○	
標準化死亡比	1.63	329		
死 亡 数	1.04	54		

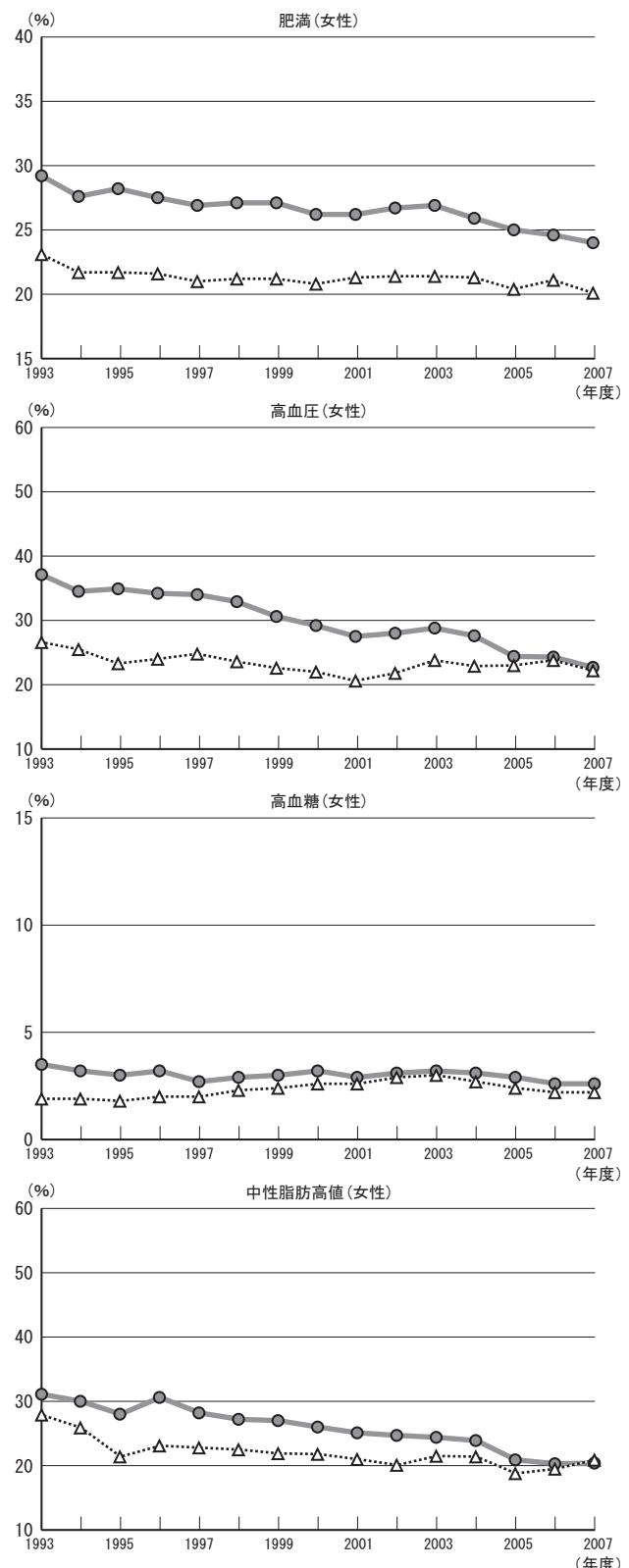
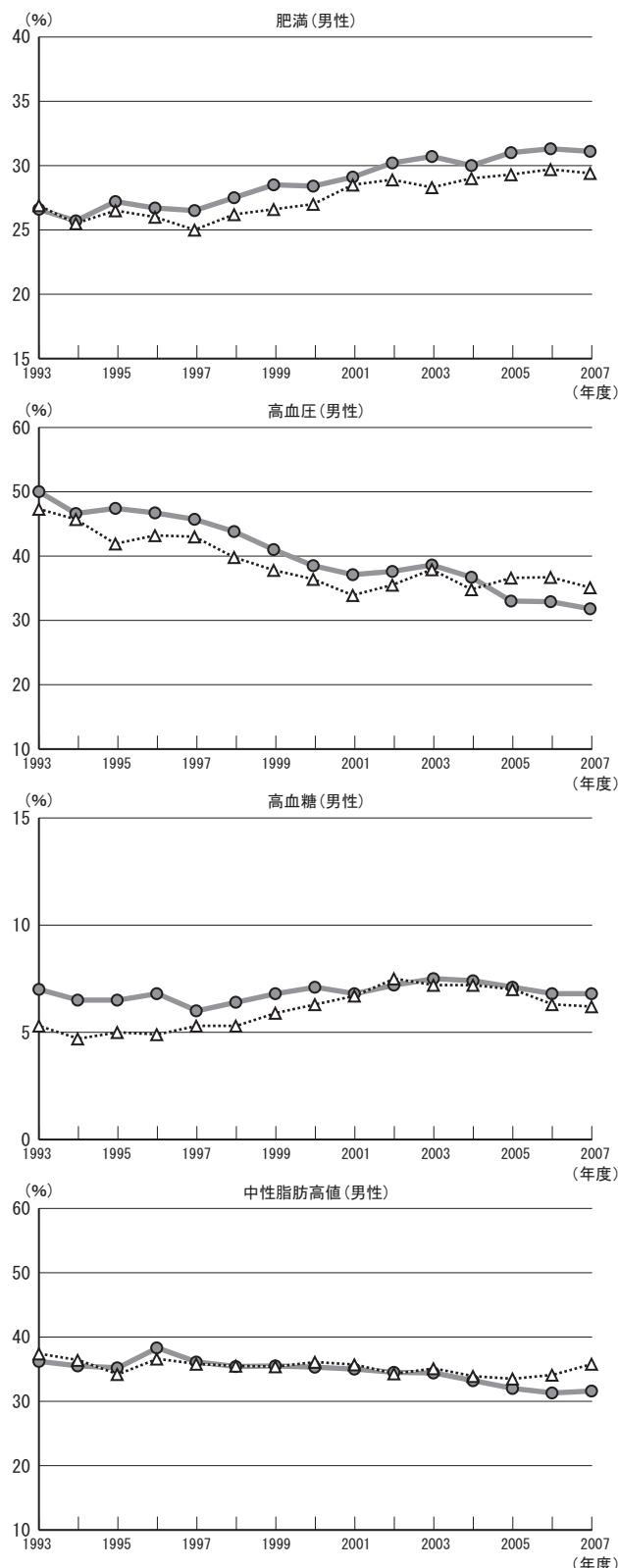


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.15	3244	○	
死 亡 数	1.08	830	○	
全国に比べて有意に高い	1.17	122		
全国に比べて有意に低い	0.92	101		
標準化死亡比	0.94	61		
死 亡 数	1.12	110		
全国に比べて有意に高い	1.06	75		
全国に比べて有意に低い	1.33	46		
標準化死亡比	1.44	52	○	
死 亡 数	1.19	577	○	
全国に比べて有意に高い	1.86	216	○	
全国に比べて有意に低い	1.51	575	○	
標準化死亡比	1.24	68	○	
死 亡 数	1.56	133	○	
全国に比べて有意に高い	1.57	360	○	
全国に比べて有意に低い	0.79	48		

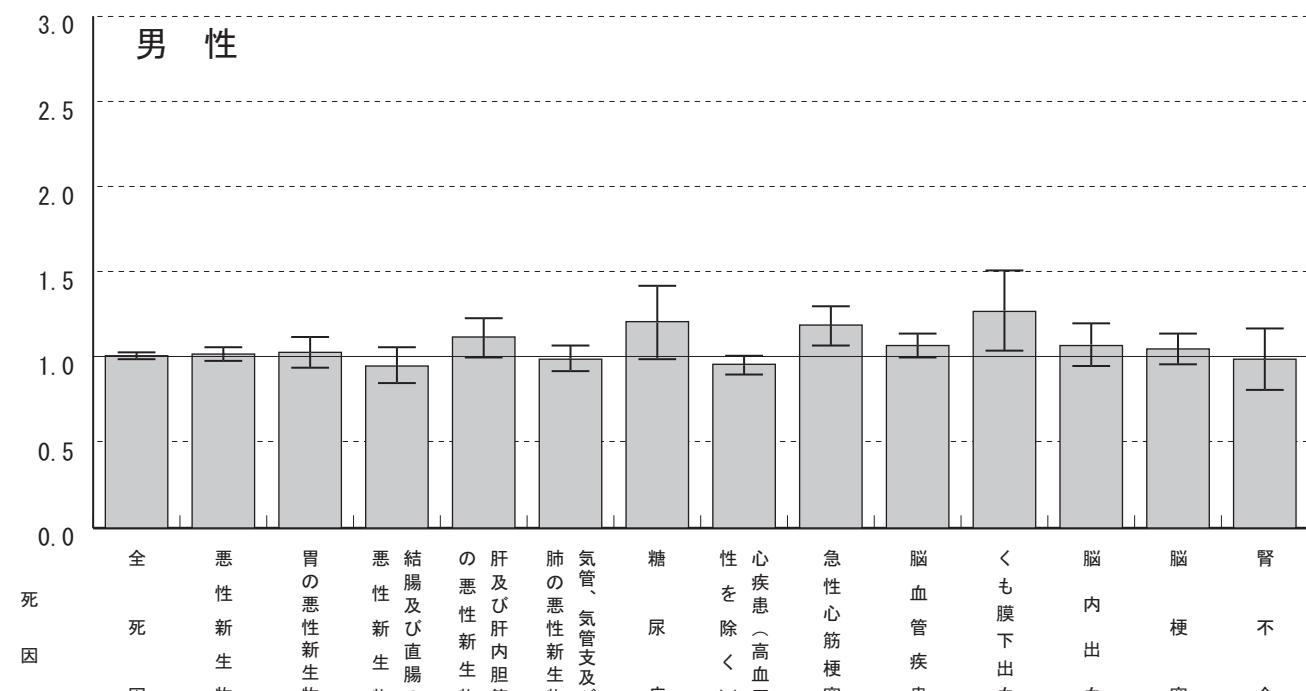
男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、胃がん、肝がんの死亡率が高く、胃がん検診、肝炎ウイルス検診、腹部エコー検診の積極的な推進が求められる

年齢調整有病率の経年度変化(竜ヶ崎保健所)

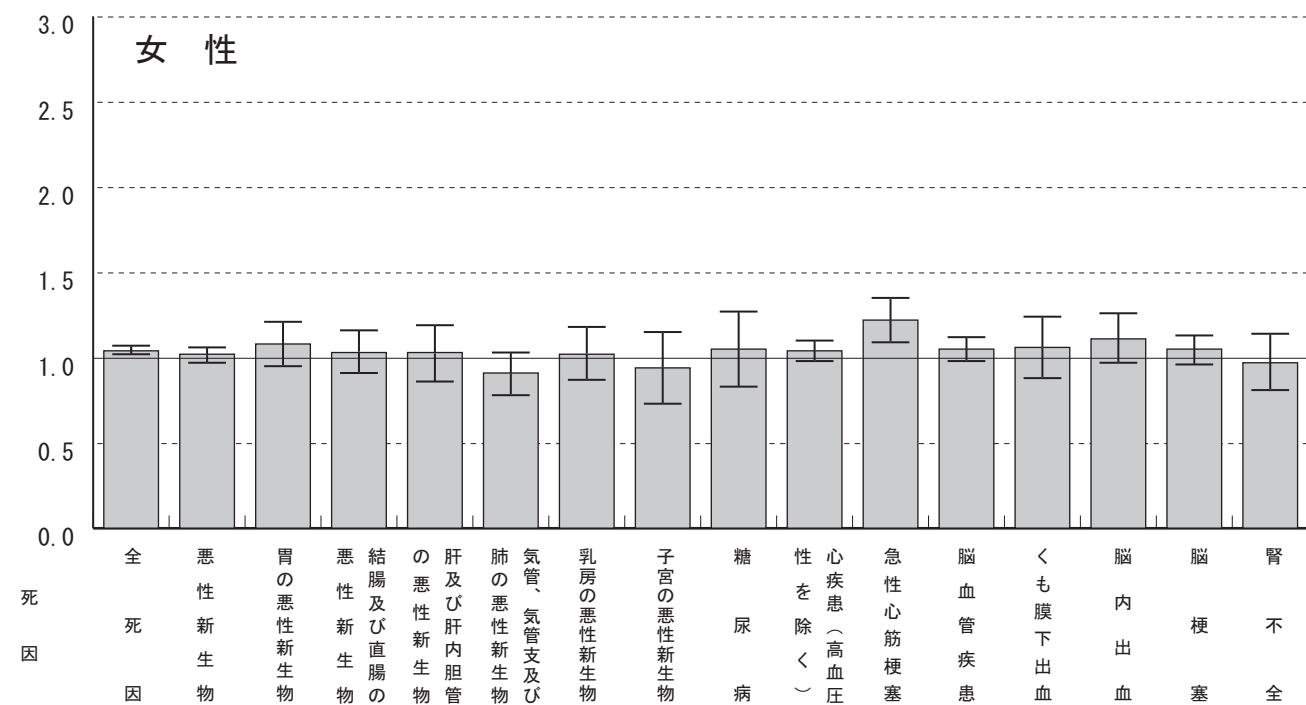
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 58:竜ヶ崎保健所



竜ヶ崎保健所標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.01	8179		
死 亡 数	1.02	2888	○	
全国に比べて有意に高い	1.03	486		
全国に比べて有意に低い	0.95	308		
1.12	381			
0.99	633			
1.21	124			
0.96	1082			
1.19	417	○		
1.07	914	○		
1.27	110	○		
1.07	284			
1.05	503			
0.99	122			

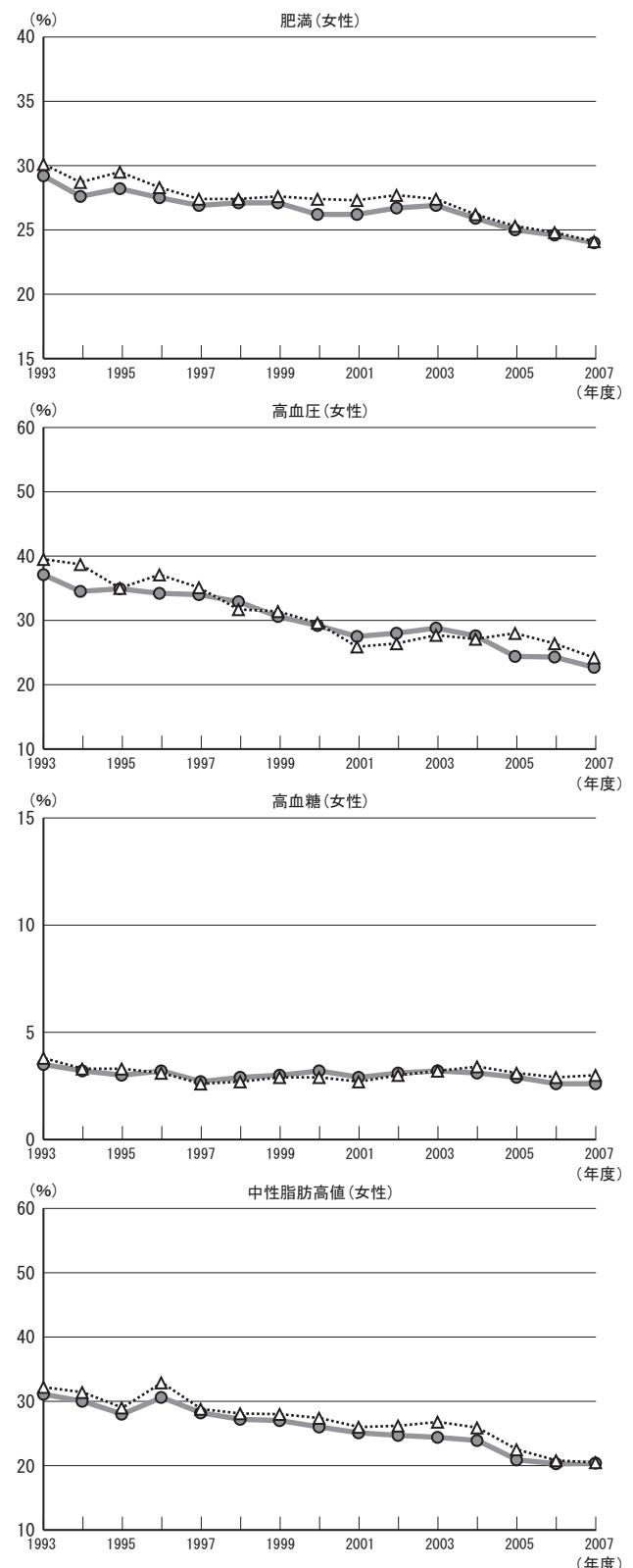
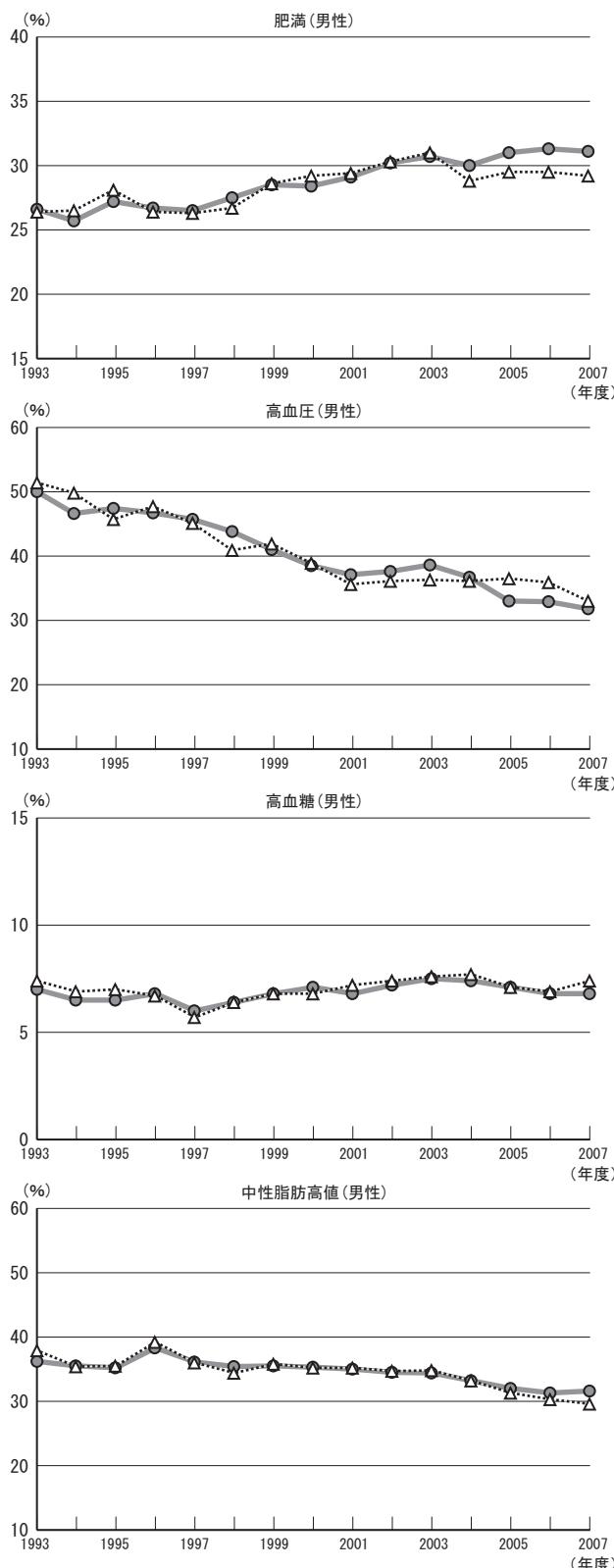


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.04	6753	○	
死 亡 数	1.02	1805		
全国に比べて有意に高い	1.08	258		
全国に比べて有意に低い	1.03	261		
1.03	150			
0.91	204			
1.02	169			
0.94	75			
1.05	87			
1.04	1171	○		
1.22	326			
1.05	920			
1.06	134			
1.11	218			
1.05	555			
0.97	136			

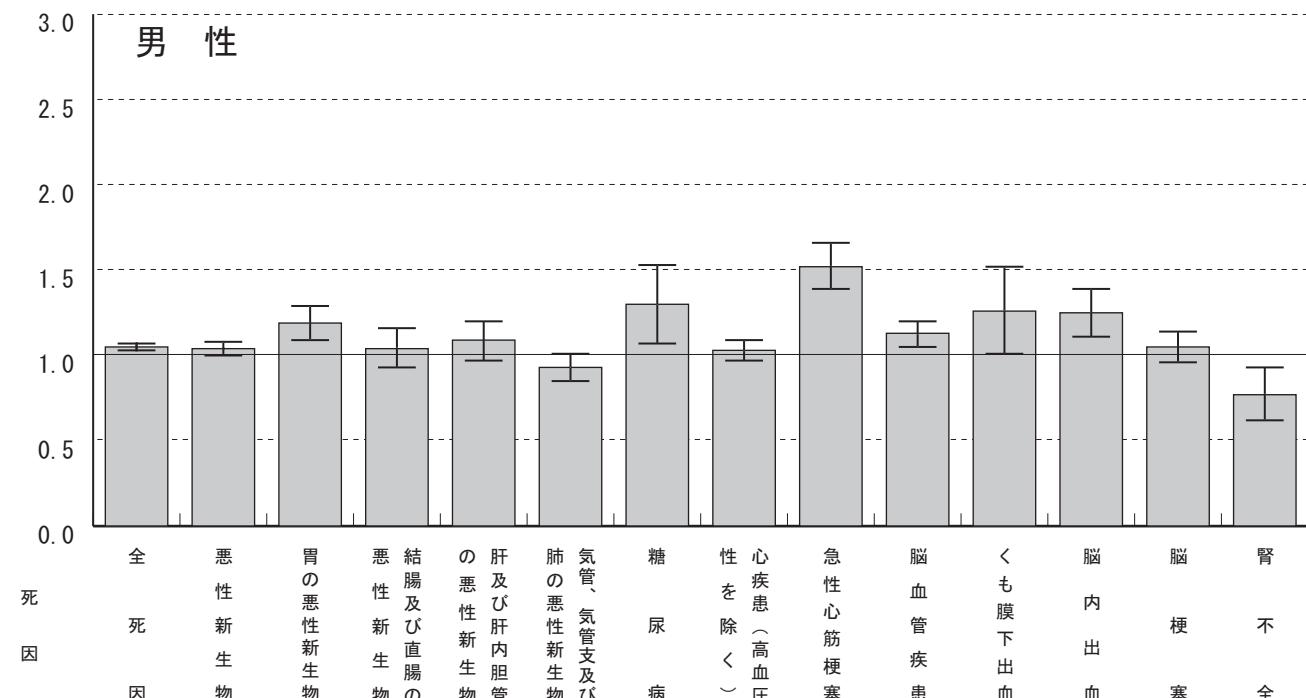
男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。男性では脳血管疾患の死亡率も高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、肝がんの死亡率が高く、肝炎ウイルス検診、腹部エコー検診の積極的な推進が求められる。

年齢調整有病率の経年度変化(土浦保健所)

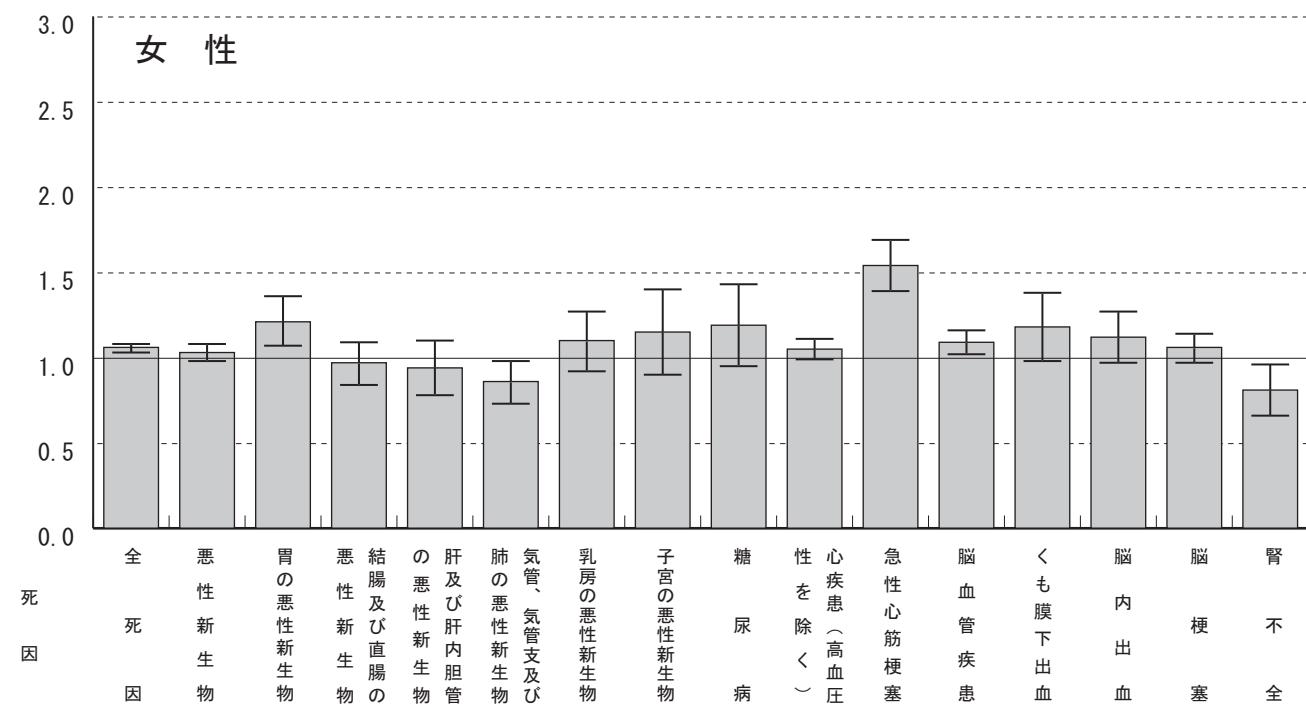
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 59:土浦保健所



土浦保健所標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.05	7940	○	
死 亡 数	1.04	2695	○	
全死因	1.19	513	○	
悪性新生物	1.04	305		
胃の悪性新生物	1.09	331		
悪性新生物	0.93	550		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.30	121	○	
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.03	1101		
肺の悪性新生物	1.52	497	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.13	917	○	
糖尿病	1.26	94	○	
性を除く病	1.25	300	○	
心疾患(高血圧)	1.05	504		○
急性心筋梗塞	0.77	94		
脳血管疾患				
くも膜下出血				
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

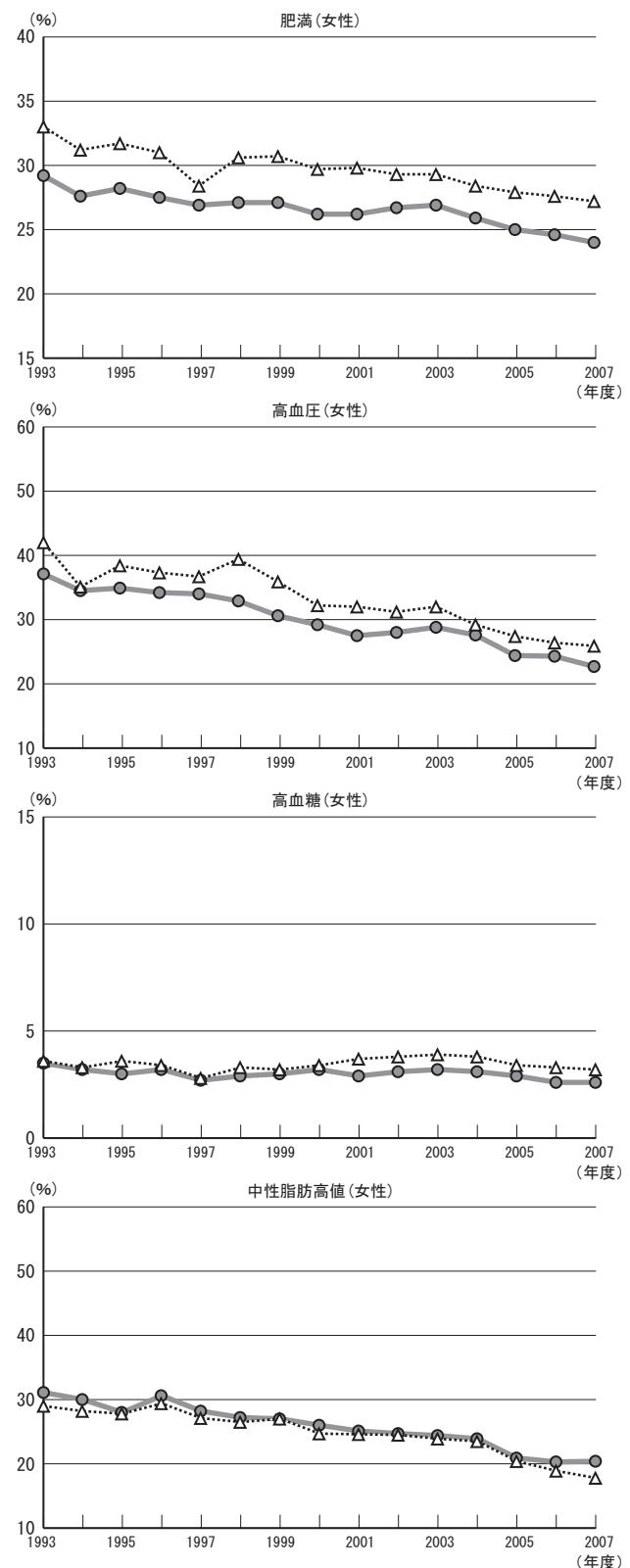
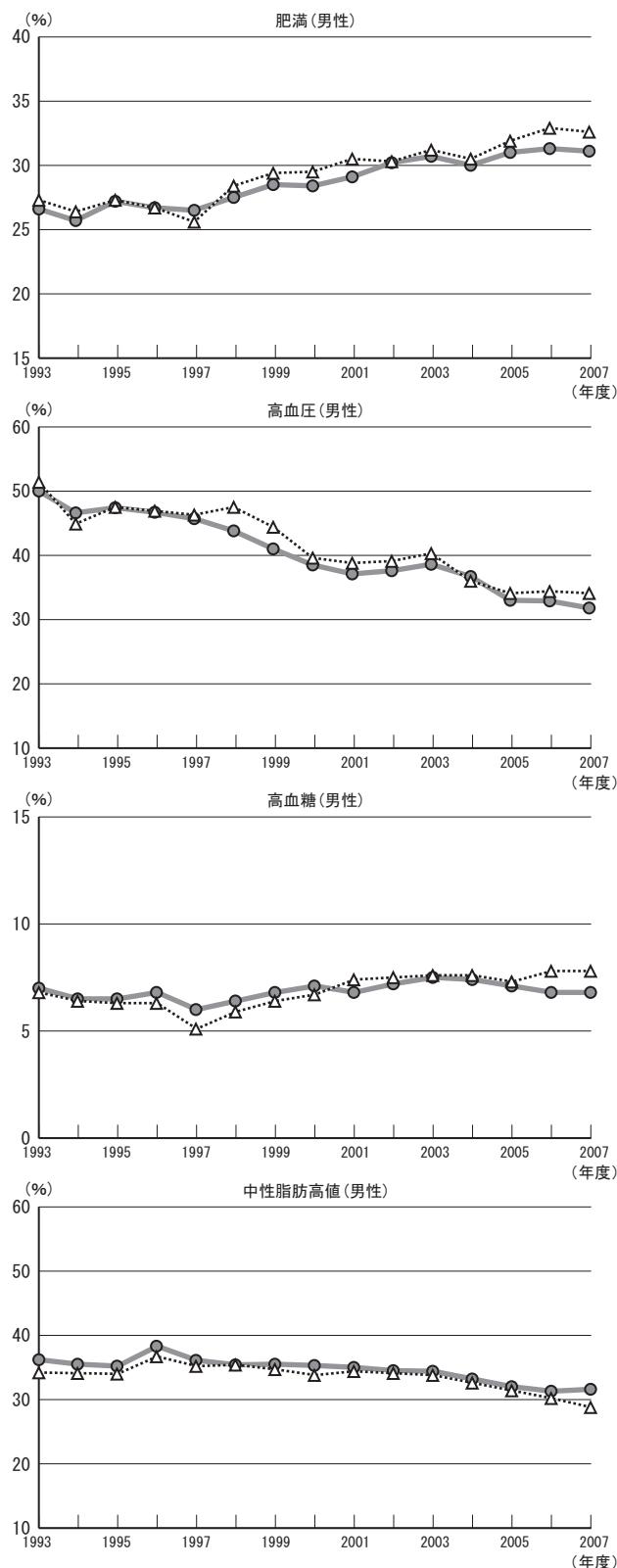


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.06	6523	○	
死 亡 数	1.03	1667	○	
全死因	1.21	268		
悪性新生物	0.97	225		
胃の悪性新生物	0.94	129	○	
悪性新生物	0.86	179		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.10	151		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.15	80		
肺の悪性新生物	1.19	94		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.05	1149	○	
乳房の悪性新生物	1.54	399	○	
子宮の悪性新生物	1.09	921		
糖尿病	1.18	135		
性を除く病	1.12	208		
心疾患(高血圧)	1.06	554		○
急性心筋梗塞	0.81	111		
脳血管疾患				
くも膜下出血				
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

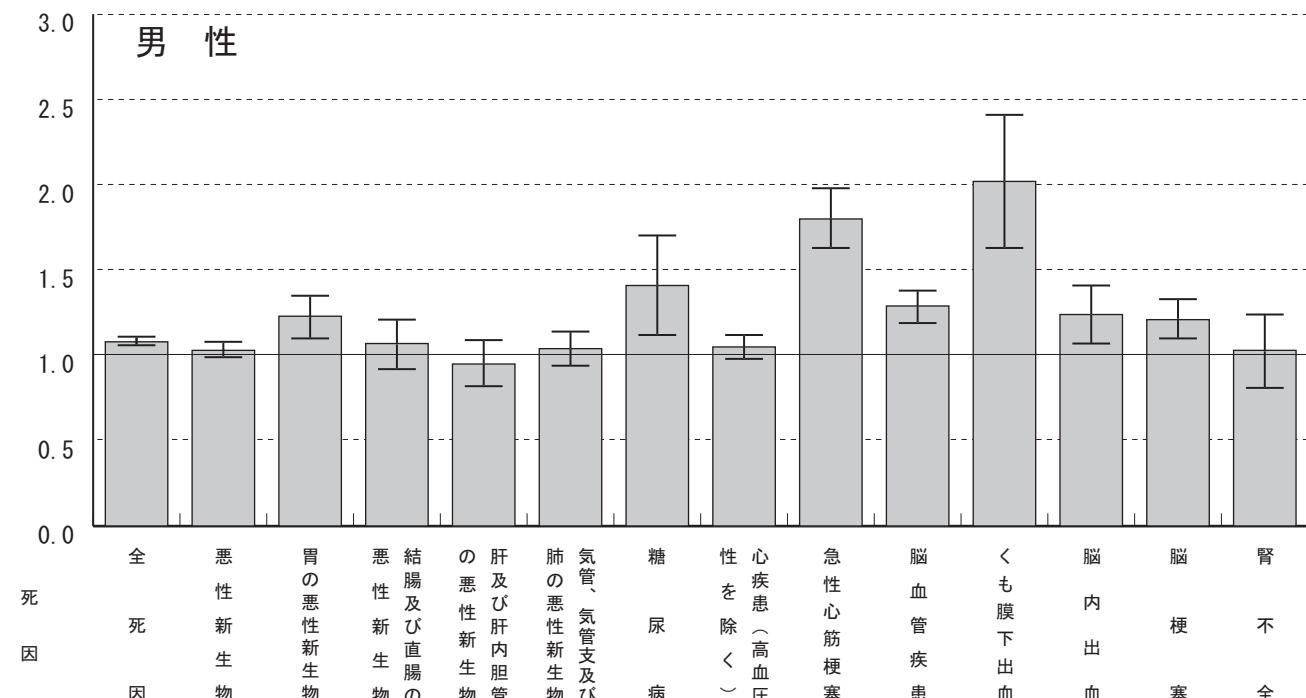
男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男女とも、胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

年齢調整有病率の経年度変化(筑西保健所)

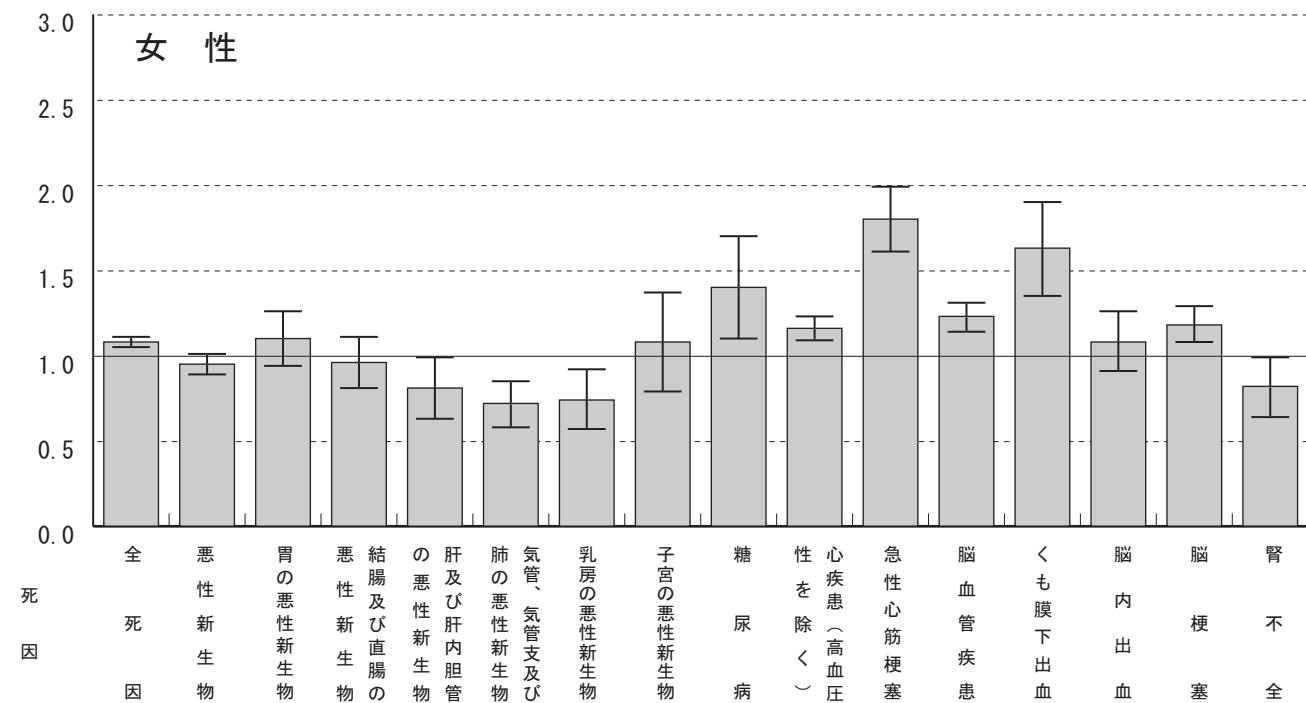
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 62:筑西保健所



筑西保健所標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.08	5695	○	
死 亡 数	1.03	1840	○	
全国に比べて有意に高い	1.23	366		
全国に比べて有意に低い	1.07	214		
0.95	198			
1.04	427			
1.41	90	○		
1.05	783		○	
1.80	409	○	○	
1.29	739	○	○	
2.02	101	○	○	
1.24	205	○	○	
1.21	417			
1.03	89			

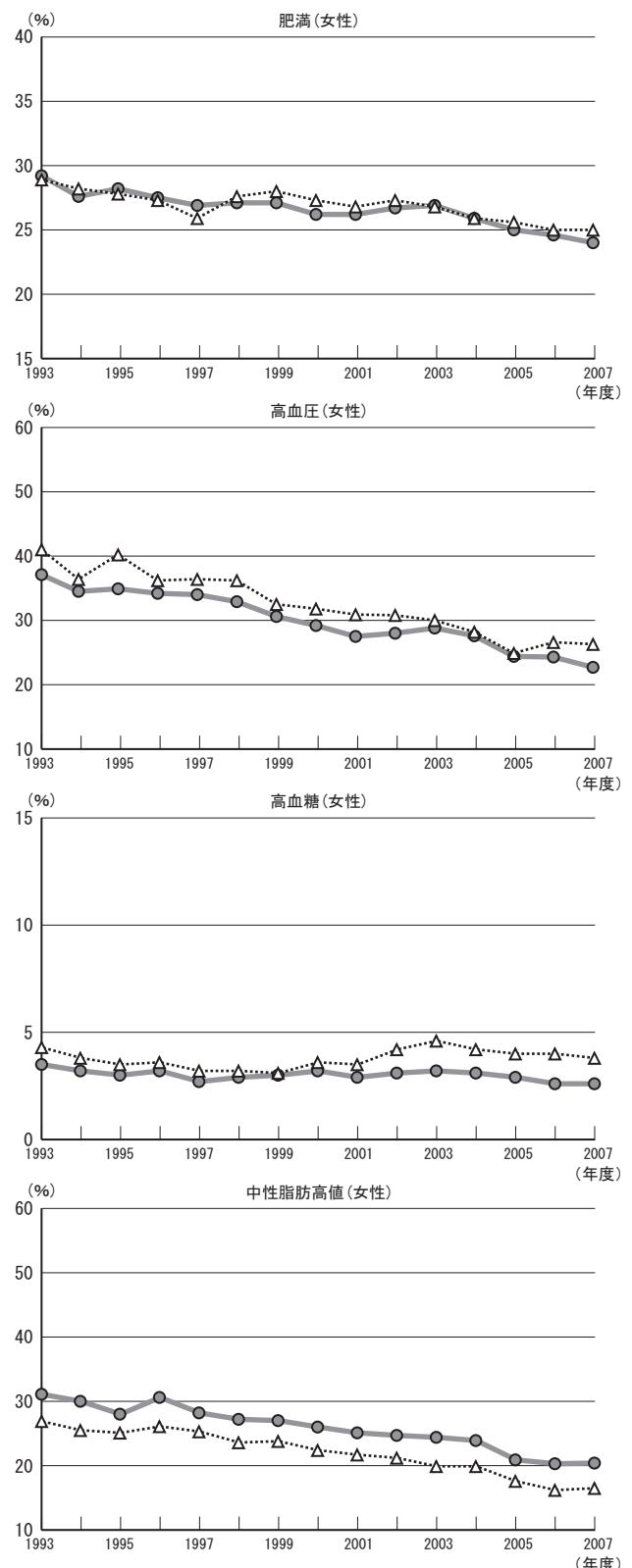
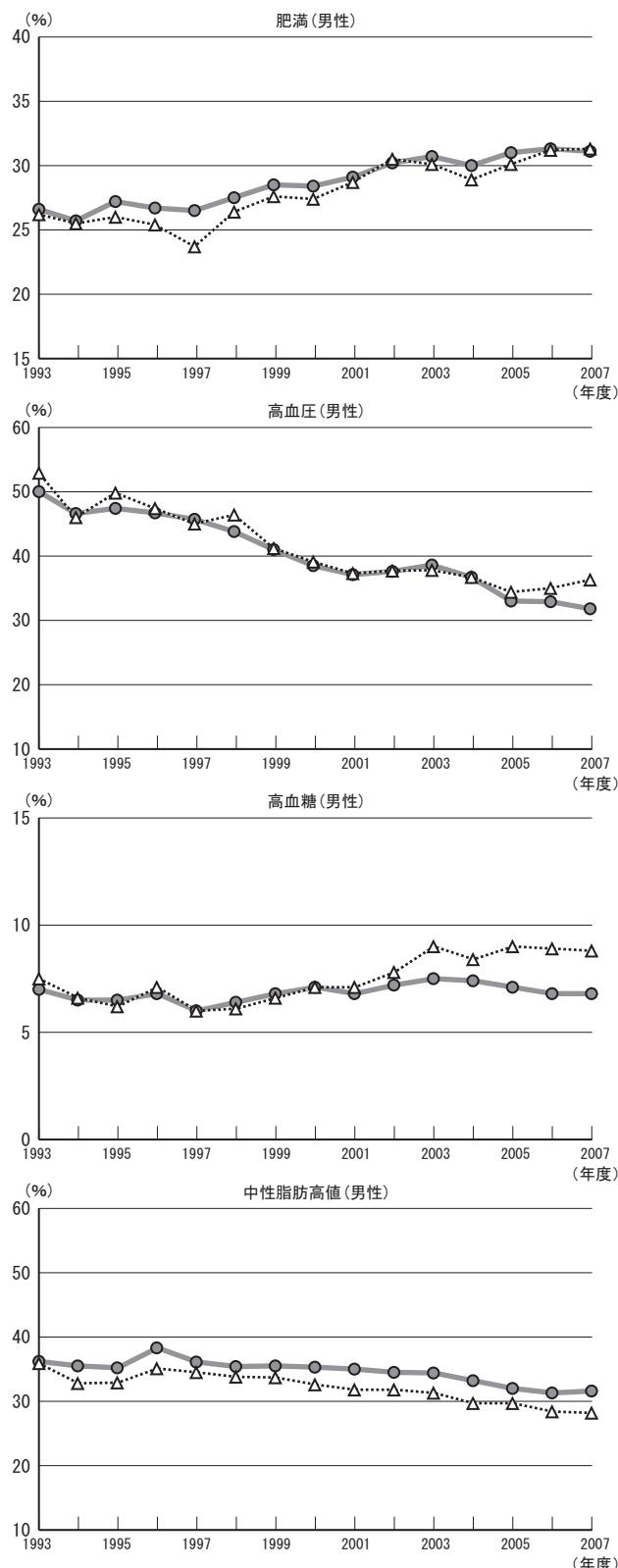


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.08	4921	○	
死 亡 数	0.95	1106		
全国に比べて有意に高い	1.10	176		
全国に比べて有意に低い	0.96	162		○
0.81	81	○	○	○
0.72	109	○	○	○
0.74	69			
1.08	52	○		
1.40	82	○		
1.16	954	○	○	
1.80	350	○	○	
1.23	784	○	○	
1.63	134	○		
1.08	149		○	
1.18	475			
0.82	85			○

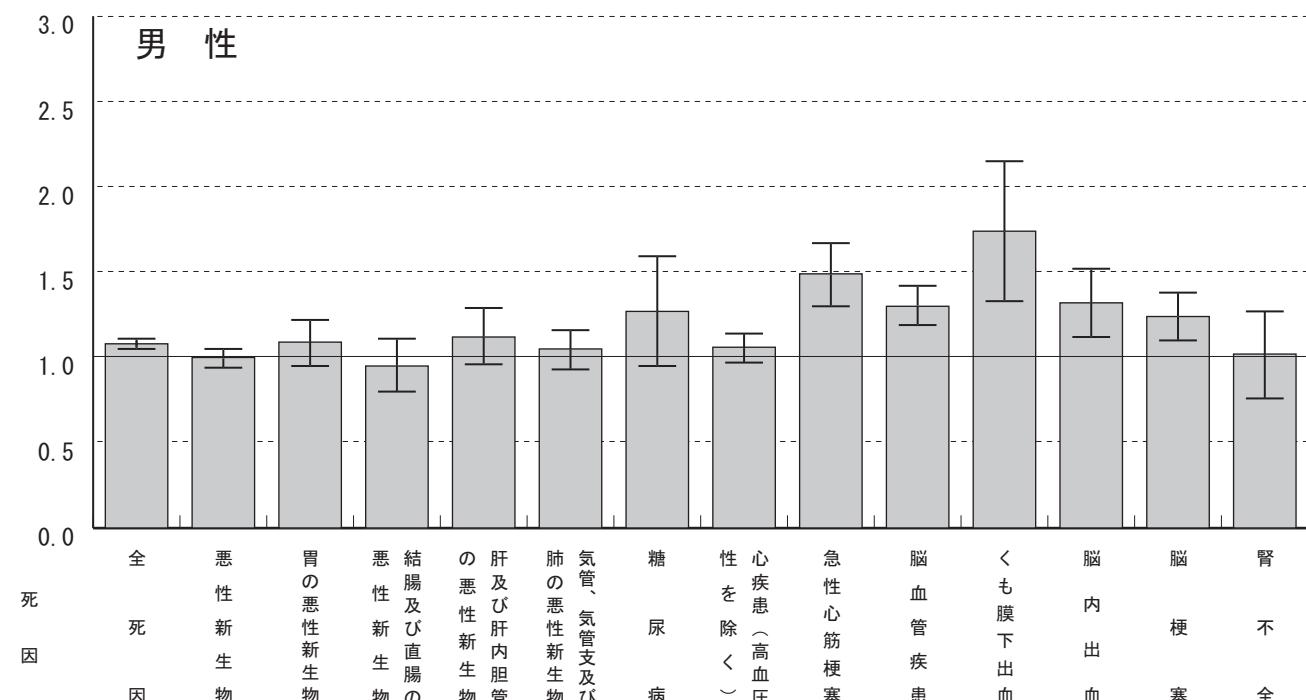
男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

年齢調整有病率の経年度変化(古河保健所)

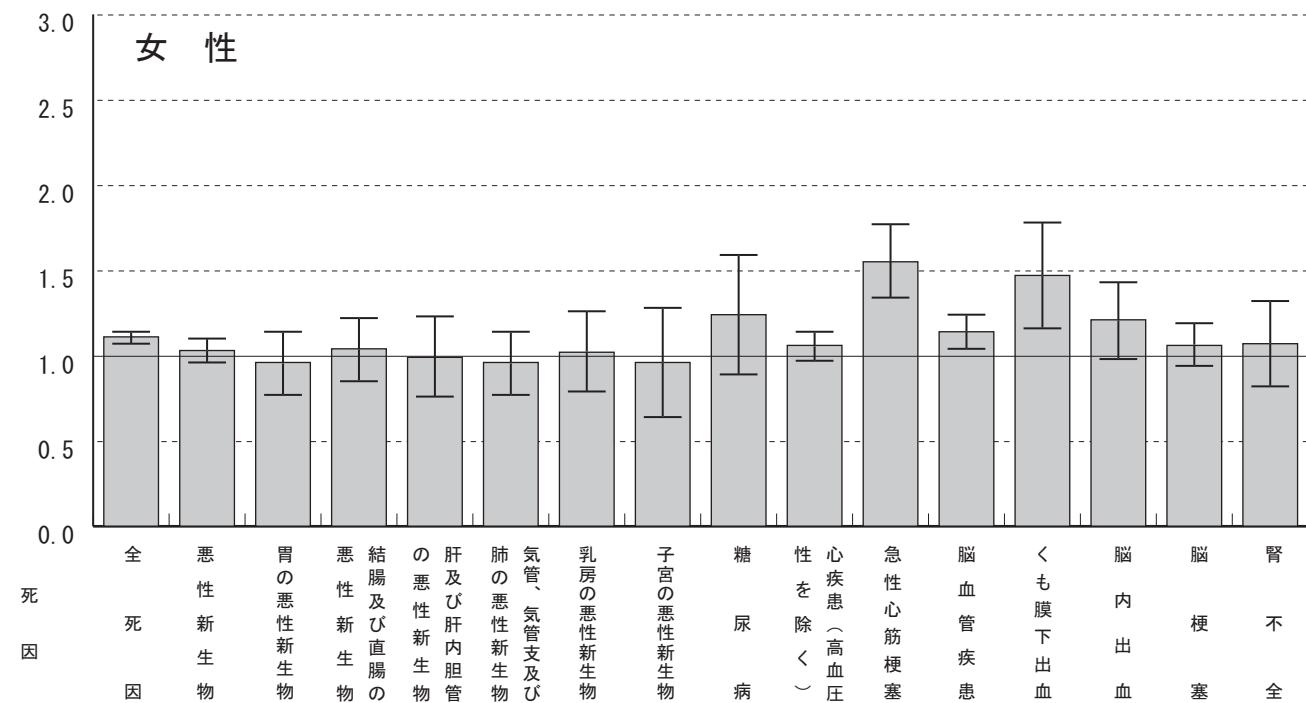
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 65:古河保健所



古河保健所標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.08	4147	○	
死 亡 数	1.00	1317		
全死因	1.09	240		
悪性新生物	0.95	143		
胃の悪性新生物	1.12	177		
悪性新生物	1.05	315		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.27	61		
肝及び肝内胆管	1.06	570	○	
肺の悪性新生物	1.49	247	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.30	534	○	
糖尿病	1.74	69	○	
性を除く心疾患 (高血圧)	1.32	163	○	
急性心筋梗塞	1.24	292	○	
脳血管疾患	1.02	61		

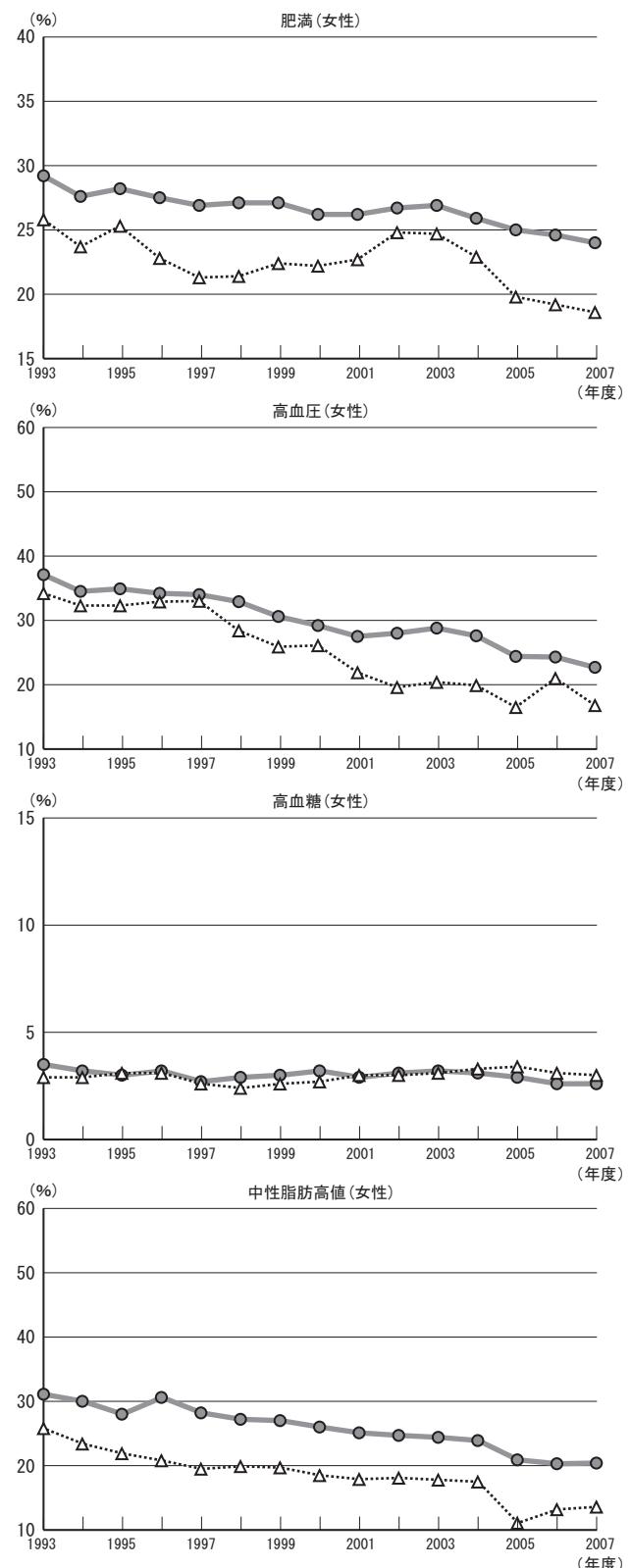
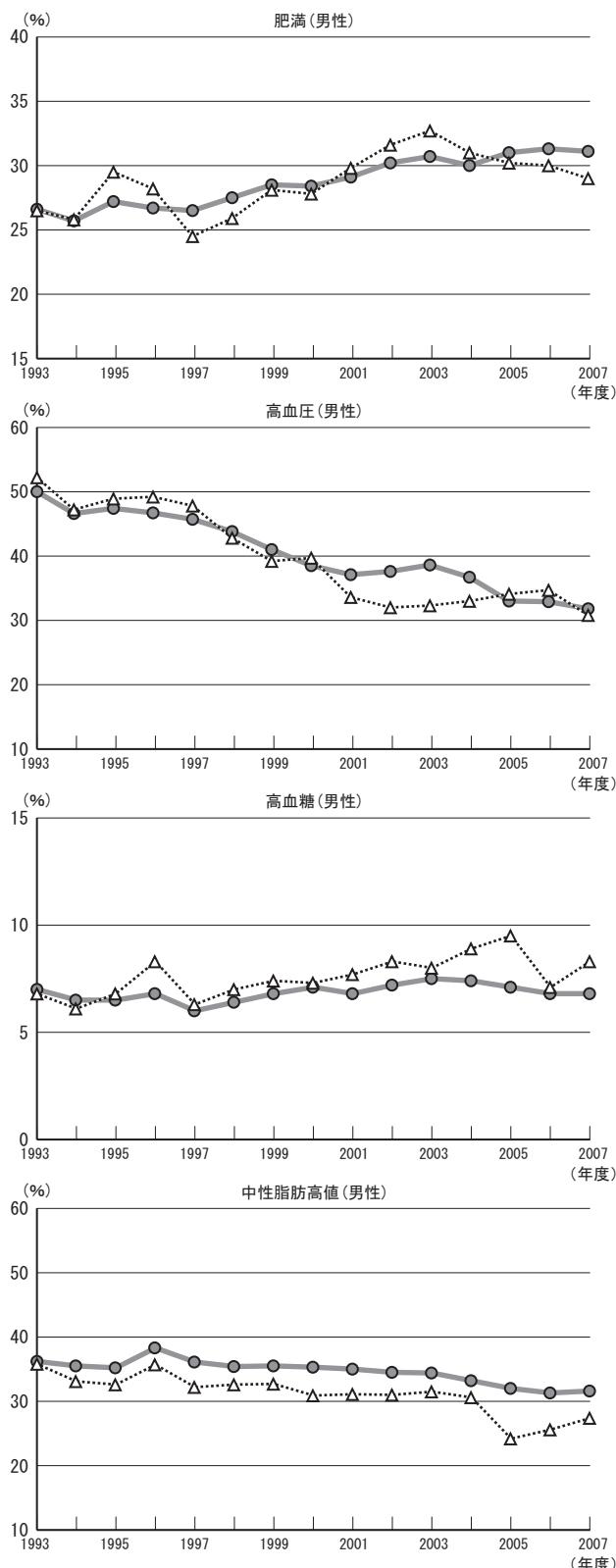


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.11	3399	○	
死 亡 数	1.03	851		
全死因	0.96	107		
悪性新生物	1.04	122		
胃の悪性新生物	0.99	69		
悪性新生物	0.96	101		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.02	75		
肝及び肝内胆管	0.96	35		
肺の悪性新生物	1.24	49	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.24	569	○	
乳房の悪性新生物	1.06	199	○	
子宮の悪性新生物	1.55	477	○	
糖尿病	1.14	86		
性を除く心疾患 (高血圧)	1.47	112		
急性心筋梗塞	1.21	272		
脳血管疾患	1.06	72		

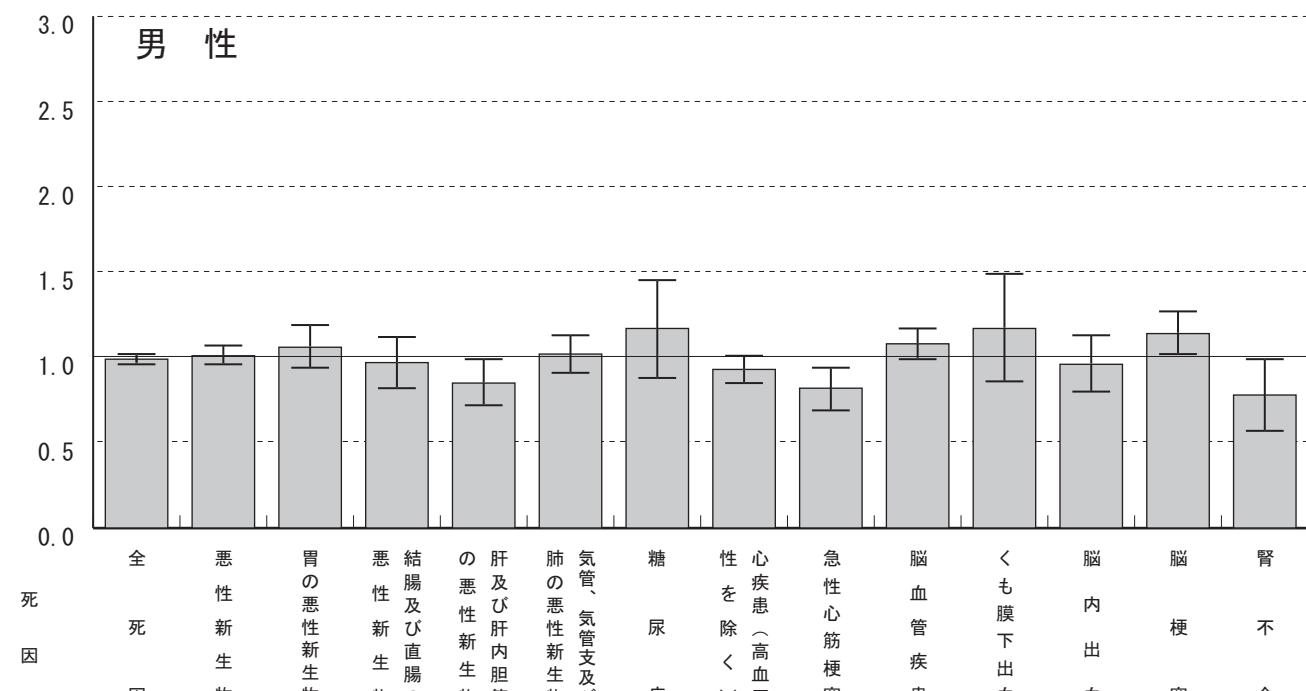
男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

年齢調整有病率の経年度変化(つくば保健所)

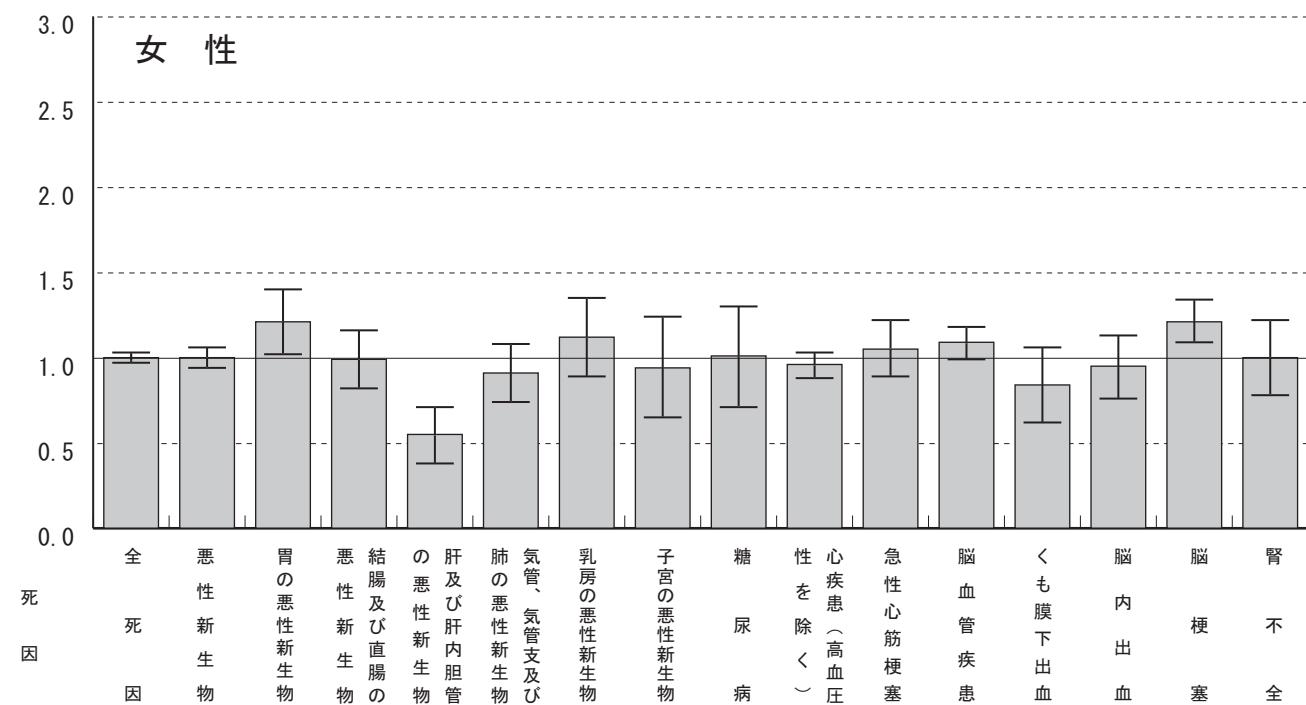
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 69:つくば保健所



つくば保健所標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.99	4352		
死 亡 数	1.01	1508		
全国に比べて有意に高い	1.06	264		
全国に比べて有意に低い	0.97	164		○
	0.85	149		
	1.02	345		
	1.17	63		
	0.93	575		
	0.82	154		
	1.08	507		
	1.17	53		
	0.96	135		
	1.14	311		
	0.78	54		○

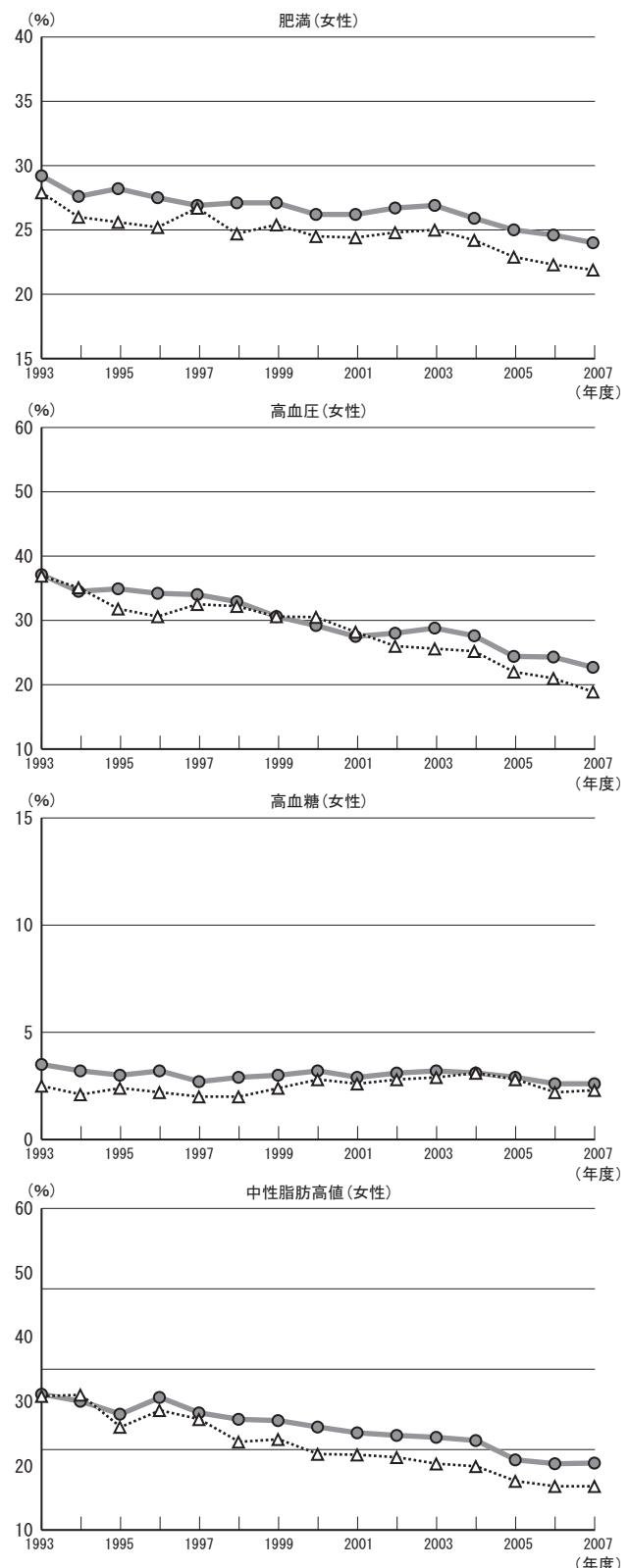
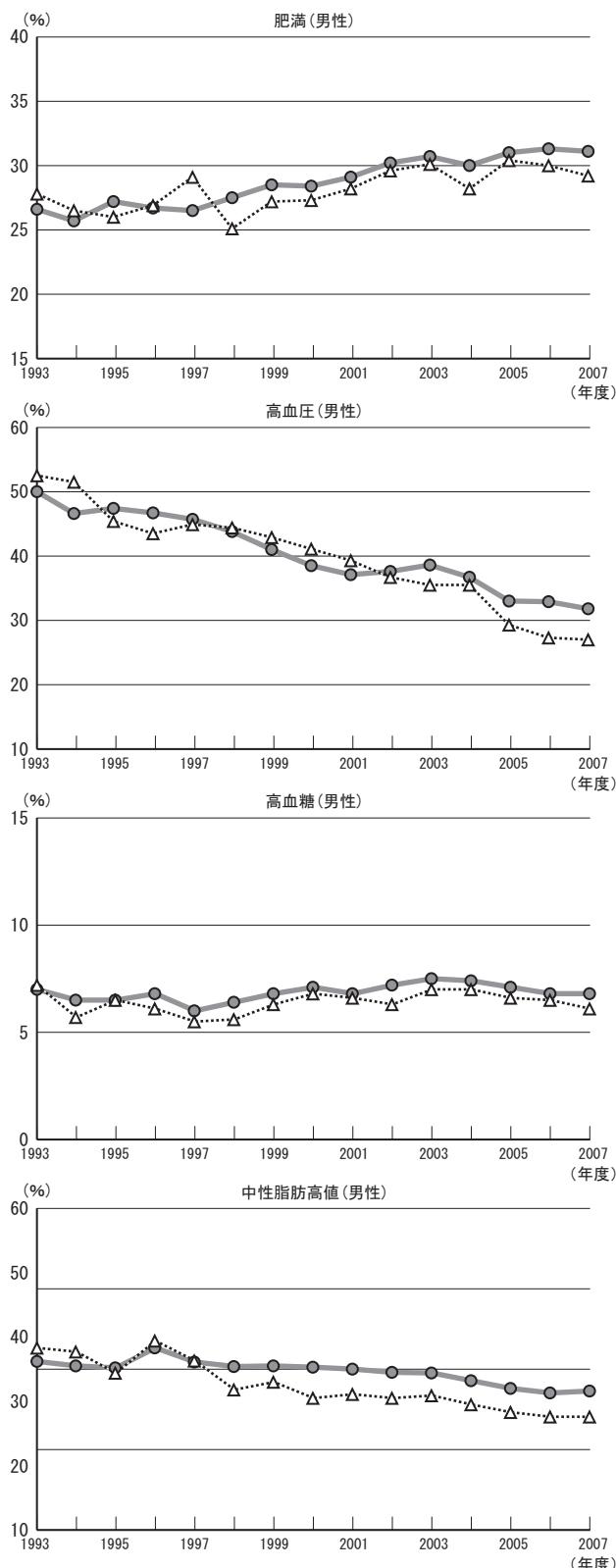


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.00	3601		
死 亡 数	1.00	944	○	
全国に比べて有意に高い	1.21	156		
全国に比べて有意に低い	0.99	134		○
	0.55	43		
	0.91	110		
	1.12	93		
	0.94	39		
	1.01	46		
	0.96	609		
	1.05	158		
	1.09	537		
	0.84	56		
	0.95	102		○
	1.21	371		
	1.00	80		

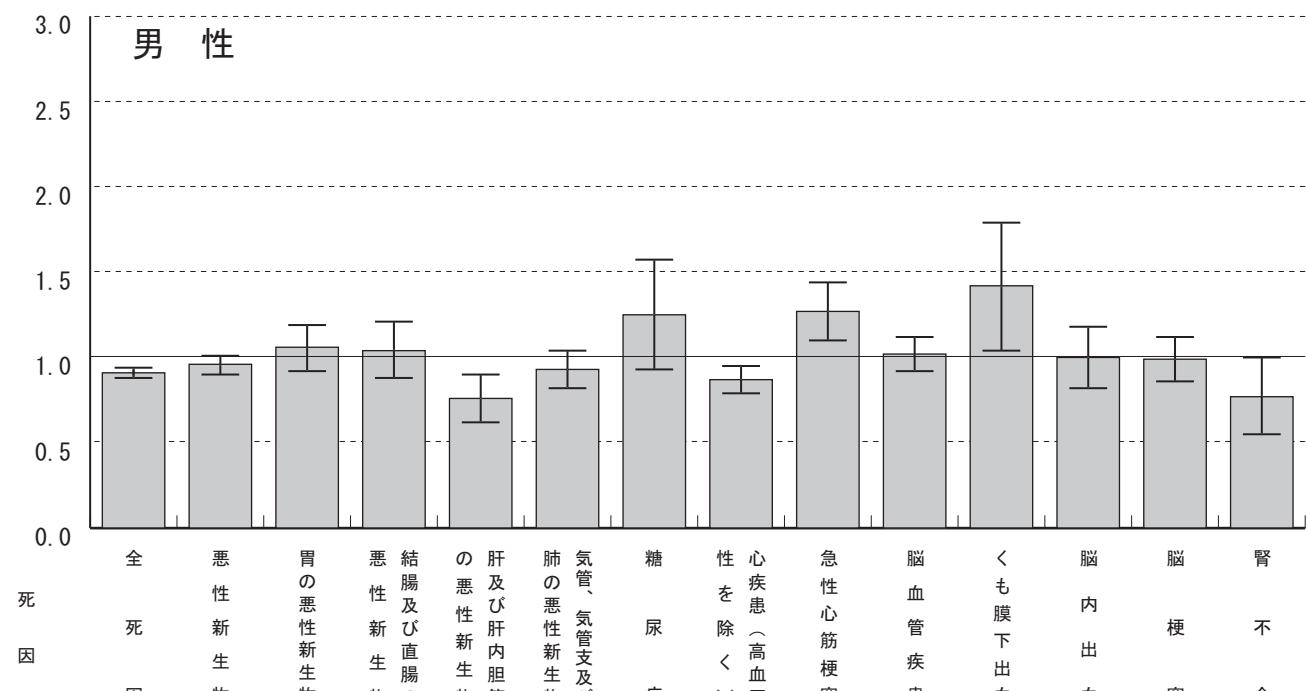
男女とも脳血管疾患の死亡率がやや高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

年齢調整有病率の経年度変化(ひたちなか保健所)

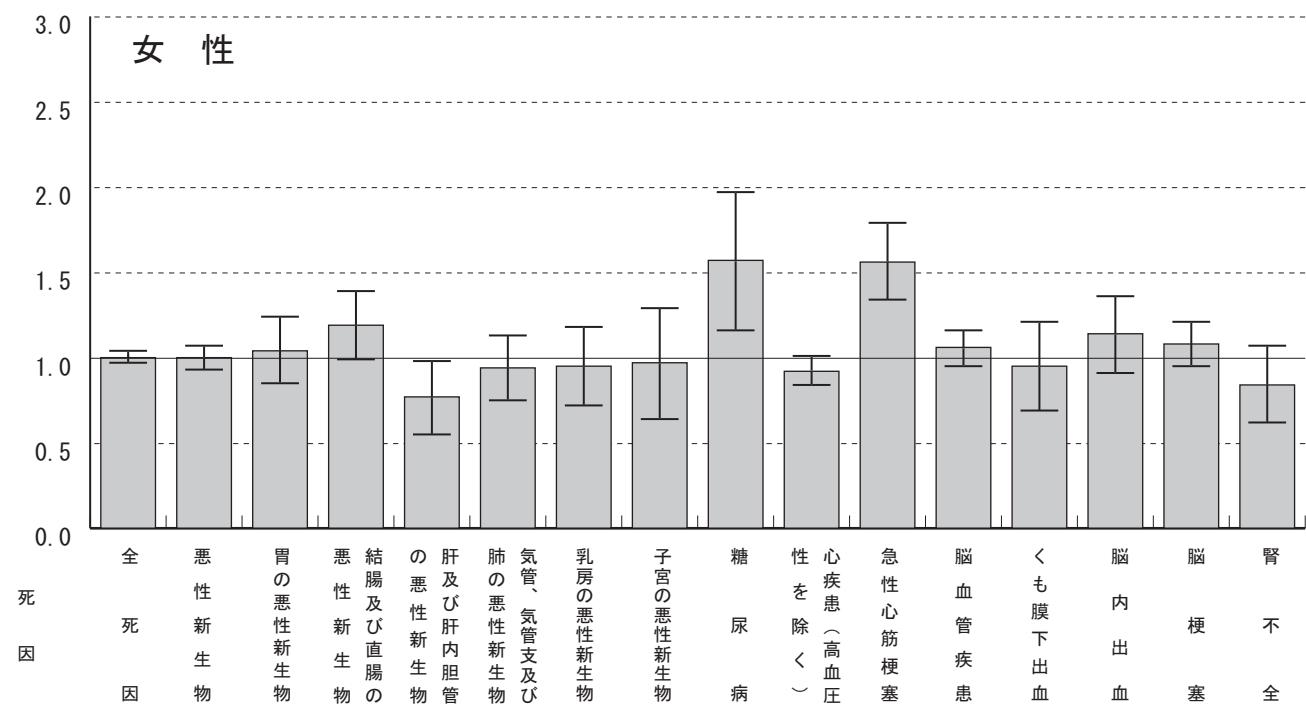
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 70:ひたちなか保健所



ひたちなか保健所標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.91	3406		○
死 亡 数	0.96	1242		
229	1.06	229		
154	1.04	154		
118	0.76	118		○
274	0.93	274		
59	1.25	59		○
460	0.87	460		
206	1.27	206	○	
405	1.02	405	○	
55	1.42	55		
121	1.00	121		
225	0.99	225		
45	0.77	45		○

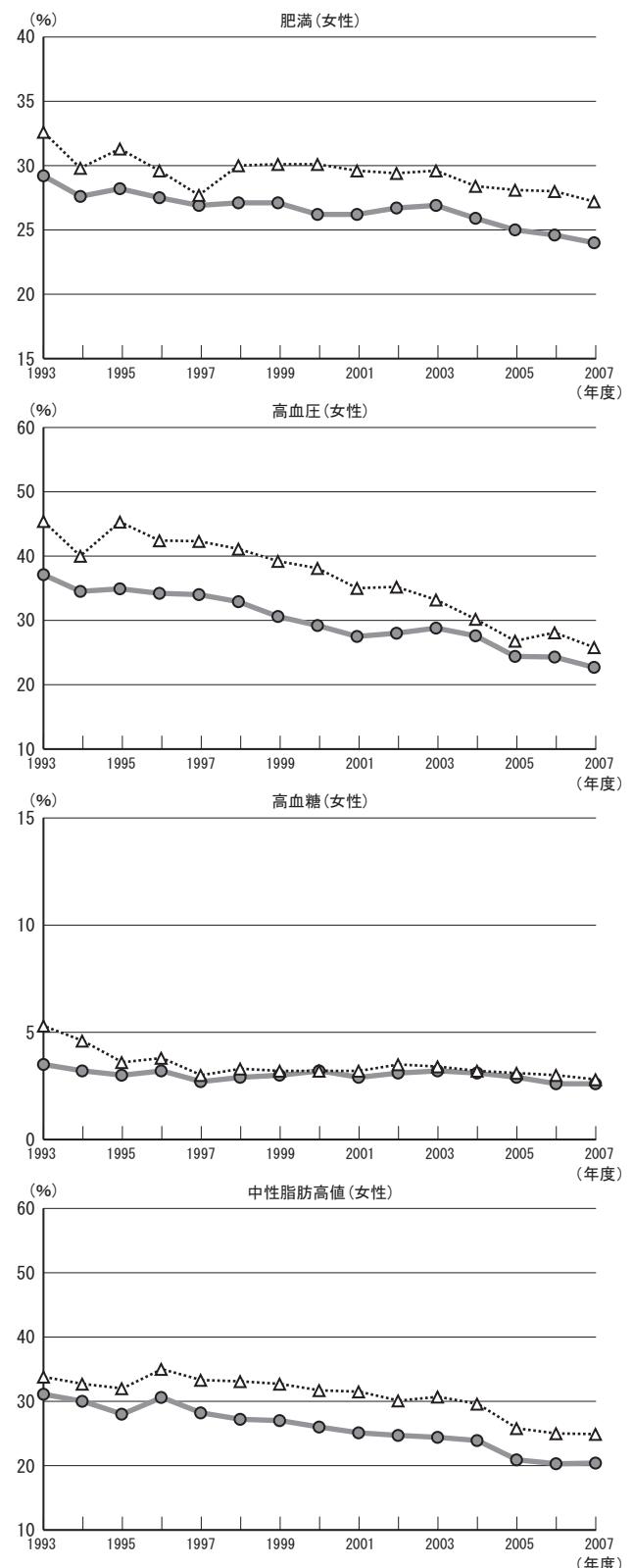
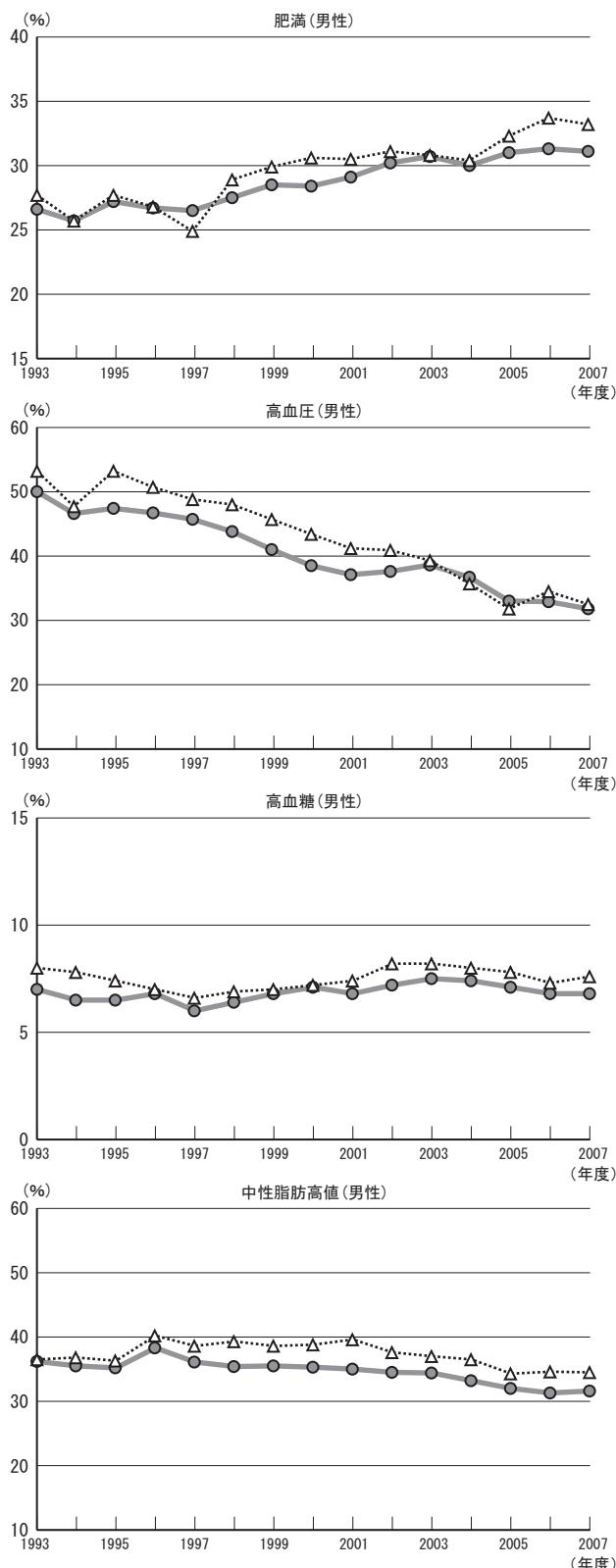


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.00	2908		
死 亡 数	1.00	784		
111	1.04	111		
133	1.19	133		
50	0.77	50		○
94	0.94	94		
68	0.95	68		
34	0.97	34		
58	1.57	58	○	
465	0.92	465		
187	1.56	187	○	
414	1.06	414		
53	0.95	53		
99	1.14	99		
257	1.08	257		
53	0.84	53		

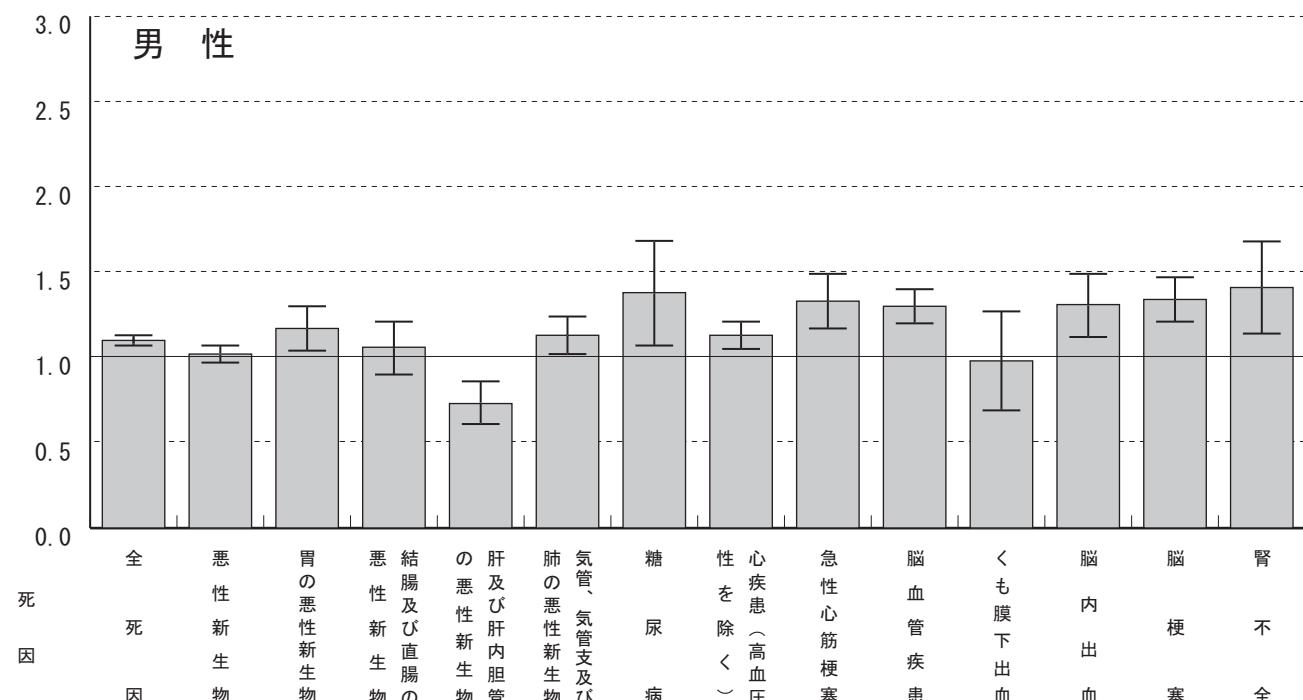
男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

年齢調整有病率の経年度変化(常総保健所)

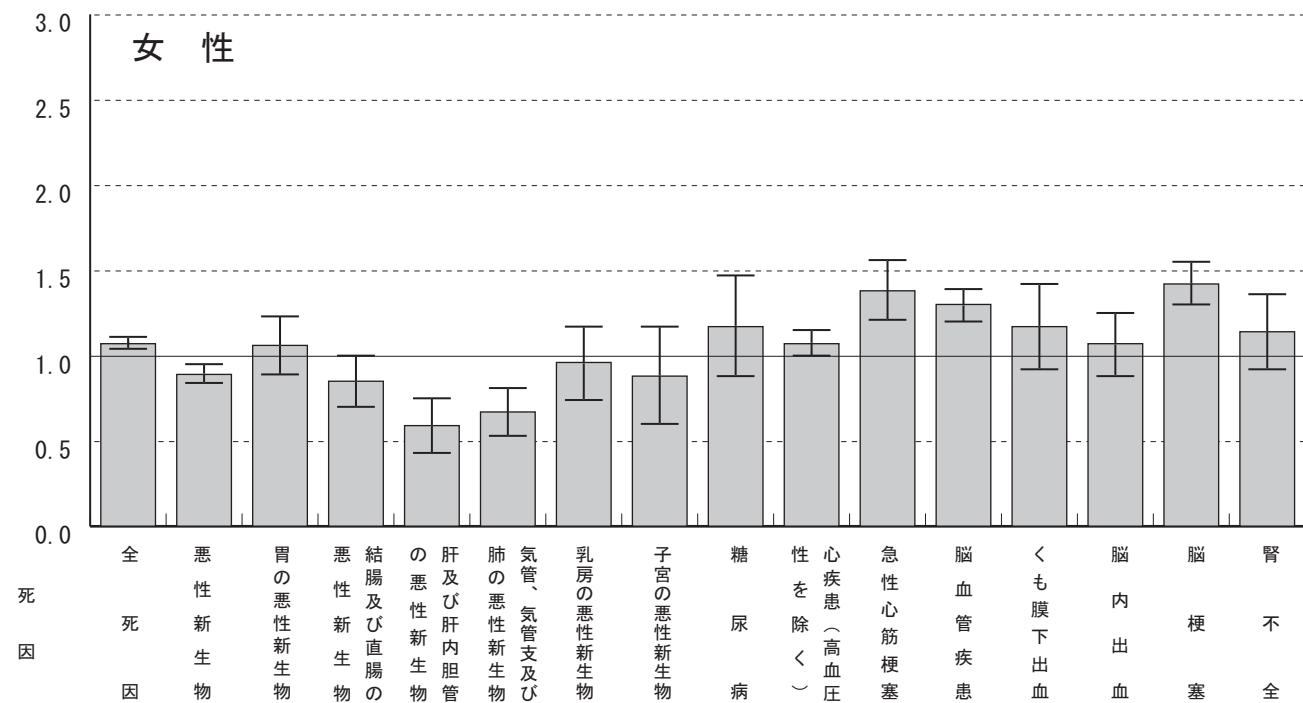
凡例
 —○— 08:茨城県
△.... 71:常総保健所



常総保健所標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.10	5063	○	
死 亡 数	1.02	1592	○	
全国に比べて有意に高い	1.17	304	○	
全国に比べて有意に低い	1.06	185		○
標準化死亡比	0.73	133		
死 亡 数	1.13	405	○	
全国に比べて有意に高い	1.38	77	○	
全国に比べて有意に低い	1.13	733	○	
標準化死亡比	1.33	264	○	
死 亡 数	1.30	650		○
全国に比べて有意に高い	0.98	43		○
全国に比べて有意に低い	1.31	188	○	
標準化死亡比	1.34	401	○	
死 亡 数	1.41	106	○	

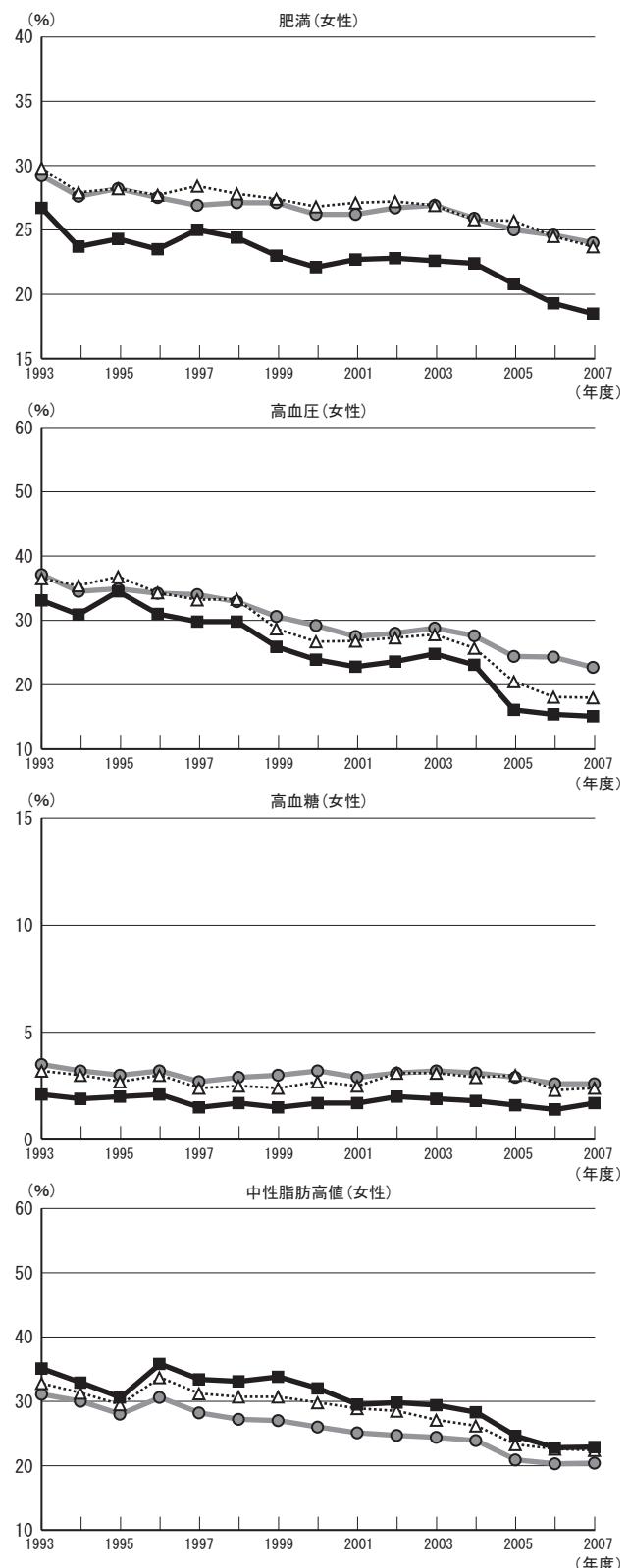
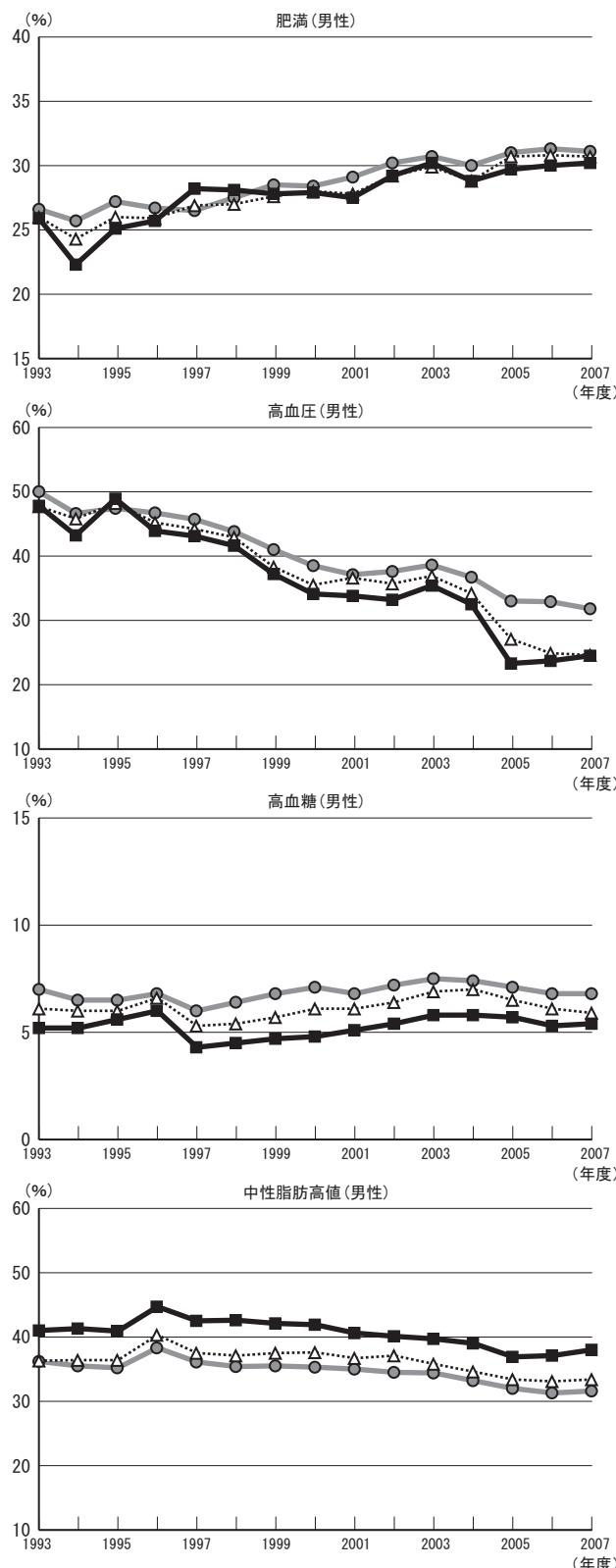


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	4290	○	
死 亡 数	0.89	907		○
全国に比べて有意に高い	1.06	148		○
全国に比べて有意に低い	0.85	124	○	
標準化死亡比	0.59	51		○
死 亡 数	0.67	88		○
全国に比べて有意に高い	0.96	77		○
全国に比べて有意に低い	0.88	37	○	
標準化死亡比	1.17	60		
死 亡 数	1.17	775		
全国に比べて有意に高い	1.07	235	○	
全国に比べて有意に低い	1.38	725	○	
標準化死亡比	1.30	84		
死 亡 数	1.17	128		○
全国に比べて有意に高い	1.07	501		
全国に比べて有意に低い	1.42	104	○	

男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、胃がん、肺がんの死亡率が高く、胃がん検診、肺がん検診の積極的な推進が求められる。

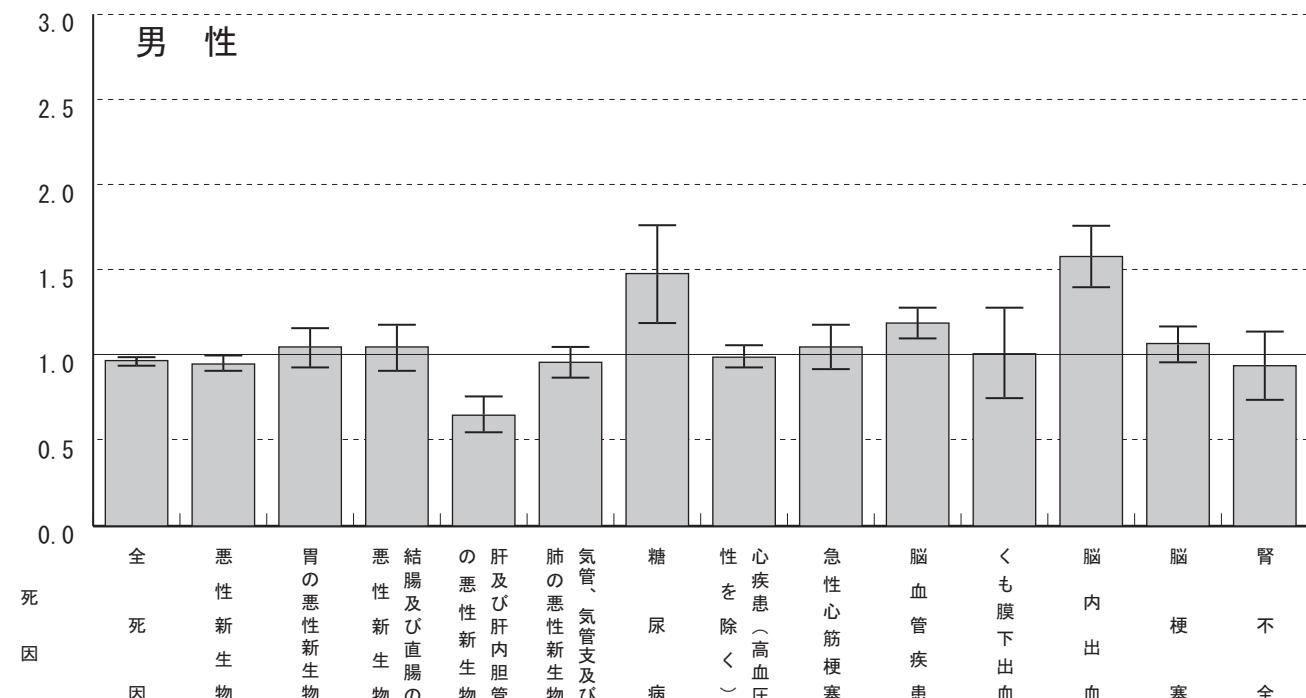
年齢調整有病率の経年度変化(水戸市)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 51:水戸保健所
 ■ 8201:水戸市

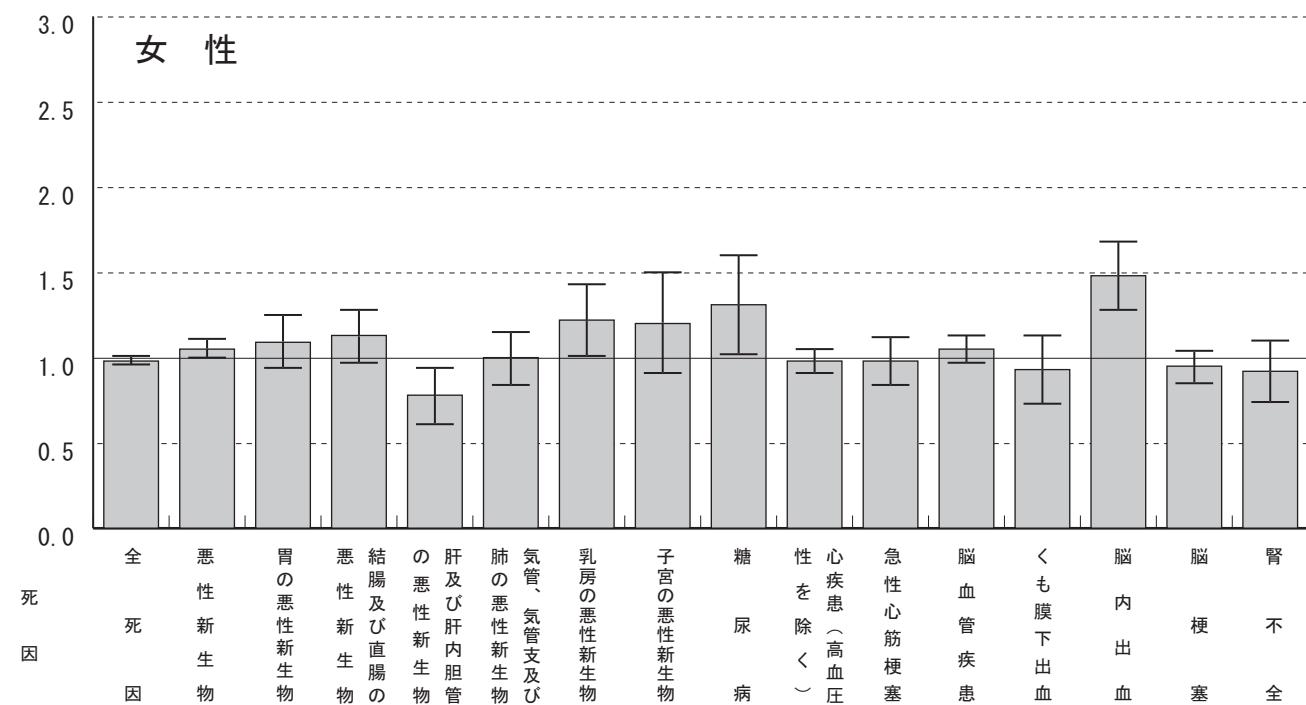


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○							
経年的に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目							○	○
県と比較して経年的に低い項目	○	○	○	○	○	○		

水戸市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.97	5497		○
死 亡 数	1843	338		○
全国に比べて有意に高い			○	
全国に比べて有意に低い			○	

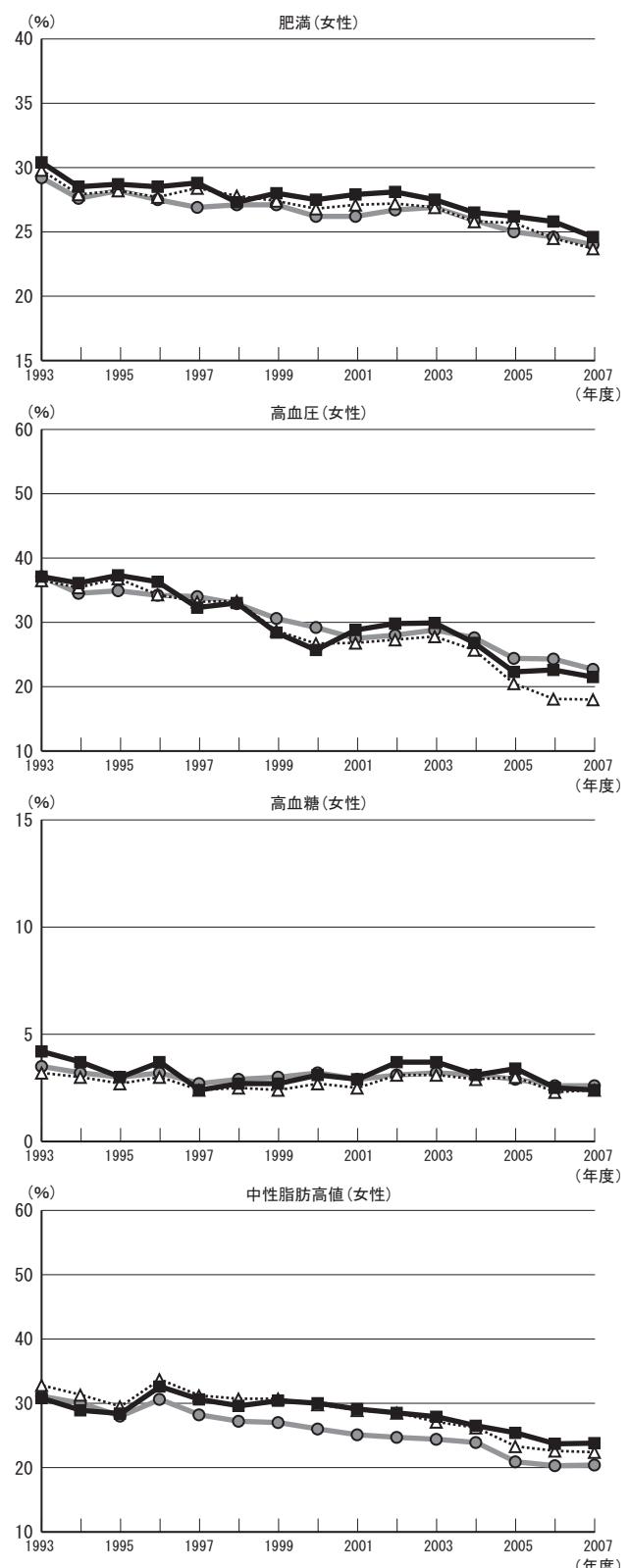
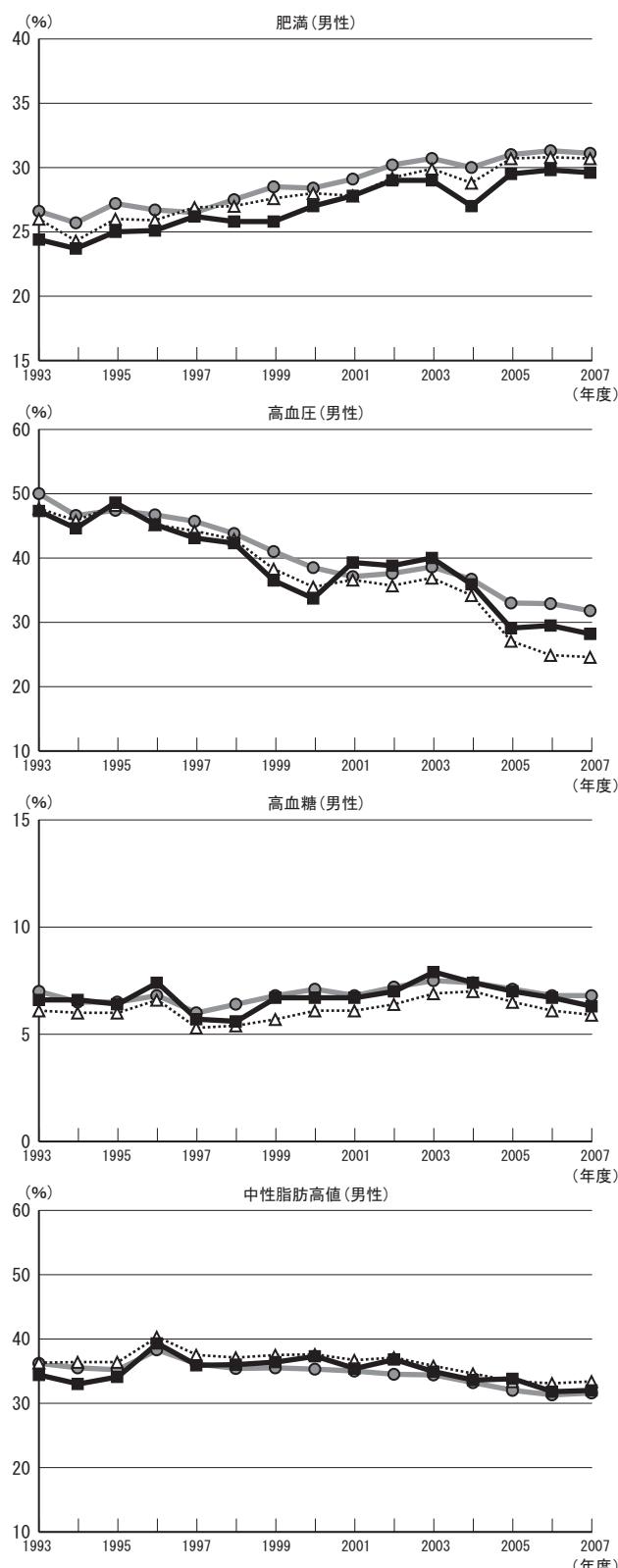


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.98	4687		○
死 亡 数	1321	187		○
全国に比べて有意に高い			○	
全国に比べて有意に低い			○	

男女とも脳出血の死亡率が高い。男性では脳血管疾患死亡率も高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

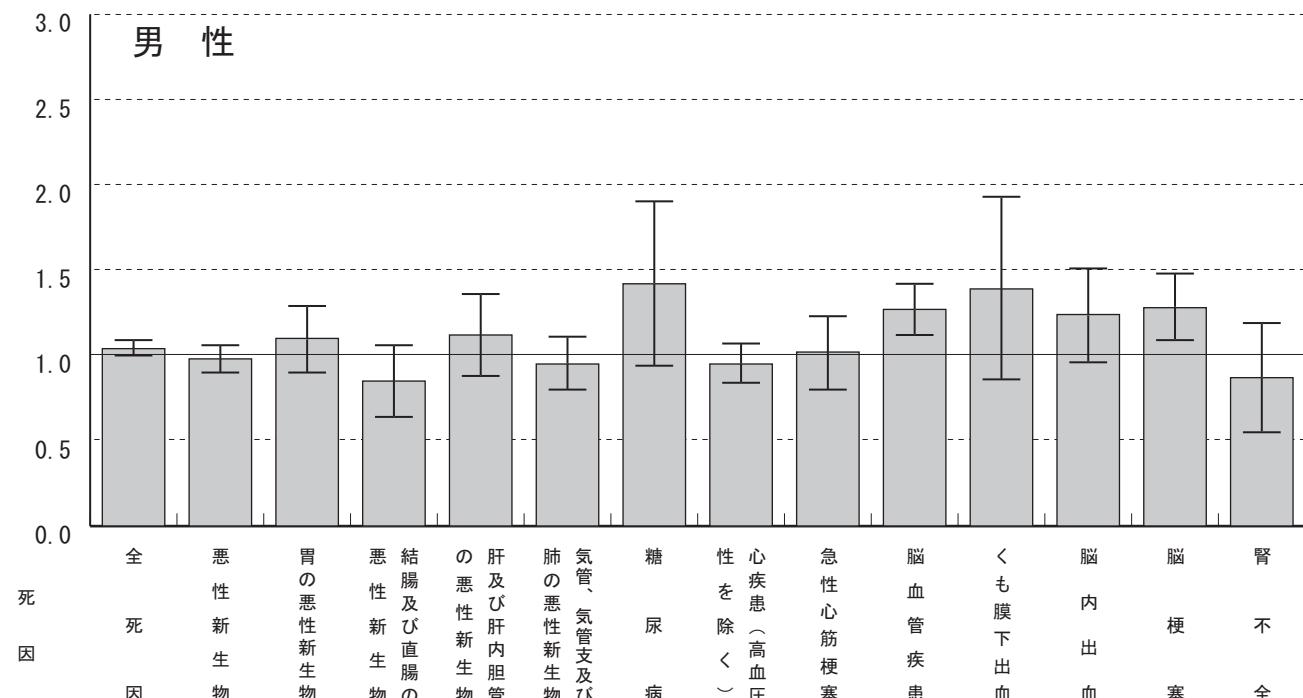
年齢調整有病率の経年度変化(笠間市)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 51:水戸保健所
 ■ 8216:笠間市

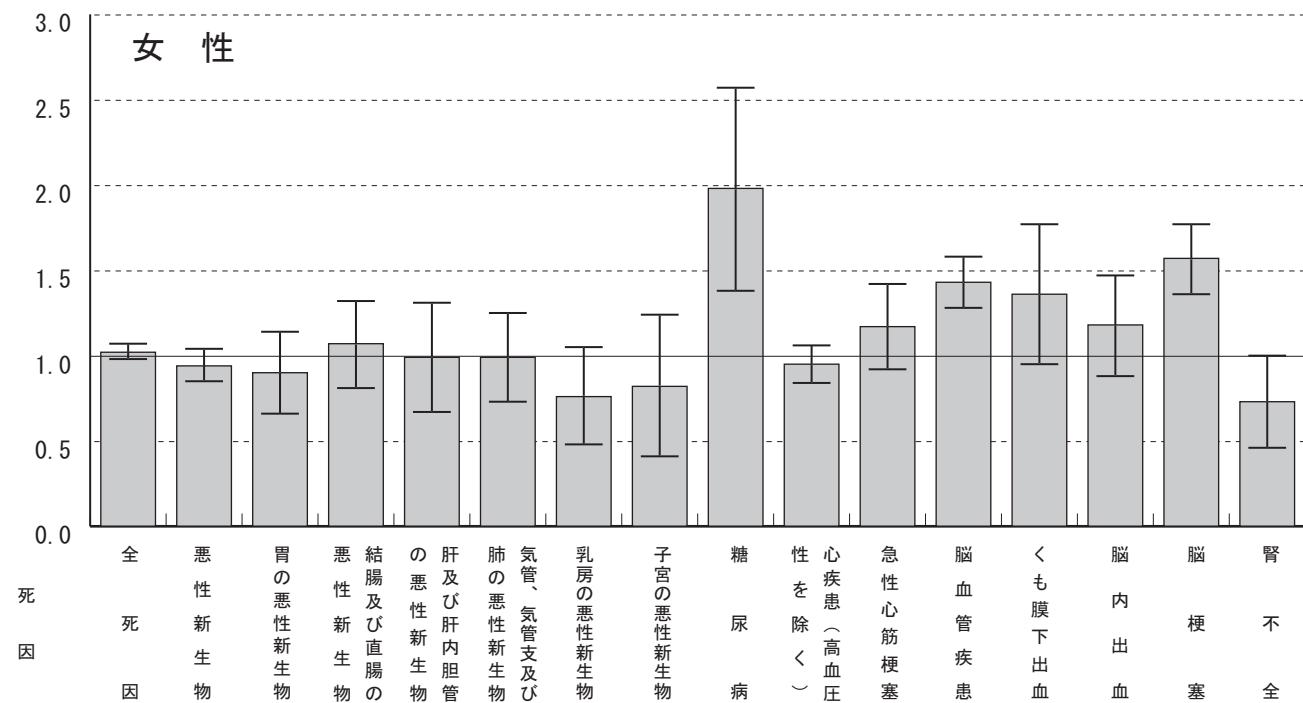


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○							
経年的に下降傾向にある項目			○	○				○
県と比較して経年的に高い項目				○			○	○
県と比較して経年的に低い項目	○		○					

笠間市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.04	2044		
死 亡 数	0.98	652		
全死因	1.10	122		
悪性新生物	0.85	64		
胃の悪性新生物	1.12	87		
悪性結腸及び直腸の新生物	0.95	146		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.42	34		
肺の悪性新生物	0.95	264		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.02	86	○	
糖尿病	1.27	272		
性を除く心疾患（高血圧）	1.39	26		
急性心筋梗塞	1.24	76	○	
脳血管疾患	1.28	164		
くも膜下出血	0.87	28		
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

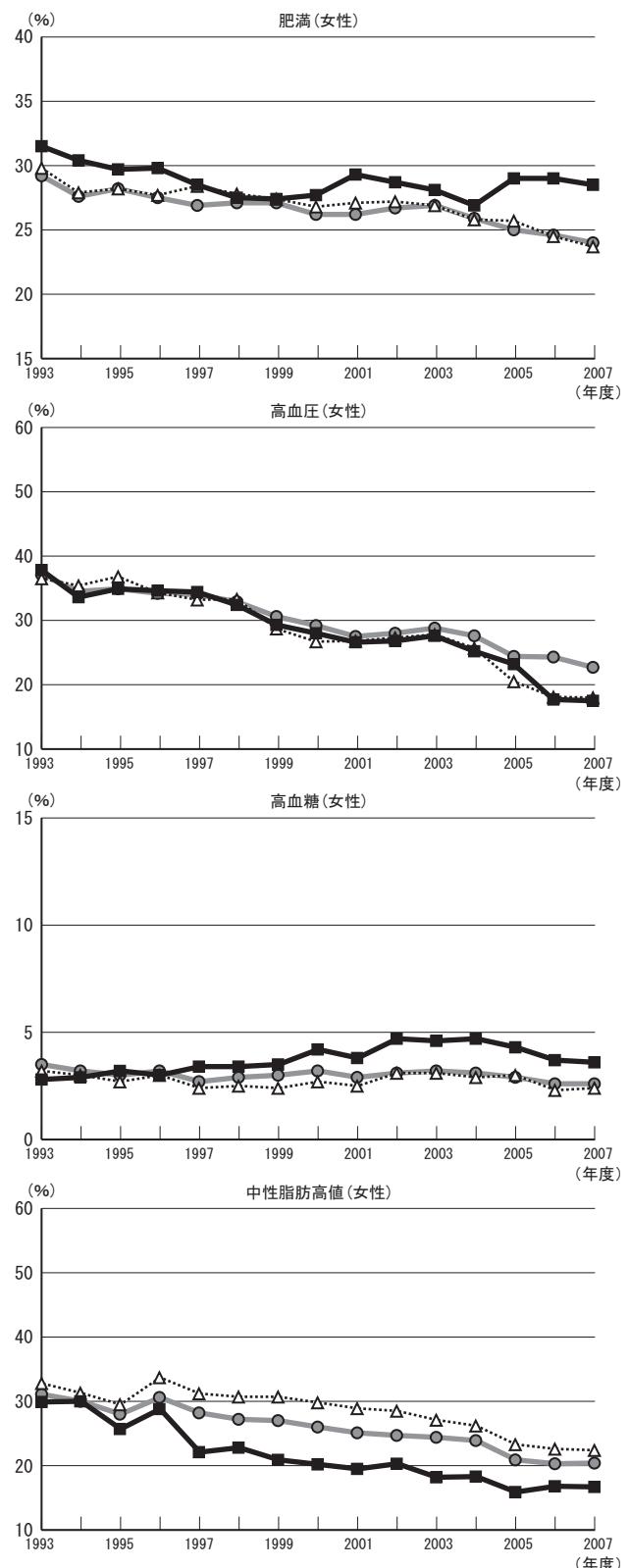
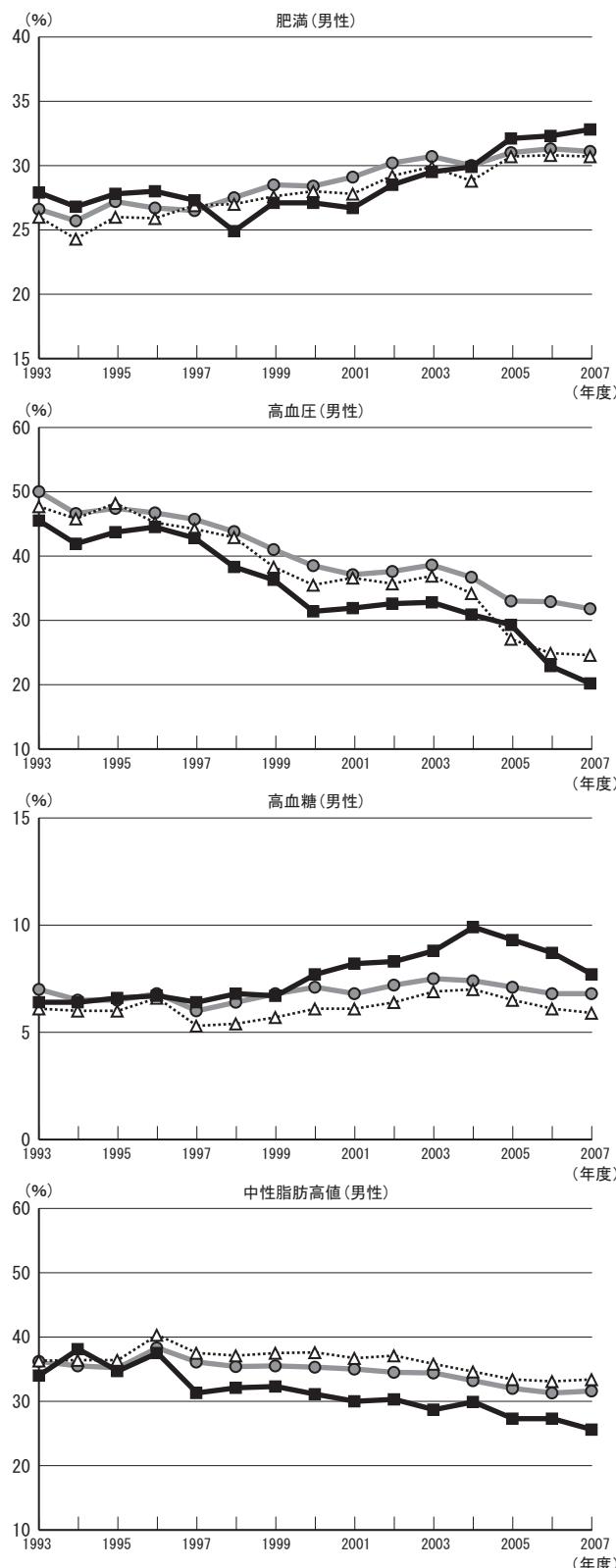


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.02	1736		
死 亡 数	0.94	412		
全死因	0.90	54		
悪性新生物	1.07	67		
胃の悪性新生物	0.99	37		
悪性結腸及び直腸の新生物	0.99	56		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	0.76	27		
肺の悪性新生物	0.82	15	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.98	43		
乳房の悪性新生物	0.95	289	○	
子宮の悪性新生物	1.17	84		
糖尿病	1.43	337	○	
性を除く心疾患（高血圧）	1.36	42		
急性心筋梗塞	1.18	60		
脳血管疾患	1.57	231	○	
くも膜下出血	0.73	28		
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

男女とも脳血管疾患の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

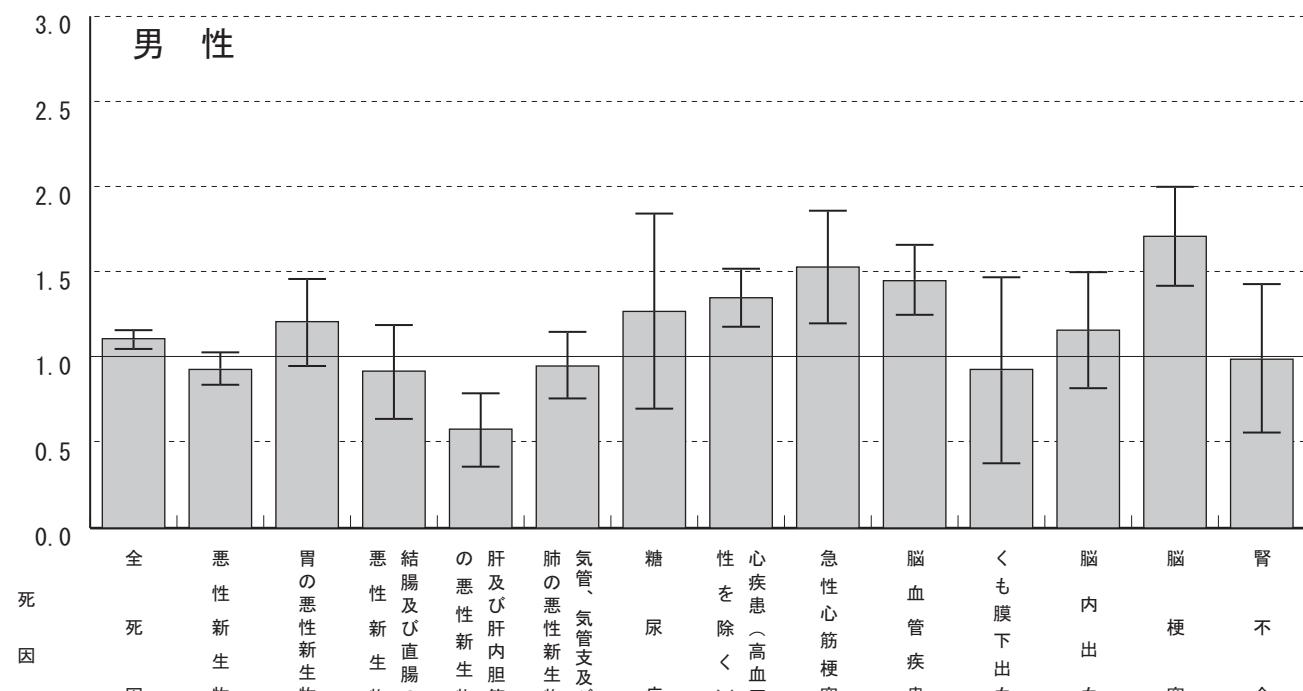
年齢調整有病率の経年度変化(小美玉市)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 51:水戸保健所
 ■ 8236:小美玉市

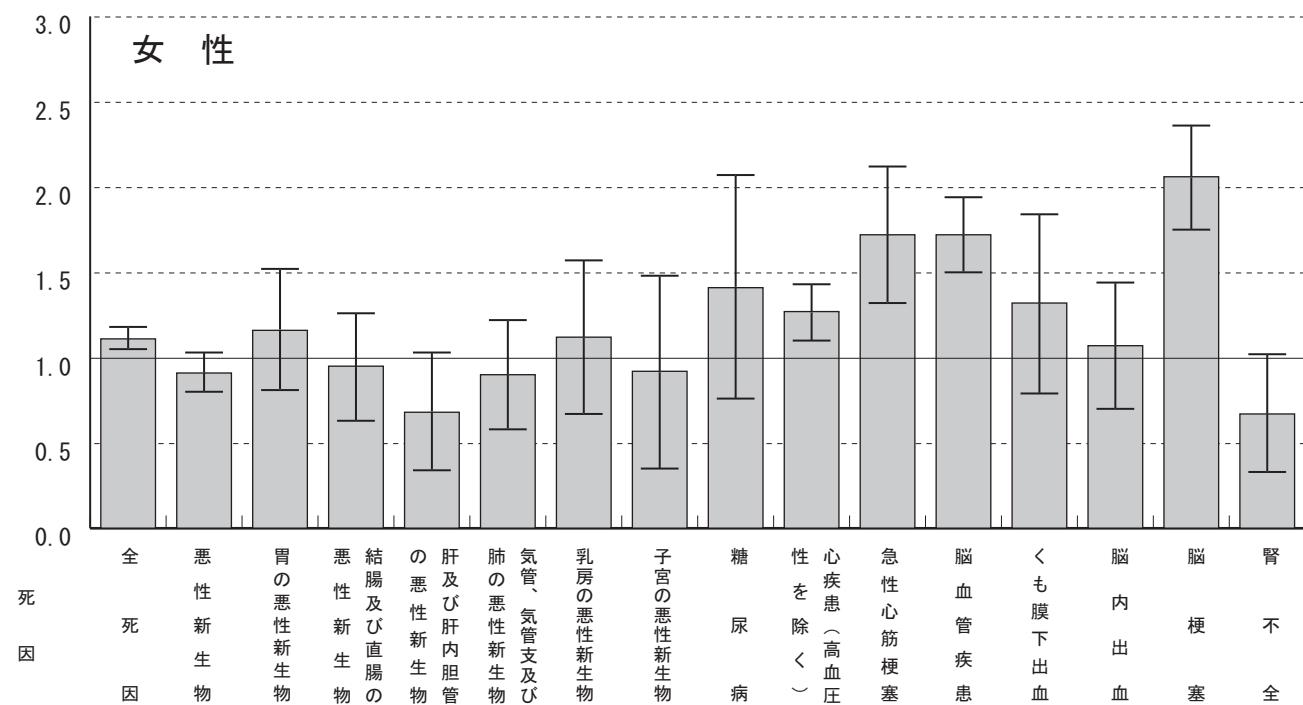


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○				○	○		
経年的に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目			○		○	○		
県と比較して経年的に低い項目			○	○			○	○

小美玉市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.11	1360	○	
死 亡 数	0.93	389		
全死因	1.21	84		
悪性新生物	0.92	43		
胃の悪性新生物	0.58	28		○
結腸及び直腸の悪性新生物	0.95	91		
肝及び胆管の悪性新生物	1.27	19	○	
肺の悪性新生物	1.35	235	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.53	81	○	
糖尿病	1.45	194		
性を除く	0.93	11		
心疾患(高血圧)	1.16	45		
急性心筋梗塞	1.71	136	○	
脳血管疾患	1.07	20		
くも膜下出血	2.00			
脳内出血	1.45			
脳梗塞	1.07			
腎不全	0.99			

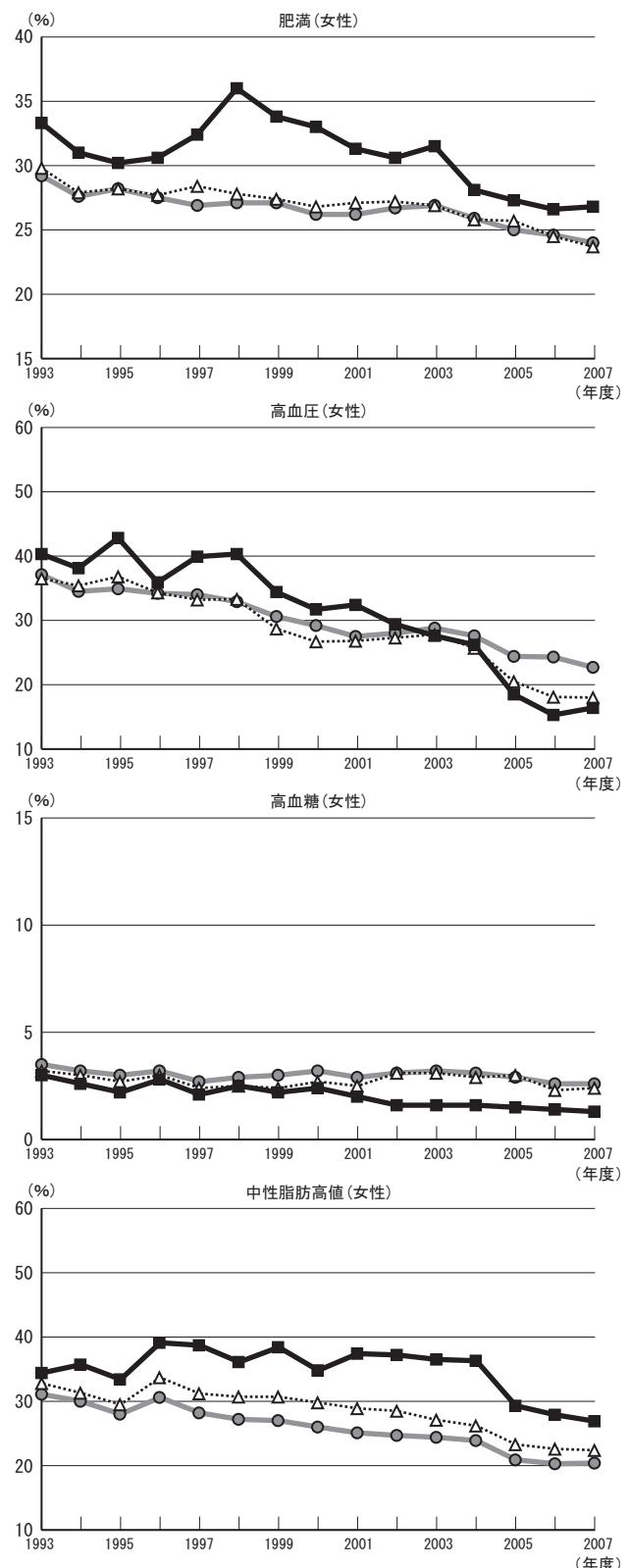
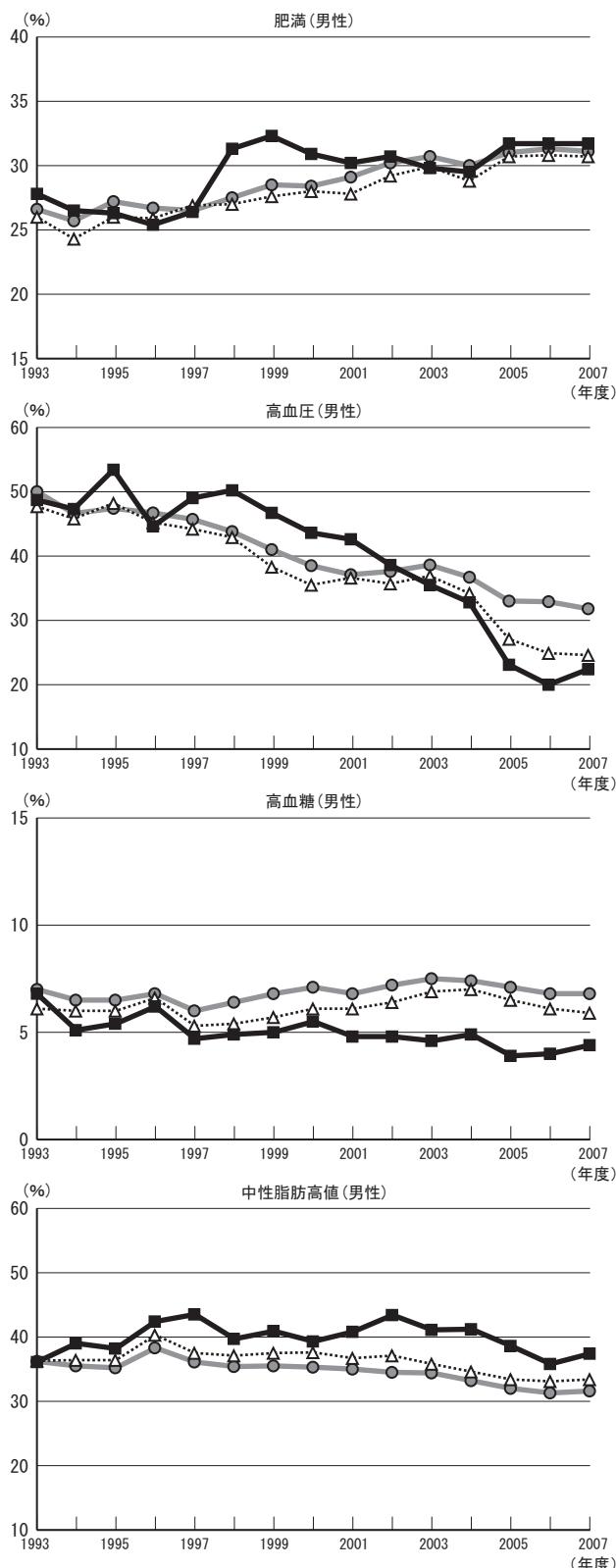


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.11	1105	○	
死 亡 数	0.91	235		
全死因	1.16	41		
悪性新生物	0.95	35		
胃の悪性新生物	0.68	15		
結腸及び直腸の悪性新生物	0.90	30		
肝及び胆管の悪性新生物	1.12	24		
肺の悪性新生物	0.92	10	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.41	18	○	
乳房の悪性新生物	1.27	224	○	
子宮の悪性新生物	1.72	72	○	
糖尿病	1.72	236		
性を除く	1.32	24		
心疾患(高血圧)	1.07	32		
急性心筋梗塞	2.06	176	○	
脳血管疾患	0.67	15		
くも膜下出血	1.52			
脳内出血	1.16			
脳梗塞	0.67			
腎不全	0.67			

男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

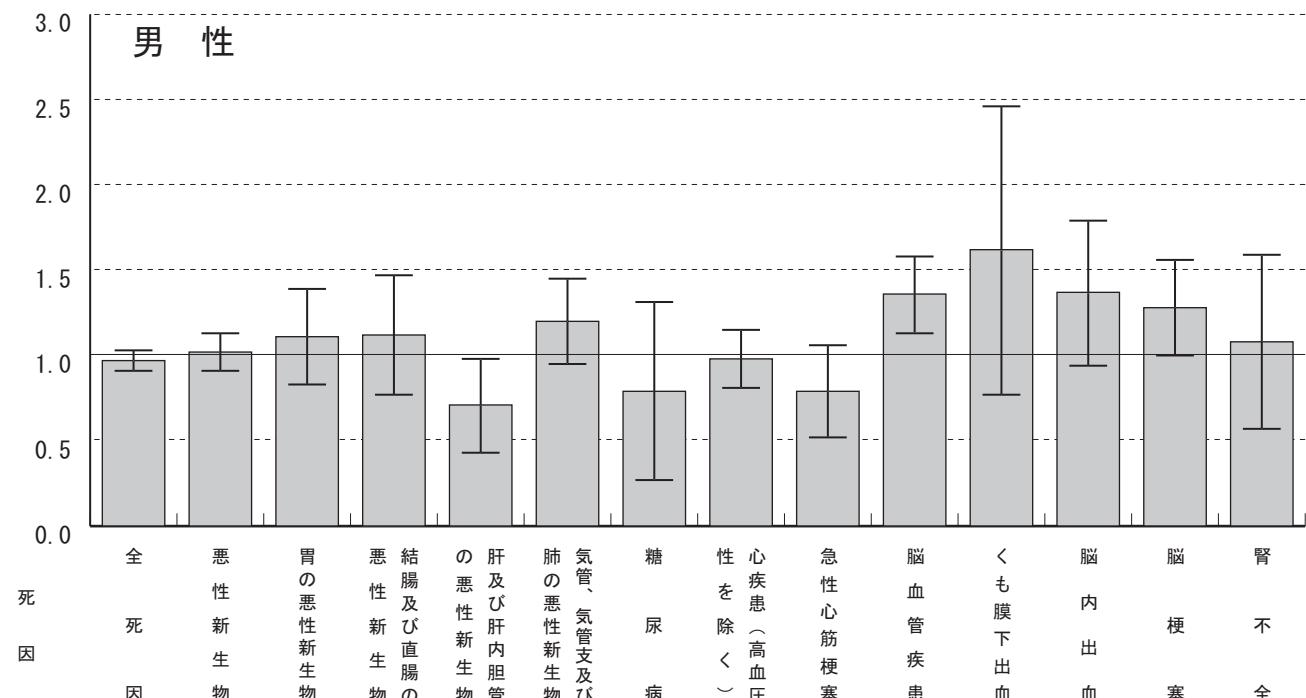
年齢調整有病率の経年度変化(茨城町)

凡例
 ○ 08: 茨城県
 △ 51: 水戸保健所
 ■ 8302: 茨城町

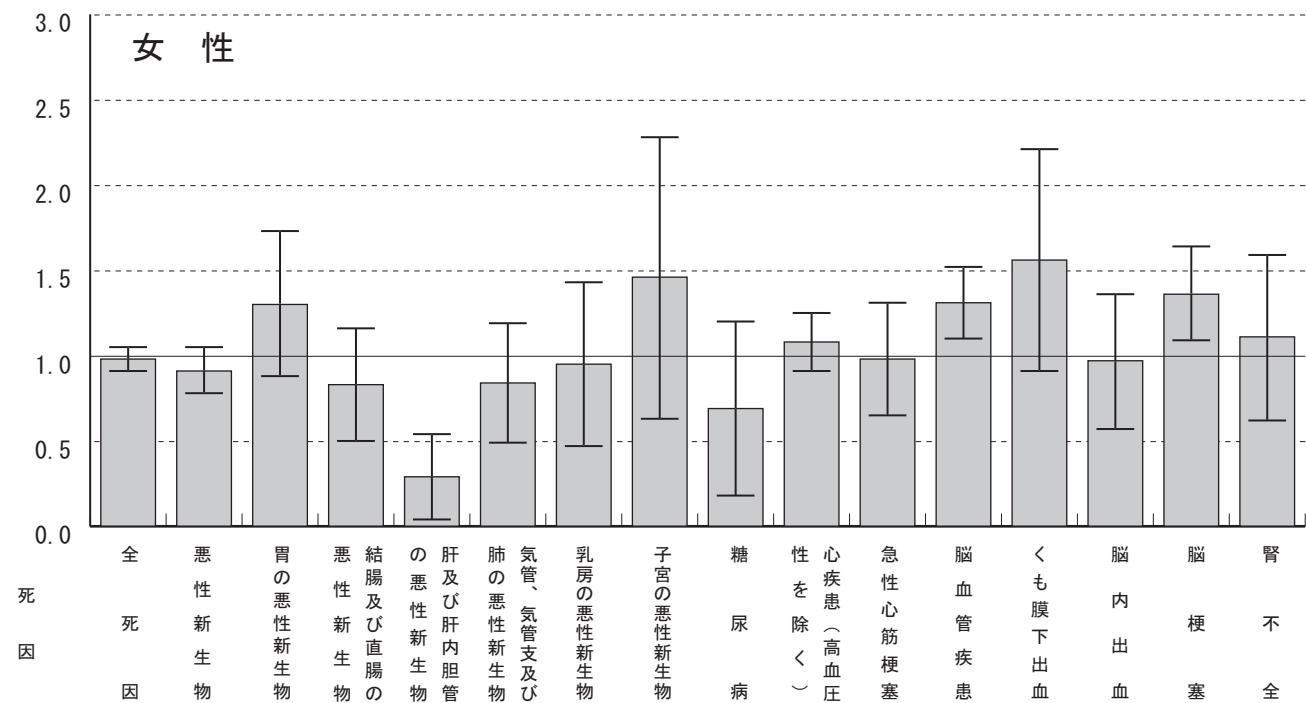


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目		○	○	○	○	○		○
県と比較して経年に高い項目	○	○					○	○
県と比較して経年に低い項目					○	○		

茨城町標準化死亡比（2003～2007）



標準化死亡比	0.97	1.02	1.11	1.12	0.71	1.20	0.79	0.98	0.79	1.36	1.62	1.37	1.28	1.08
死 亡 数	911	323	59	40	26	88	9	131	32	140	14	40	80	17
全国に比べて有意に高い										○				
全国に比べて有意に低い					○									

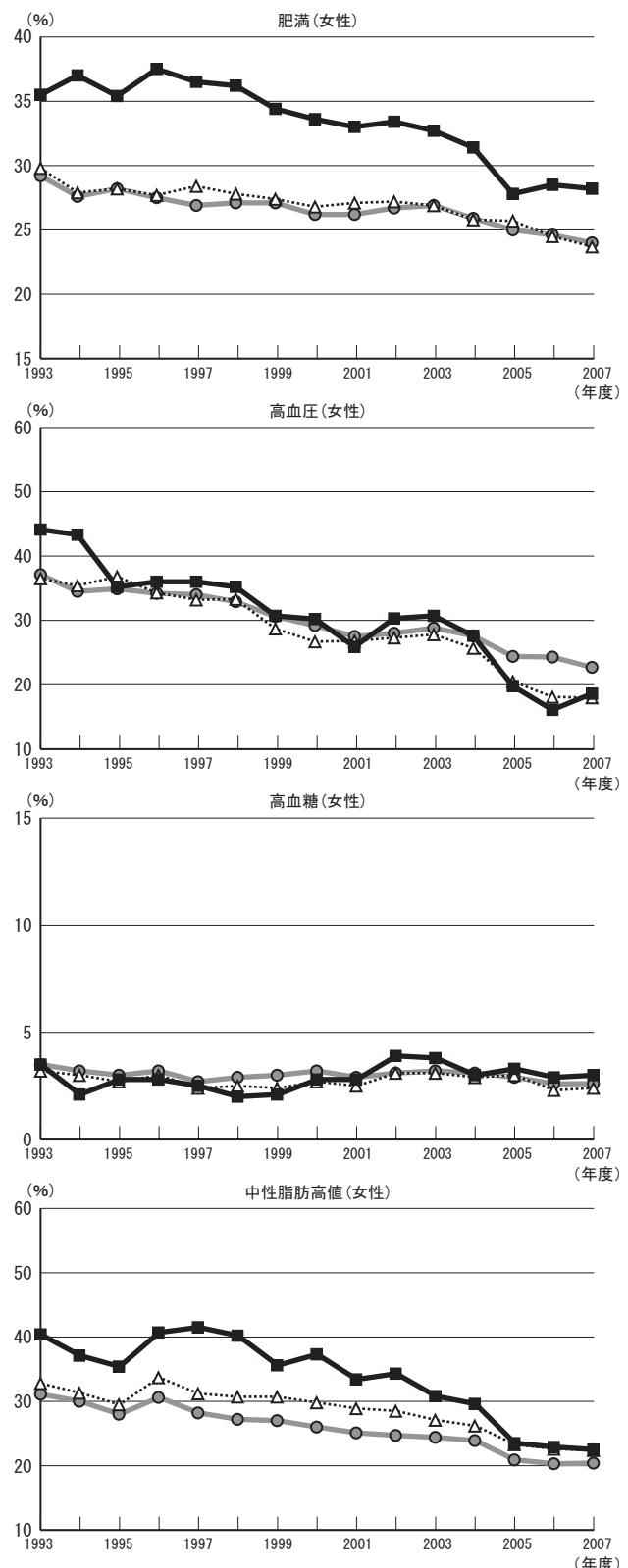
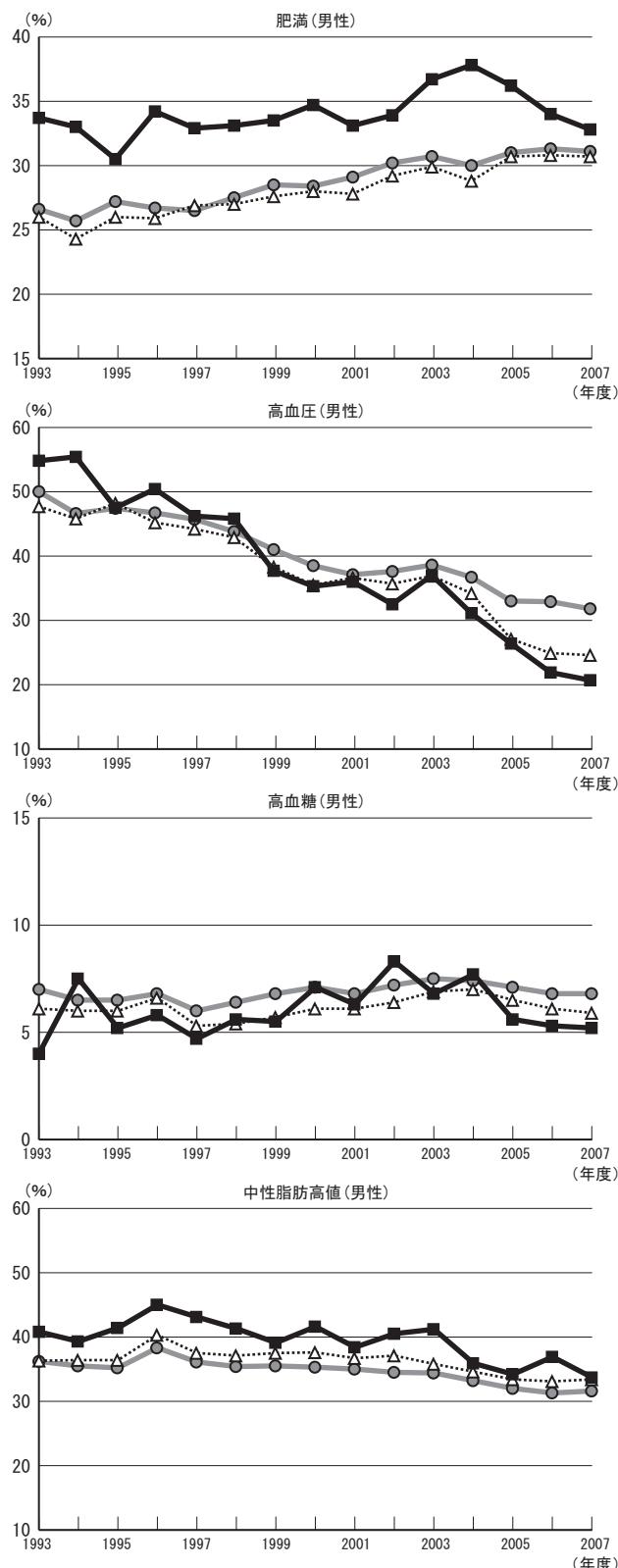


標準化死亡比	0.98	0.91	1.30	0.83	0.29	0.84	0.95	1.46	0.69	1.08	0.98	1.31	1.56	0.97	1.36	1.11
死 亡 数	772	183	36	24	5	22	15	12	7	155	33	145	22	23	95	20
全国に比べて有意に高い											○				○	
全国に比べて有意に低い					○											

男女とも脳血管疾患の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

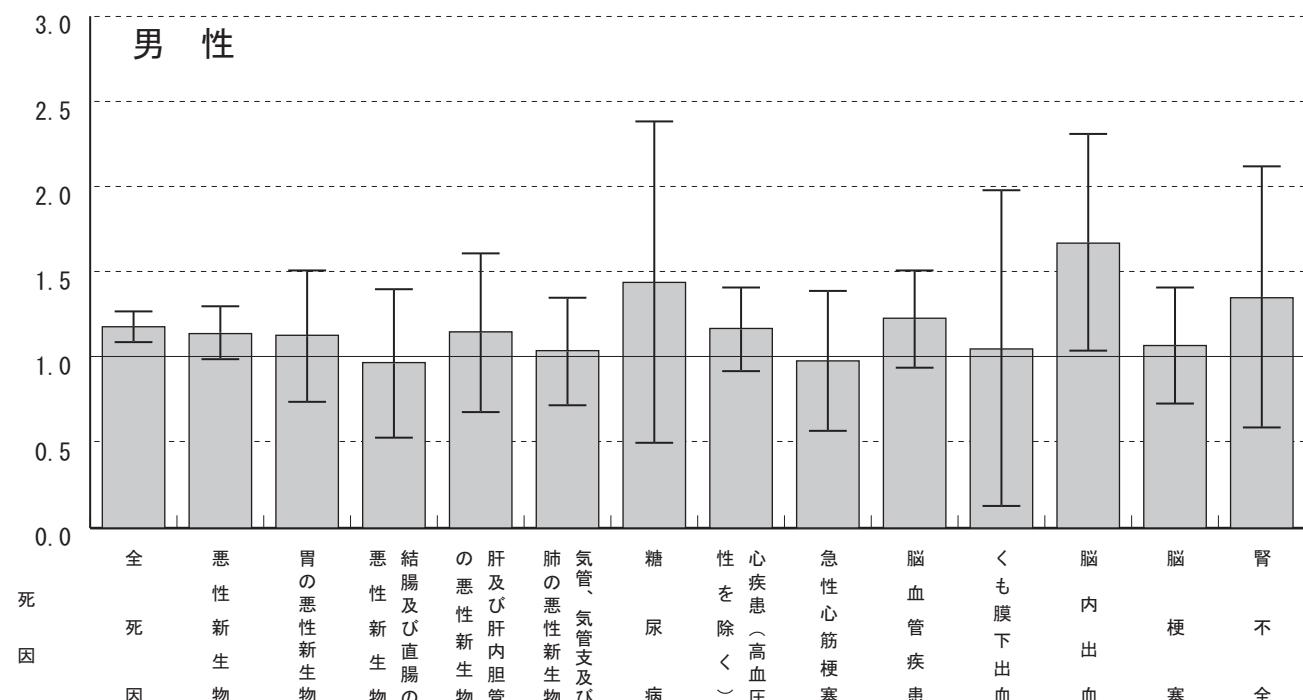
年齢調整有病率の経年度変化(大洗町)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 51:水戸保健所
 ■ 8309:大洗町

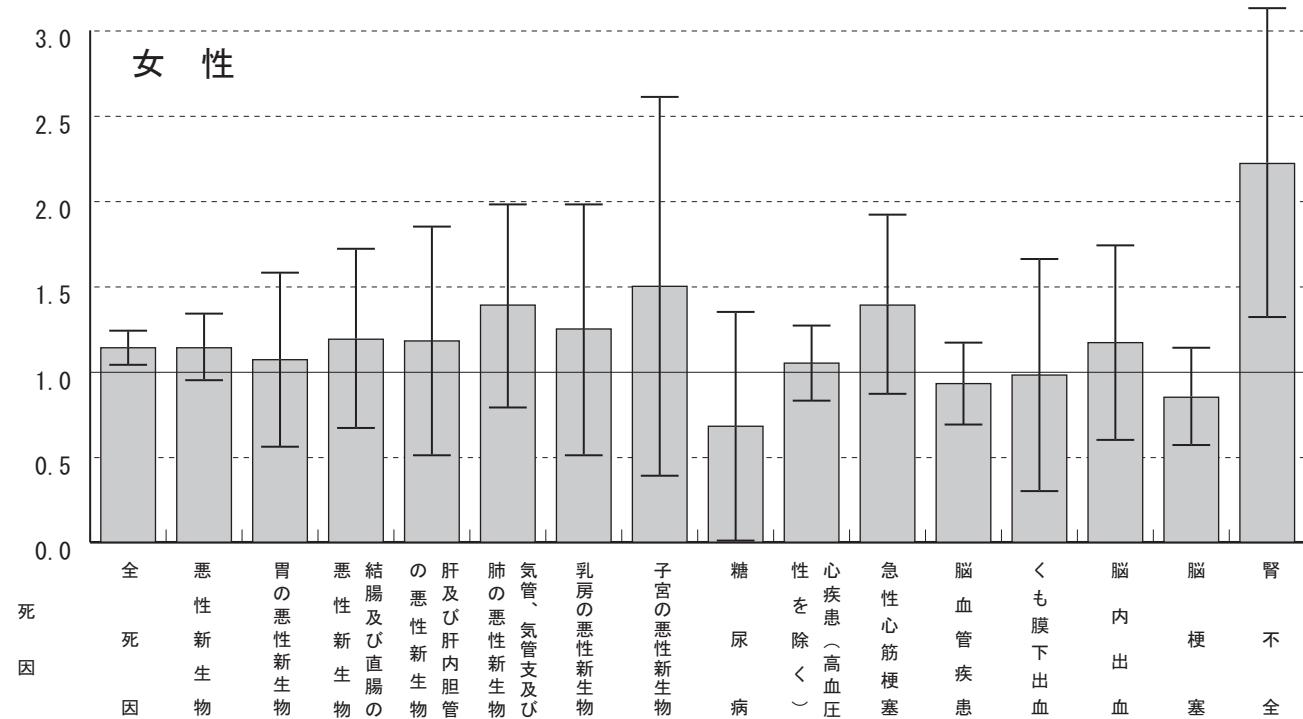


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目								
経年的に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目	○	○					○	○
県と比較して経年的に低い項目			○	○	○			

大洗町標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.18	616	○	
死 亡 数	1.14	200		
全死因	1.13	33		
悪性新生物	0.97	19		
胃の悪性新生物	1.15	23		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.04	42		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.44	9		
肺の悪性新生物	1.17	87		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.98	22		
糖尿病	1.23	71		
性を除く	1.05	5	○	
心疾患(高血圧)	1.67	27		
急性心筋梗塞	1.07	38		
脳血管疾患	1.35	12		
くも膜下出血				
脳内出血				
脳梗塞				
腎全				

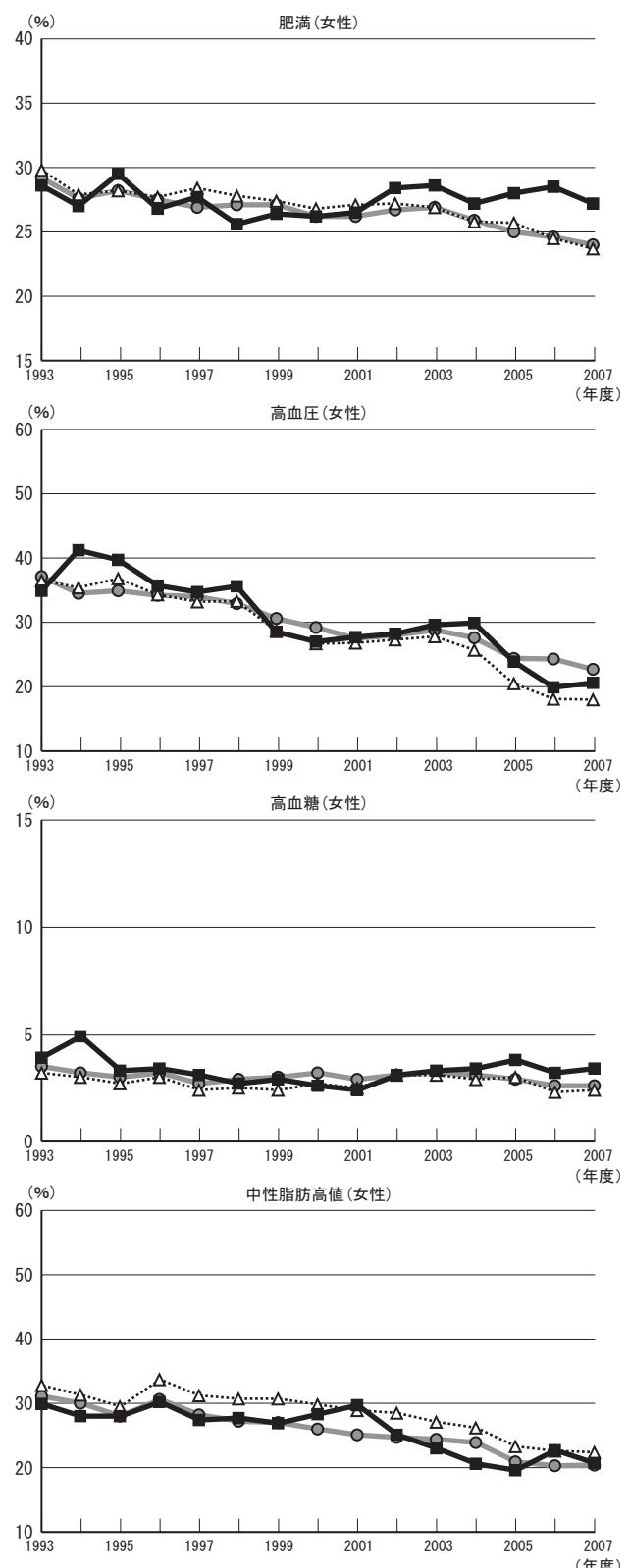
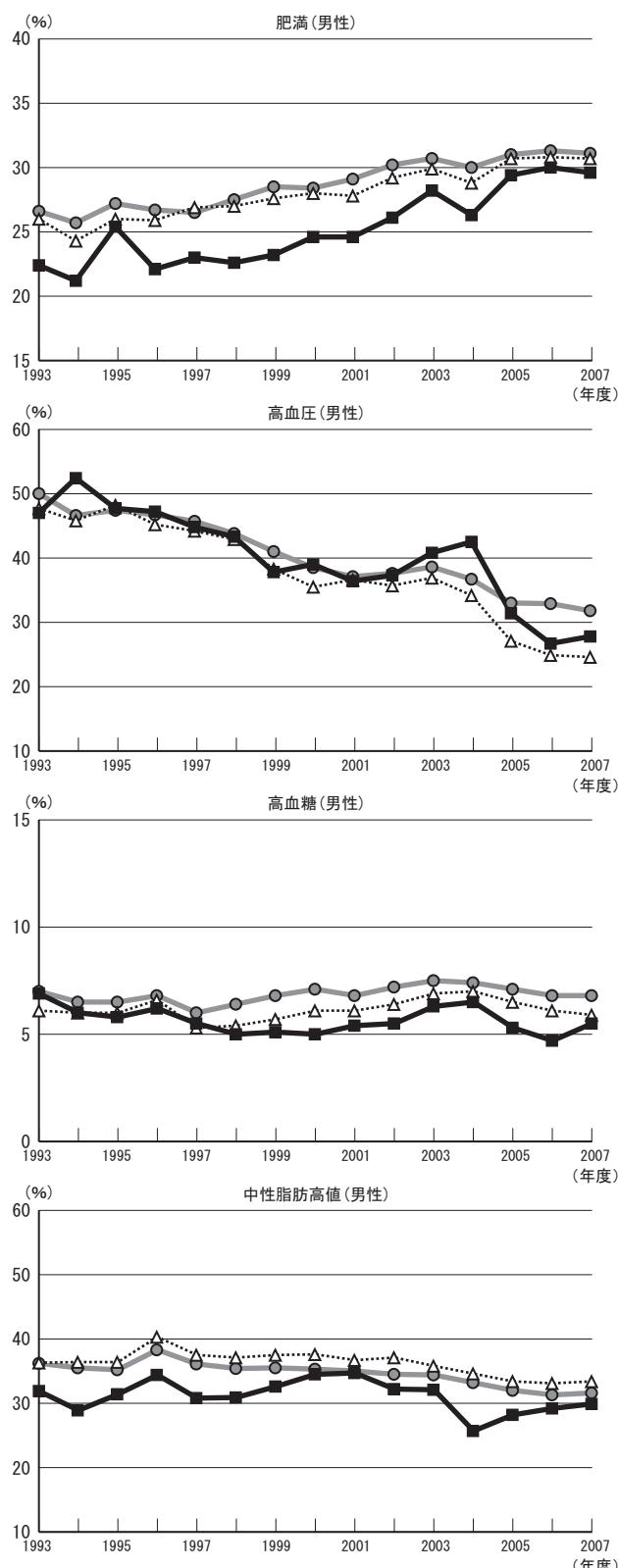


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.14	518	○	
死 亡 数	1.14	132		
全死因	1.07	17		
悪性新生物	1.19	20		
胃の悪性新生物	1.18	12		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.39	21		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.25	11		
肺の悪性新生物	1.50	7		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.68	4		
乳房の悪性新生物	1.05	86		
子宮の悪性新生物	1.39	27		
糖尿病	0.93	59		
性を除く	0.98	8		
心疾患(高血圧)	1.17	16		
急性心筋梗塞	0.85	34	○	
脳血管疾患	2.22	23		
くも膜下出血				
脳内出血				
脳梗塞				
腎全				

男性で脳血管疾患の死亡率が高めの傾向であり、脳内出血は有意に高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

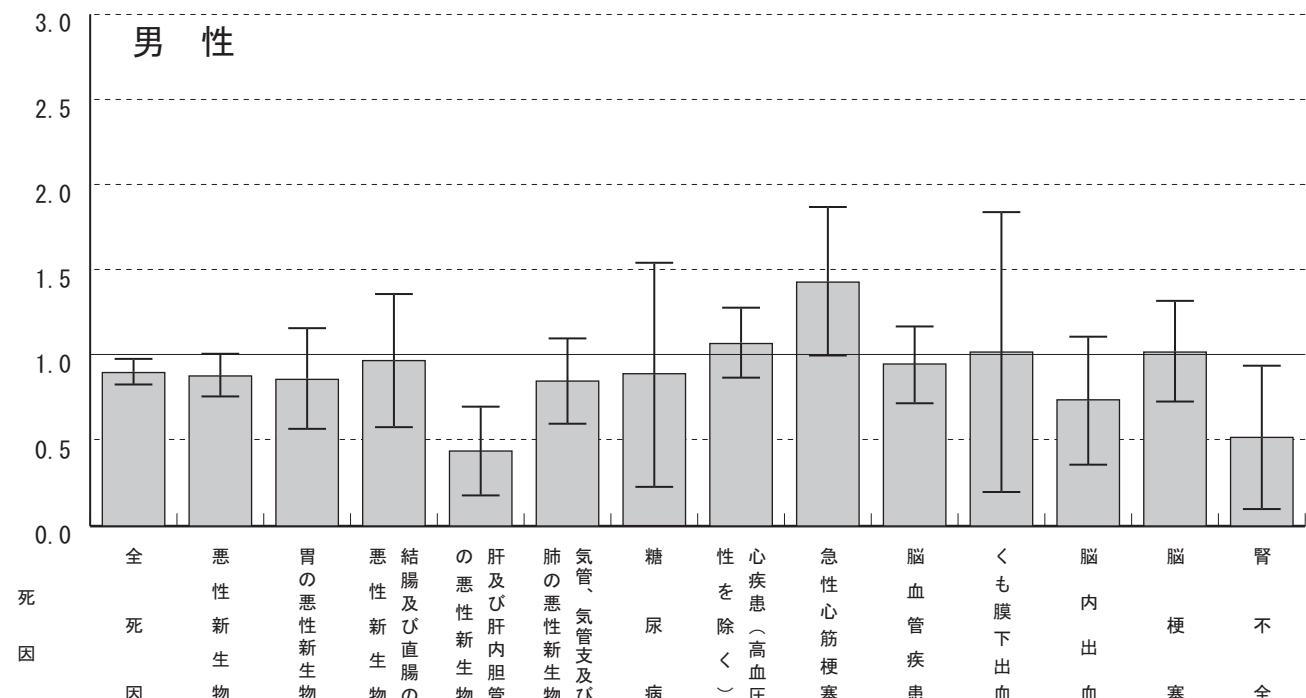
年齢調整有病率の経年度変化(城里町)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 51:水戸保健所
 ■ 8310:城里町

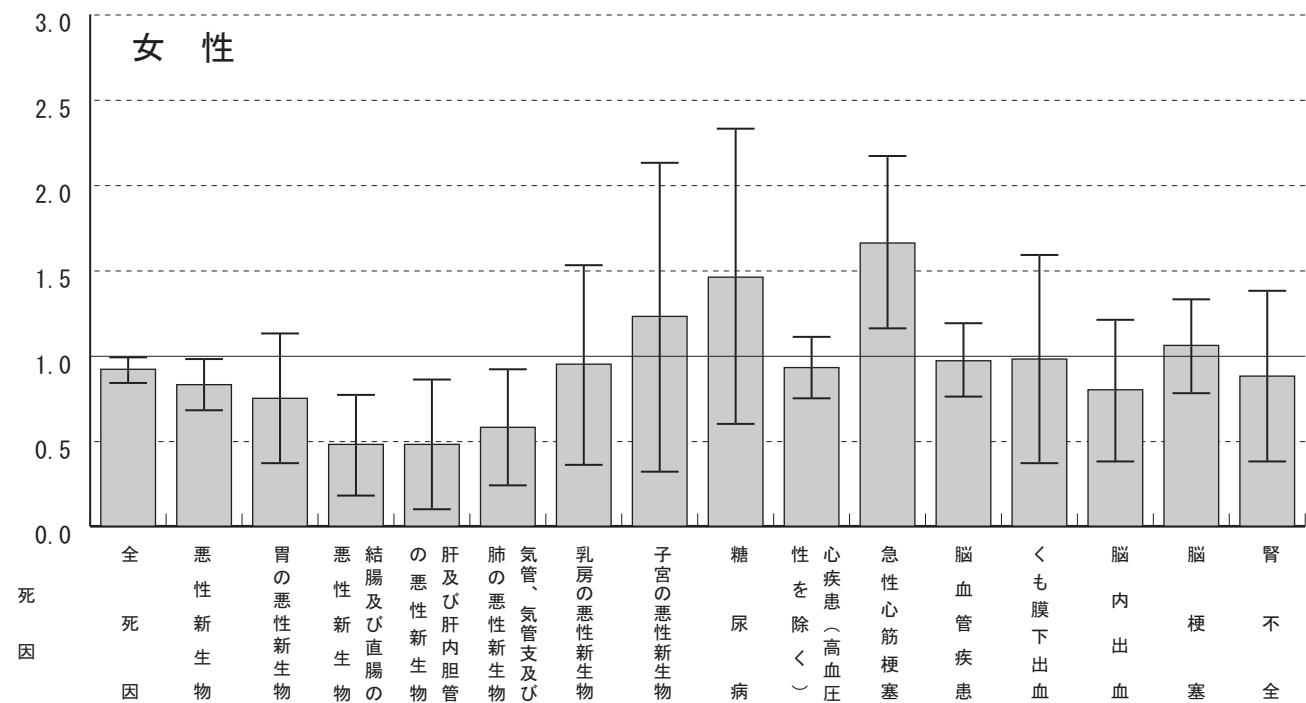


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○							
経年的に下降傾向にある項目			○	○				○
県と比較して経年的に高い項目			○			○		
県と比較して経年的に低い項目	○				○		○	

城里町標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.90	599		○
死 亡 数	0.88	195		
全死因	0.86	32		
悪性新生物	0.97	24		
胃の悪性新生物	0.44	11		○
悪性新生物のうち直腸	0.85	44		
結腸及び肝内胆管	0.89	7		
肝及び肝内胆管	1.07	102		
肺の悪性新生物	1.43	41		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.95	70		
糖尿病	1.02	6		
性を除く	0.74	15		
心疾患(高血圧)	1.02	47		○
急性心筋梗塞	0.52	6		
脳血管疾患				
くも膜下出血				
脳内出血				
脳梗塞				
腎全				

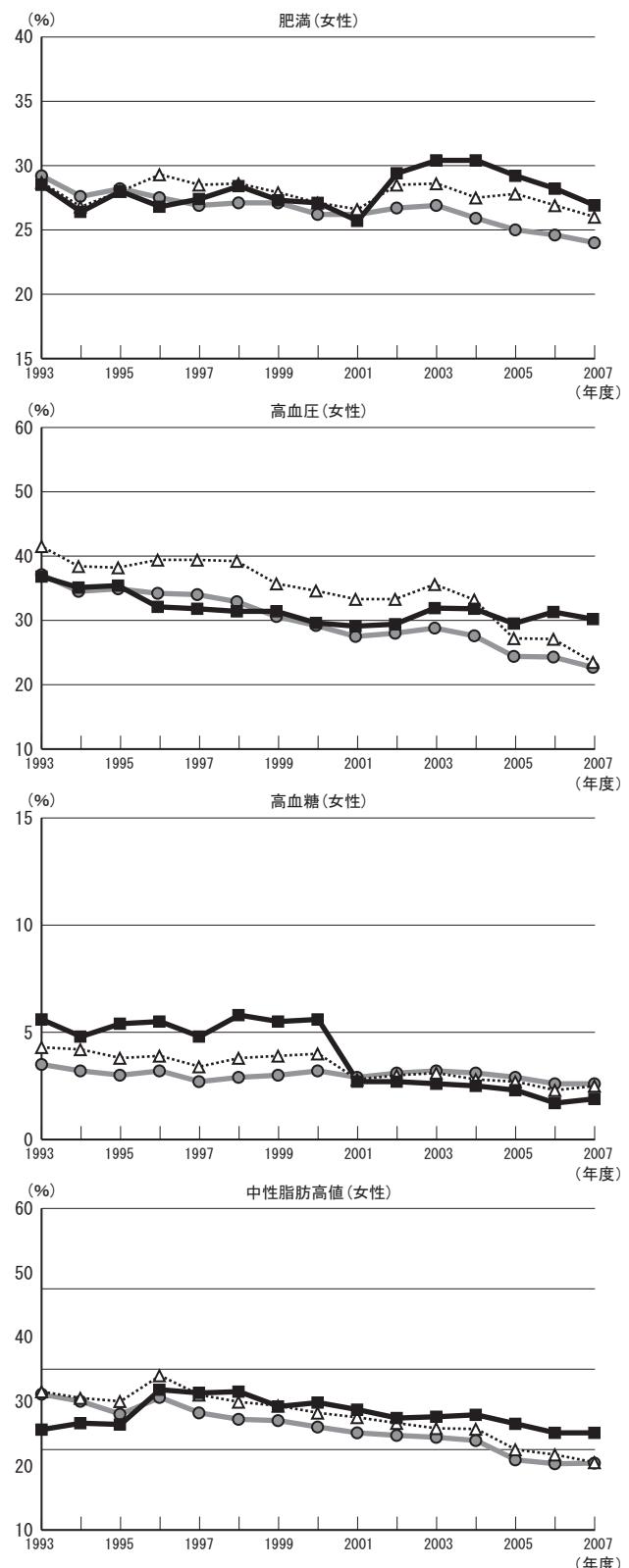
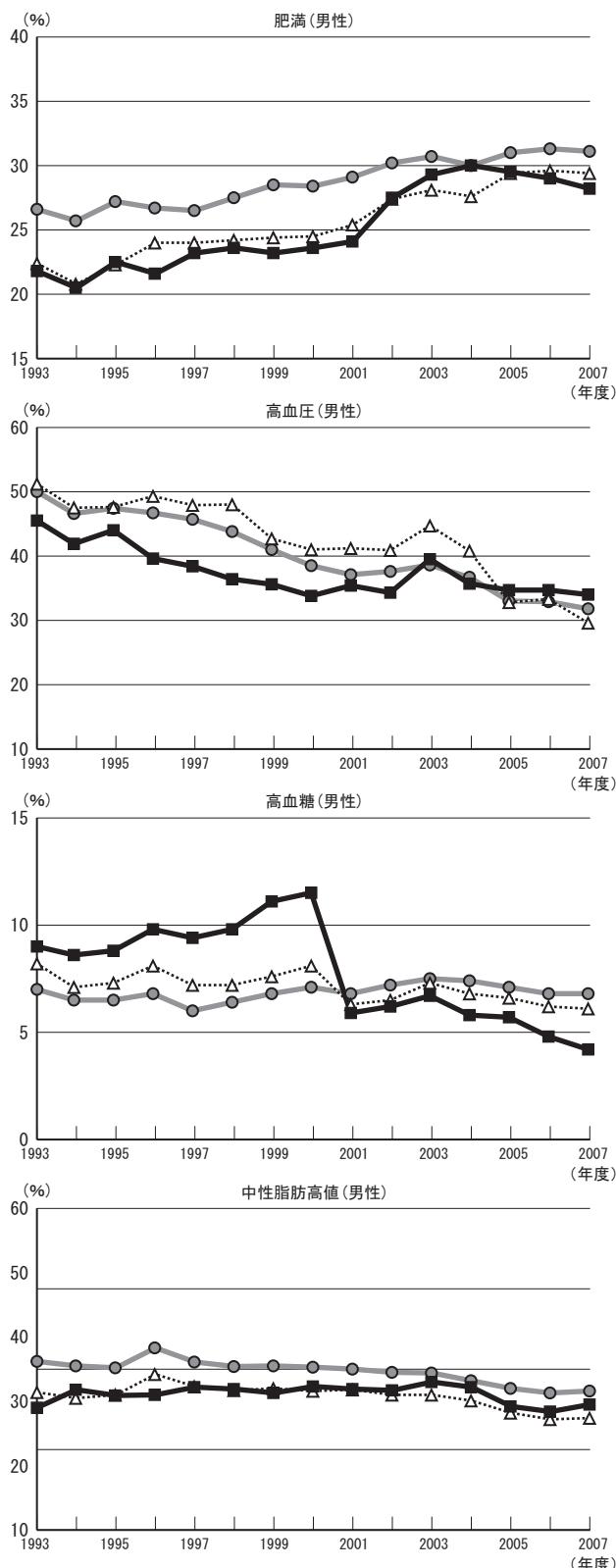


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.92	537		○
死 亡 数	0.83	120		○
全死因	0.75	15		
悪性新生物	0.48	10		○
胃の悪性新生物	0.48	6		○
悪性新生物のうち直腸	0.58	11		○
結腸及び肝内胆管	0.95	10		○
肝及び肝内胆管	1.23	7		○
肺の悪性新生物	1.46	11		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.93	100	○	
糖尿病	1.66	42		
性を除く	0.97	81		
心疾患(高血圧)	0.98	10		
急性心筋梗塞	0.80	14		
脳血管疾患	1.06	56		
くも膜下出血	0.88	12		
脳内出血				
脳梗塞				
腎全				

女性で急性心筋梗塞の死亡率が高く、男性も高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

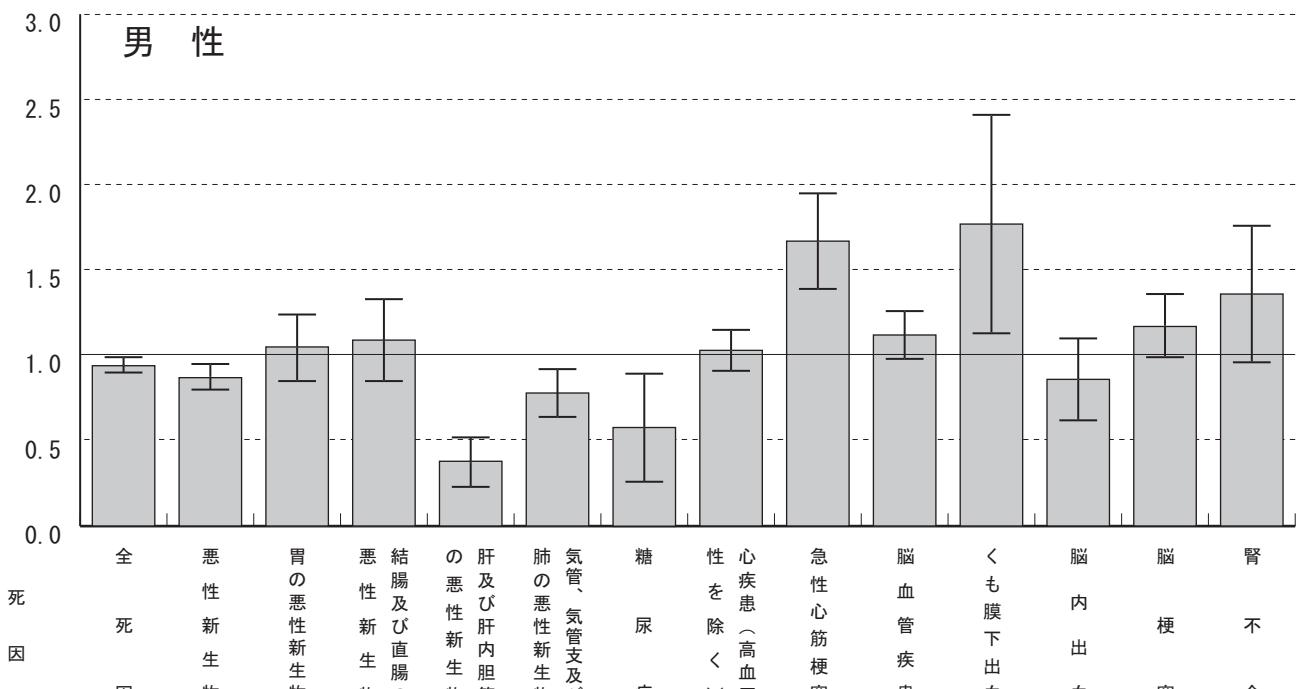
年齢調整有病率の経年度変化(常陸太田市)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 53:常陸大宮保健所
 ■ 8212:常陸太田市

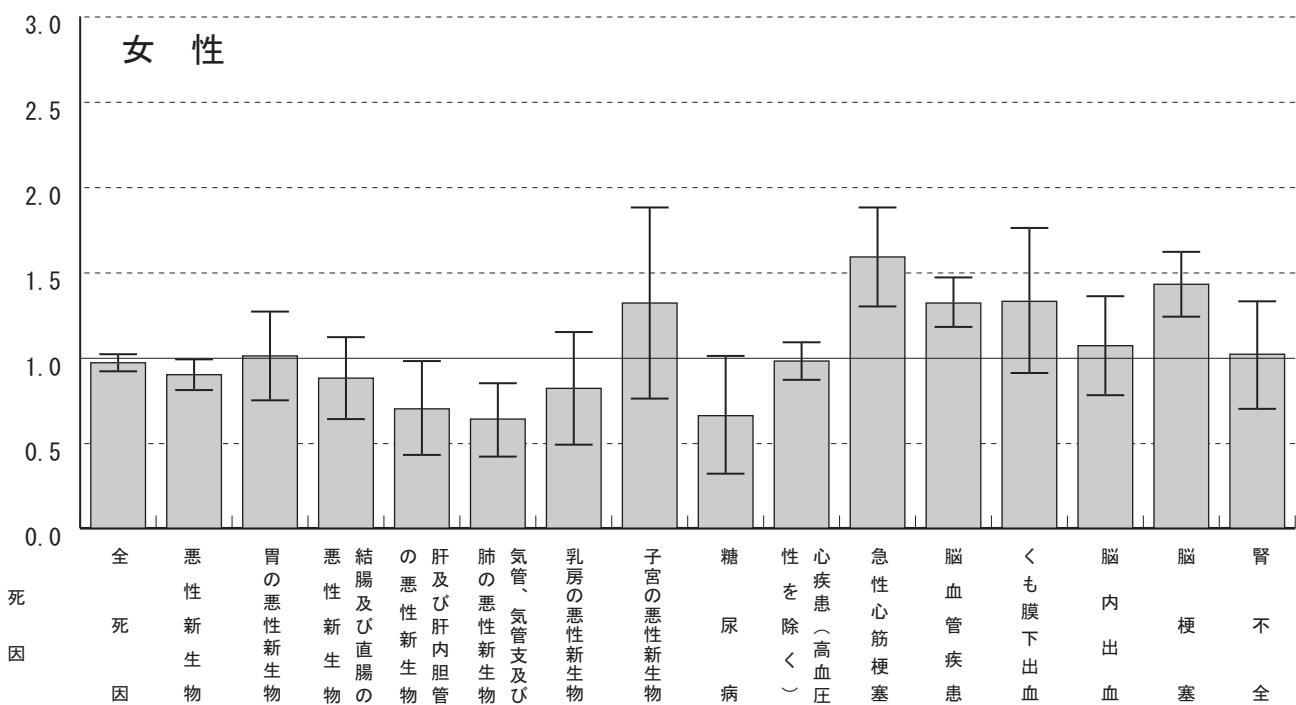


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○	○	○		
県と比較して経年に高い項目			○		○	○		○
県と比較して経年に低い項目	○		○				○	

常陸太田市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.94	1787		○
死 亡 数	0.87	552		○
全国に比べて有意に高い	1.05	111		
全国に比べて有意に低い	1.09	77	○	
	0.38	27		○
	0.78	115		○
	0.58	13		○
	1.03	281	○	
	1.67	137		
	1.12	239	○	
	1.77	29		
	0.86	50		
	1.17	156		
	1.36	45		

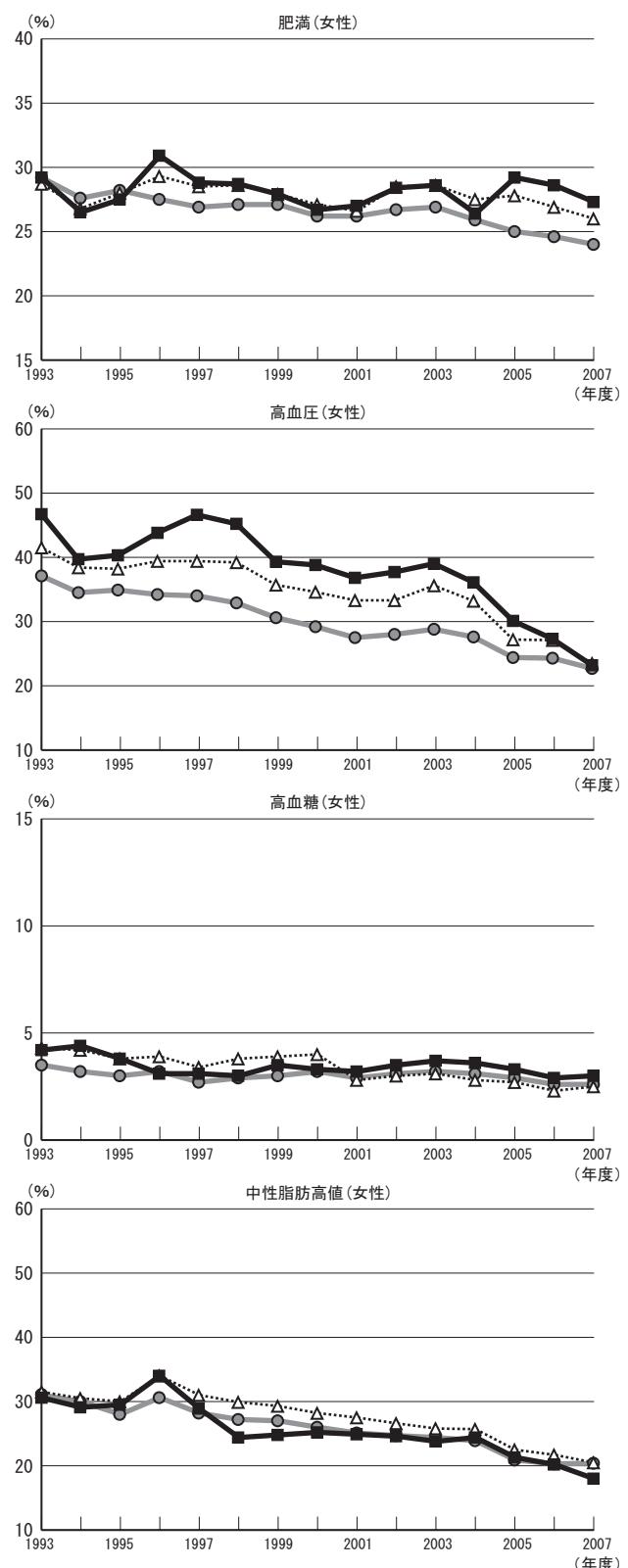
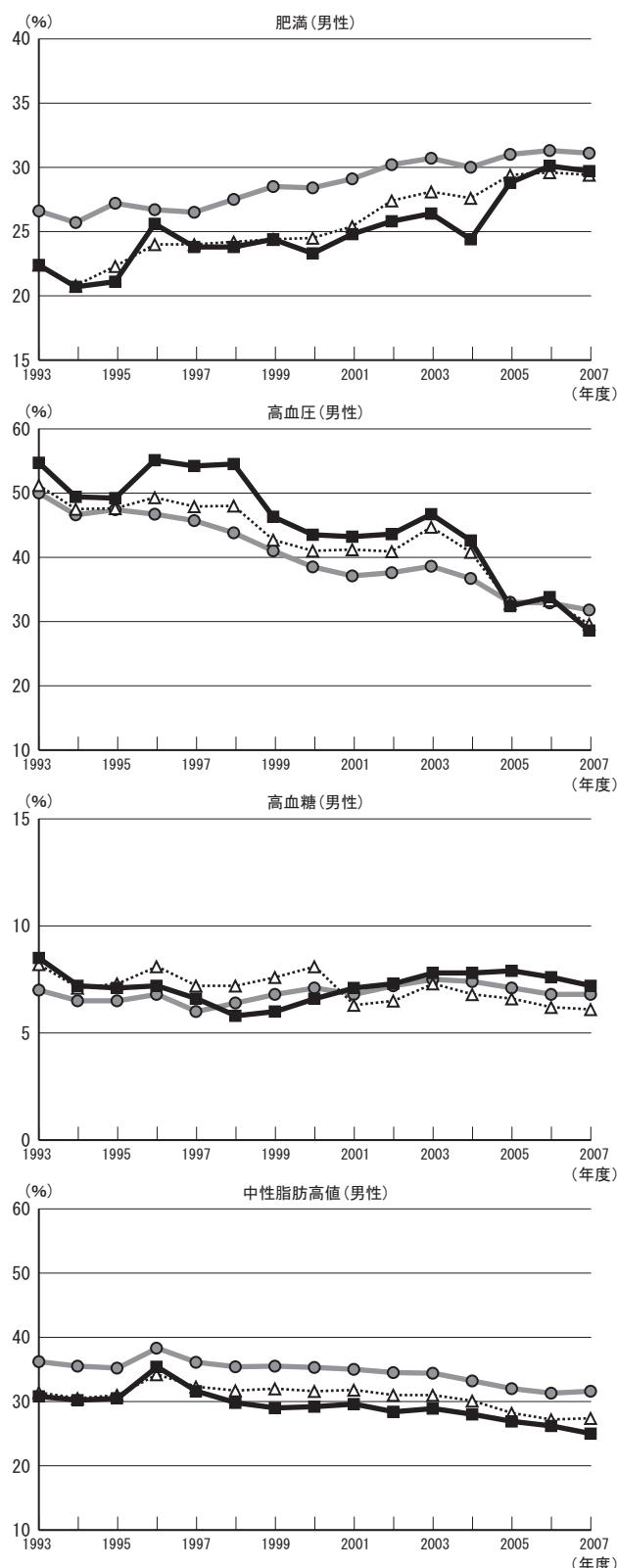


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.97	1592		○
死 亡 数	0.90	365		○
全国に比べて有意に高い	1.01	57		
全国に比べて有意に低い	0.88	52	○	○
	0.70	25		○
	0.64	34		○
	0.82	24		
	1.32	21		
	0.66	14		
	0.98	296	○	
	1.59	113	○	
	1.32	310		○
	1.33	38		
	1.07	53		
	1.43	214		
	1.02	39		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。女性では脳血管疾患の死亡率も高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

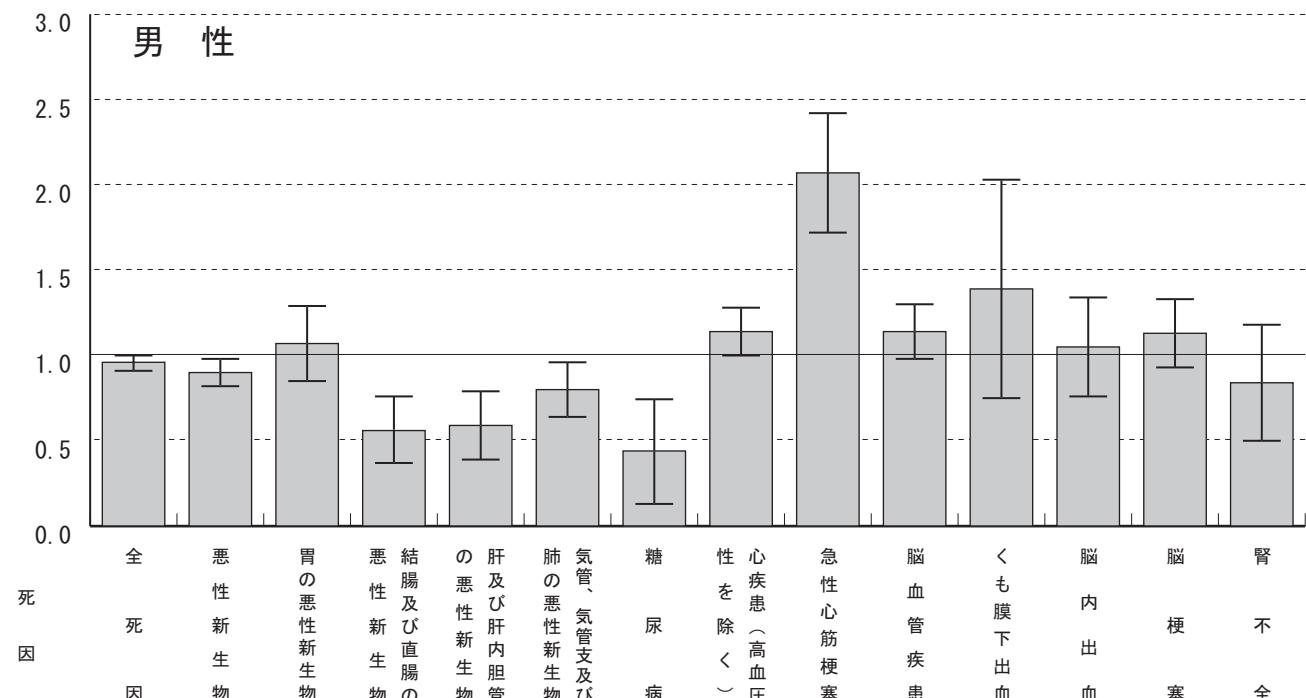
年齢調整有病率の経年度変化(常陸大宮市)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 53:常陸大宮保健所
 ■ 8225:常陸大宮市

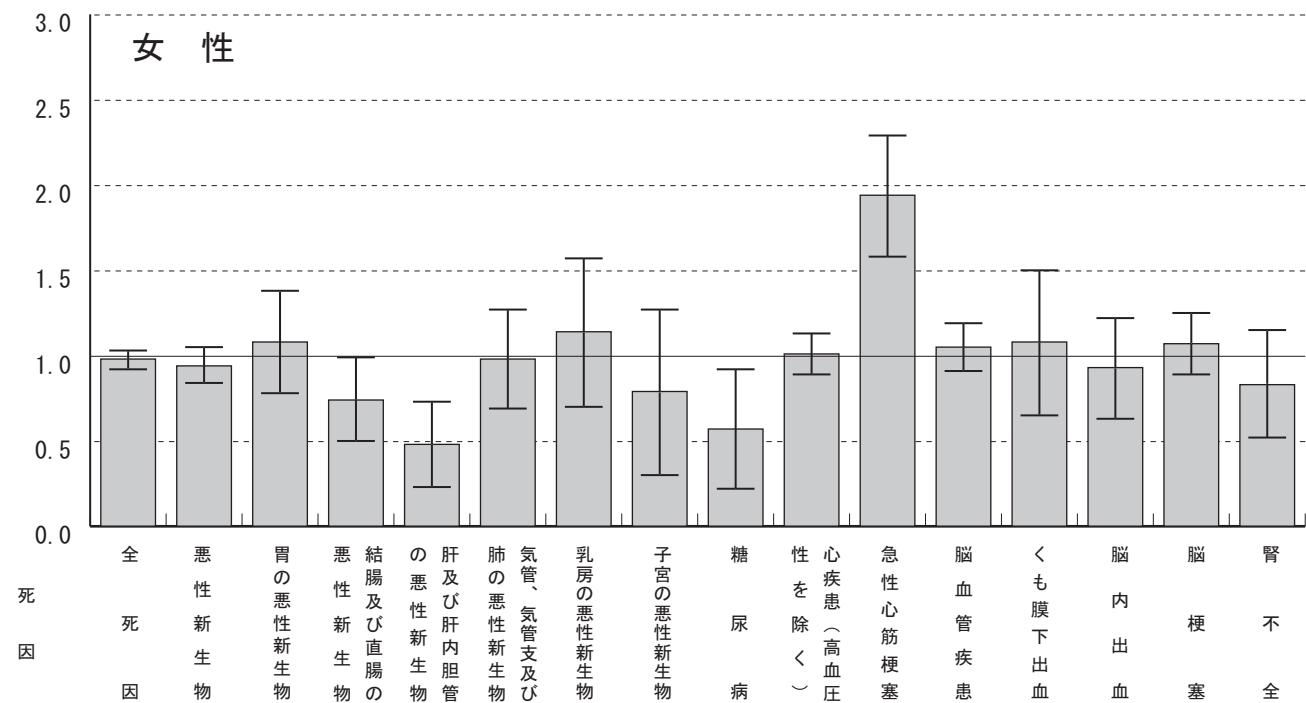


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目			○	○	○	○		
県と比較して経年に低い項目	○						○	

常陸大宮市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.96	1480		
死 亡 数	0.90	460		○
全国に比べて有意に高い	1.07	92		
全国に比べて有意に低い	0.56	32	○	
	0.59	34		○
	0.80	96		○
	0.44	8		○
	1.14	253	○	
	2.07	138		
	1.14	199		
	1.39	18		
	1.05	49		
	1.13	125		
	0.84	23		

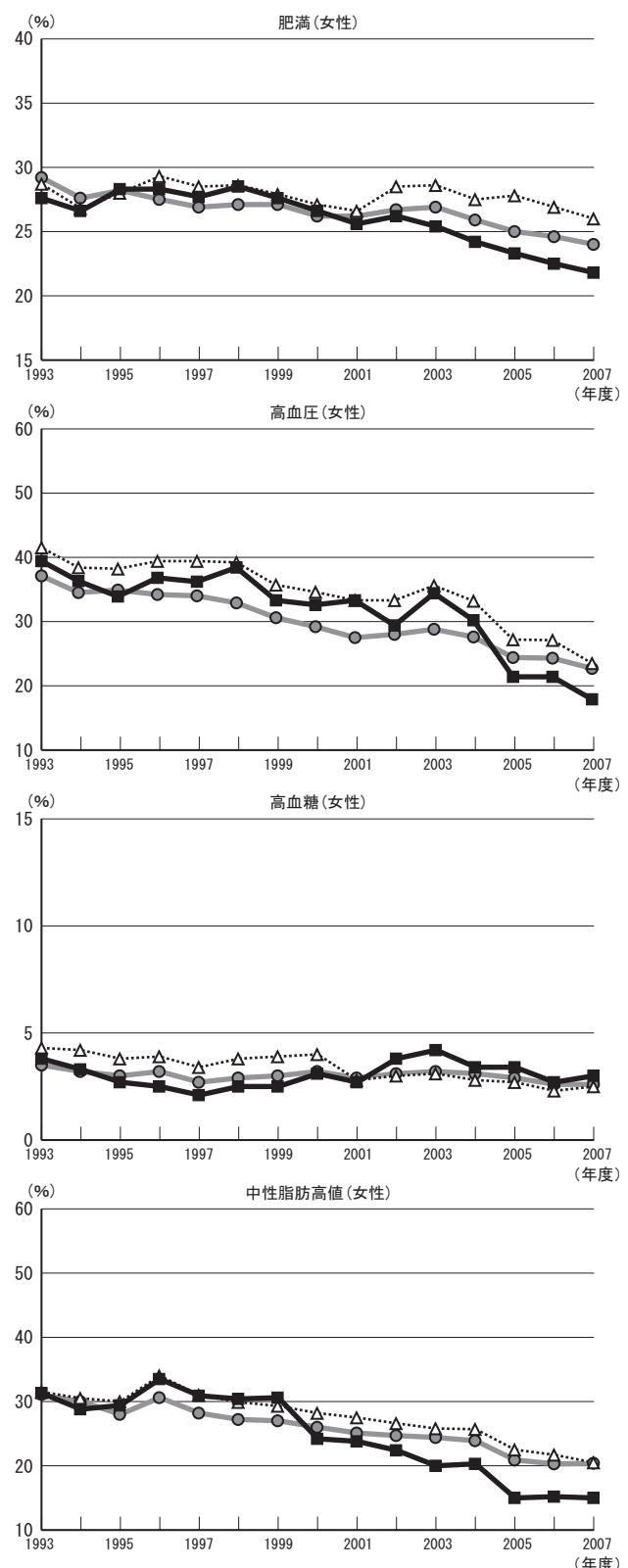
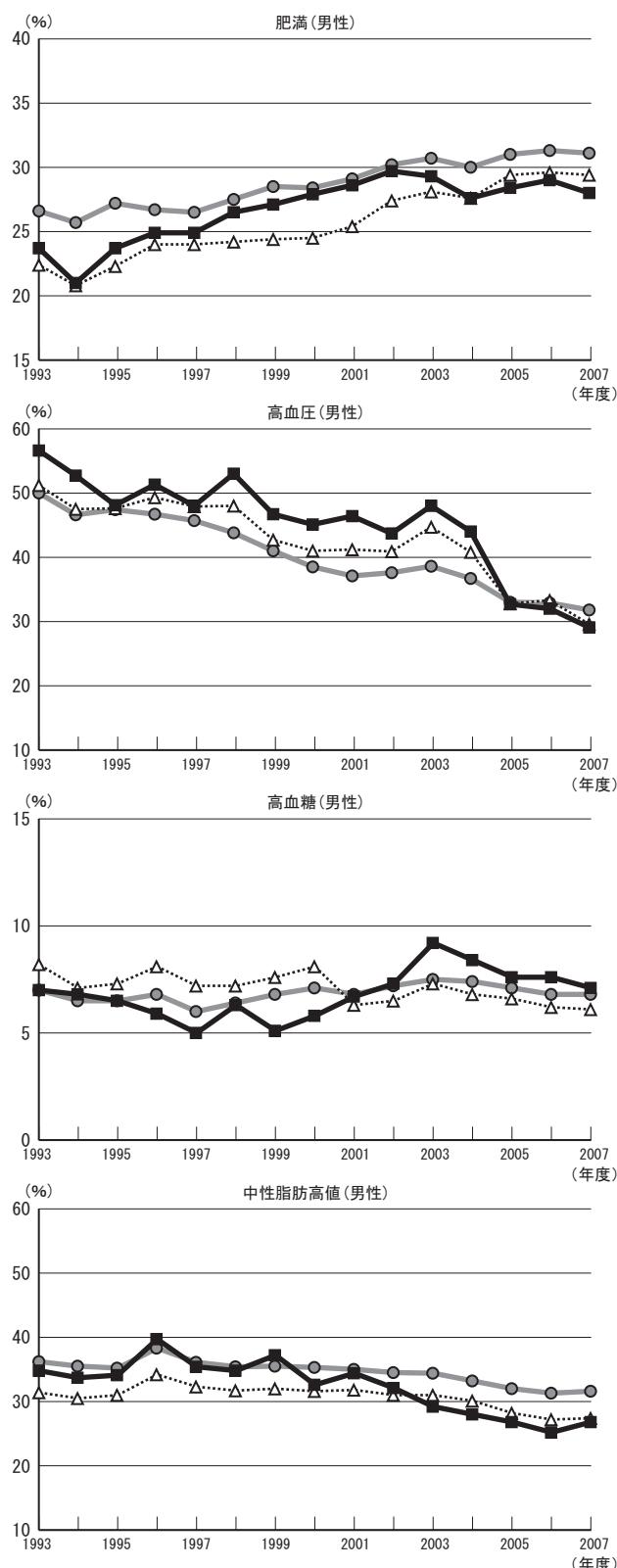


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.98	1338		
死 亡 数	0.94	312		
全国に比べて有意に高い	1.08	50		
全国に比べて有意に低い	0.74	36	○	
	0.48	14	○	
	0.98	43	○	
	1.14	26		
	0.79	10		
	0.57	10		○
	1.01	257		
	1.94	115	○	
	1.05	206		
	1.08	25		
	0.93	38		
	1.07	135		
	0.83	27		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

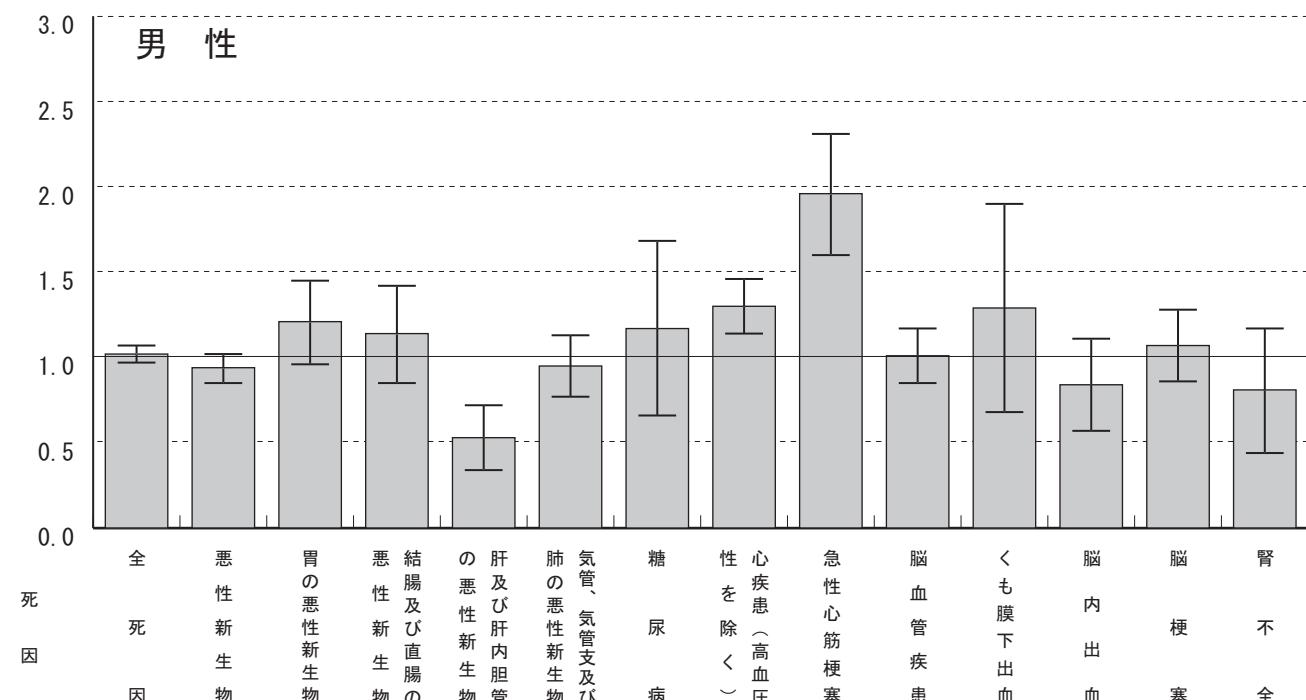
年齢調整有病率の経年度変化(那珂市)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 53:常陸大宮保健所
 ■ 8226:那珂市

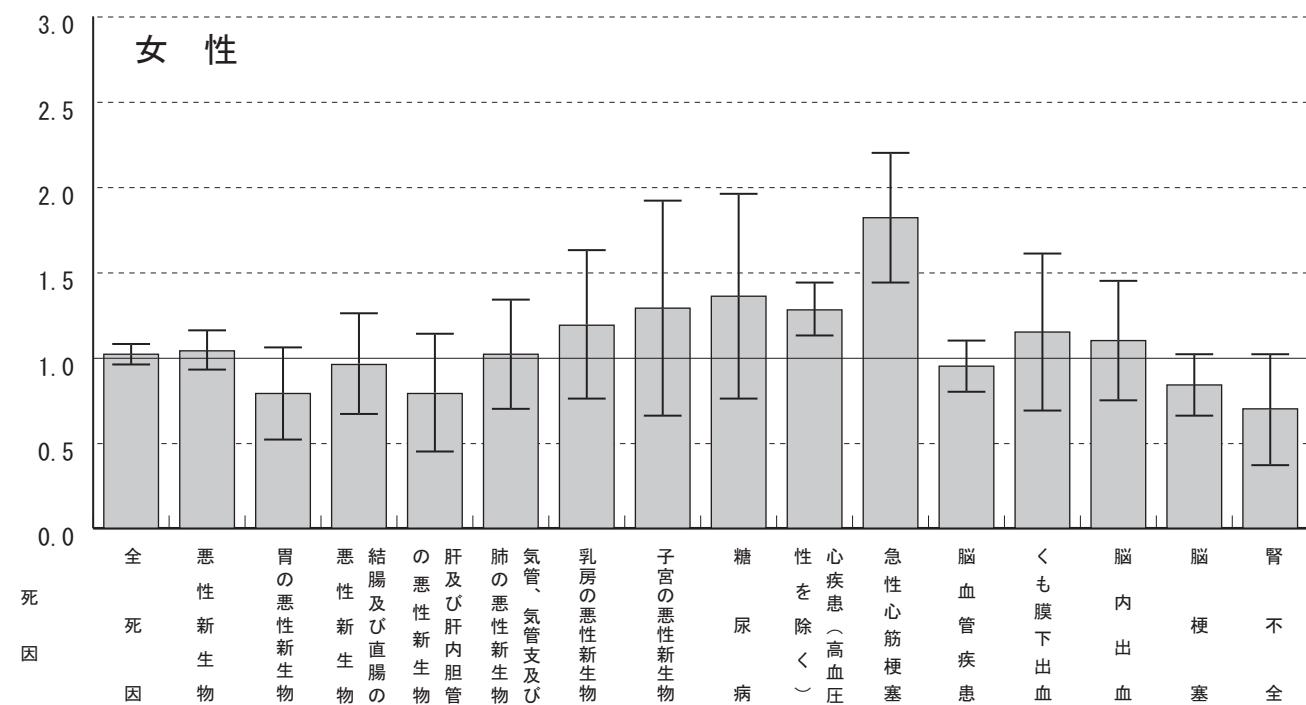


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○					○		
経年に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目			○	○				
県と比較して経年に低い項目	○	○					○	○

那珂市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.02	1438		
死 亡 数	0.94	445		
全国に比べて有意に高い	1.21	96	○	
全国に比べて有意に低い	1.14	61		○
	0.53	29		
	0.95	104		
	1.17	20		
	1.30	261	○	
	1.96	119	○	
	1.01	156		
	1.29	17		
	0.84	37		
	1.07	100		
	0.81	19		

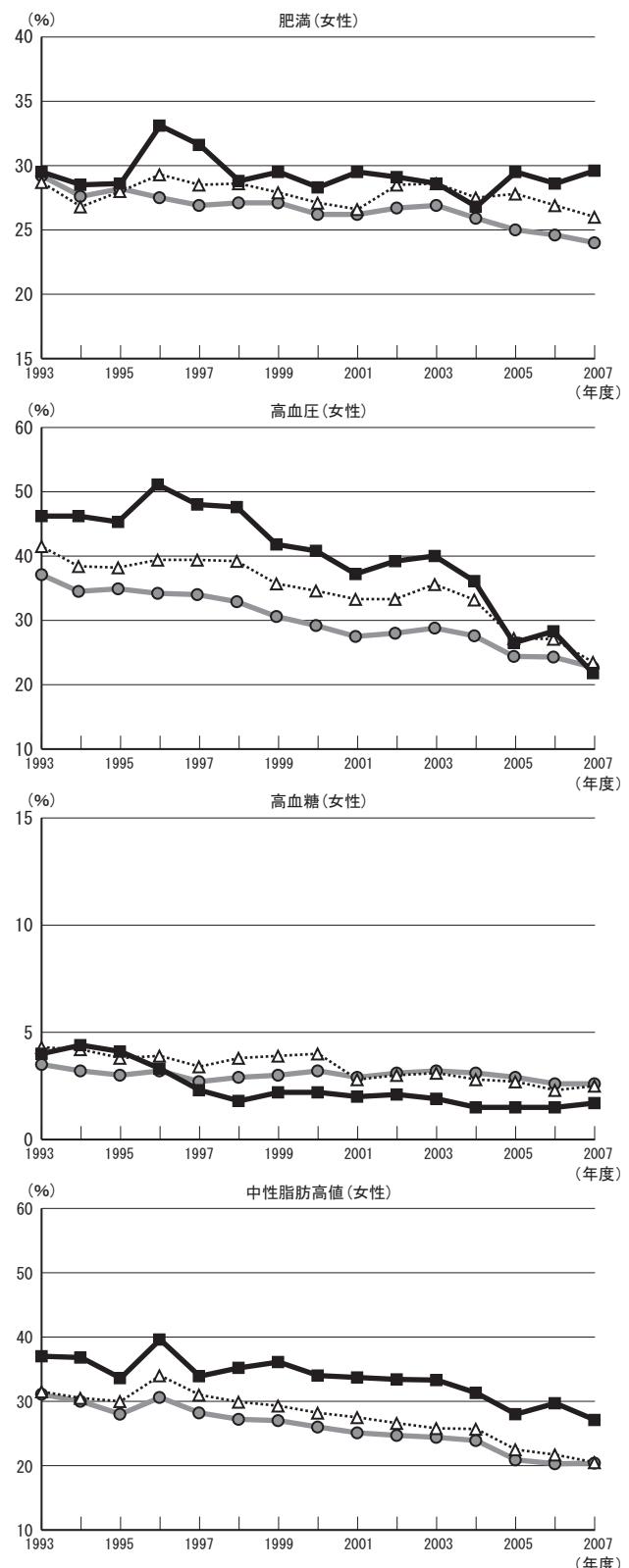
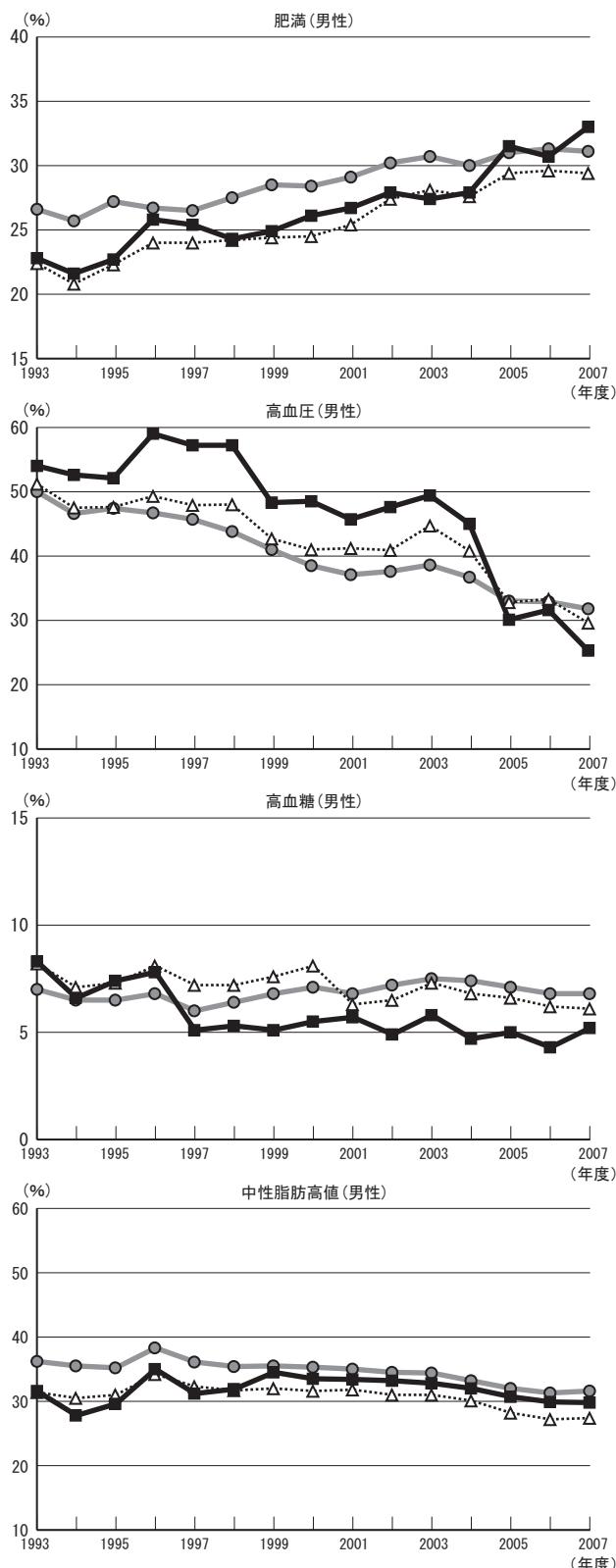


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.02	1168		
死 亡 数	1.04	308		
全国に比べて有意に高い	0.79	32	○	
全国に比べて有意に低い	0.96	41		○
	0.79	20		
	1.02	39		
	1.19	29		
	1.29	16		
	1.36	20		
	1.28	263	○	
	1.82	88	○	
	0.95	151		
	1.15	24		
	1.10	38		
	0.84	84		
	0.70	18		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

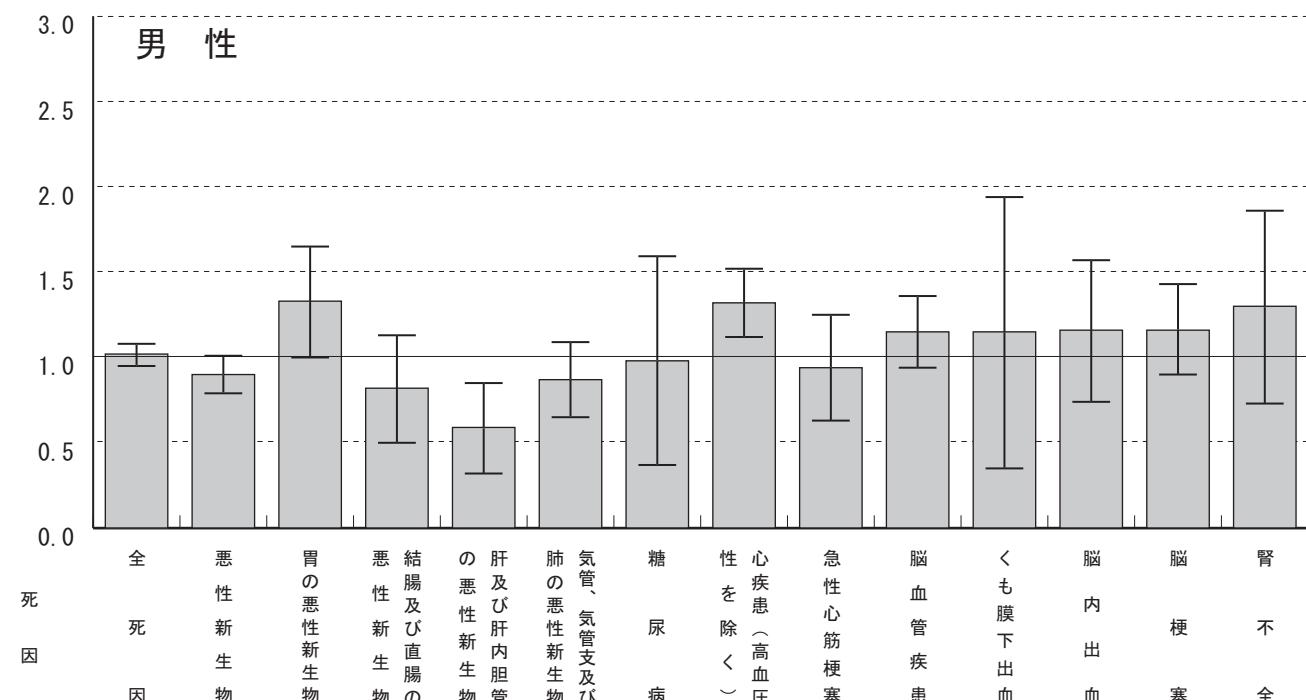
年齢調整有病率の経年度変化(大子町)

凡例
 ○ 08:茨城県
 △ 53:常陸大宮保健所
 ■ 8364:大子町

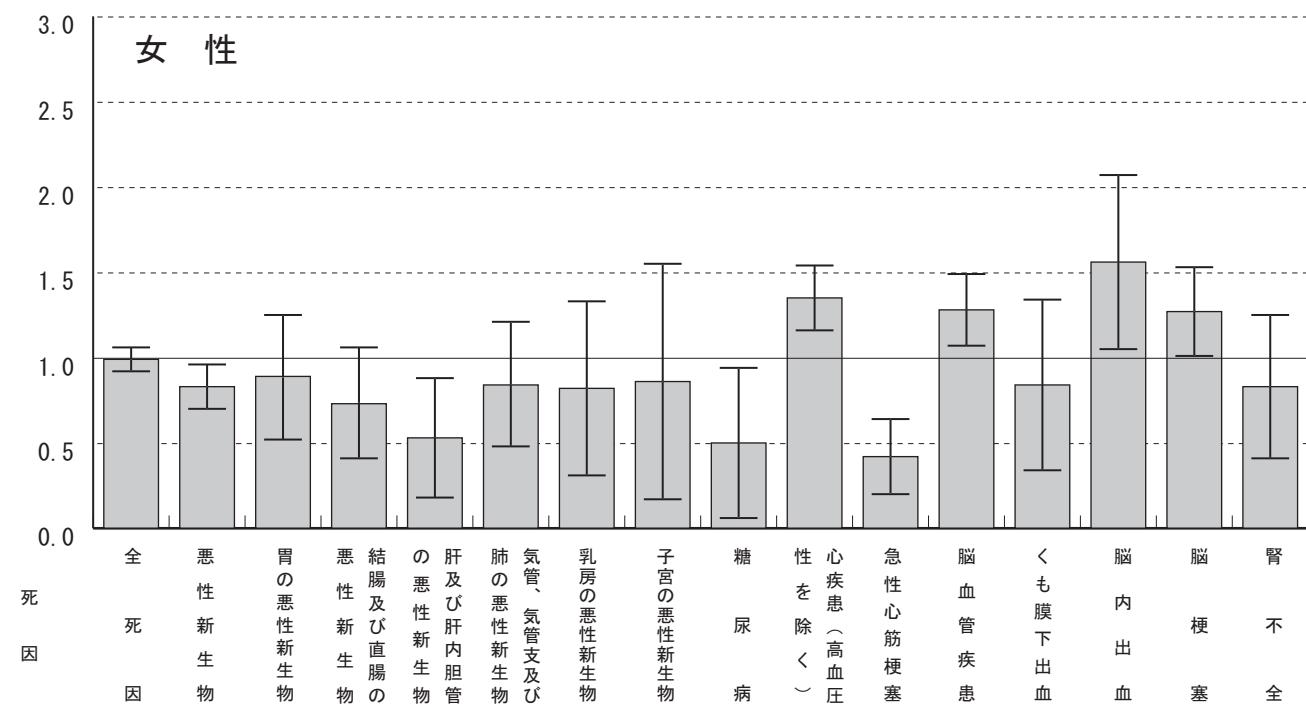


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○	○	○		○
県と比較して経年に高い項目			○	○				○
県と比較して経年に低い項目	○				○	○	○	

大子町標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.02	877		
死 亡 数	258	64	○	
全国に比べて有意に高い				
全国に比べて有意に低い			○	

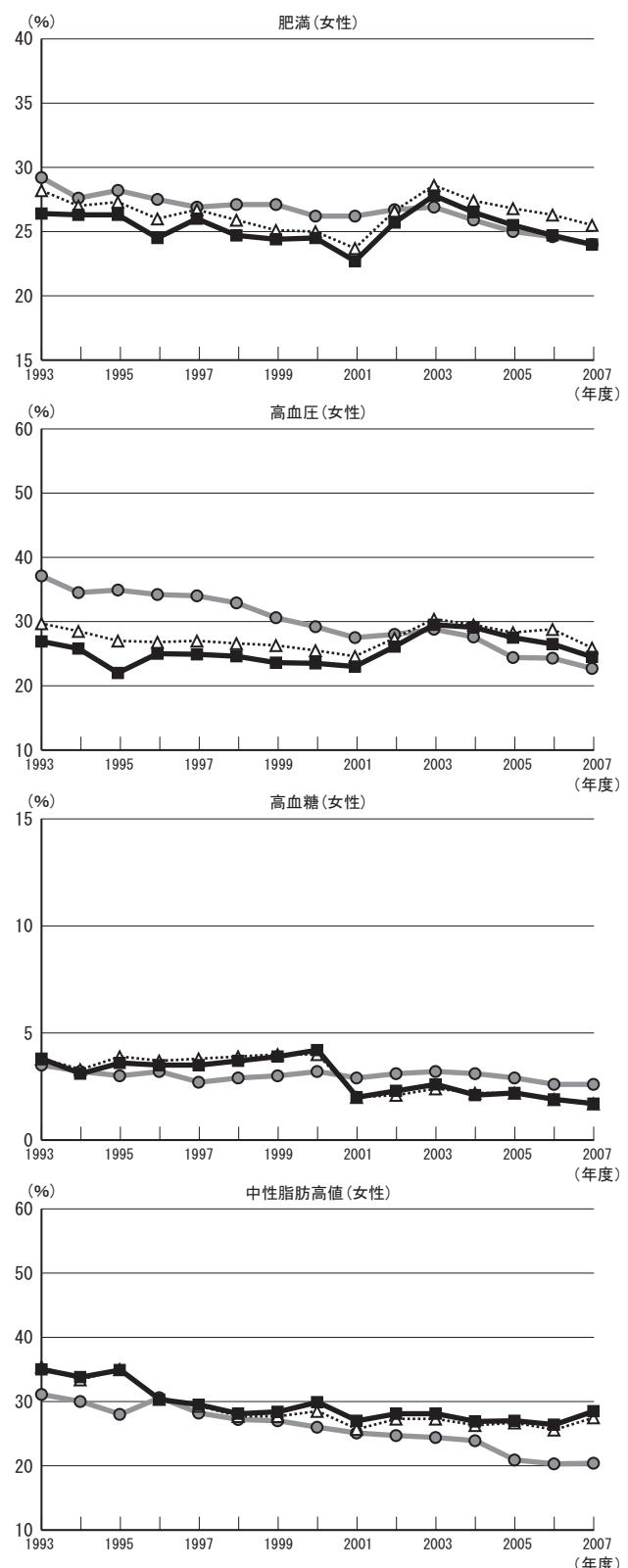
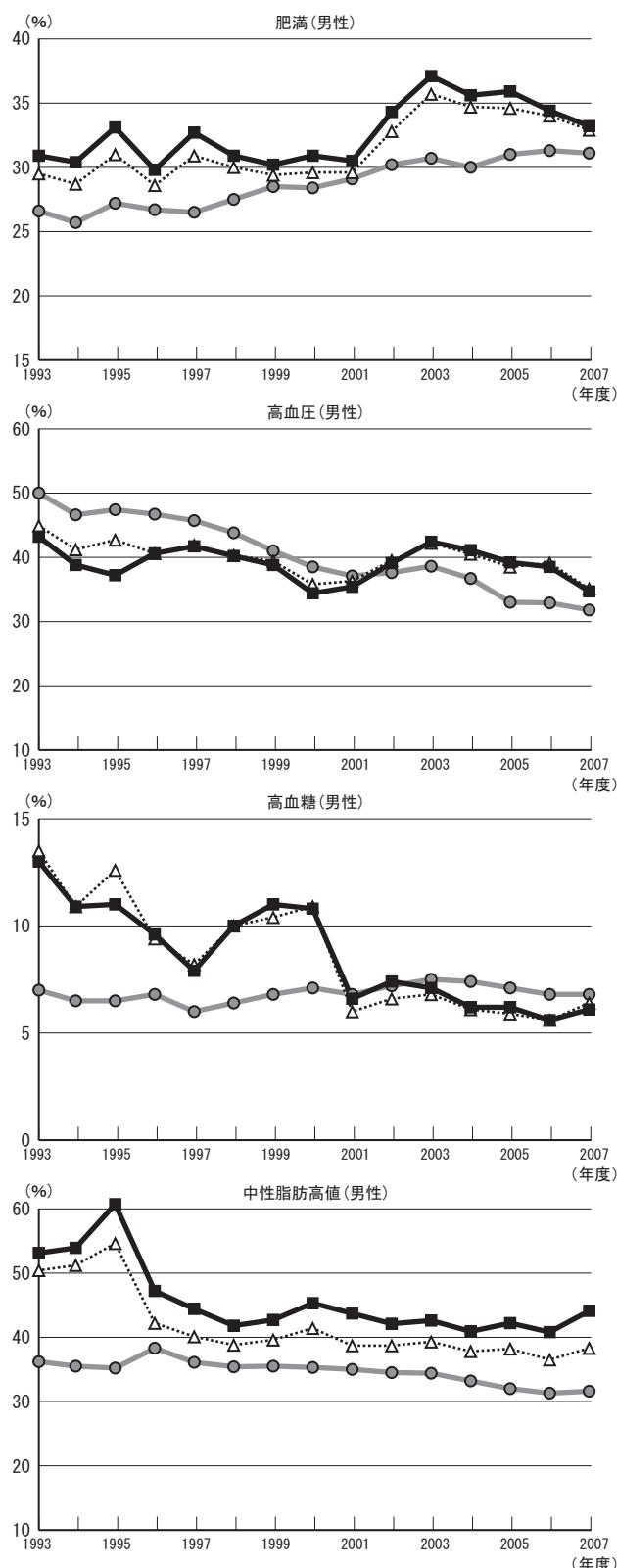


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.99	758		
死 亡 数	154	23		○
全国に比べて有意に高い				
全国に比べて有意に低い			○	

女性では脳血管疾患が高く、男性でも高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

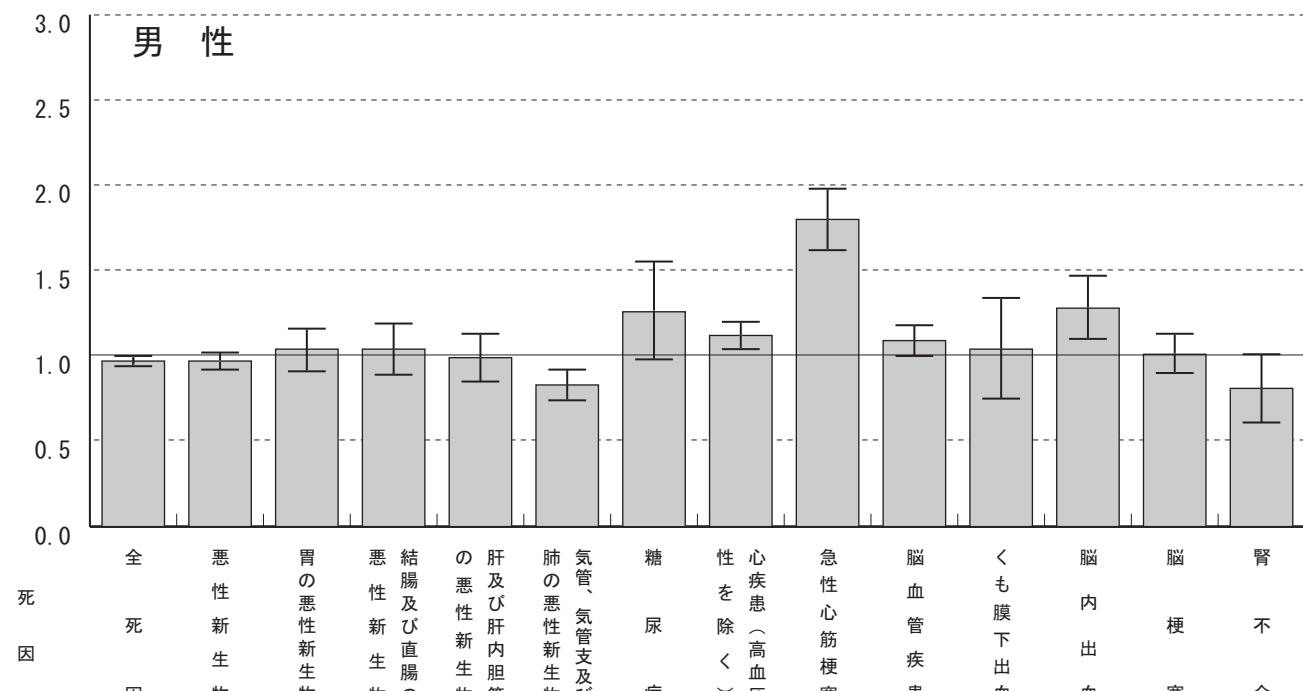
年齢調整有病率の経年度変化(日立市)

凡例
 08:茨城県
 55:日立保健所
 8202:日立市

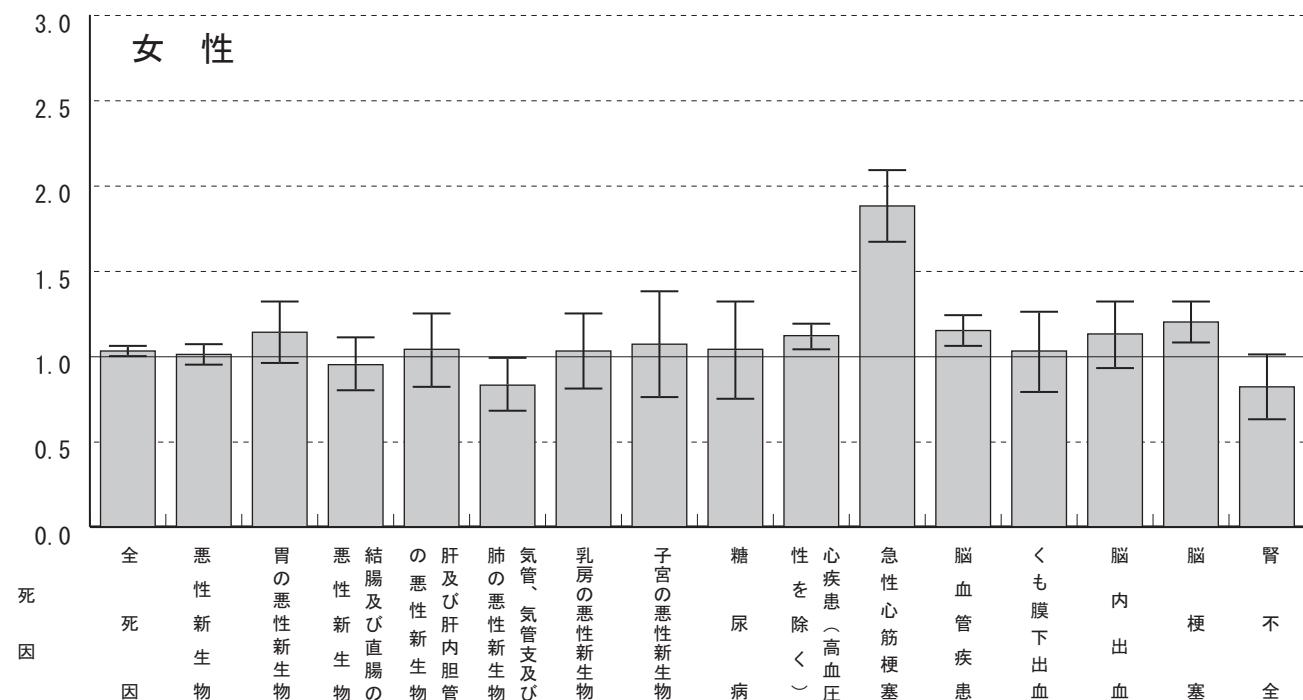


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目							○	○
県と比較して経年に高い項目	○						○	○
県と比較して経年に低い項目			○	○	○	○		

日立市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.97	4582		○
死 亡 数	0.97	1580		
全死因	1.04	282		
悪性新生物	1.04	191		
胃の悪性新生物	0.99	191		
悪性新生物	0.83	307		○
結腸及び直腸の悪性新生物	1.26	74	○	
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.12	746	○	
肺の悪性新生物	1.80	368		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.09	555		
糖尿病	1.04	48	○	
性を除く病	1.28	192		
心疾患(高血圧)	1.01	305		
急性心筋梗塞	0.81	62		

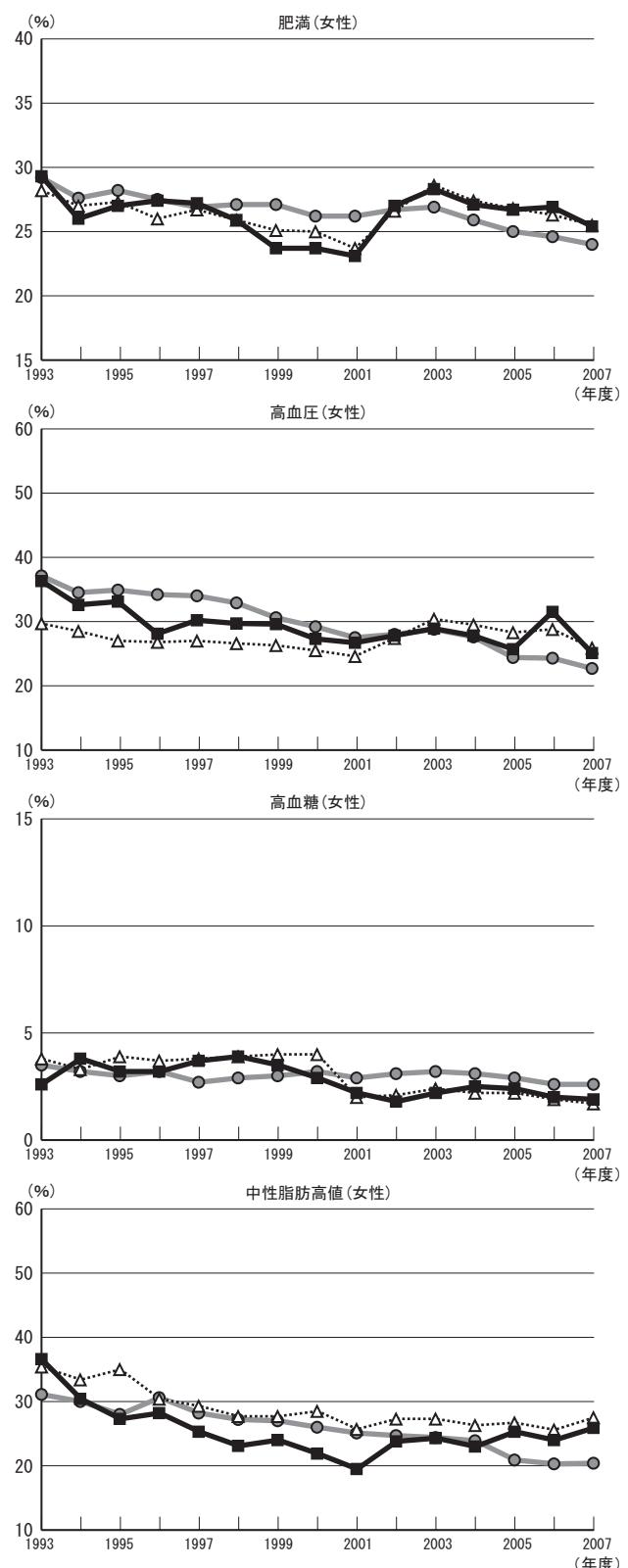
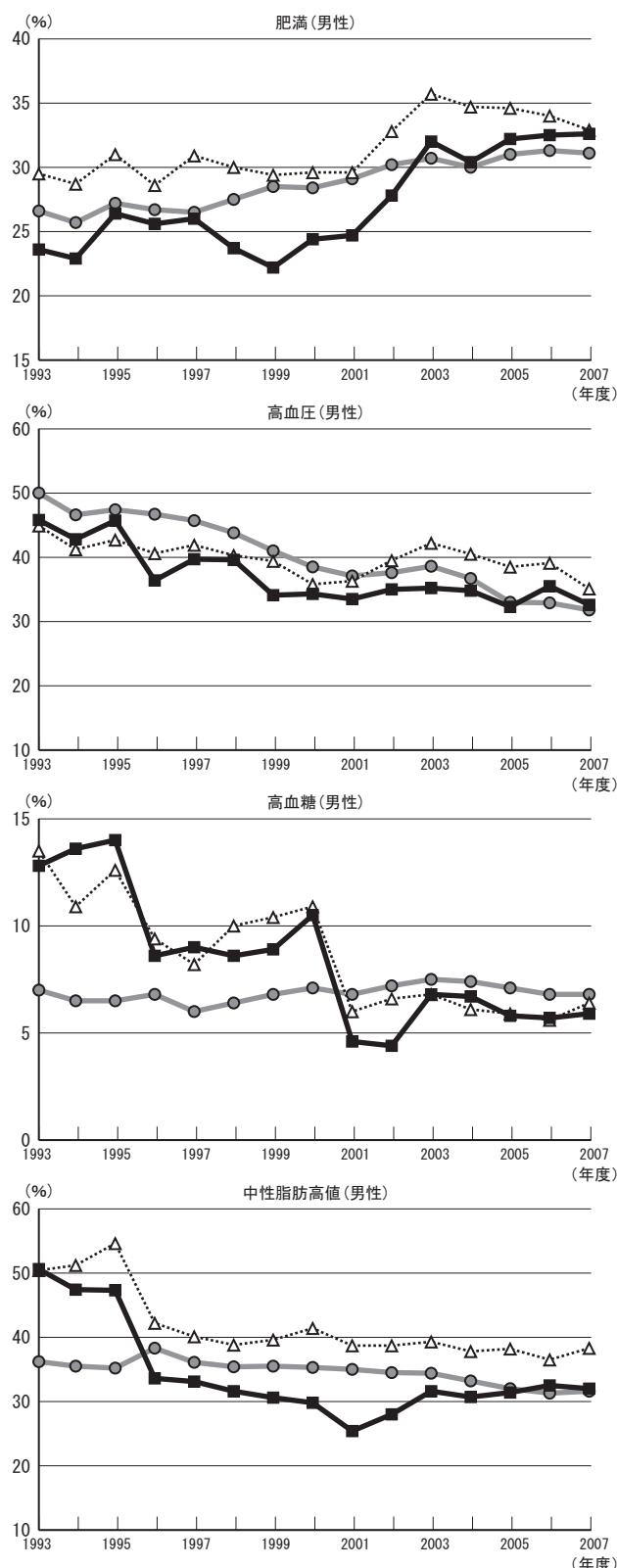


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.03	4029		○
死 亡 数	1.01	1031		
全死因	1.14	159		
悪性新生物	0.95	140		
胃の悪性新生物	1.04	90		○
悪性新生物	0.83	110		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.03	87		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.07	46		
肺の悪性新生物	1.04	52	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.12	776	○	
乳房の悪性新生物	1.88	310	○	
子宮の悪性新生物	1.15	621		
糖尿病	1.03	74		
性を除く病	1.13	132		○
心疾患(高血圧)	1.20	403		
急性心筋梗塞	0.82	72		

男女とも急性心筋梗塞、脳血管疾患が高く、女性では脳血管疾患も高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

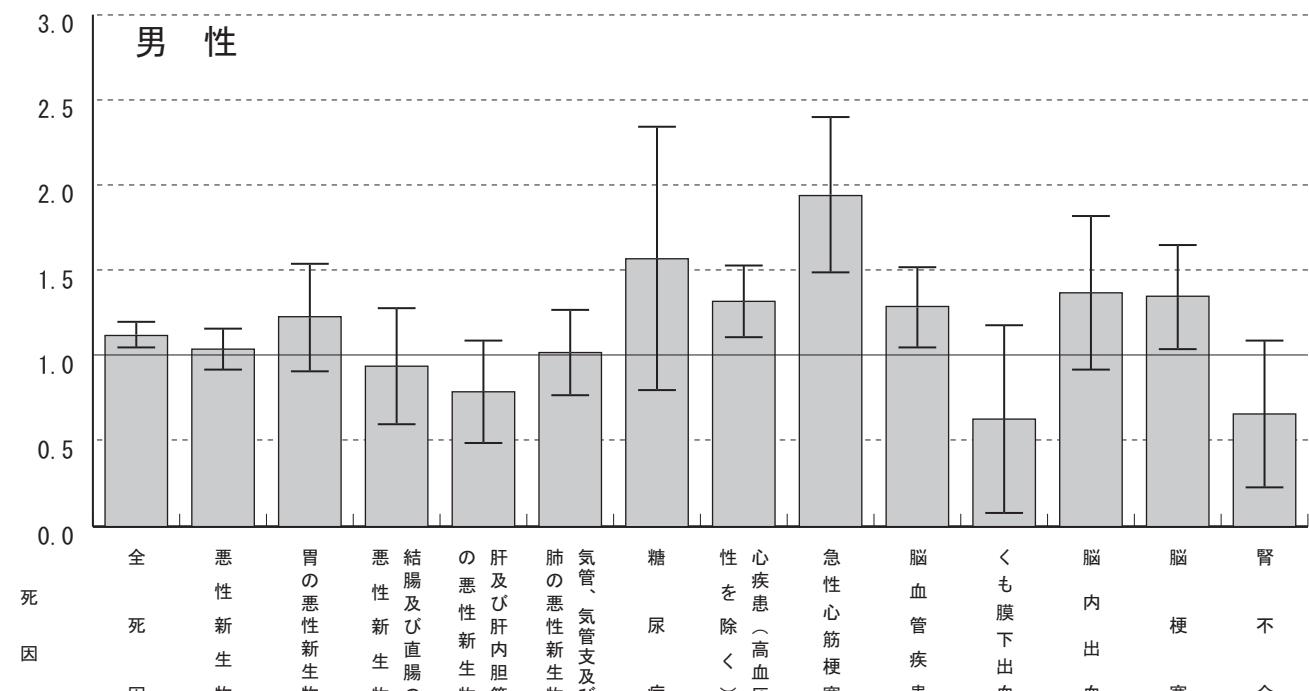
年齢調整有病率の経年度変化(高萩市)

凡例
 08:茨城県
 55:日立保健所
 8214:高萩市

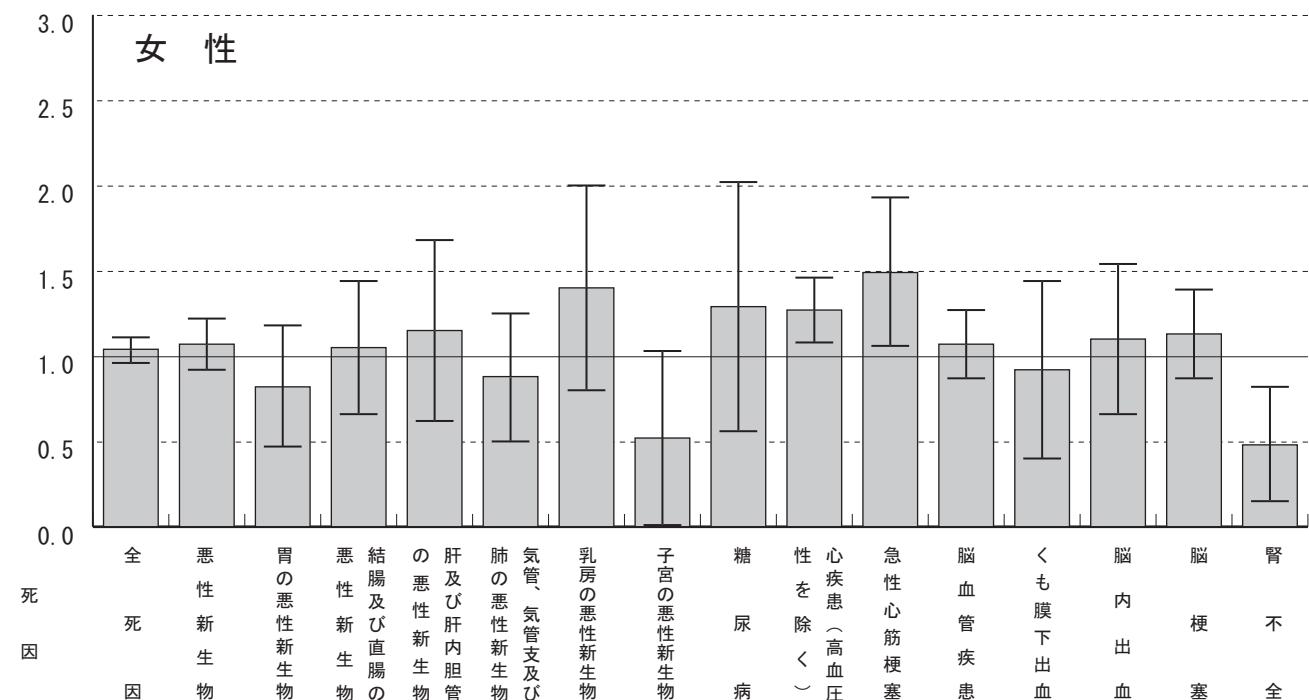


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○	○	○	○	○
県と比較して経年に高い項目								
県と比較して経年に低い項目	○		○		○	○	○	○

高萩市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.12	935	○	
死 亡 数	1.04	293		
全死因	1.23	58		
悪性新生物	0.94	30		
胃の悪性新生物	0.79	26		
悪性新生物の結腸及び直腸の	1.02	66		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.57	16	○	
肺の悪性新生物	1.32	156	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.94	70	○	
糖尿病	1.29	117		
性を除く心疾患(高血圧)	0.63	5		
急性心筋梗塞	1.37	36		
脳血管疾患	1.35	73	○	
くも膜下出血	0.66	9		

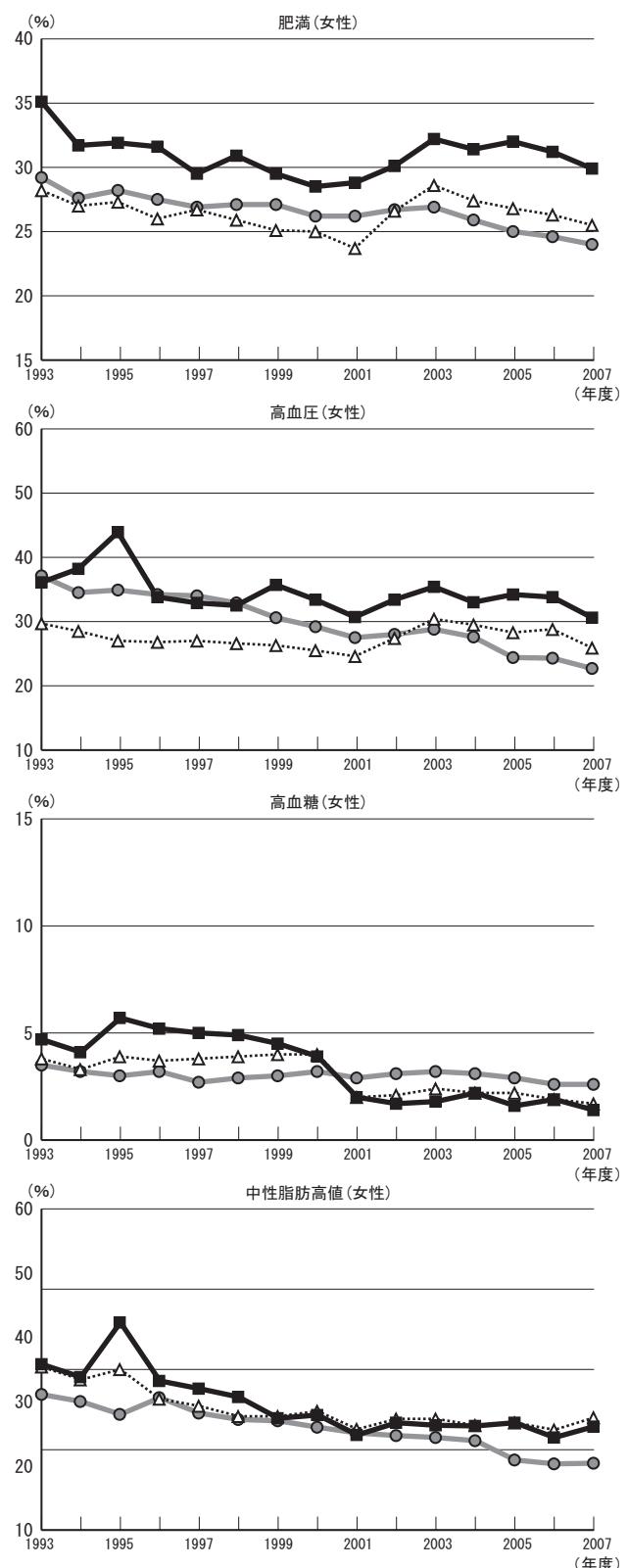
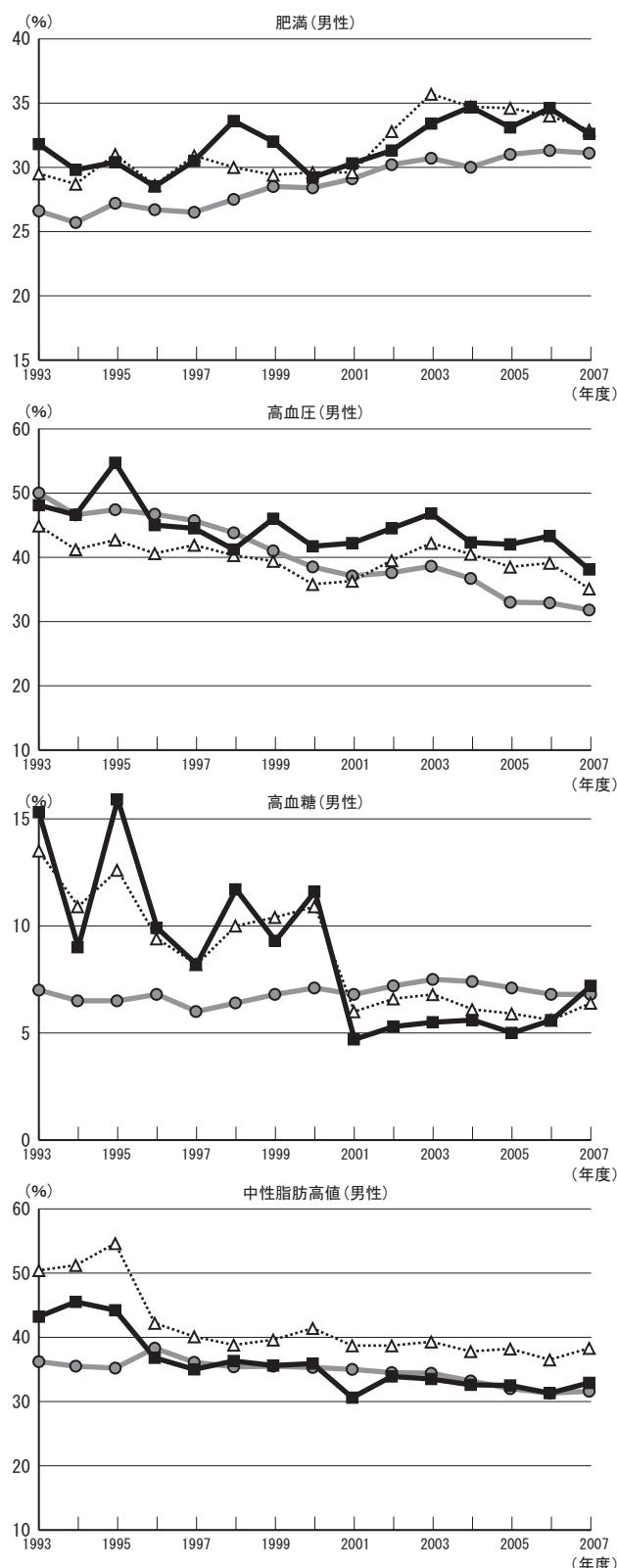


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.04	753		
死 亡 数	1.07	198		
全死因	0.82	21		
悪性新生物	1.05	28		
胃の悪性新生物	1.15	18		
悪性新生物の結腸及び直腸の	0.88	21		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.40	21		
肺の悪性新生物	0.52	4	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.29	12	○	
乳房の悪性新生物	1.27	166		
子宮の悪性新生物	1.49	46		
糖尿病	1.07	109		
性を除く心疾患(高血圧)	0.92	12		
急性心筋梗塞	1.10	24		
脳血管疾患	1.13	72		○
くも膜下出血	0.48	8		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高く、男性では脳血管疾患の死亡率も高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

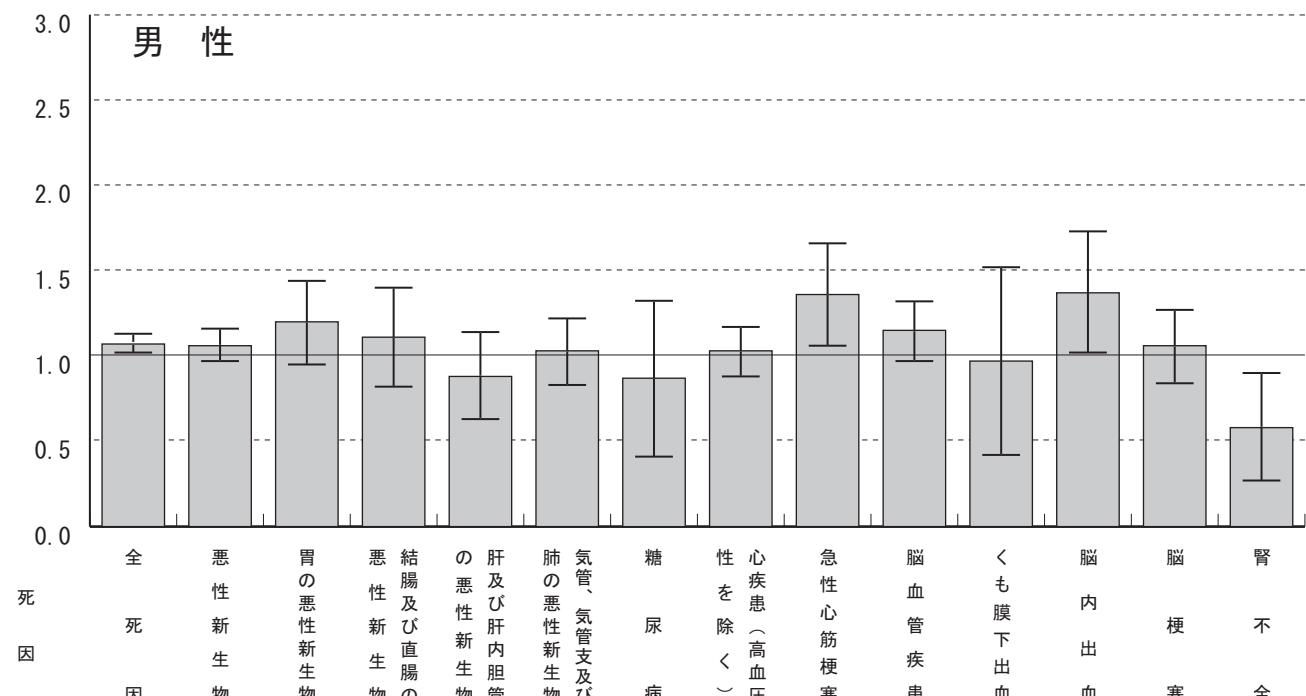
年齢調整有病率の経年度変化(北茨城市)

凡例
 08: 茨城県
 55: 日立保健所
 8215: 北茨城市

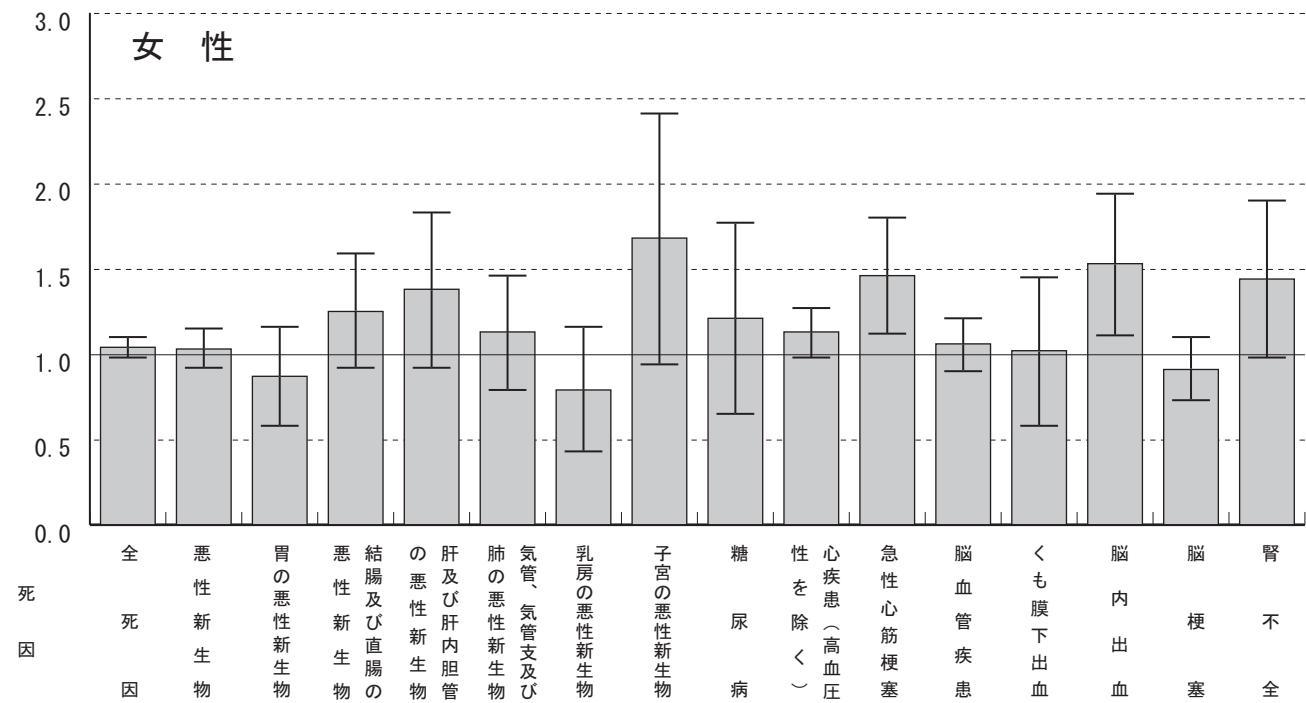


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○	○	○	○	○
県と比較して経年に高い項目							○	○
県と比較して経年に低い項目	○	○	○	○	○	○		

北茨城市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	1429	○	
死 亡 数	1.06	477		
全死因	1.20	90		
悪性新生物	1.11	56		
胃の悪性新生物	0.88	46		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.03	107		
肝及び胆管の悪性新生物	1.03	14		
肺の悪性新生物	0.87	194		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.03	78	○	
糖尿病	1.36	168		
性を除く	1.15	12	○	
心疾患(高血圧)	0.97	57		
急性心筋梗塞	1.37	94		
脳血管疾患	1.06	13		○
くも膜下出血	0.58			
脳内出血				
脳梗塞				
腎全				

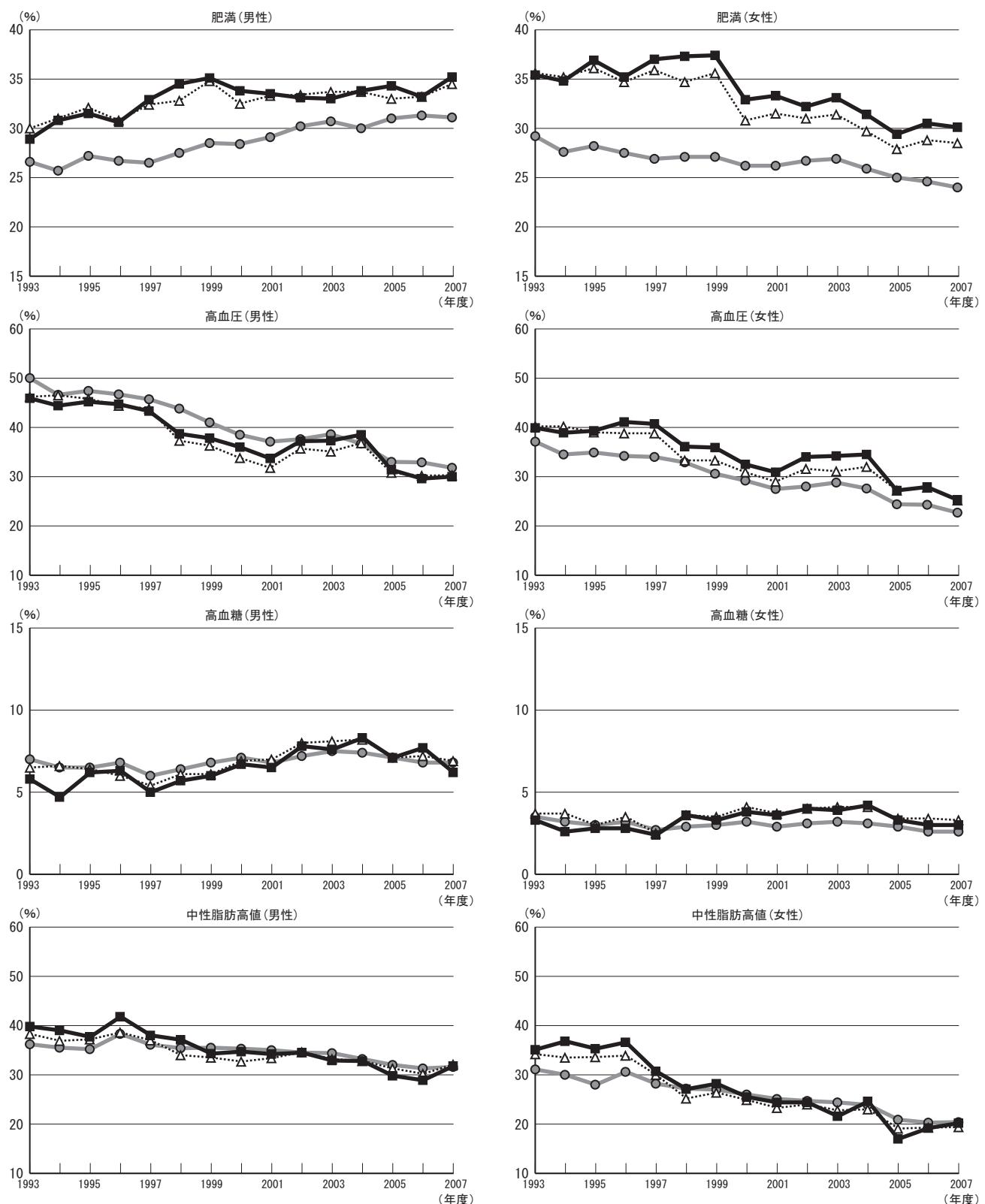


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.04	1198	○	
死 亡 数	1.03	302		
全死因	0.87	35		
悪性新生物	1.25	53		
胃の悪性新生物	1.38	35		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.13	43		
肝及び胆管の悪性新生物	0.79	18		
肺の悪性新生物	1.68	20		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.21	18		
乳房の悪性新生物	1.13	236	○	
子宮の悪性新生物	1.46	72		
糖尿病	1.06	171	○	
性を除く	1.02	21		
心疾患(高血圧)	1.53	53		
急性心筋梗塞	0.91	93		
脳血管疾患	1.44	38		
くも膜下出血				
脳内出血				
脳梗塞				
腎全				

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

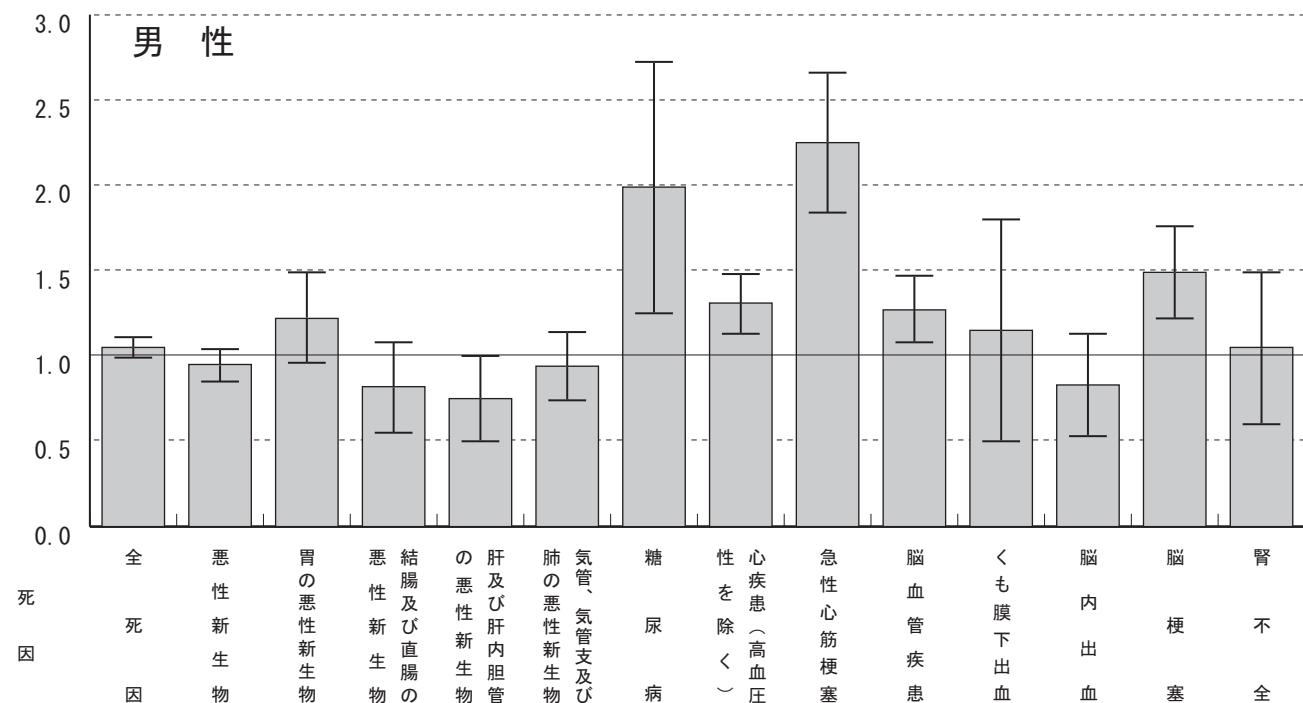
年齢調整有病率の経年度変化(行方市)

凡例
 08:茨城県
 56:鉾田保健所
 8233:行方市

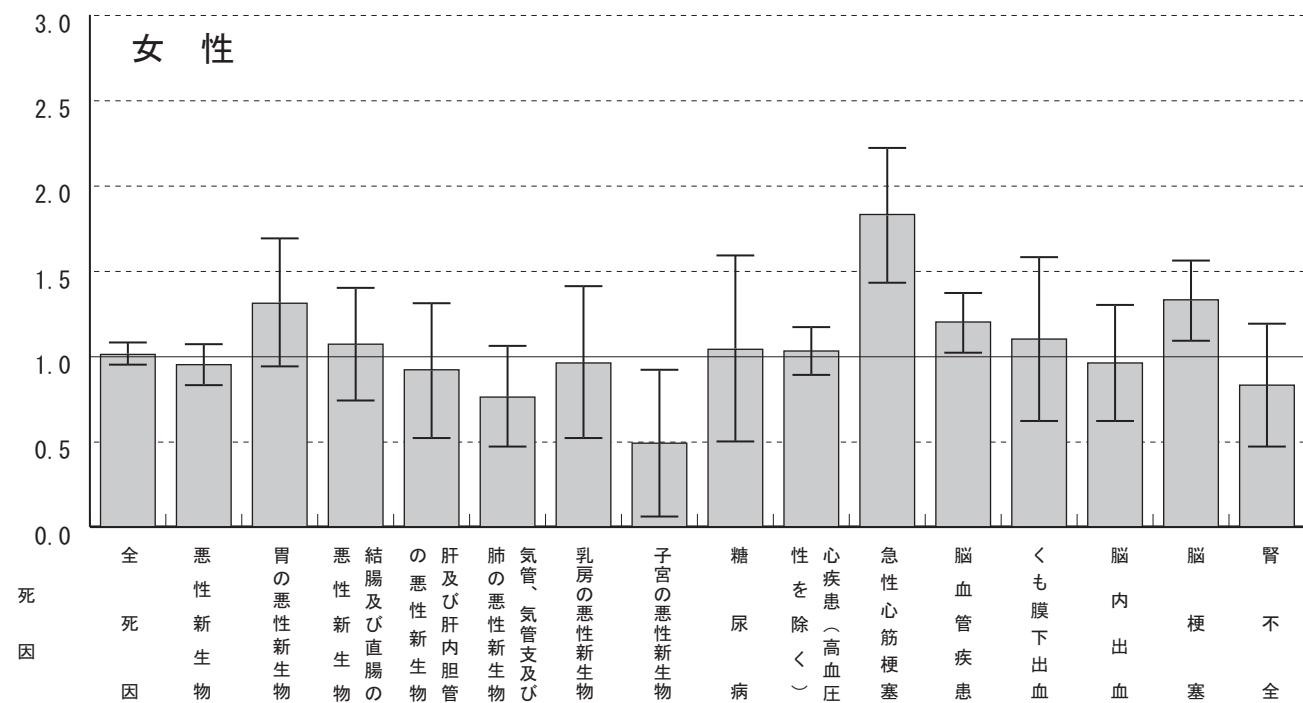


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○				○			
経年的に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目	○	○			○		○	○
県と比較して経年的に低い項目			○		○			

行方市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.05	1236		
死 亡 数	374	81		
全国に比べて有意に高い			○	
全国に比べて有意に低い			○	

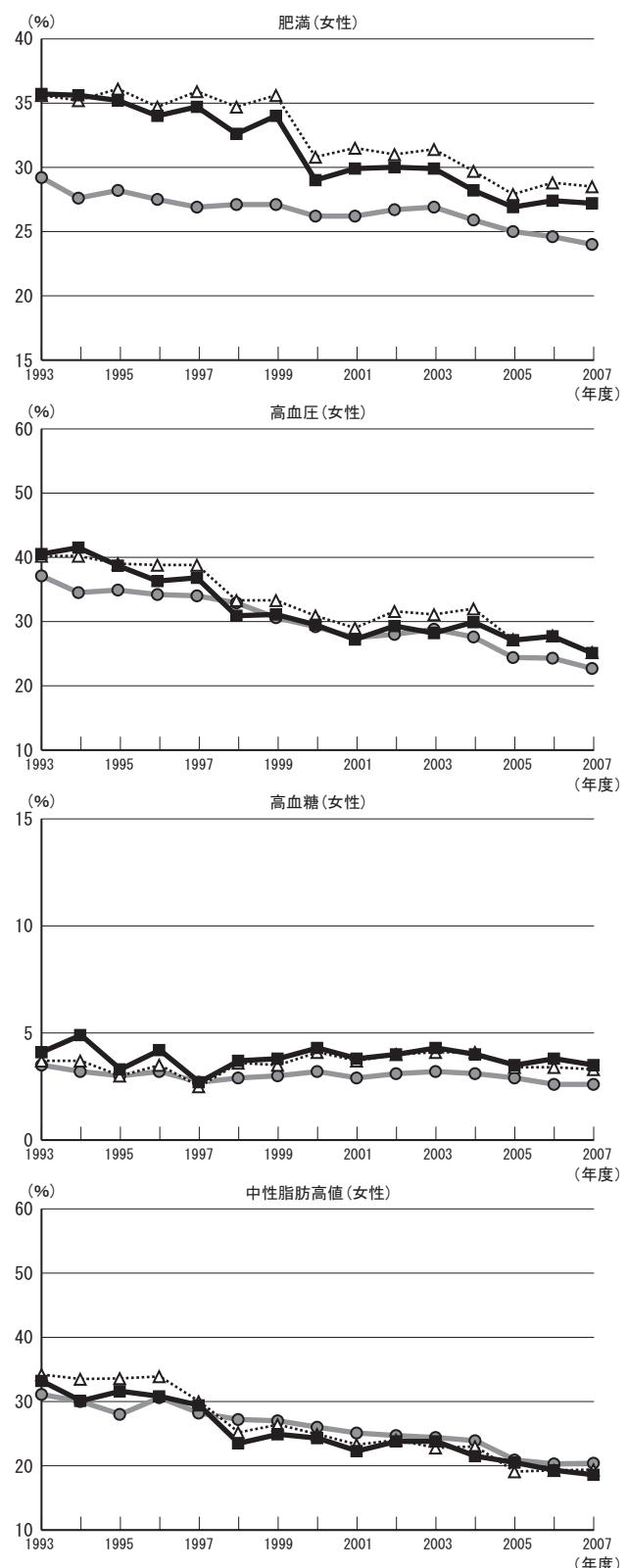
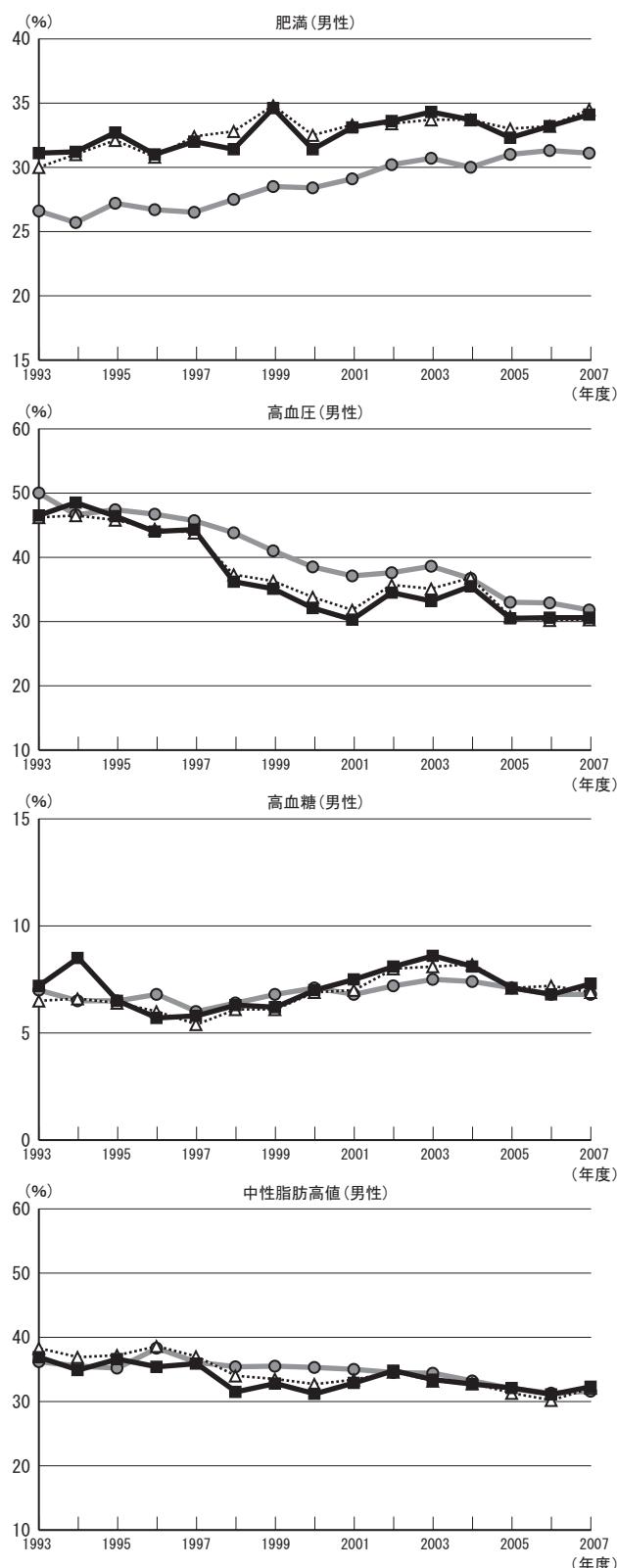


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.01	1054		
死 亡 数	245	47		
全国に比べて有意に高い			○	
全国に比べて有意に低い			○	

男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

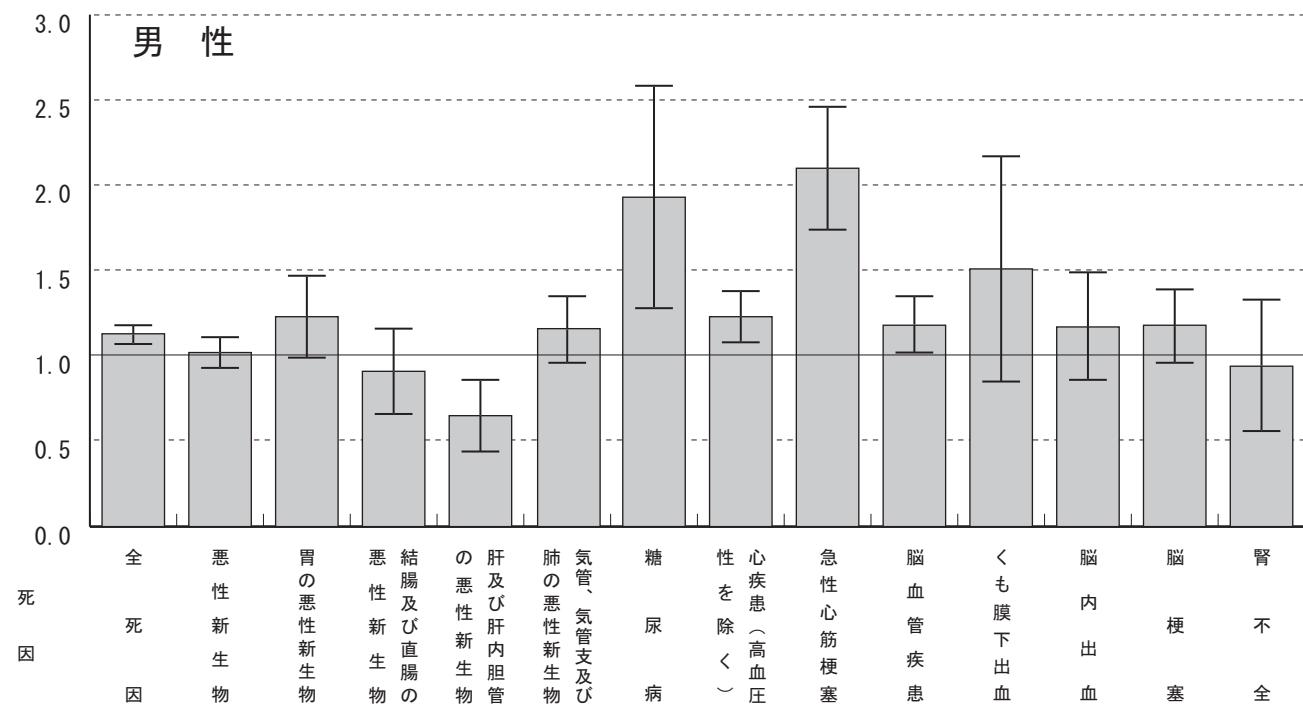
年齢調整有病率の経年度変化(鉾田市)

凡例
 08:茨城県
 56:鉾田保健所
 8234:鉾田市

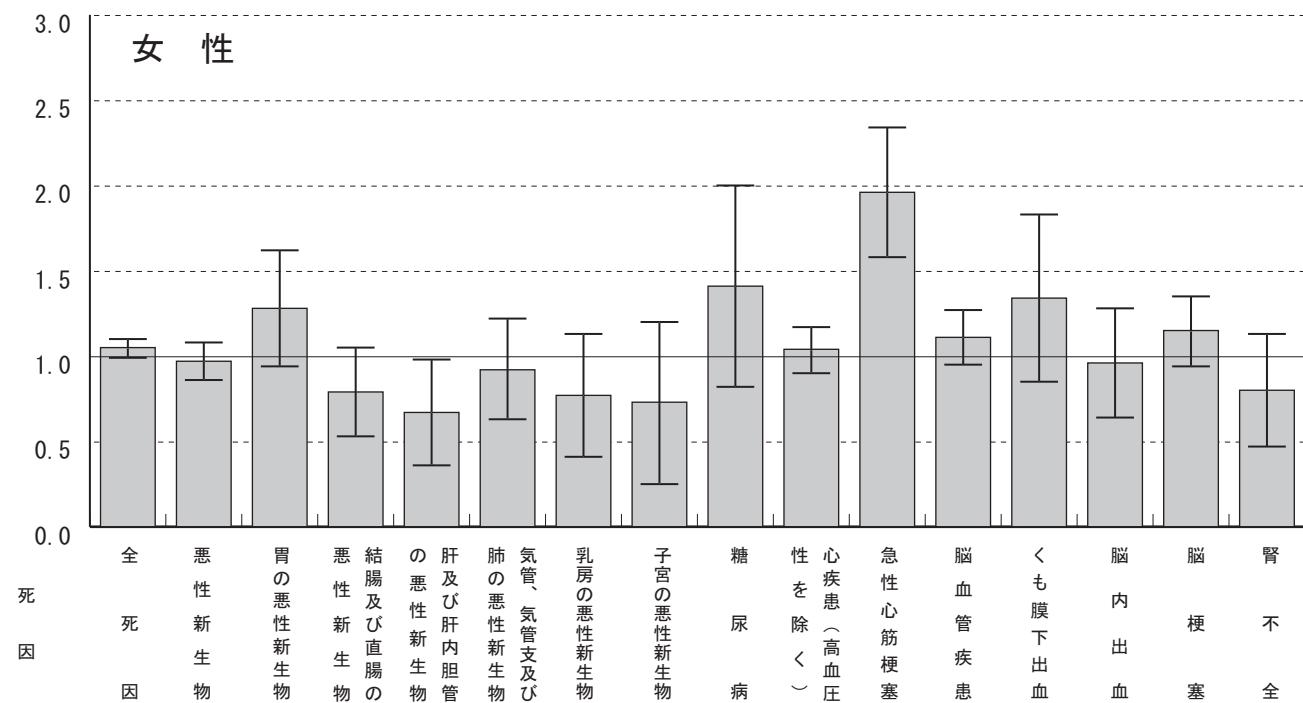


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目	○	○		○	○	○		
県と比較して経年に低い項目			○				○	○

銚田市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて 有意に高い	全国に比べて 有意に低い
標準化死亡比	1.13	1639	○	
死 亡 数	1.02	502		
全国に比べて 有意に高い	1.23	101		
全国に比べて 有意に低い	0.91	50		○
標準化死亡比	0.65	37		
死 亡 数	1.16	132	○	
全国に比べて 有意に高い	1.93	34	○	
全国に比べて 有意に低い	1.23	254	○	
標準化死亡比	2.10	132	○	
死 亡 数	1.18	190		
全国に比べて 有意に高い	1.51	20		
全国に比べて 有意に低い	1.17	53		
標準化死亡比	1.18	115		
死 亡 数	0.94	23		

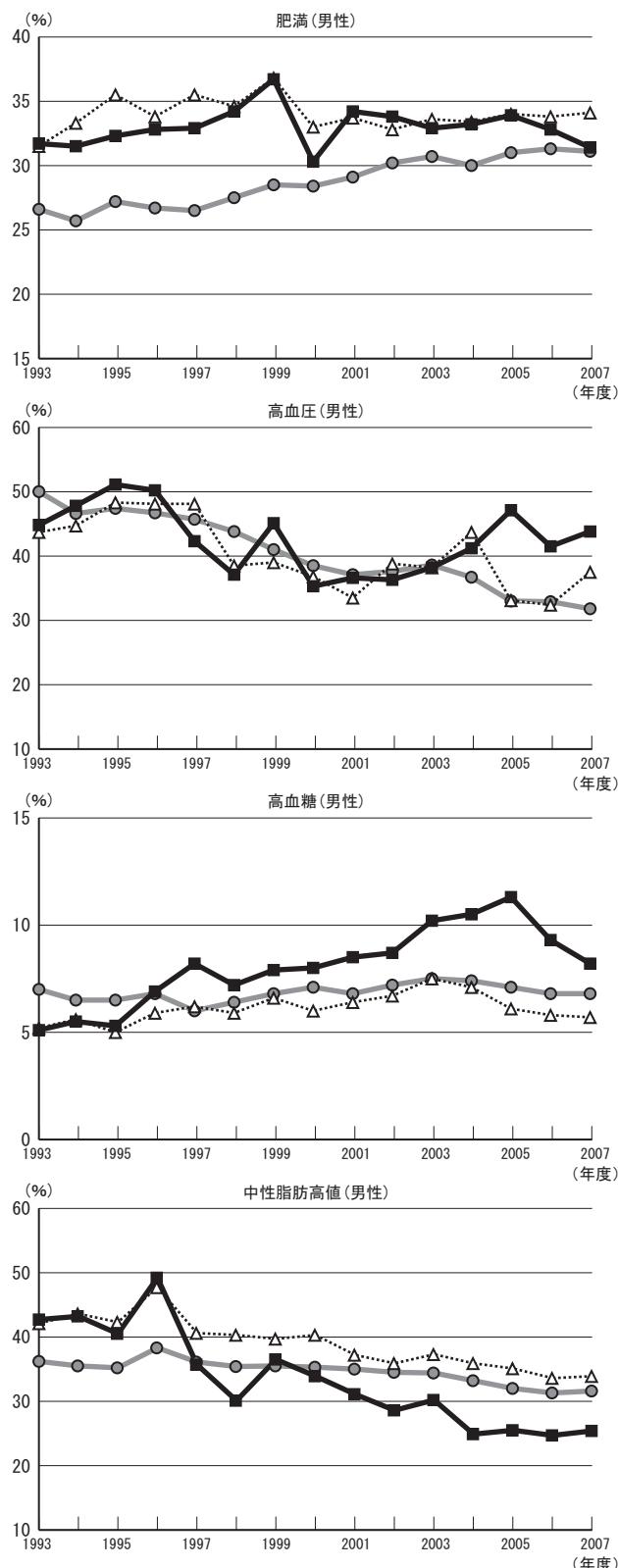


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて 有意に高い	全国に比べて 有意に低い
標準化死亡比	1.05	1261		
死 亡 数	0.97	297		
全国に比べて 有意に高い	1.28	54		
全国に比べて 有意に低い	0.79	35		○
標準化死亡比	0.67	18		
死 亡 数	0.92	37		
全国に比べて 有意に高い	0.77	18		
全国に比べて 有意に低い	0.73	9		
標準化死亡比	1.41	22		
死 亡 数	1.04	226		
全国に比べて 有意に高い	1.96	101	○	
全国に比べて 有意に低い	1.11	188		
標準化死亡比	1.34	29		
死 亡 数	0.96	35		
全国に比べて 有意に高い	1.15	122		
全国に比べて 有意に低い	0.80	22		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高く、男性では脳血管疾患の死亡率も高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

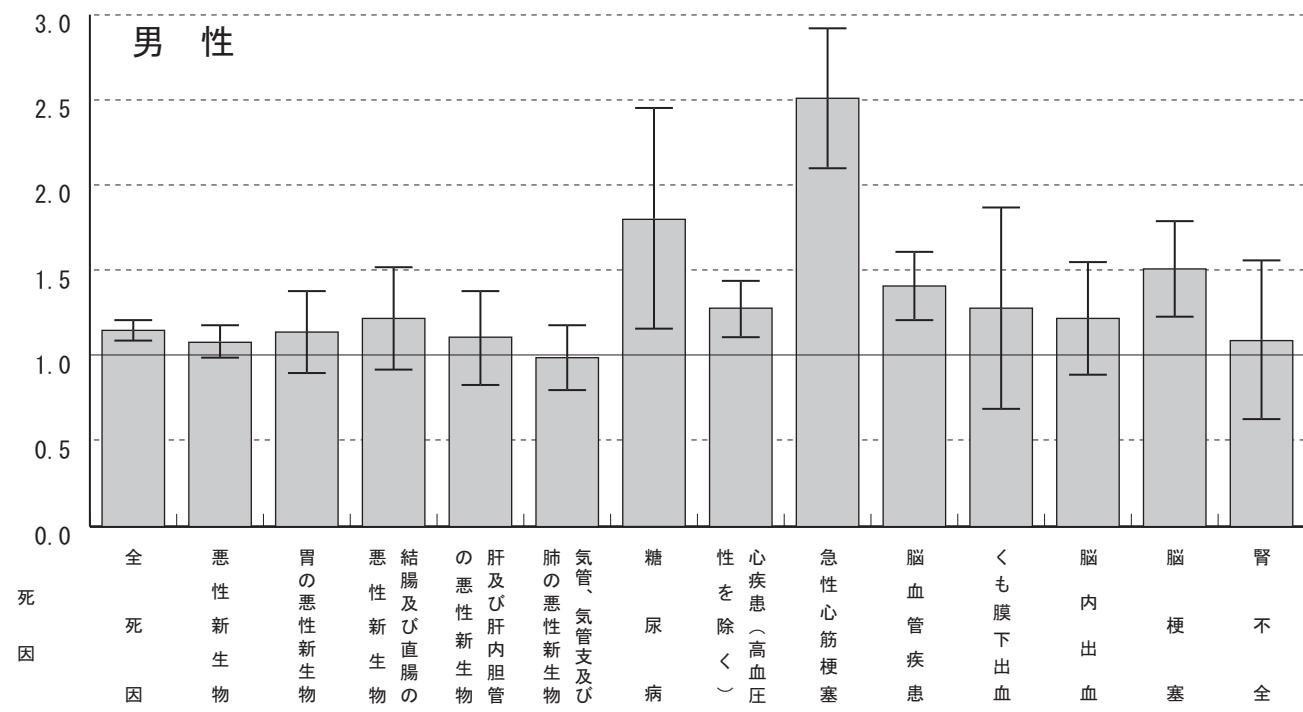
年齢調整有病率の経年度変化(鹿嶋市)

凡例
 08:茨城県
 57:潮来保健所
 8222:鹿嶋市

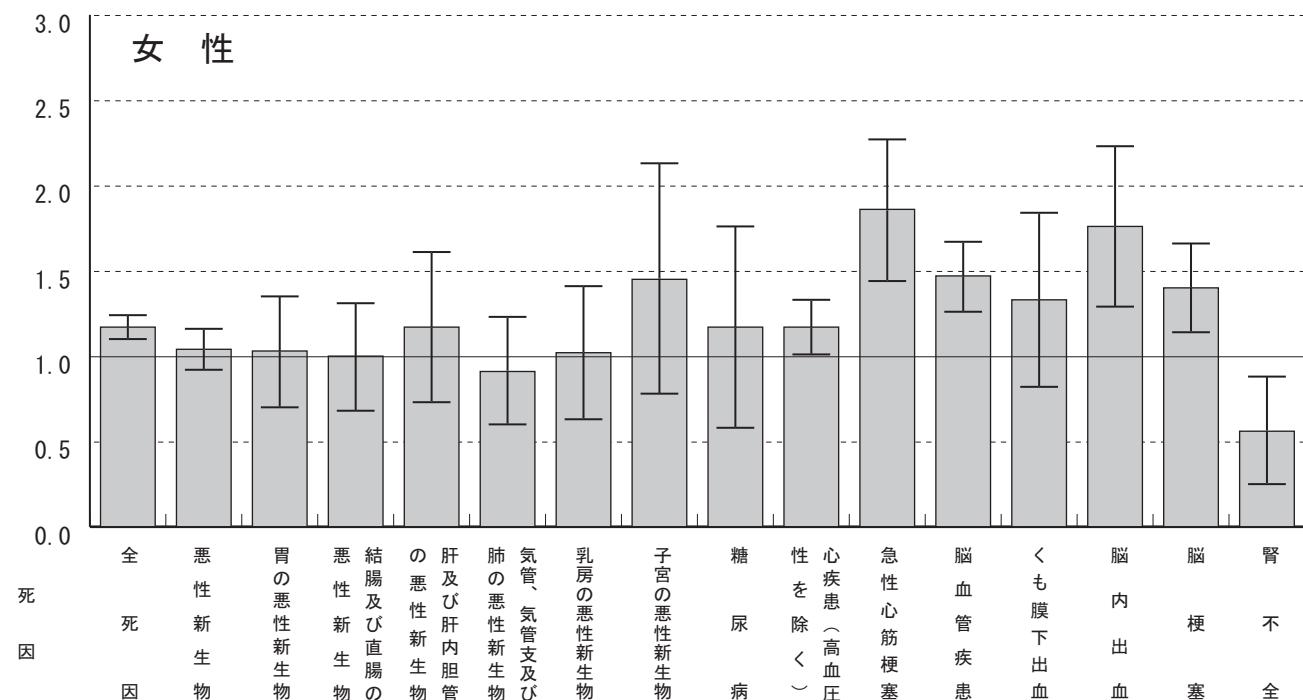


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目								
経年に下降傾向にある項目				○				
県と比較して経年に高い項目	○	○	○	○	○			
県と比較して経年に低い項目							○	○

鹿嶋市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.15	1483	○	
死 亡 数	1.08	495		
全死因	1.14	87		
悪性新生物	1.22	64		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.11	62		
肝及び肝内胆管	0.99	102		
肺の悪性新生物	1.80	30	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.28	230	○	
糖尿病	2.51	141	○	
性を除く	1.41	190	○	
心疾患(高血圧)	1.28	18		
急性心筋梗塞	1.22	52		
脳血管疾患	1.51	112	○	
くも膜下出血	1.41	21		
脳内出血	1.28			
脳梗塞	1.51			
腎不全	1.09			

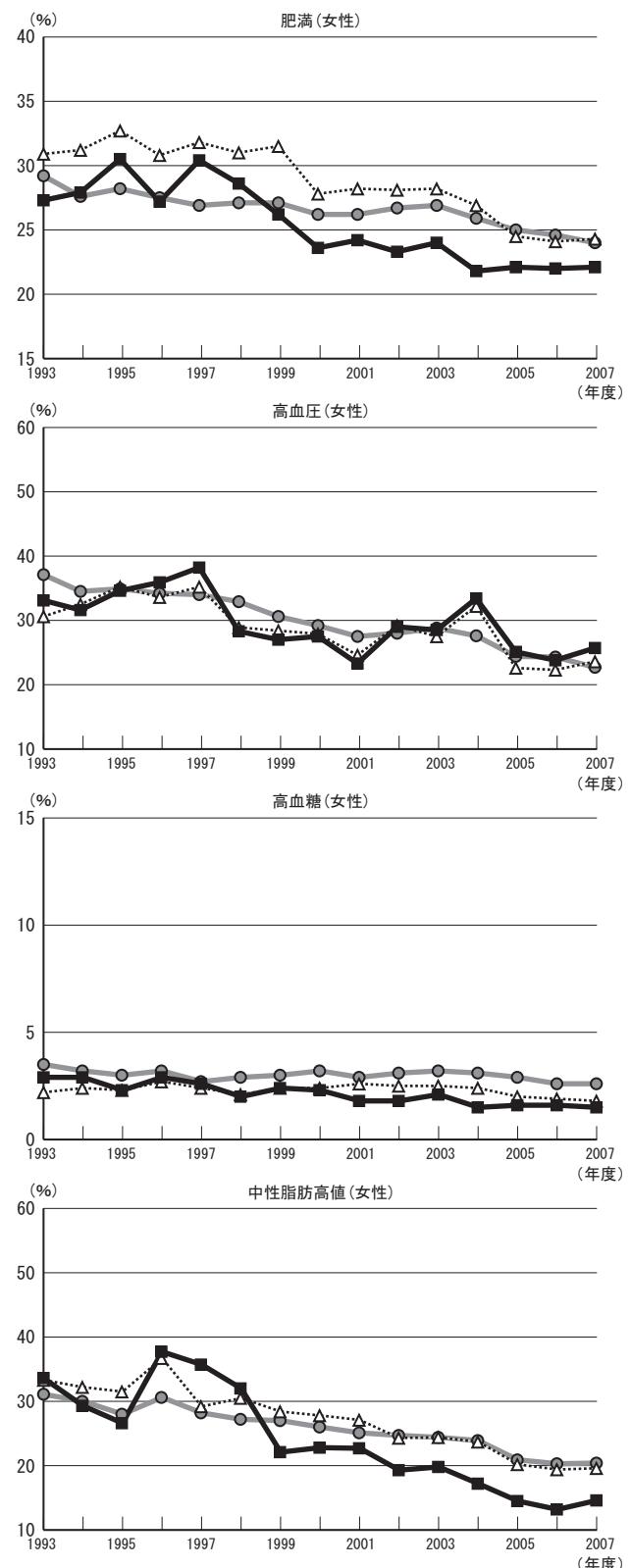
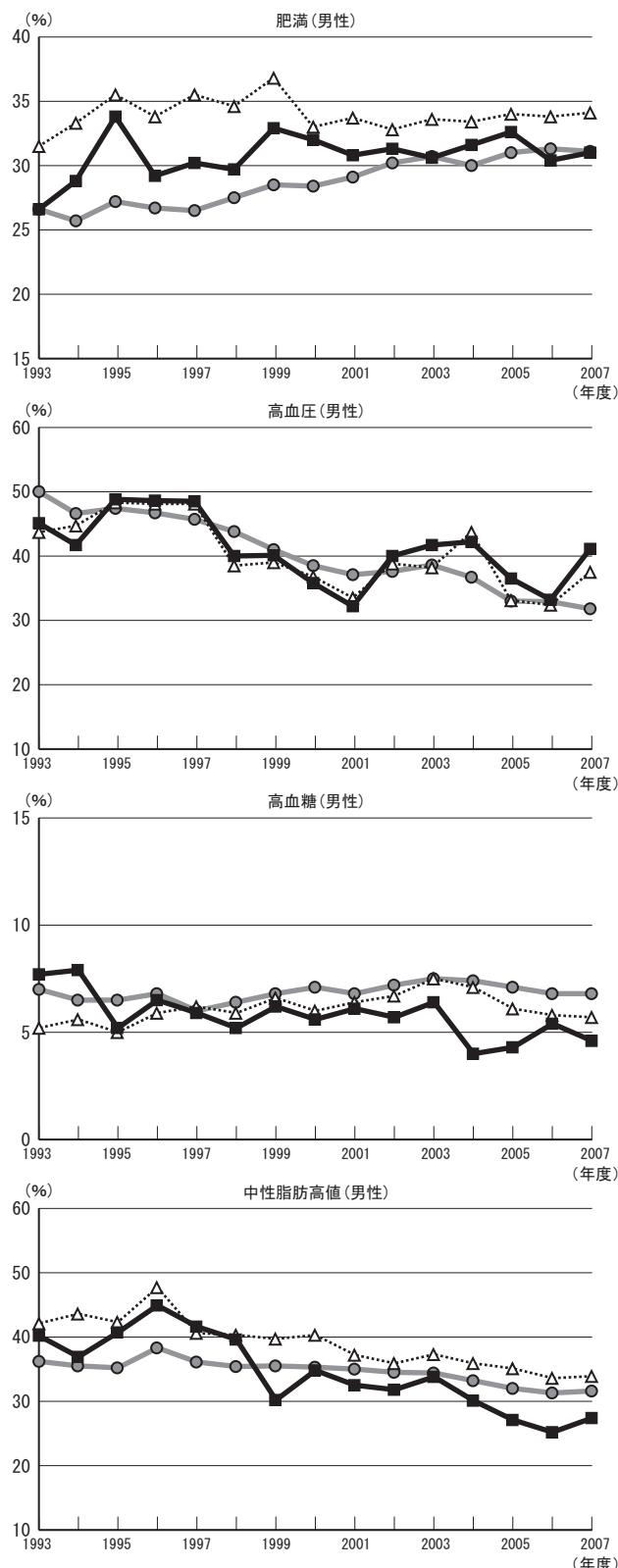


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.17	1161	○	
死 亡 数	1.04	288		
全死因	1.03	38		
悪性新生物	1.00	39		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.17	27		
肝及び肝内胆管	0.91	32		
肺の悪性新生物	1.02	26		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.45	18		
乳房の悪性新生物	1.17	15		
子宮の悪性新生物	1.17	200	○	
糖尿病	1.86	76	○	
性を除く	1.47	196	○	
心疾患(高血圧)	1.33	26	○	
急性心筋梗塞	1.76	53	○	
脳血管疾患	1.40	112	○	
くも膜下出血	0.56			
脳内出血	1.40			
脳梗塞	0.56			
腎不全	0.56			

男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

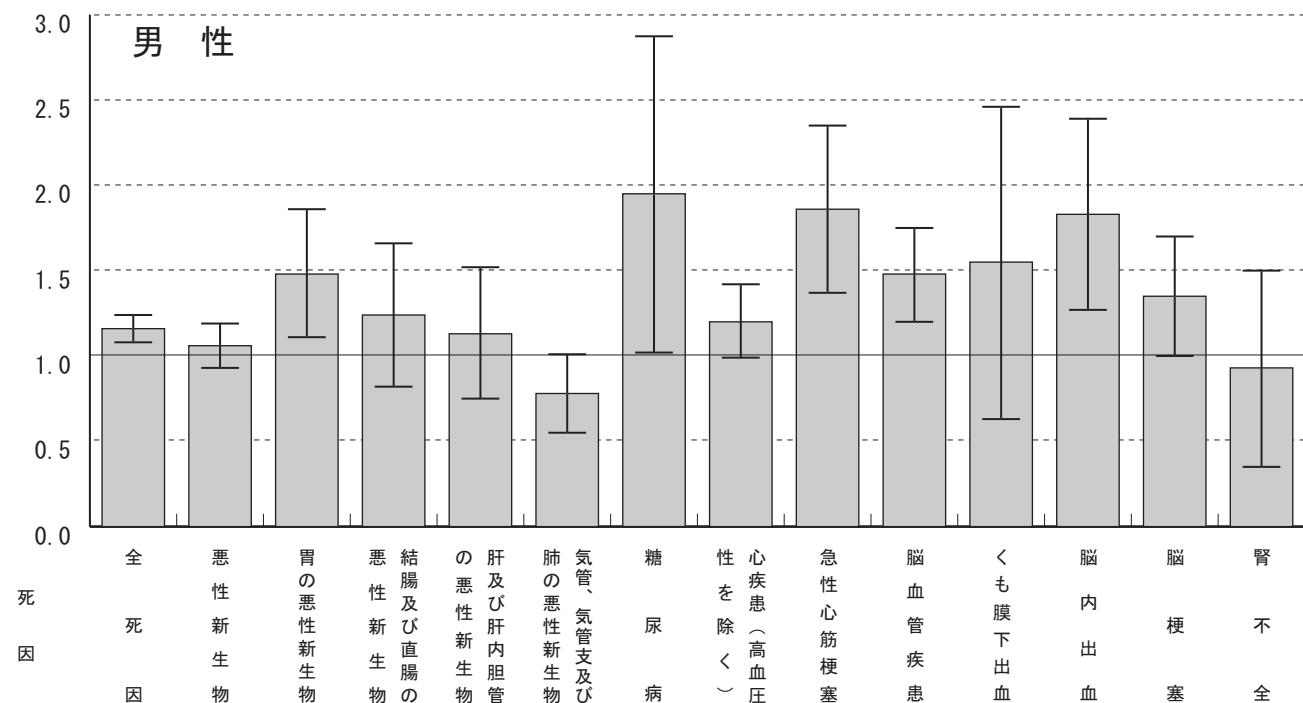
年齢調整有病率の経年度変化(潮来市)

凡例
 08:茨城県
 57:潮来保健所
 8223:潮来市

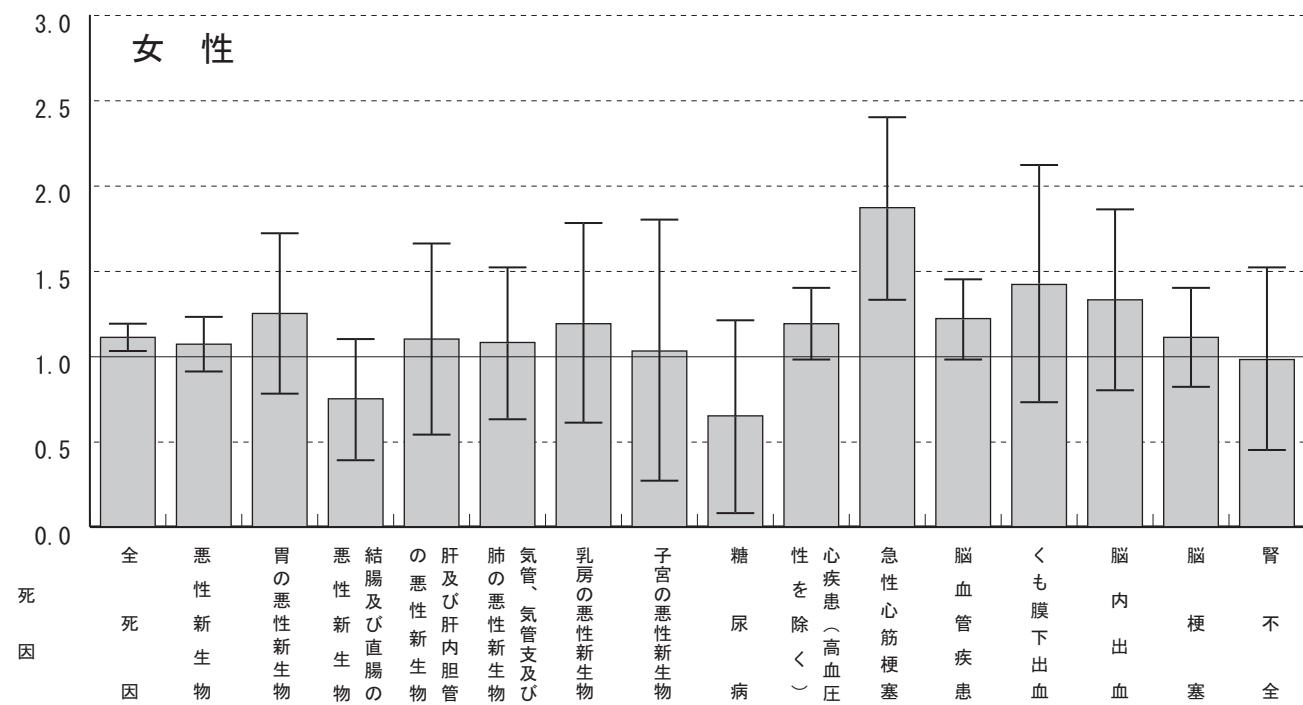


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目								
経年に下降傾向にある項目			○	○	○	○	○	○
県と比較して経年に高い項目	○							
県と比較して経年に低い項目		○		○	○	○	○	○

潮来市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.16	805	○	
死 亡 数	1.06	257	○	
全国に比べて有意に高い	1.48	60		
全国に比べて有意に低い	1.24	34		
	1.13	33		
	0.78	43		
	1.95	17	○	
	1.20	117	○	
	1.86	56	○	
	1.48	109	○	
	1.55	11		
	1.83	41		
	1.35	57		
	0.93	10		

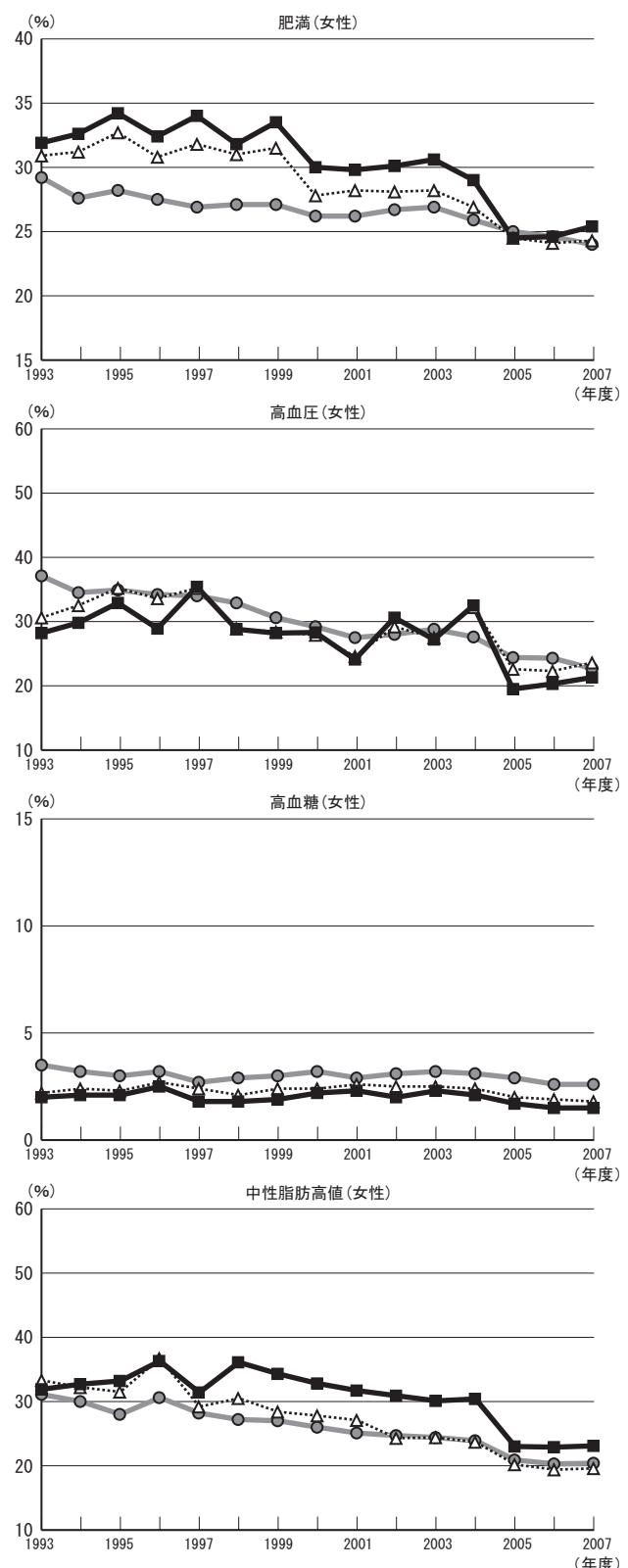
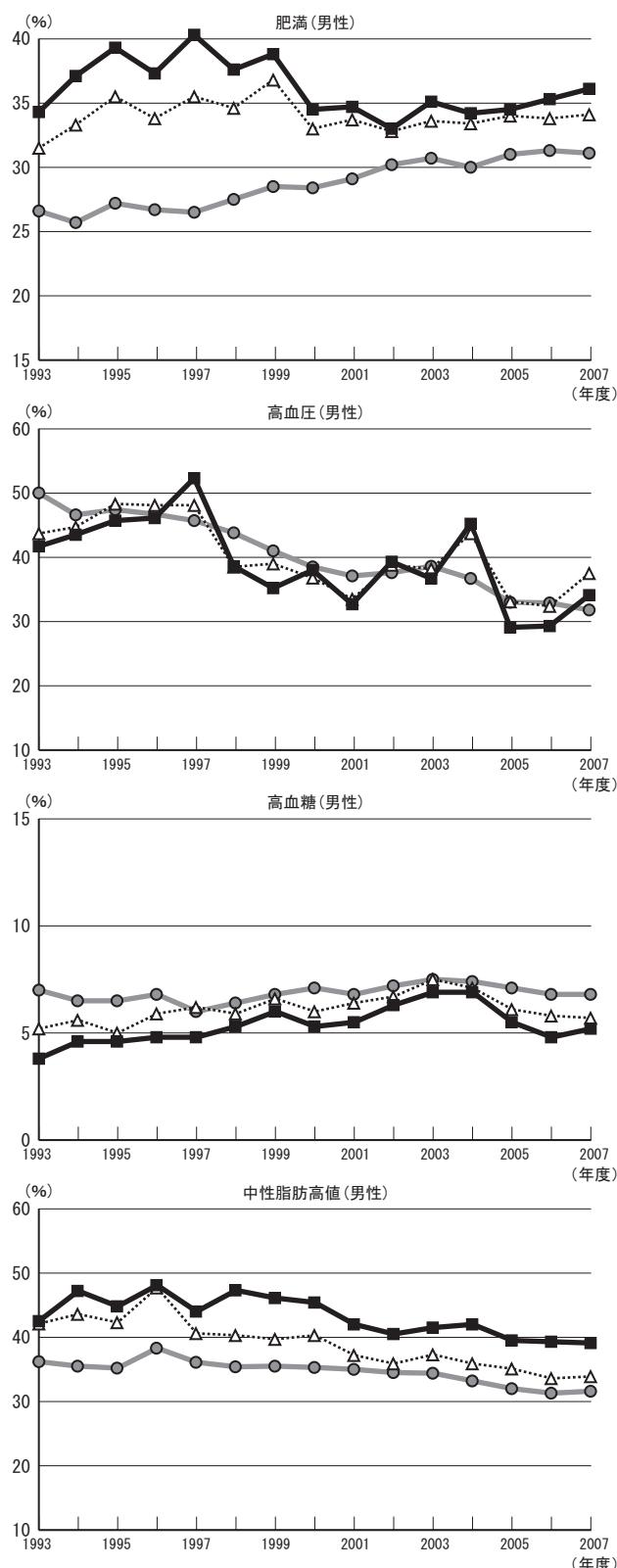


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.11	663	○	
死 亡 数	1.07	170		
全国に比べて有意に高い	1.25	27		
全国に比べて有意に低い	0.75	17		
	1.10	15		
	1.08	22		
	1.19	16		
	1.03	7		
	0.65	5		
	1.19	126	○	
	1.87	47		
	1.22	100		
	1.42	16		
	1.33	24		
	1.11	56		
	0.98	13		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。男性では脳血管疾患の死亡率も高く、女性でも高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

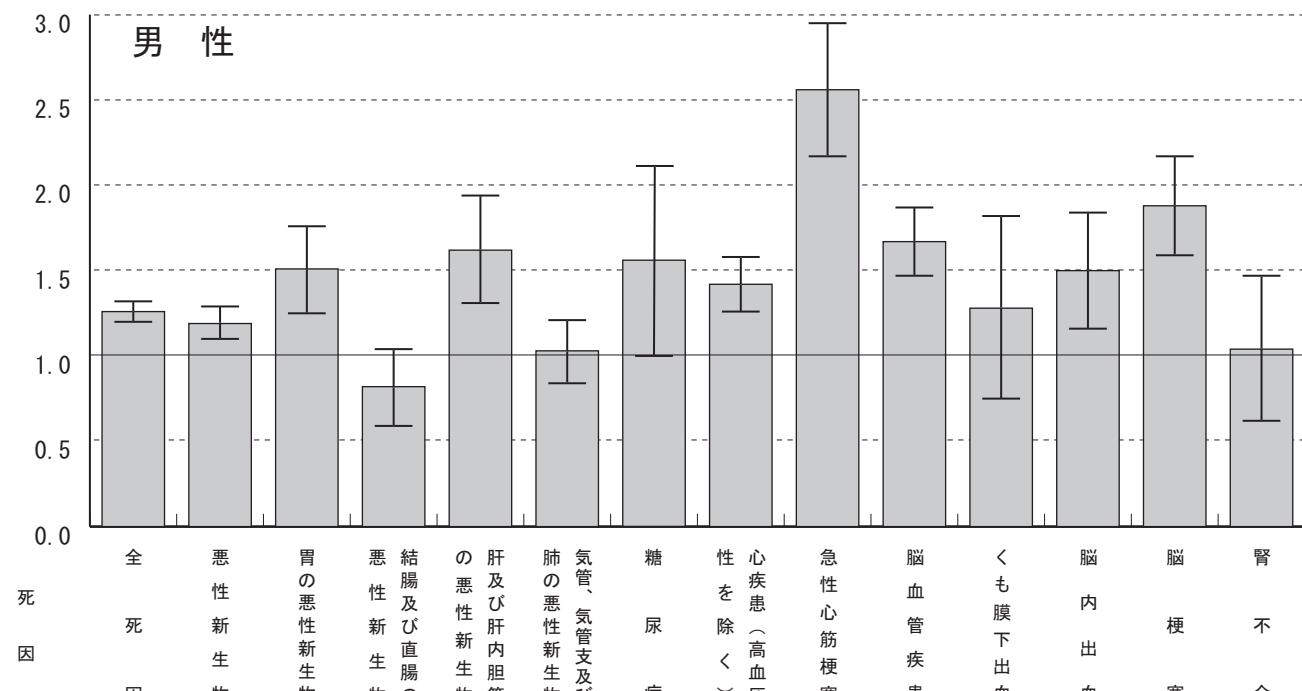
年齢調整有病率の経年度変化(神栖市)

凡例
 08:茨城県
 57:潮来保健所
 8232:神栖市

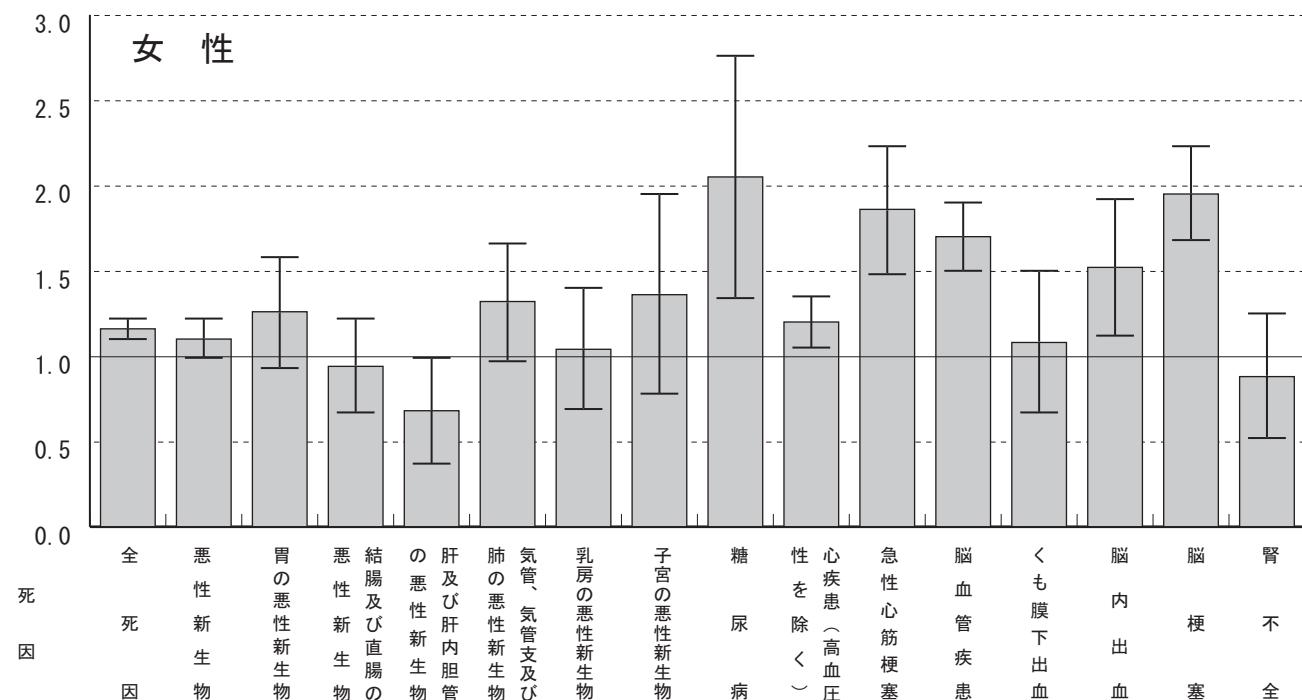


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目								
経年的に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目	○	○					○	○
県と比較して経年的に低い項目			○	○	○	○		

神栖市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.26	1900	○	
死 亡 数	1.19	627	○	
全死因	1.51	132	○	
悪性新生物	0.82	49		
胃の悪性新生物	1.62	104		
悪性新生物の腸及び直腸の	1.03	121	○	
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.56	30	○	
肺の悪性新生物	1.42	297	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	2.56	167	○	
糖尿病	1.67	261		
心疾患(高血圧)を除く	1.28	22	○	
急性心筋梗塞	1.50	75	○	
脳血管疾患	1.88	160		
くも膜下出血	1.04	23	○	
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

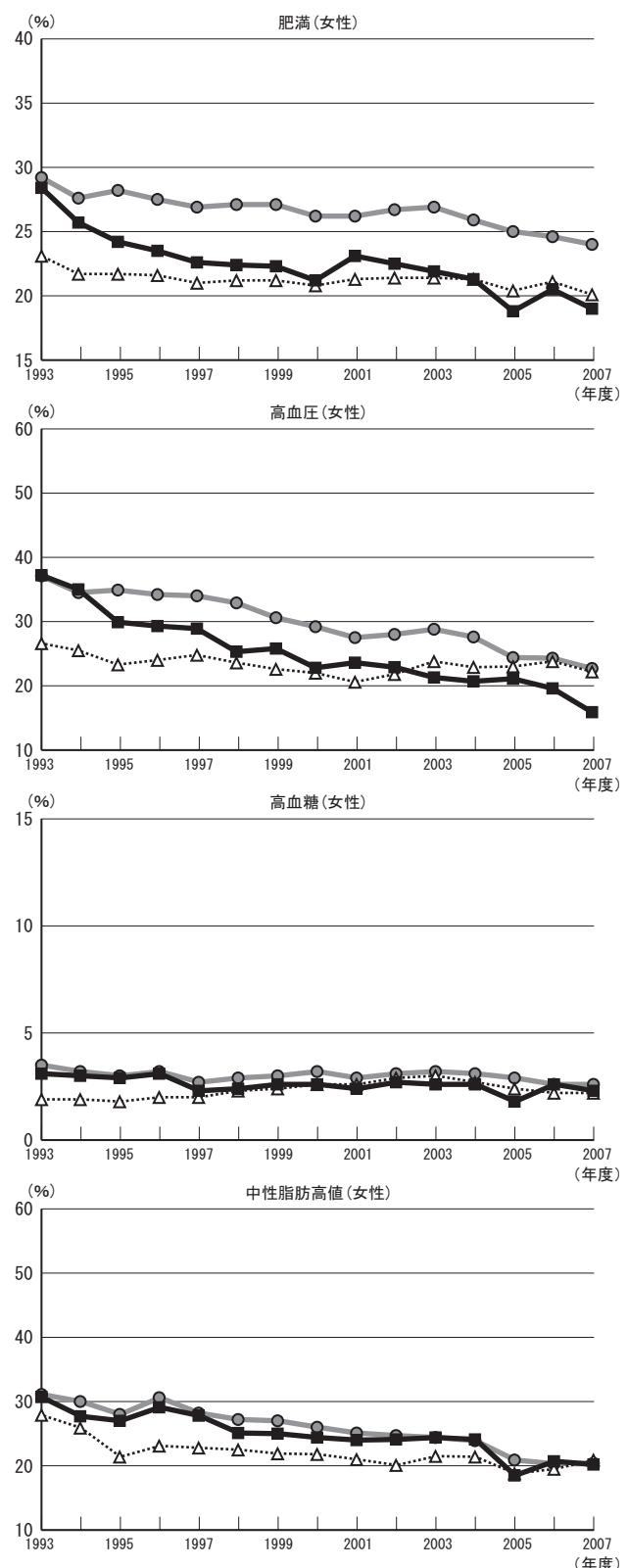
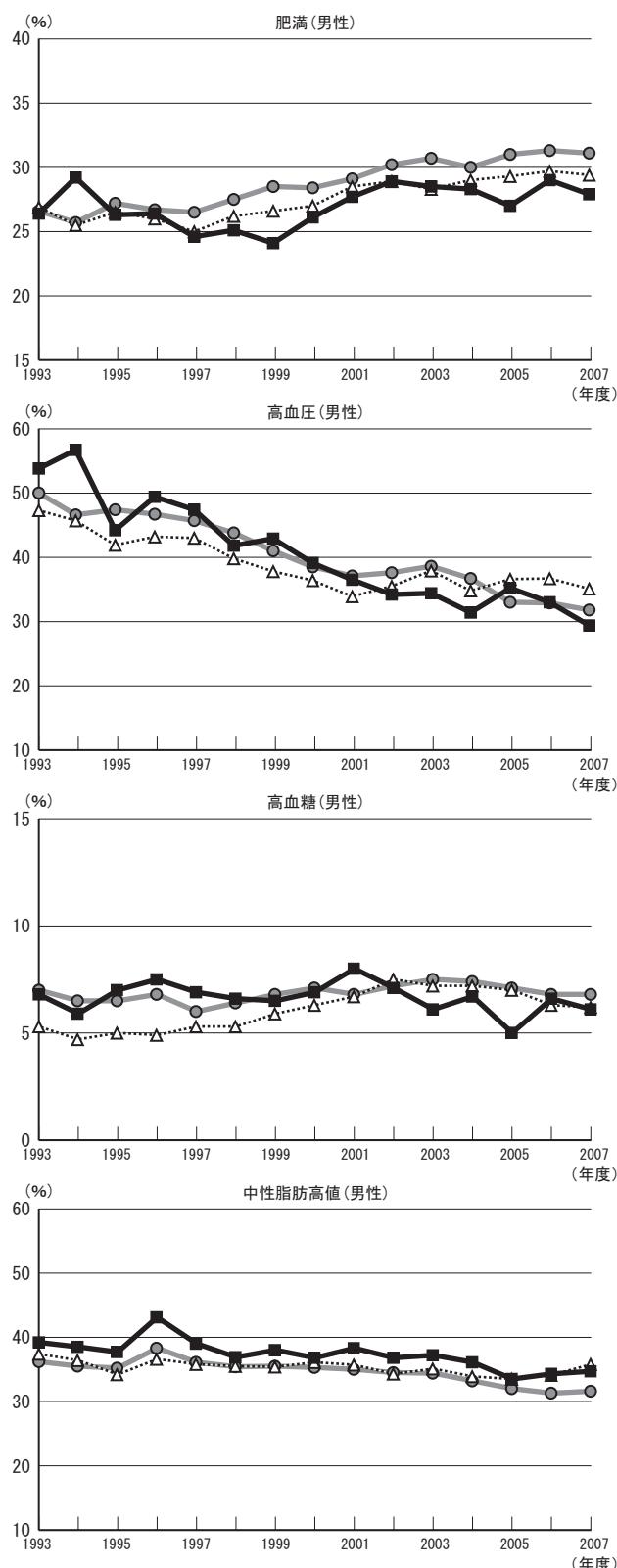


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.16	1420	○	
死 亡 数	1.10	372		
全死因	1.26	57		
悪性新生物	0.94	45		
胃の悪性新生物	0.68	19	○	
悪性新生物の腸及び直腸の	1.32	56		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.04	33		
肺の悪性新生物	1.36	21	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	2.05	32	○	
乳房の悪性新生物	1.20	251	○	
子宮の悪性新生物	1.86	93	○	
糖尿病	1.70	279	○	
心疾患(高血圧)を除く	1.08	26	○	
急性心筋梗塞	1.52	56	○	
脳血管疾患	1.95	192	○	
くも膜下出血	0.88	23		
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

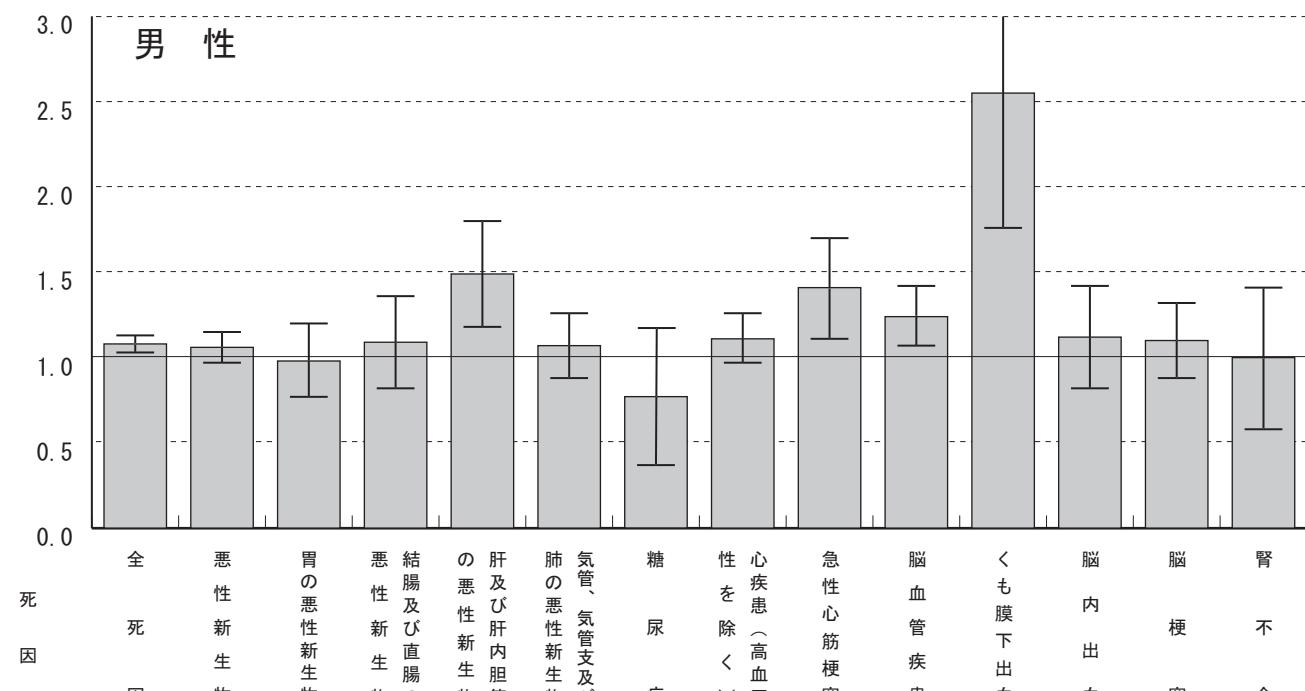
年齢調整有病率の経年度変化(龍ヶ崎市)

凡例
 08:茨城県
 58:竜ヶ崎保健所
 8208:龍ヶ崎市

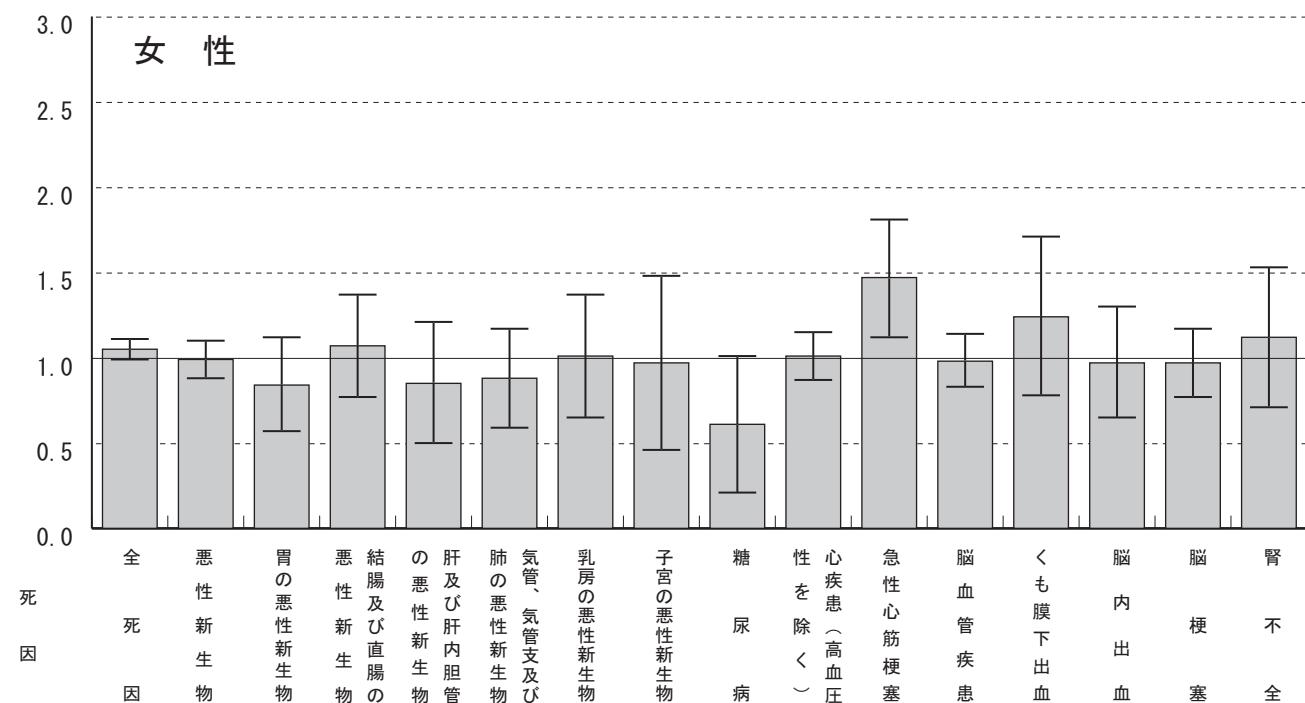


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目								
経年的に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目								○
県と比較して経年的に低い項目	○	○	○	○	○	○	○	○

龍ヶ崎市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.08	1563	○	
死 亡 数	1.06	529		
全国に比べて有意に高い	0.98	82	○	
全国に比べて有意に低い	1.09	62		
死 亡 数	1.49	89		
標準化死亡比	1.07	120		
死 亡 数	0.77	14		
全国に比べて有意に高い	1.11	226	○	
全国に比べて有意に低い	1.41	88	○	
死 亡 数	1.24	190	○	
標準化死亡比	2.55	40		
死 亡 数	1.12	53		
全国に比べて有意に高い	1.10	94		
全国に比べて有意に低い	1.00	22		

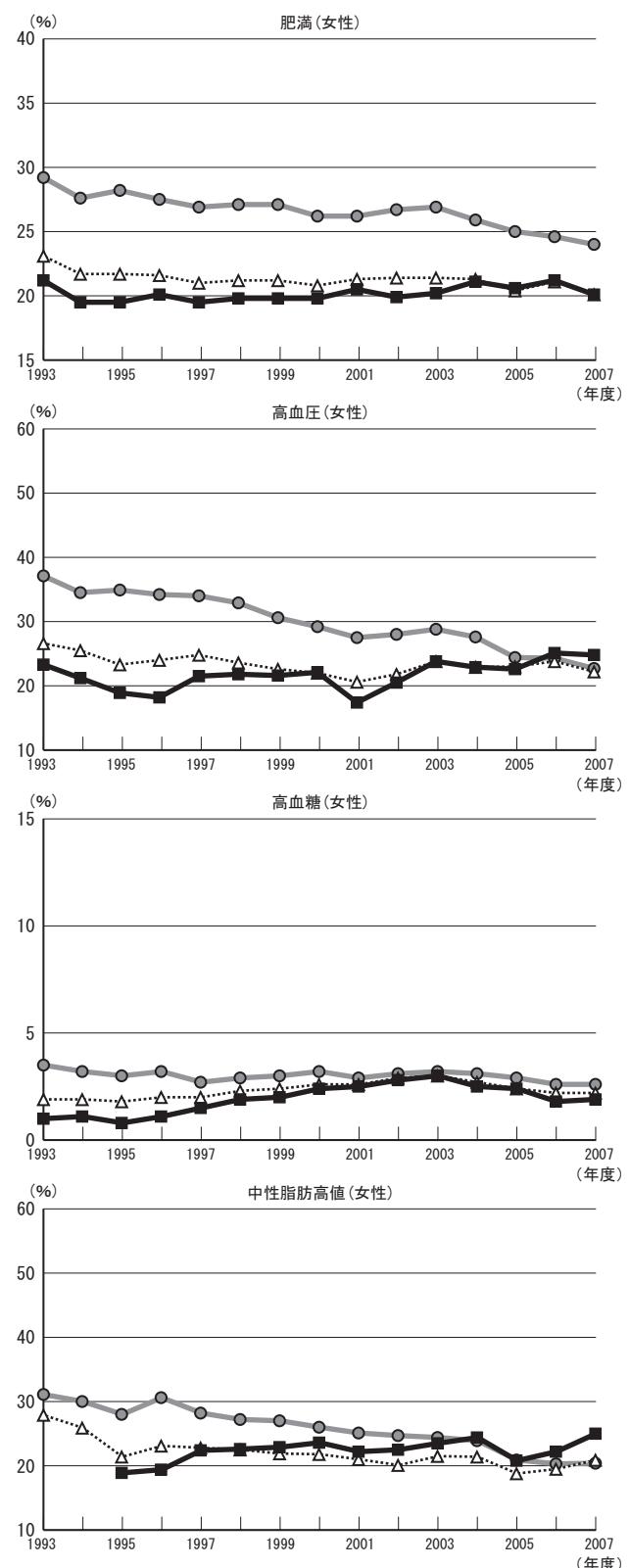
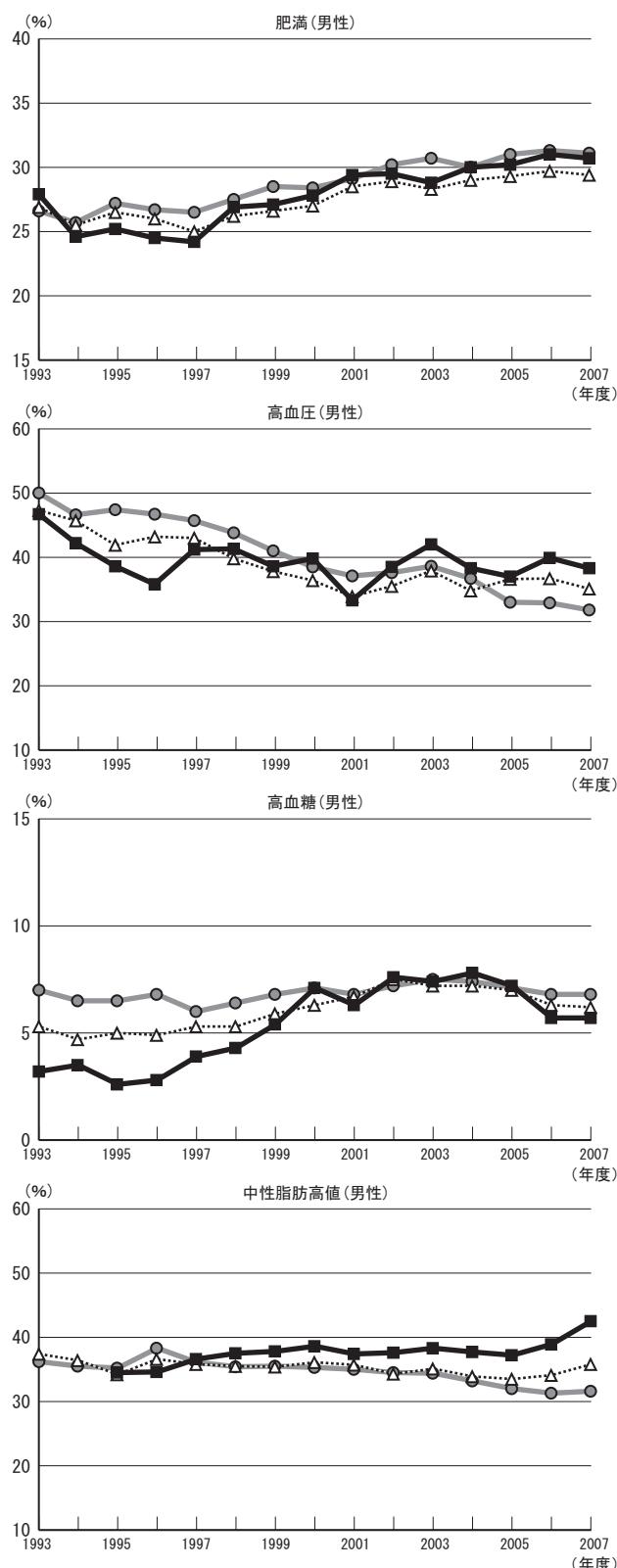


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.05	1216	○	
死 亡 数	0.99	313		
全国に比べて有意に高い	0.84	36		
全国に比べて有意に低い	1.07	48		
死 亡 数	0.85	22		
標準化死亡比	0.88	35		
死 亡 数	1.01	30		
全国に比べて有意に高い	0.97	14		
全国に比べて有意に低い	0.61	9		
死 亡 数	1.01	203		
標準化死亡比	1.47	70	○	
死 亡 数	0.98	154		
全国に比べて有意に高い	1.24	28		
全国に比べて有意に低い	0.97	34		
死 亡 数	0.97	92		
標準化死亡比	1.12	28		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高く、男性では脳血管疾患の死亡率も高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性では、肝がんの死亡率が高く、肝炎ウイルス検診、腹部エコー検診の積極的な推進が求められる。

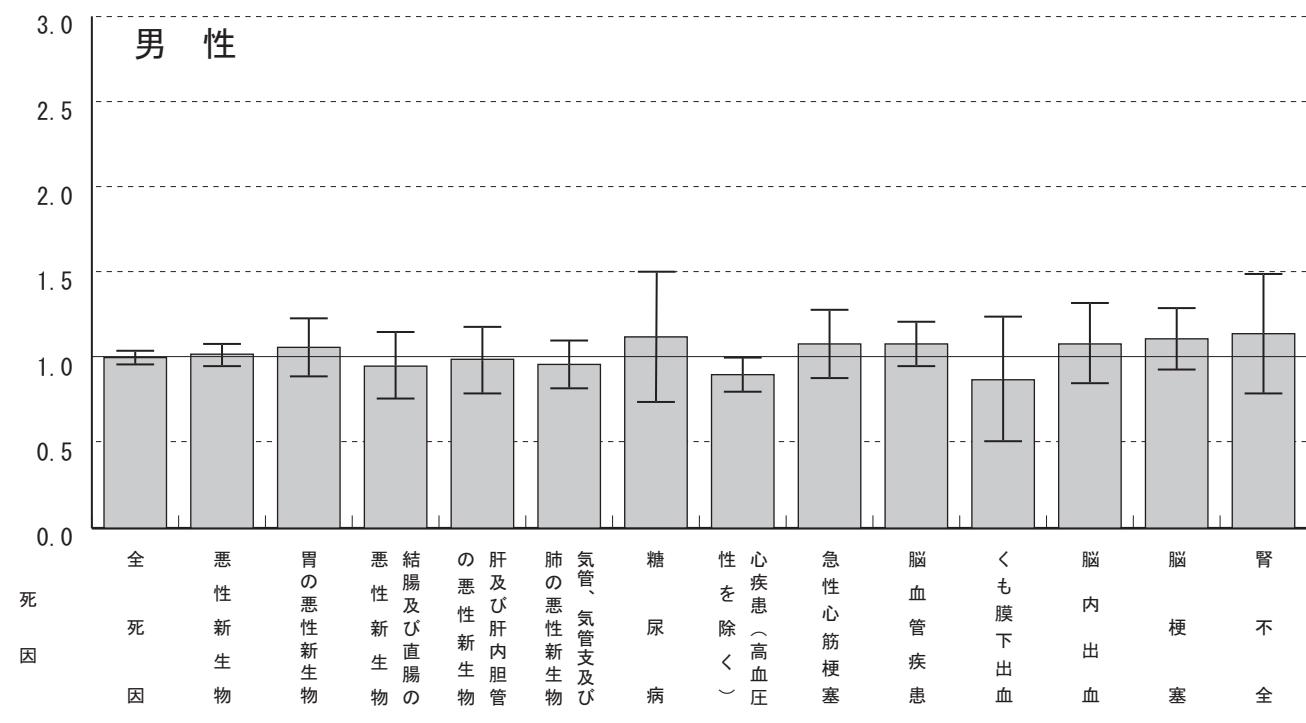
年齢調整有病率の経年度変化(取手市)

凡例
 08:茨城県
 58:竜ヶ崎保健所
 8217:取手市

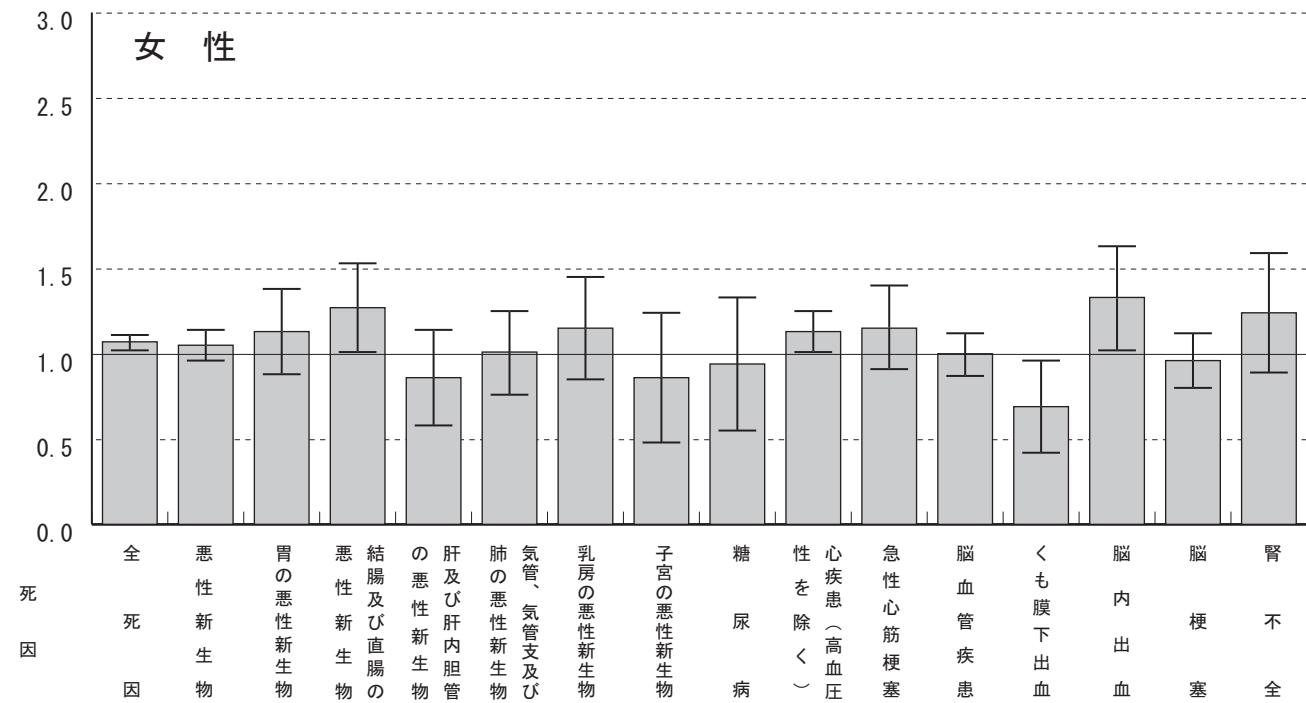


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○				○	○	○	○
経年的に下降傾向にある項目								
県と比較して経年的に高い項目							○	
県と比較して経年的に低い項目		○	○	○	○	○		○

取手市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数
標準化死亡比	1.00	2341
死 亡 数	848	148
全国に比べて有意に高い		
全国に比べて有意に低い		

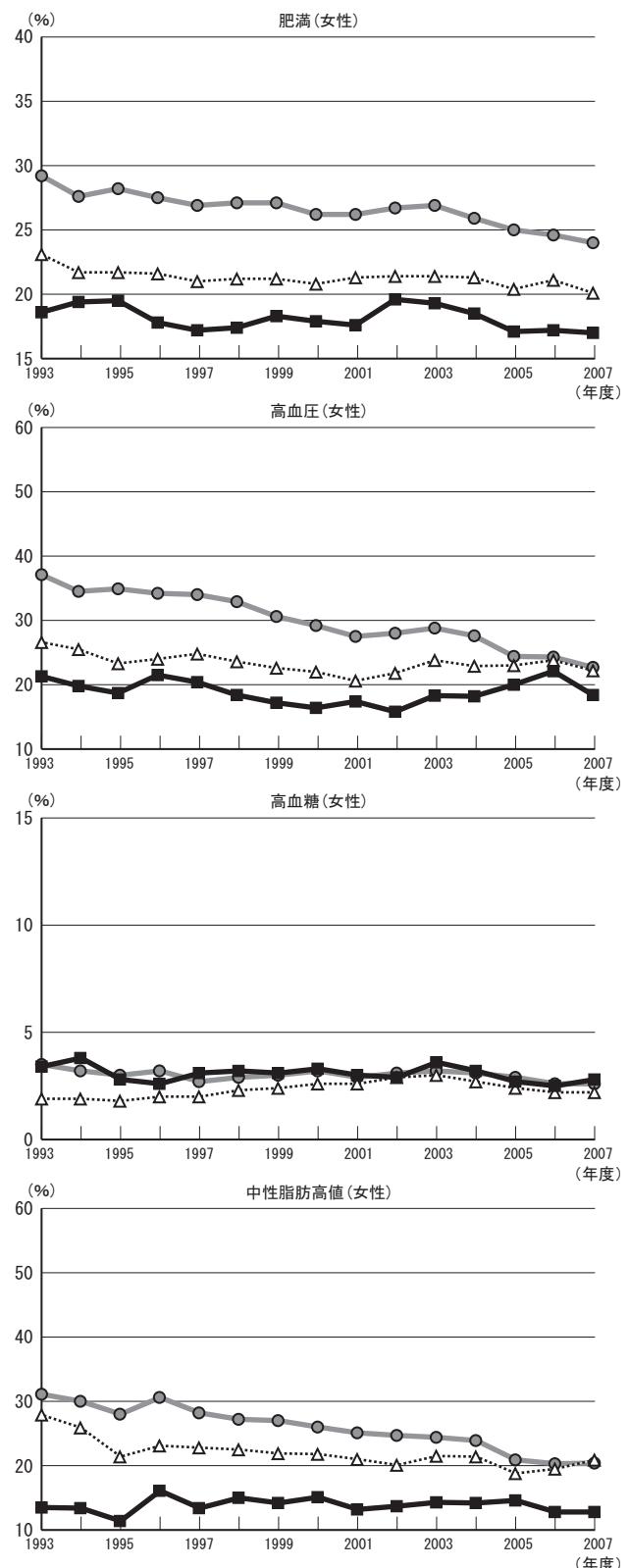
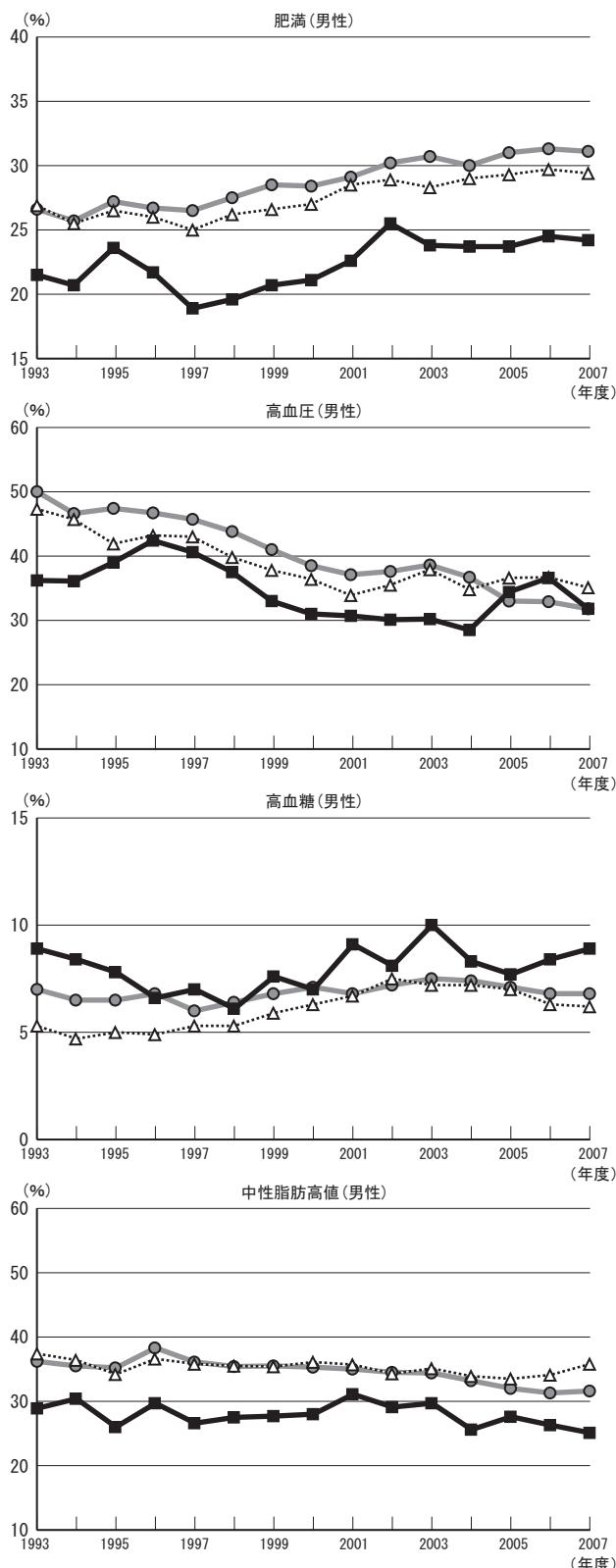


	標準化死亡比	死 亡 数
標準化死亡比	1.07	1941
死 亡 数	536	77
全国に比べて有意に高い	○	○
全国に比べて有意に低い		

循環器関連の死亡率は、女性で心疾患の死亡率が高いことを除けば、ほぼ全国並み。今後とも、高血圧対策の推進や男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、女性では、大腸がんの死亡率が高く、大腸がん検診の積極的な推進が求められる。

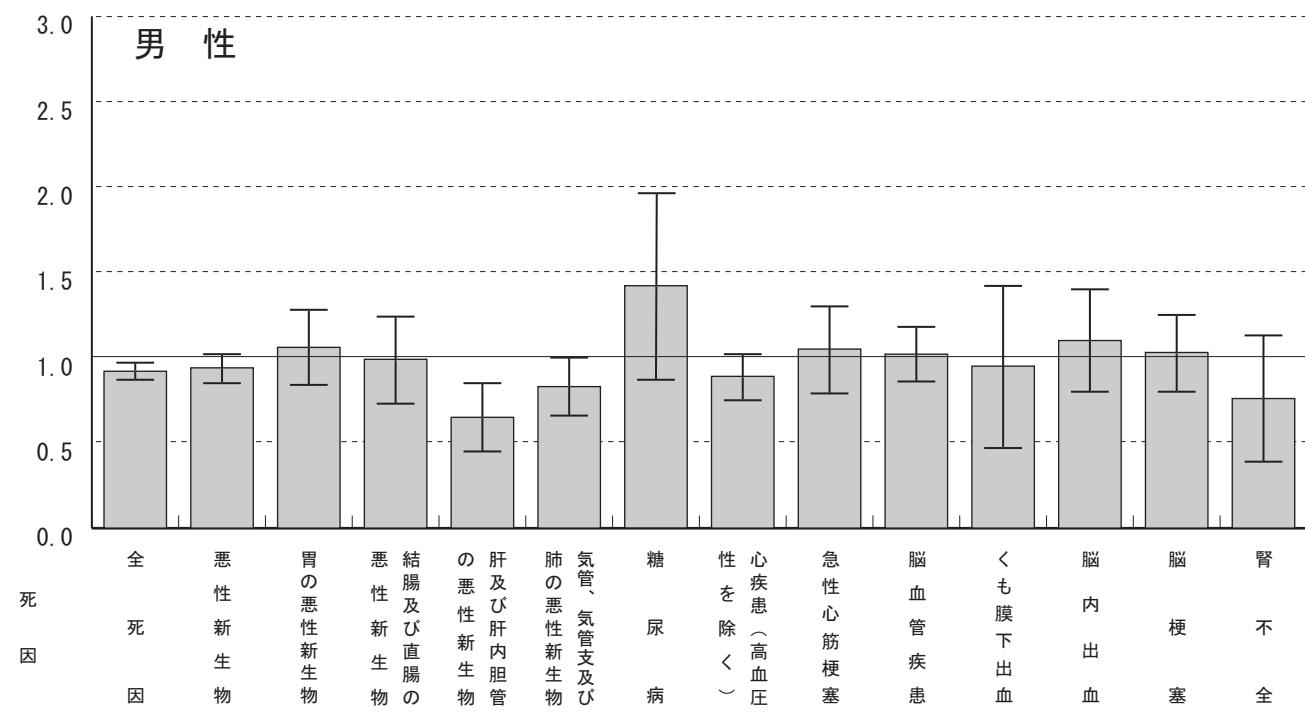
年齢調整有病率の経年度変化(牛久市)

凡例
 08:茨城県
 58:竜ヶ崎保健所
 8219:牛久市

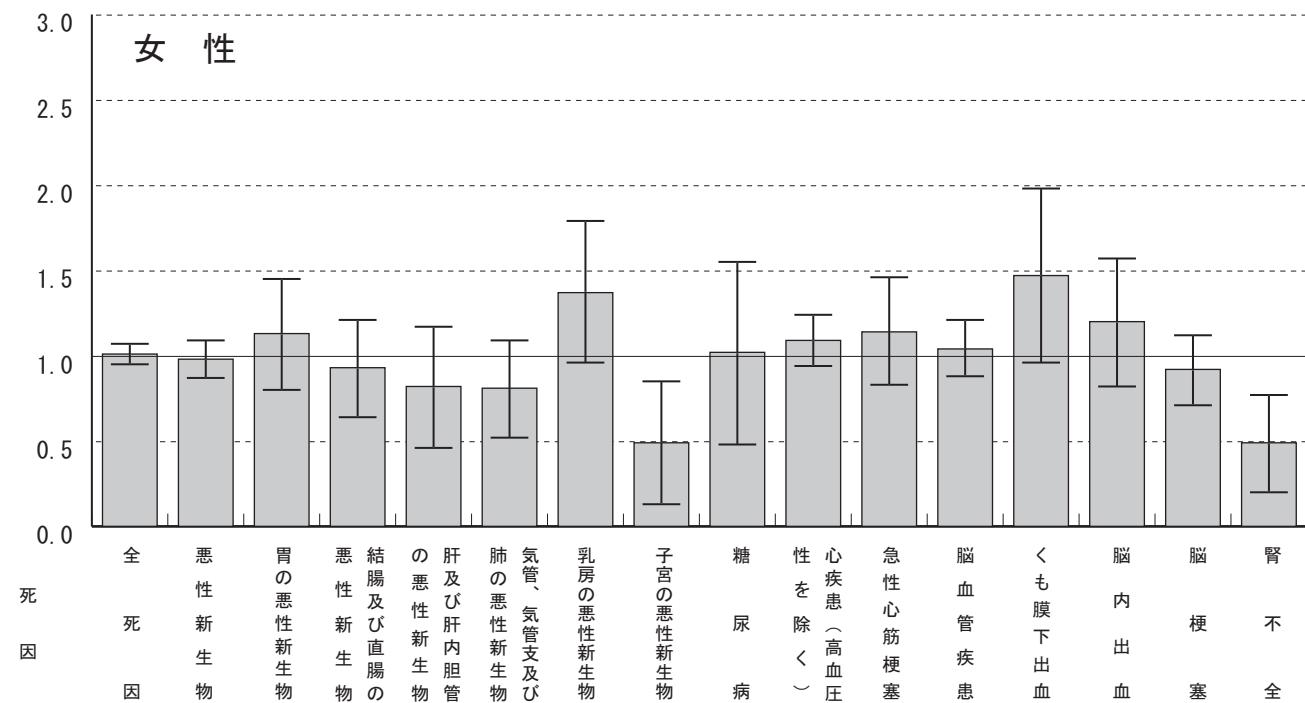


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○							
経年的に下降傾向にある項目			○					
県と比較して経年的に高い項目					○			
県と比較して経年的に低い項目	○	○	○	○	○	○	○	○

牛久市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.92	1308		
死 亡 数	0.94	471		
全死因	1.06	89		
悪性新生物	0.99	57		
結腸及び直腸の悪性新生物	0.65	40		○
肝及び肝内胆管	0.83	93		○
肺の悪性新生物	1.42	26		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.89	176		
糖尿病	1.05	65		
性を除く	0.89	151		
心疾患(高血圧)	1.02	15		
急性心筋梗塞	0.95	52		
脳血管疾患	1.10	83		
くも膜下出血	1.10	16		
脳内出血	1.03			
脳梗塞	1.20			
腎不全	0.76			

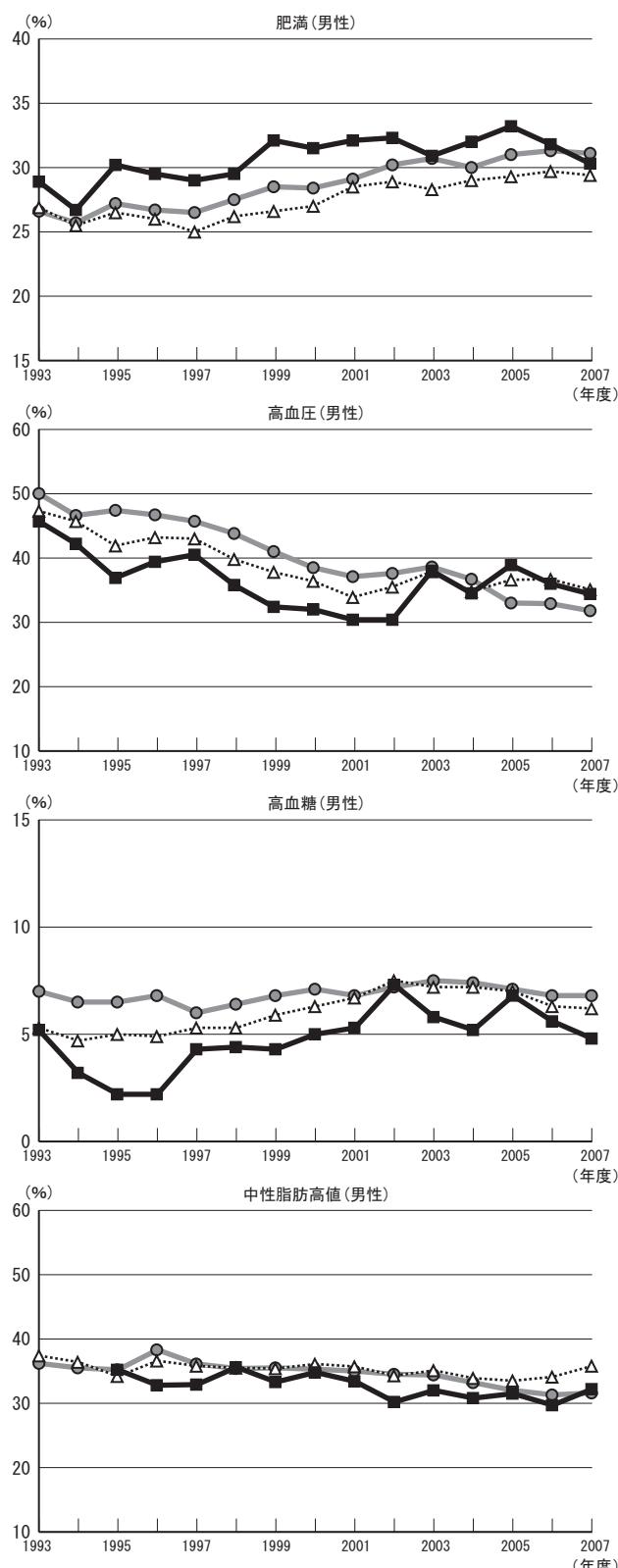


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.01	1093		
死 亡 数	0.98	300		
全死因	1.13	46		
悪性新生物	0.93	40		
結腸及び直腸の悪性新生物	0.82	20		
肝及び肝内胆管	0.81	31		
肺の悪性新生物	1.37	42		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.49	7		○
乳房の悪性新生物	1.02	14		
子宮の悪性新生物	1.09	200		
糖尿病	1.14	50		
性を除く	1.04	150		
心疾患(高血圧)	1.47	32		
急性心筋梗塞	1.20	39		
脳血管疾患	0.92	78		
くも膜下出血	0.49	11		○
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

男性では総死亡率が低い。今後とも、高血圧対策やがん検診などを継続していくことが重要である。また、男性での肥満対策も重要である。

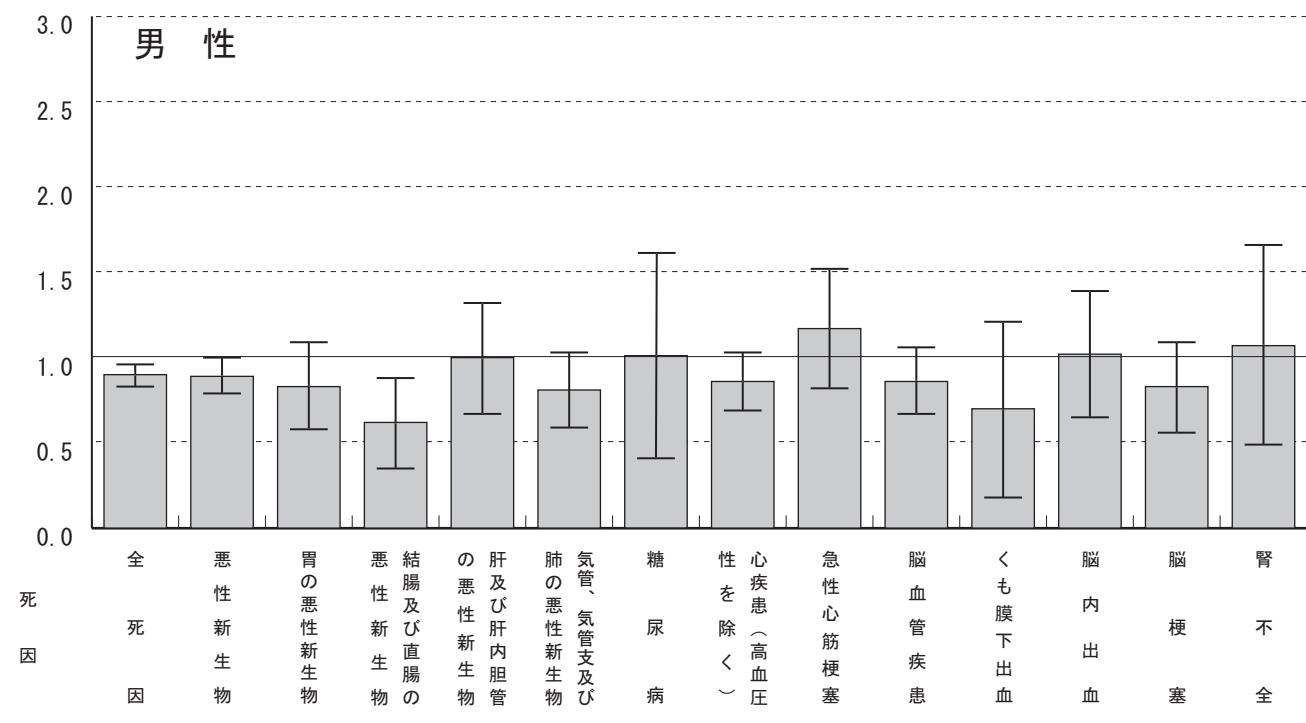
年齢調整有病率の経年度変化(守谷市)

凡例
 08:茨城県
 58:竜ヶ崎保健所
 8224:守谷市

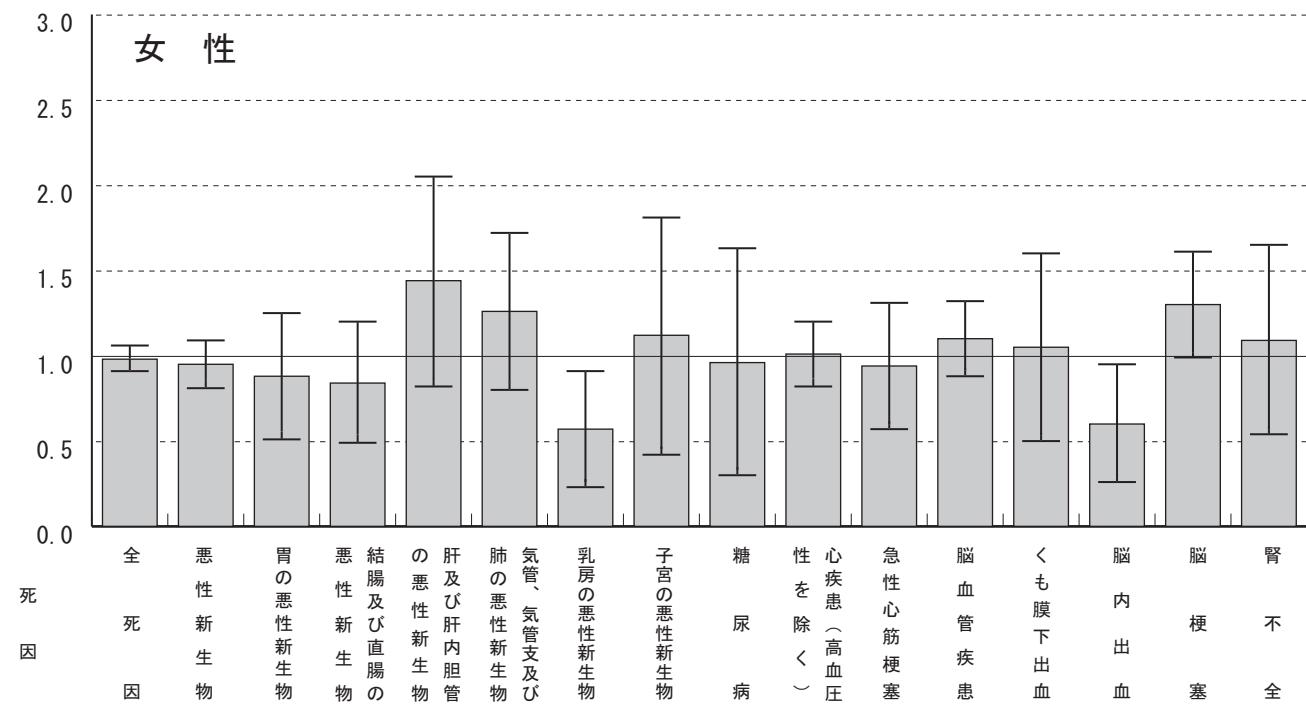


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○				○	○		
経年に下降傾向にある項目			○				○	
県と比較して経年に高い項目	○							
県と比較して経年に低い項目			○	○	○	○	○	○

守谷市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.90	761		○
死 亡 数	0.89	264		
	0.83	41		
	0.62	21		○
	1.00	36		
	0.81	53		
	1.01	11		
	0.86	101		
	1.17	43		
	0.86	75		
	0.70	7		
	1.02	29		
	0.83	38		
	1.07	13		

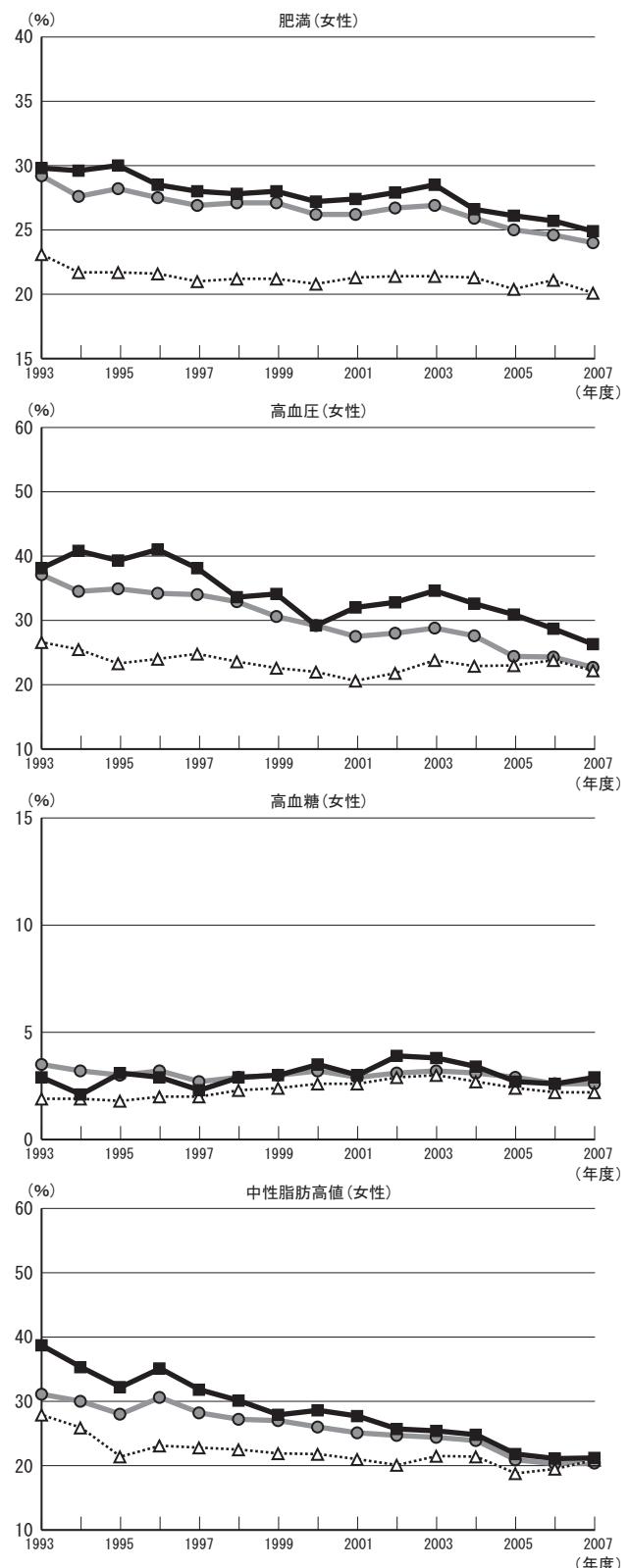
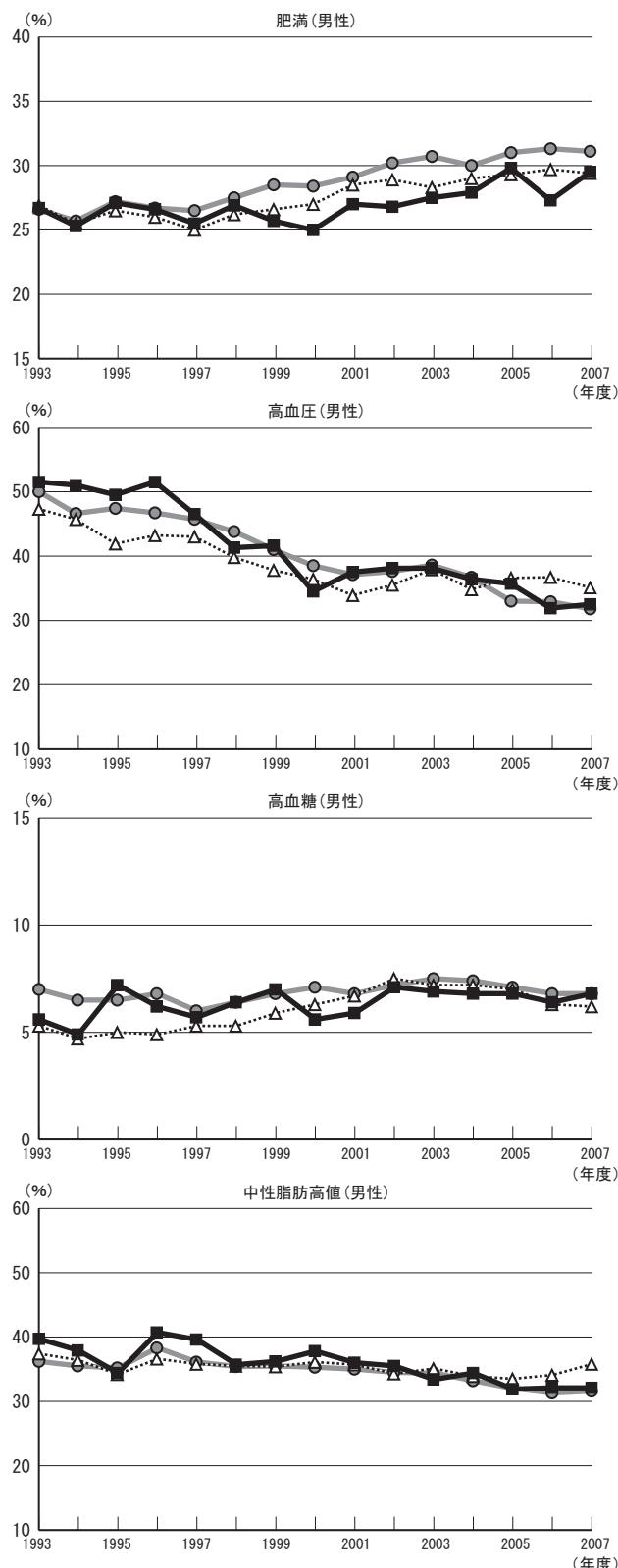


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.98	647		
死 亡 数	0.95	176		
	0.88	22		
	0.84	22		
	1.44	21		
	1.26	29		○
	0.57	11		
	1.12	10		
	0.96	8		
	1.01	112		
	0.94	25		
	1.10	96		
	1.05	14		○
	0.60	12		
	1.30	67		
	1.09	15		

死亡率はほぼ全国並み。今後とも、高血圧対策の推進や男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

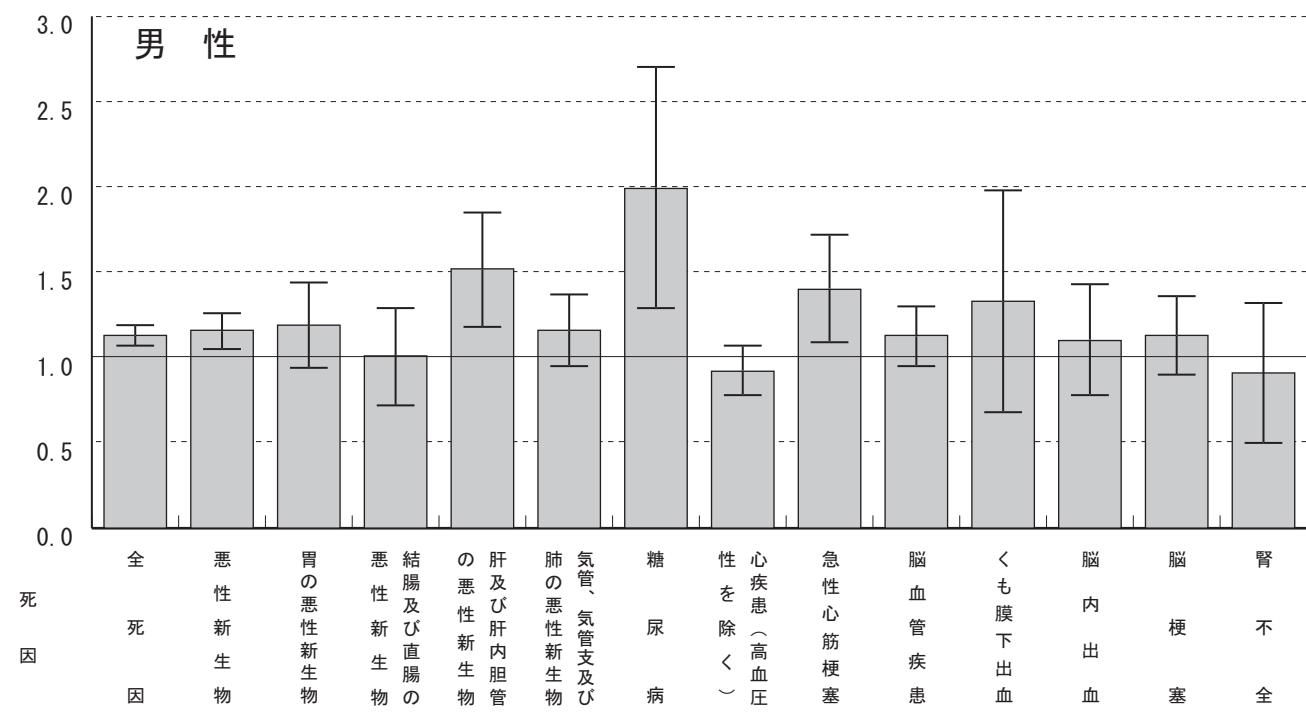
年齢調整有病率の経年度変化(稲敷市)

凡例
 08:茨城県
 58:竜ヶ崎保健所
 8229:稲敷市

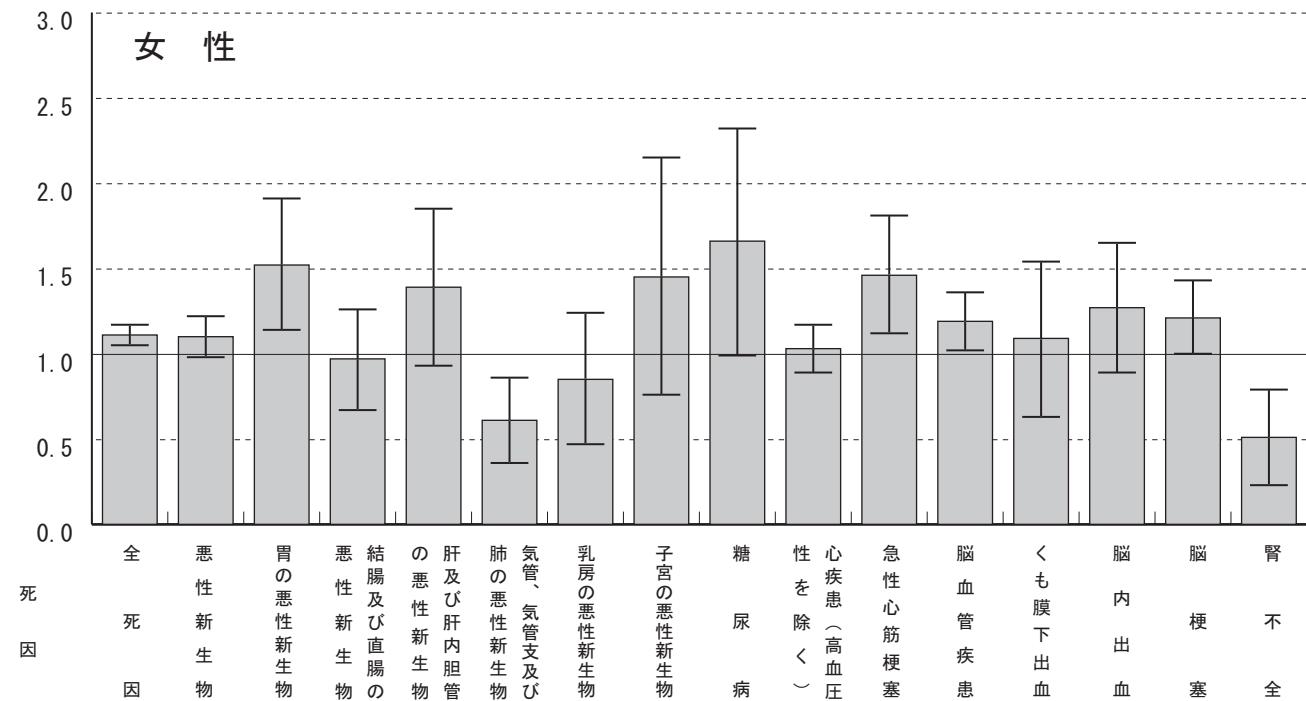


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目				○			○	○
県と比較して経年に低い項目	○				○			

稻敷市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.13	1430	○	
死 亡 数	1.16	501	○	
全国に比べて有意に高い	1.19	86		
全国に比べて有意に低い	1.01	49		
	1.52	77	○	
	1.16	116		
	1.99	31	○	
	0.92	166		
	1.40	77	○	
	1.13	156		
	1.33	16		
	1.10	44		
	1.13	94		
	0.91	19		

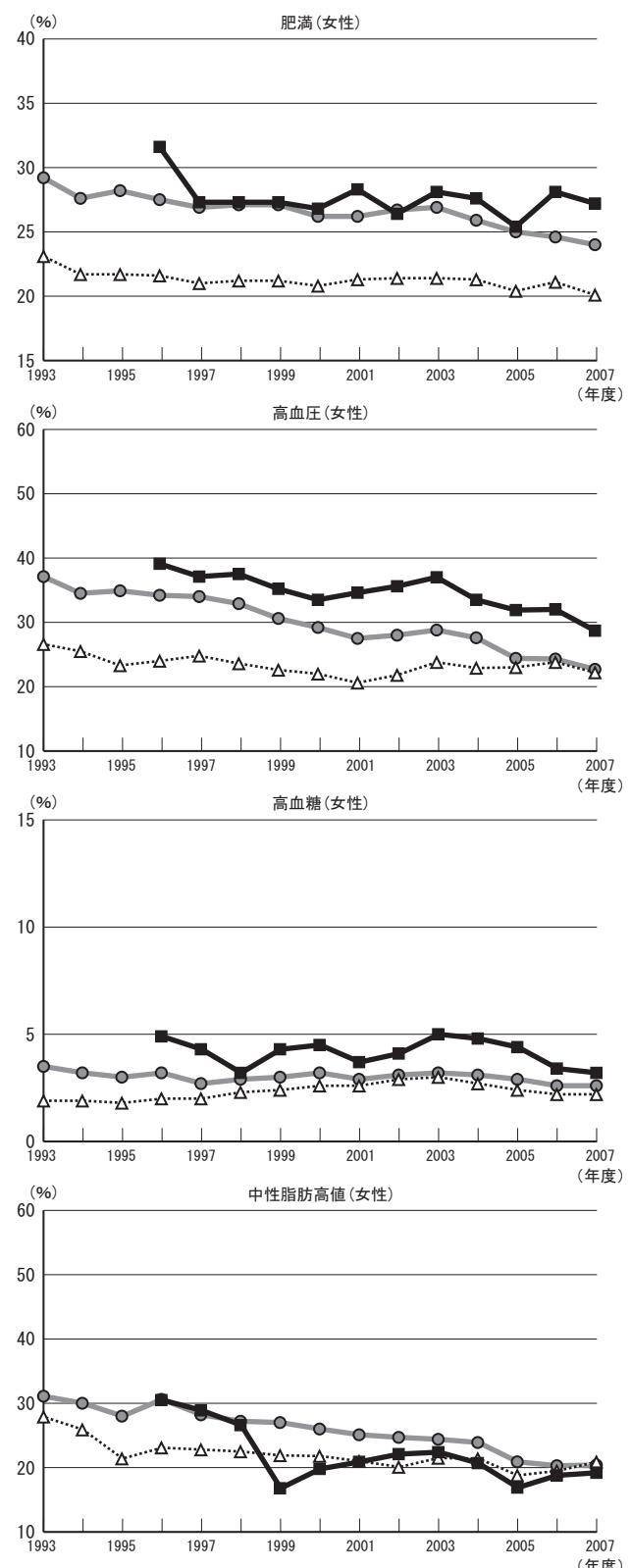
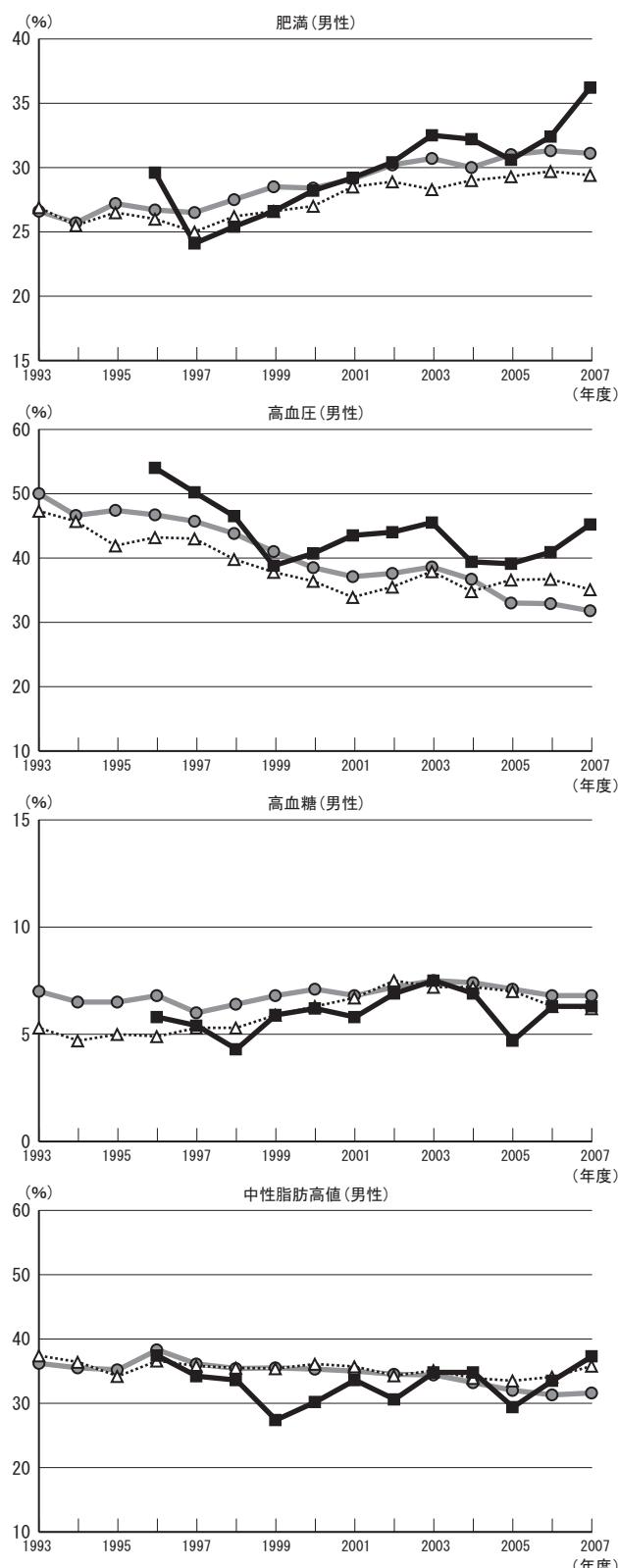


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.11	1243	○	
死 亡 数	1.10	316	○	
全国に比べて有意に高い	1.52	60		
全国に比べて有意に低い	0.97	40		
	1.39	35		
	0.61	23		○
	0.85	19		
	1.45	17		
	1.66	24		
	1.03	209		
	1.46	70	○	
	1.19	186	○	
	1.09	22		
	1.27	43		
	1.21	119		
	0.51	13		○

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。女性では脳血管疾患の死亡率も高く、男性でも高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性で肝がん、女性では胃がんの死亡率が高く、胃がん検診、肝炎ウイルス検診、腹部エコー検診の積極的な推進が求められる。

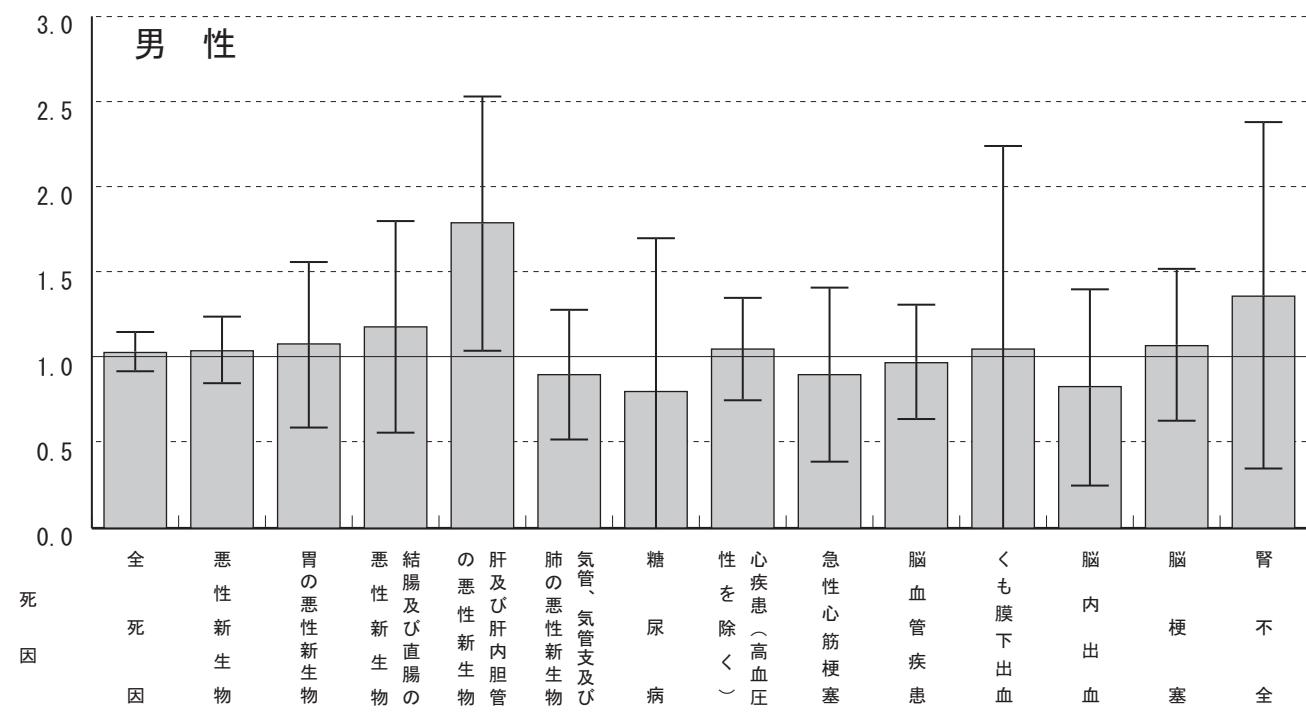
年齢調整有病率の経年度変化(河内町)

凡例
 08:茨城県
 58:竜ヶ崎保健所
 8208:河内町

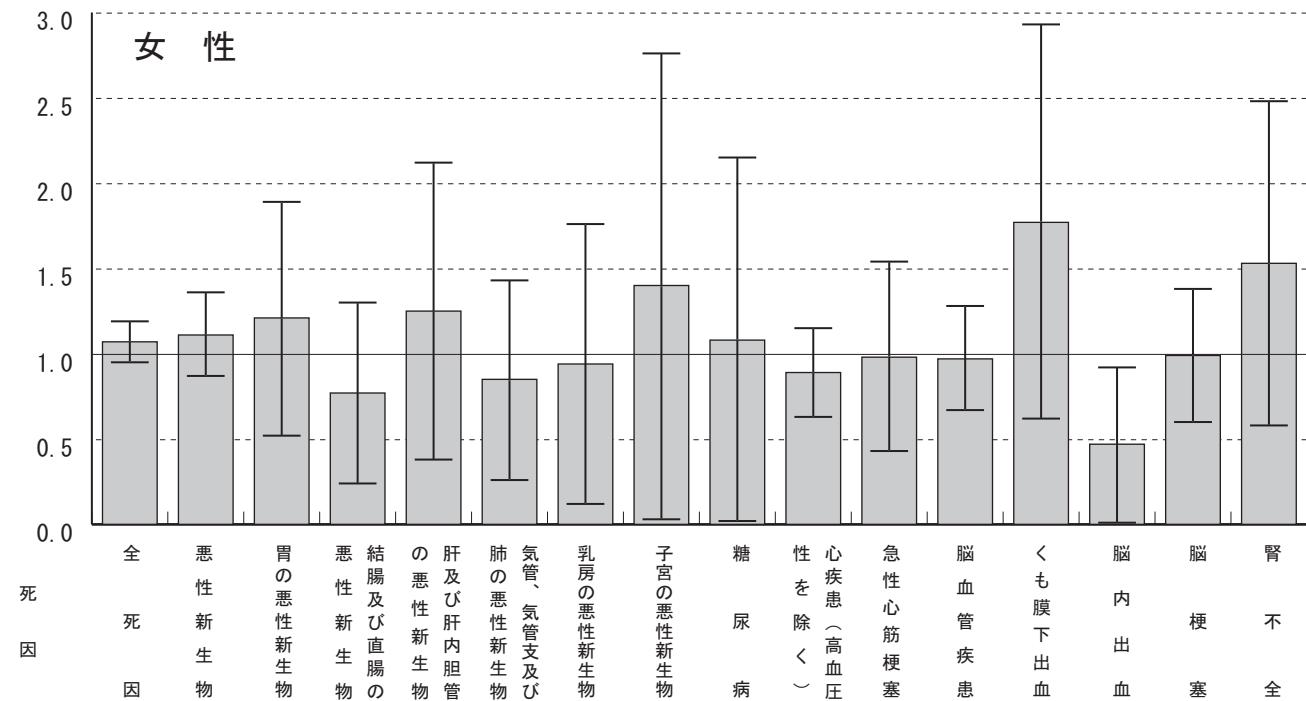


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○							
経年的に下降傾向にある項目			○	○				○
県と比較して経年的に高い項目		○	○	○		○		
県と比較して経年的に低い項目				○				○

河内町標準化死亡比 (2003~2007)



標準化死亡比	1.03	1.04	1.08	1.18	1.79	0.90	0.80	1.05	0.90	0.97	1.05	0.83	1.07	1.36
死亡数	319	110	19	14	22	22	3	46	12	33	3	8	22	7
全国に比べて有意に高い					○									
全国に比べて有意に低い														

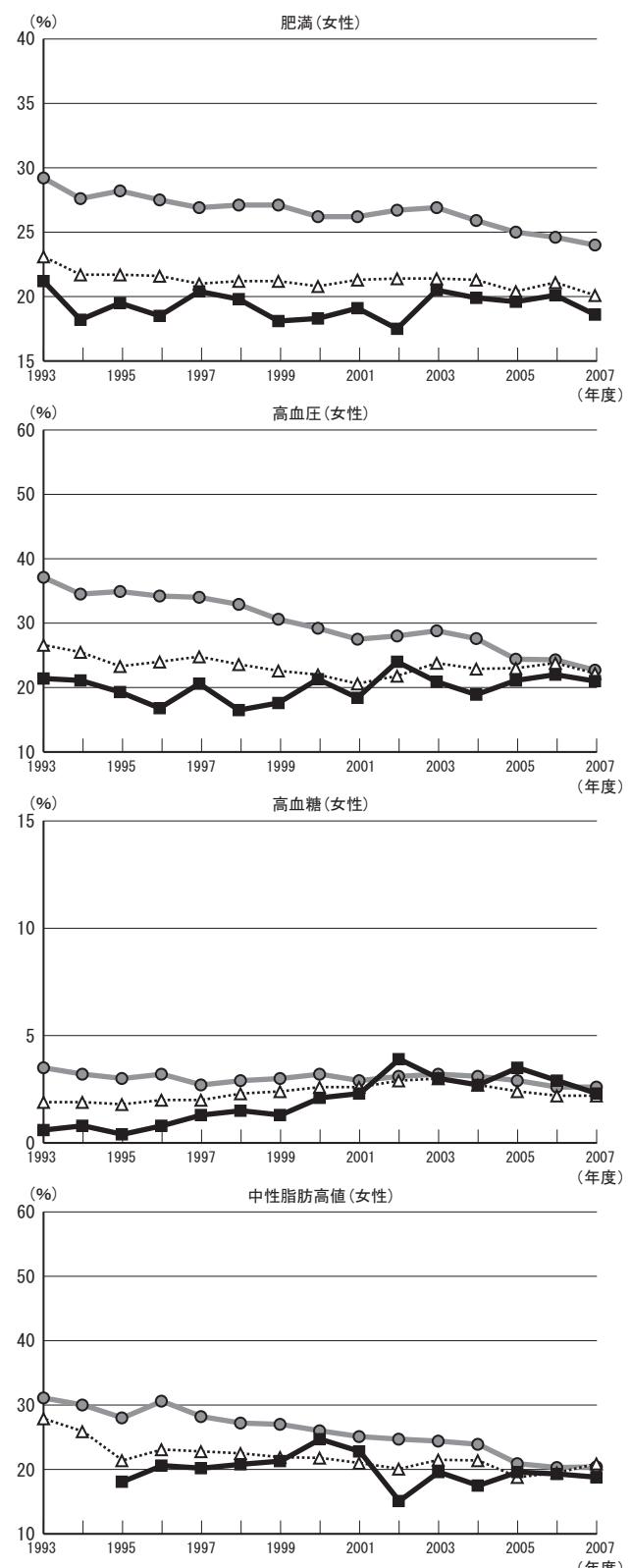
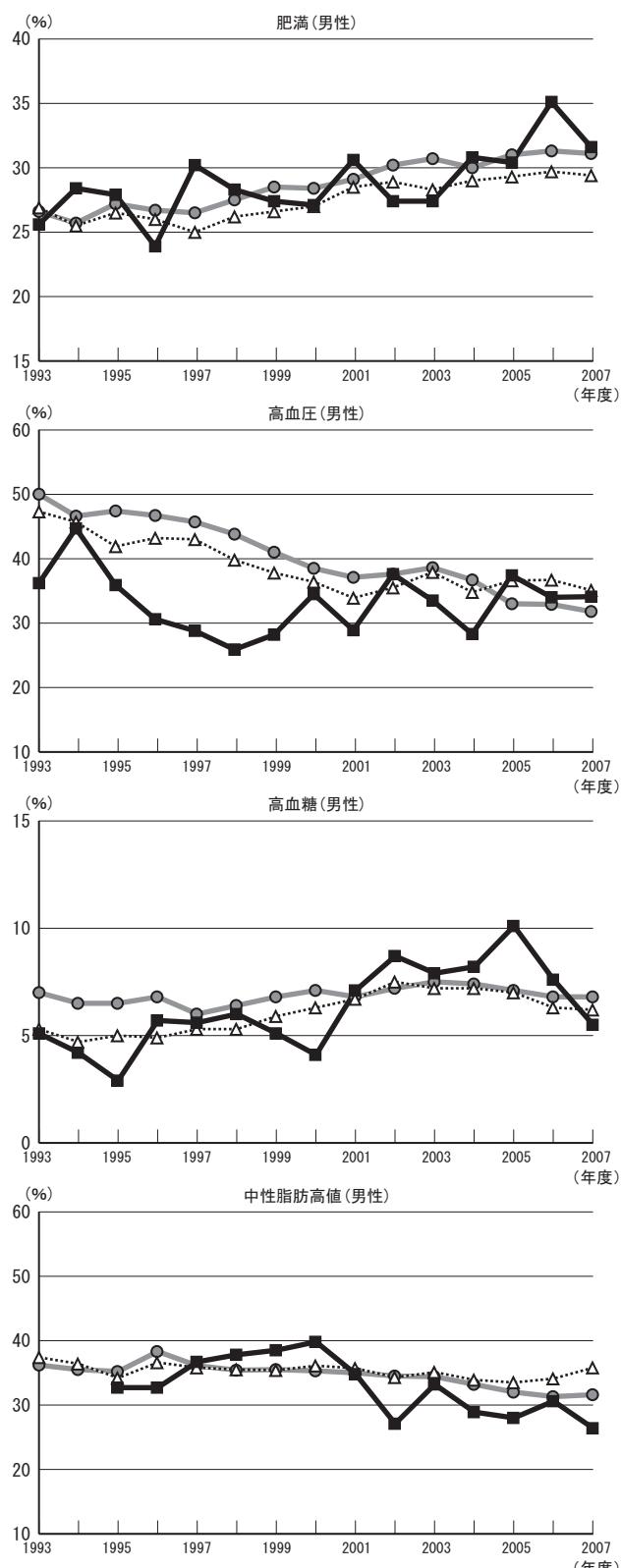


標準化死亡比	1.07	1.11	1.21	0.77	1.25	0.85	0.94	1.40	1.08	0.89	0.98	0.97	1.77	0.47	0.99	1.53
死亡数	304	80	12	8	8	8	5	4	4	46	12	39	9	4	25	10
全国に比べて有意に高い																
全国に比べて有意に低い														○		

死亡率はほぼ全国並み。今後とも、高血圧対策の推進や男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

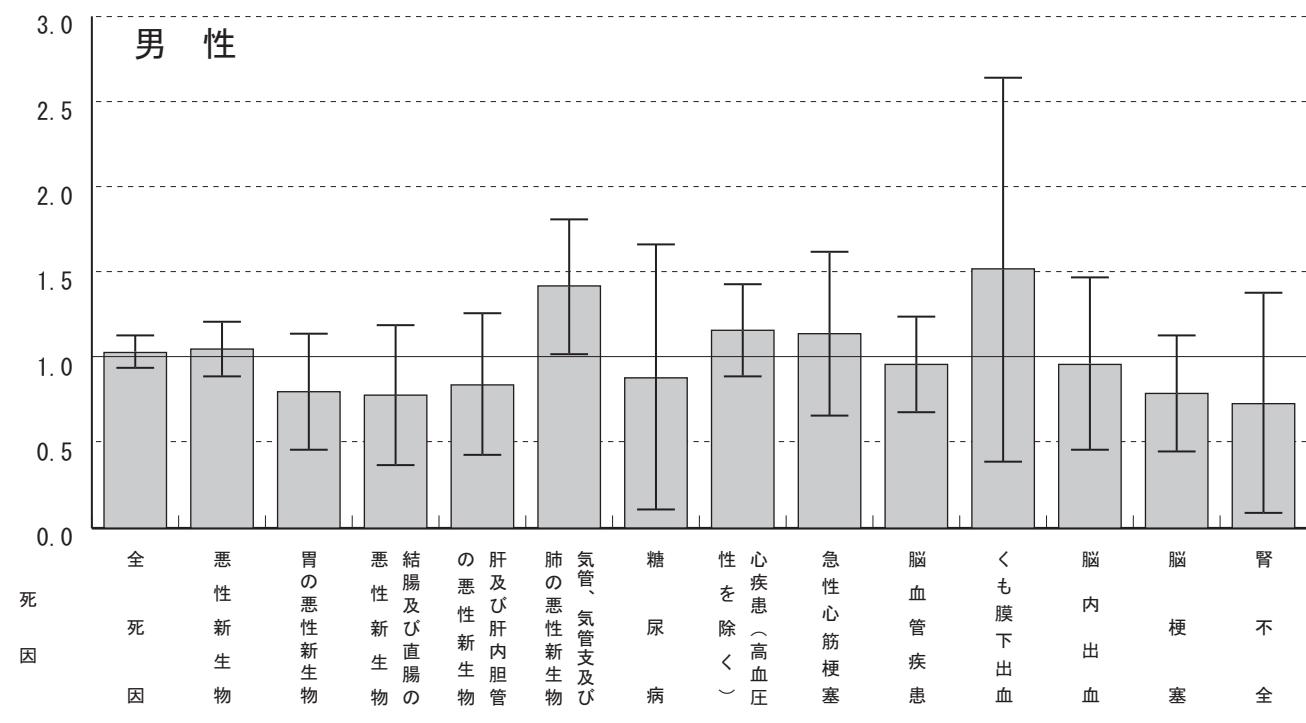
年齢調整有病率の経年度変化(利根町)

凡例
 08:茨城県
 ...△... 58:竜ヶ崎保健所
 -■- 8564:利根町

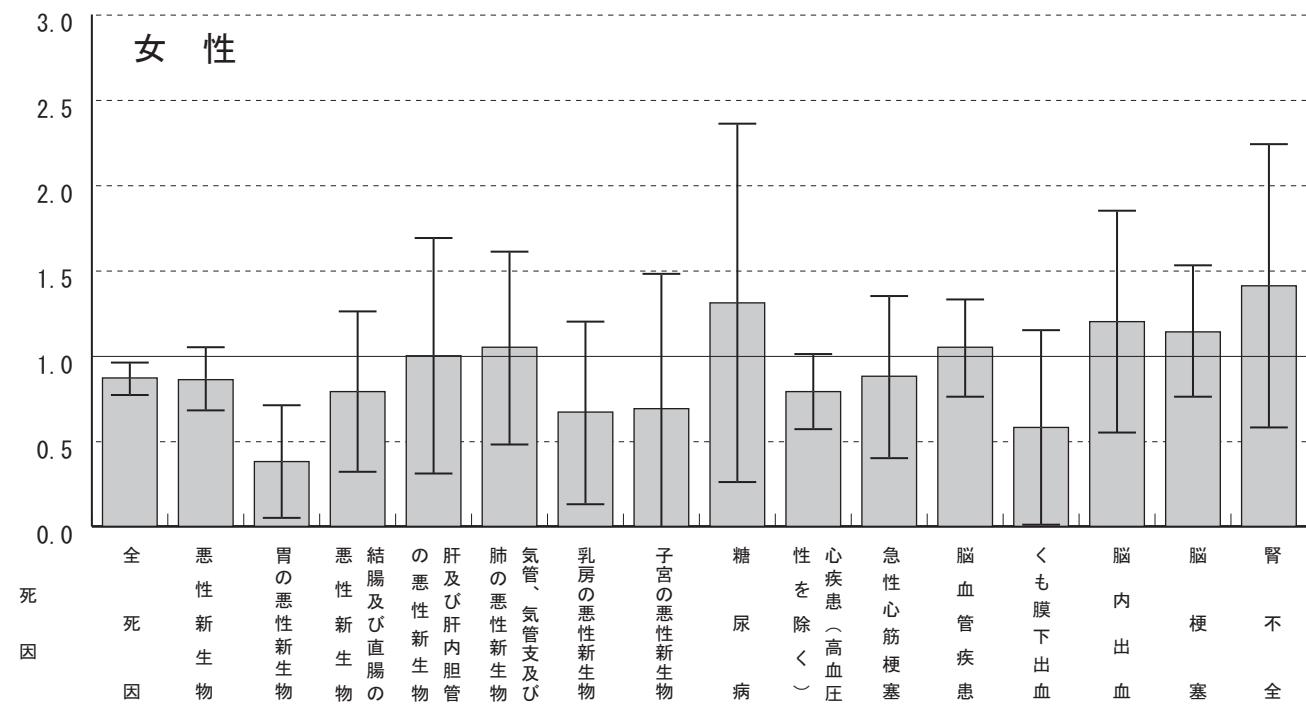


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○				○	○		
経年に下降傾向にある項目							○	
県と比較して経年に高い項目			○					
県と比較して経年に低い項目			○	○	○	○	○	○

利根町標準化死亡比 (2003~2007)



標準化死亡比	1.03	1.05	0.80	0.78	0.84	1.42	0.88	1.16	1.14	0.96	1.52	0.96	0.79	0.73
死亡数	457	165	21	14	16	50	5	72	22	45	7	14	21	5
全国に比べて有意に高い						○								
全国に比べて有意に低い														

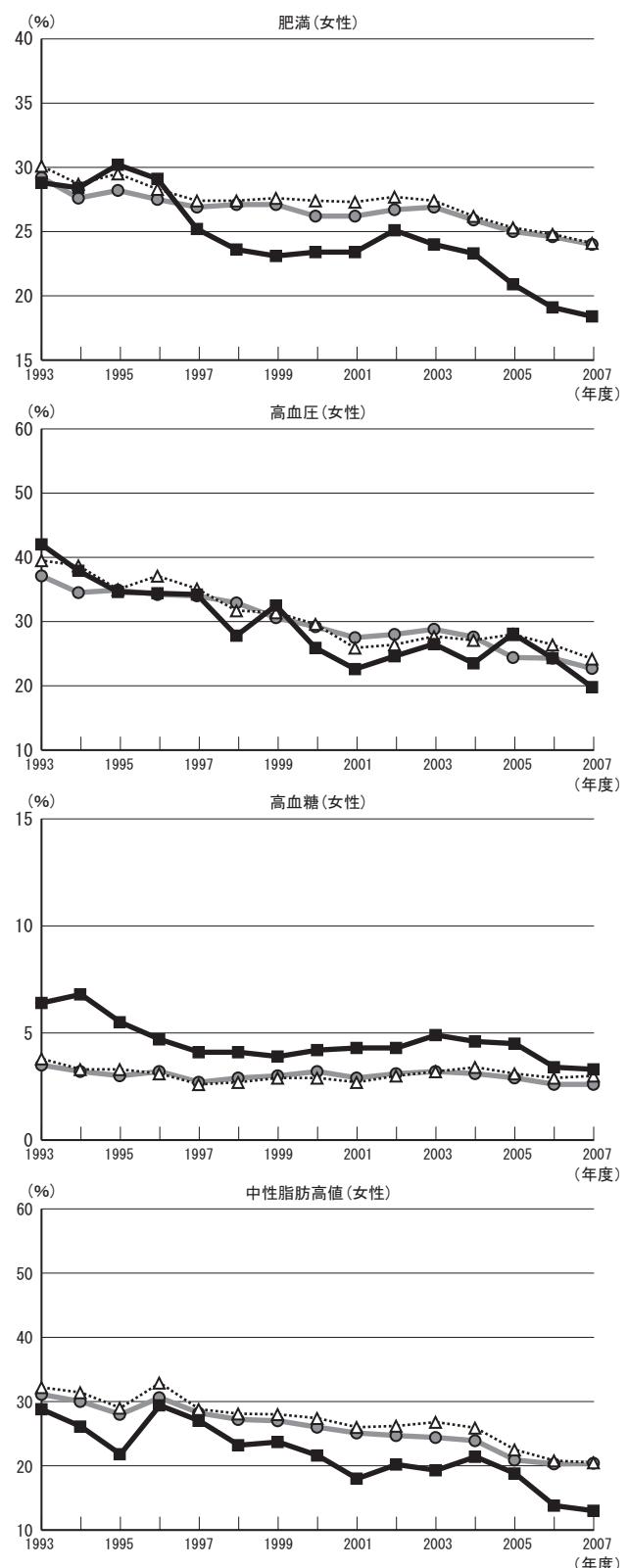
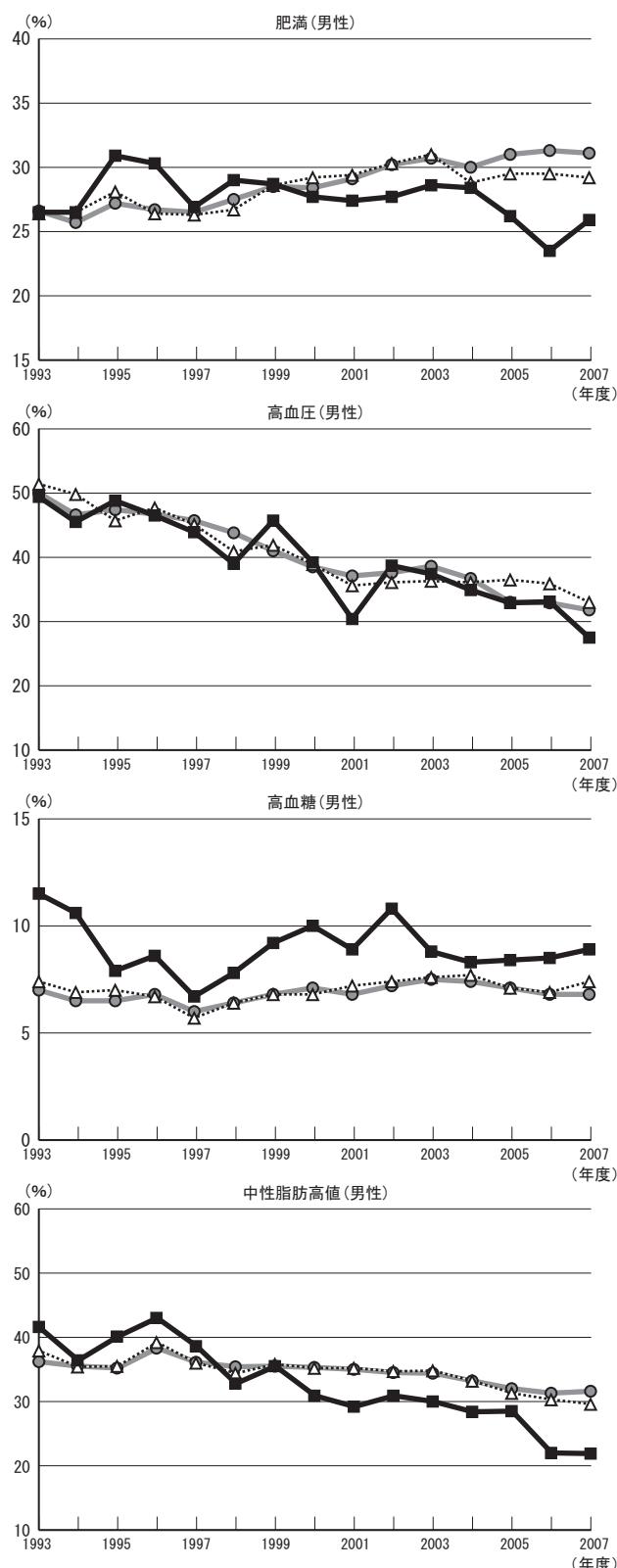


標準化死亡比	0.87	0.86	0.38	0.79	1.00	1.05	0.67	0.69	1.31	0.79	0.88	1.05	0.58	1.20	1.14	1.41
死亡数	309	84	5	11	8	13	6	3	6	49	13	51	4	13	34	11
全国に比べて有意に高い																
全国に比べて有意に低い	○		○													

女性では総死亡率が低い。今後とも、高血圧対策の推進や男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

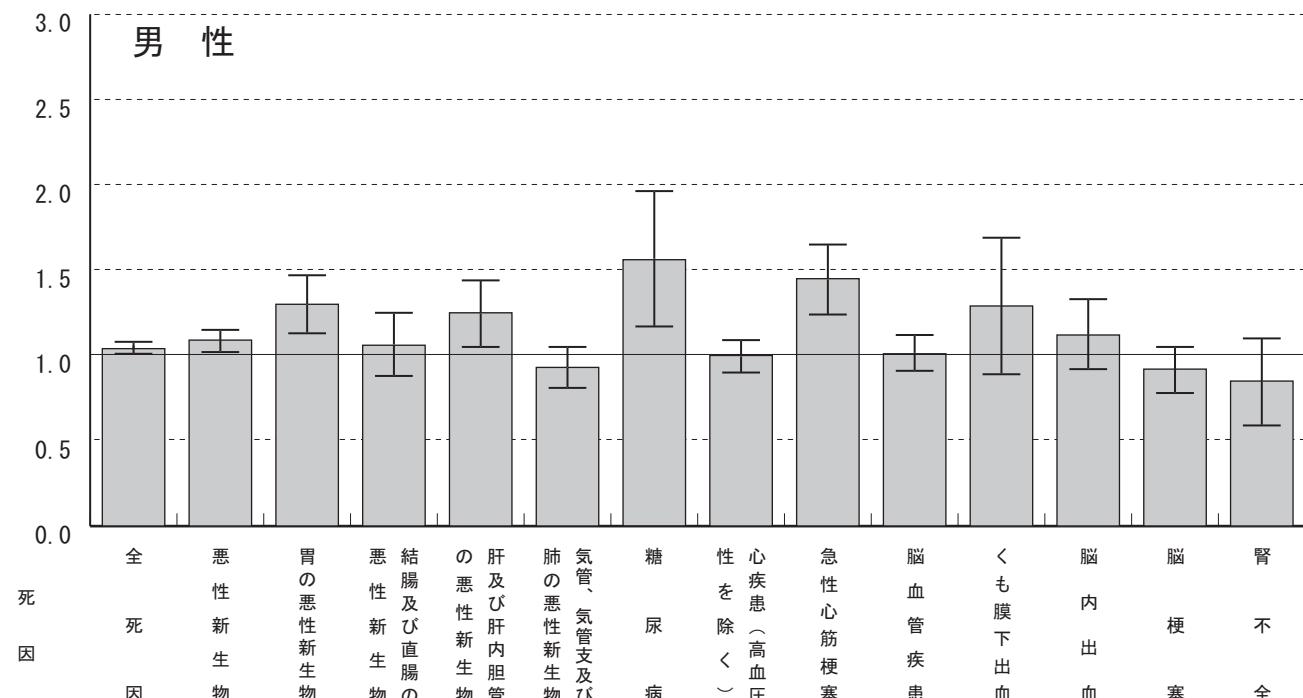
年齢調整有病率の経年度変化(土浦市)

凡例
 08:茨城県
 59:土浦保健所
 8203:土浦市

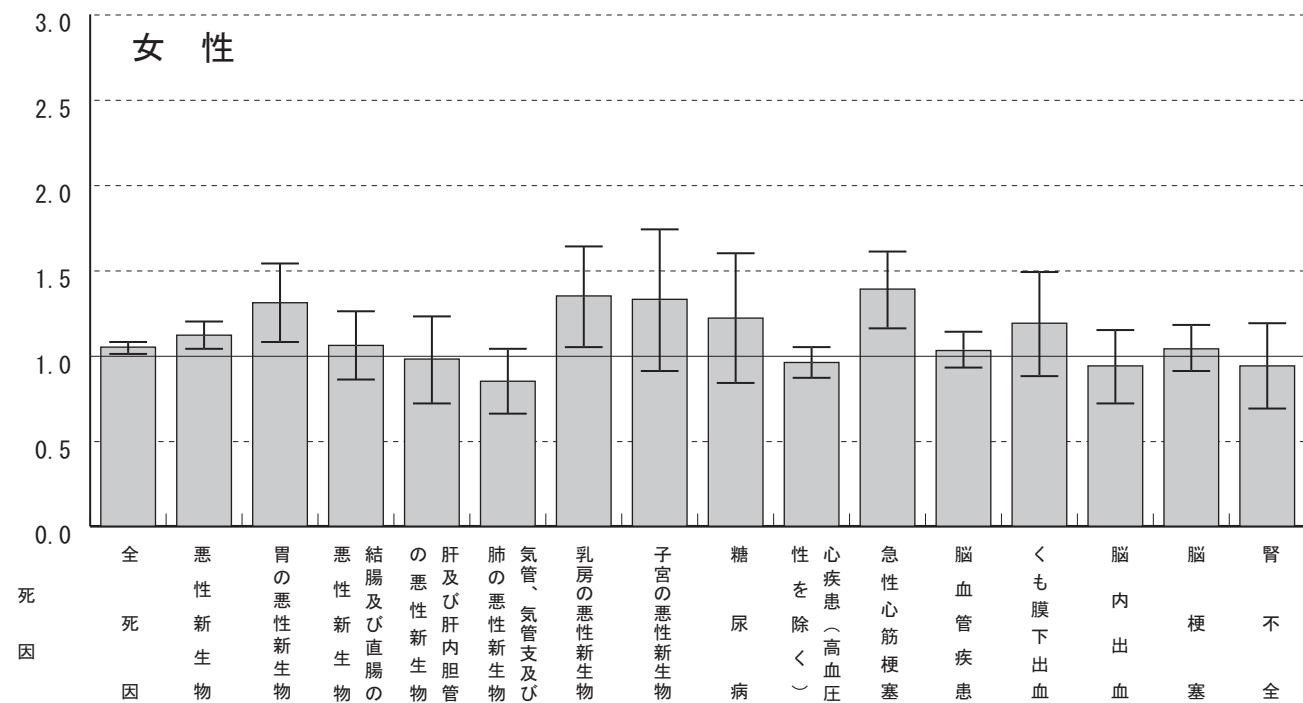


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目								
経年に下降傾向にある項目			○	○	○	○	○	○
県と比較して経年に高い項目					○	○		
県と比較して経年に低い項目	○	○	○	○			○	○

土浦市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.04	1.09	1.30	1.06
死 亡 数	3234	1155	231	128
全国に比べて有意に高い	○	○	○	
全国に比べて有意に低い				

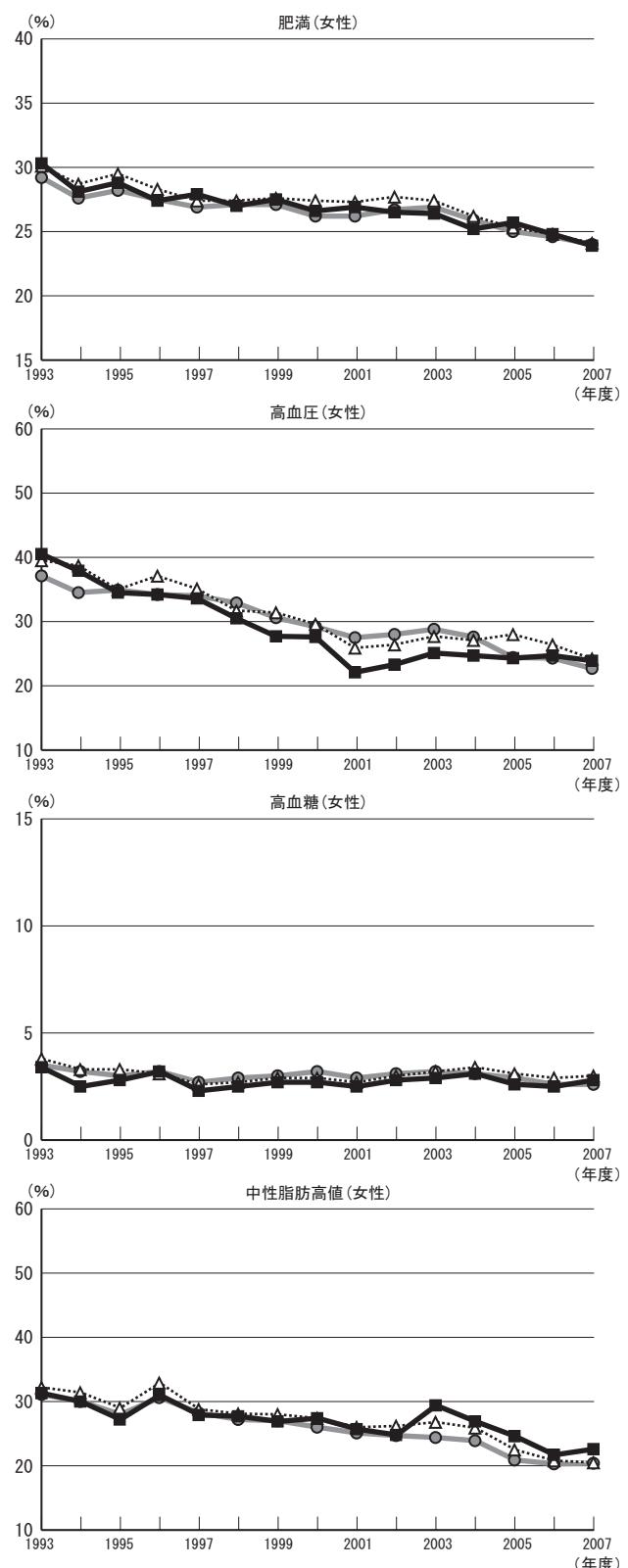
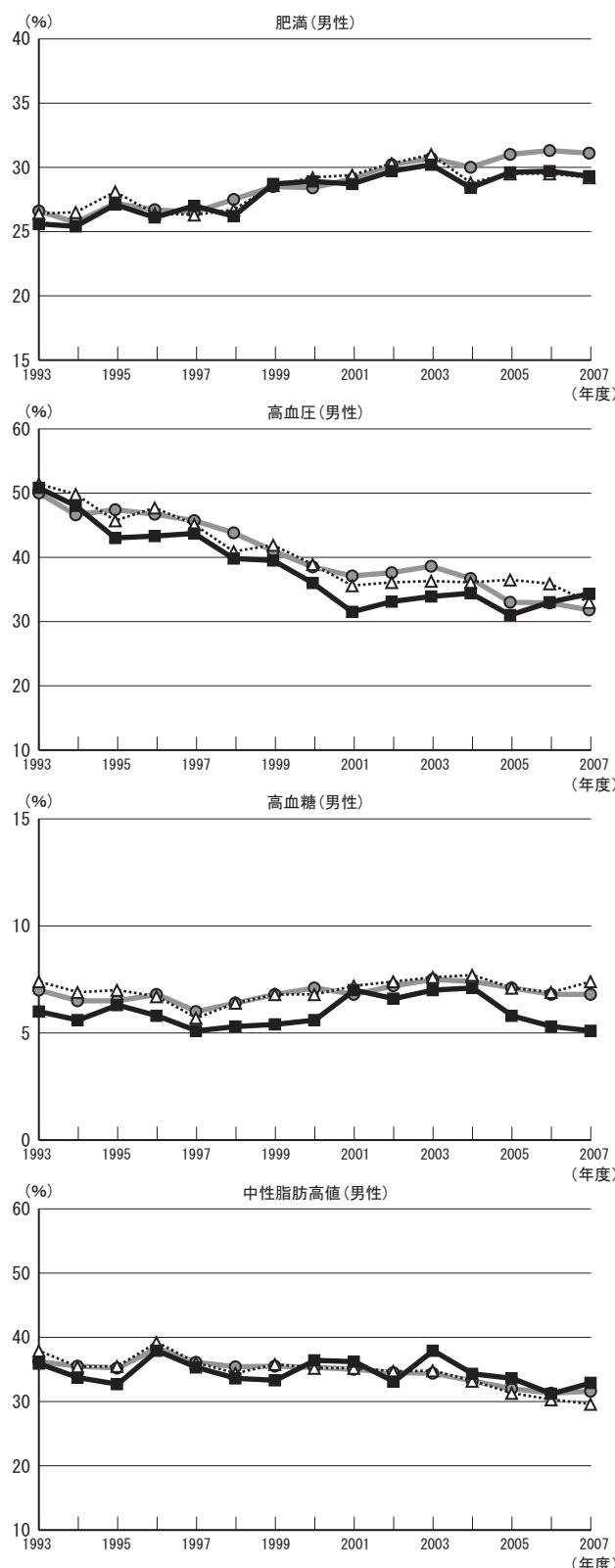


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.05	1.12	1.31	1.06
死 亡 数	2666	760	121	103
全国に比べて有意に高い	○	○	○	
全国に比べて有意に低い				

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性で胃がん、肝がんの死亡率が高く、女性では、胃がん乳がんの死亡率が高い。胃がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検診、腹部エコー検診の積極的な推進が求められる。

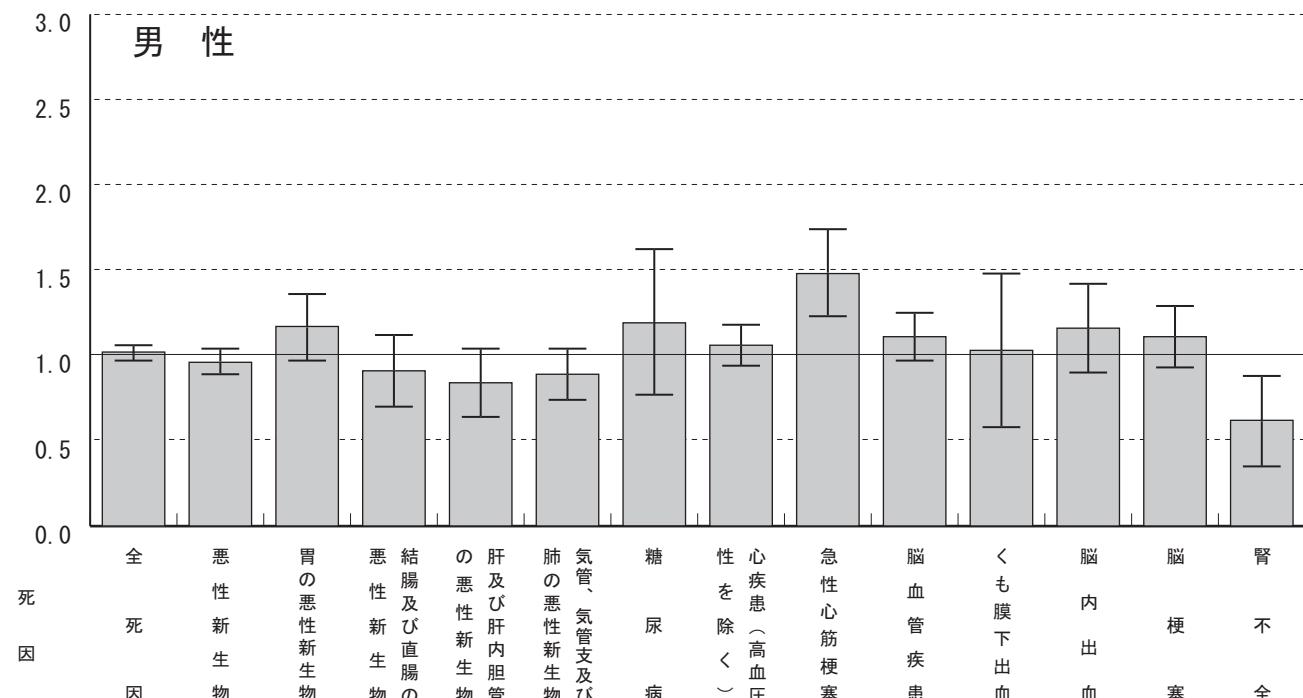
年齢調整有病率の経年度変化(石岡市)

凡例
 08:茨城県
 59:土浦保健所
 8205:石岡市

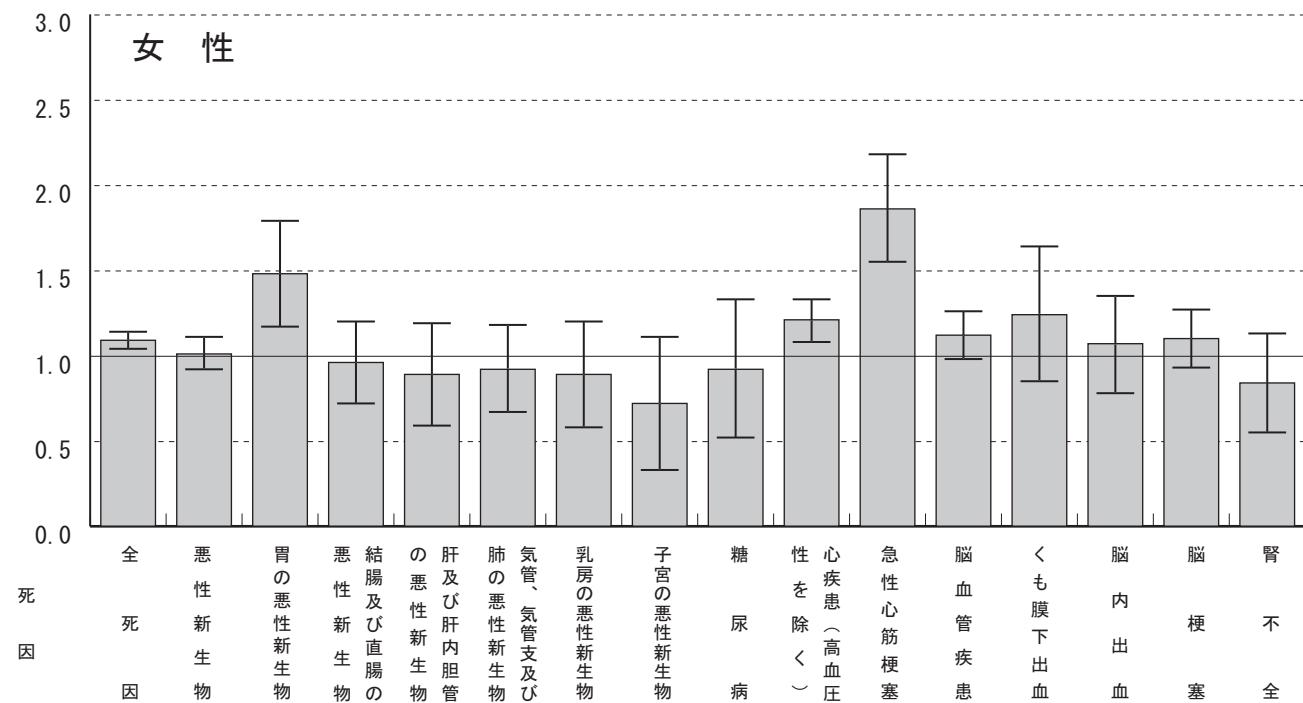


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目		○	○	○				○
県と比較して経年に高い項目		○						○
県と比較して経年に低い項目	○		○	○	○	○		

石岡市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.02	2099		
死 亡 数	0.96	676		
全死因	1.17	137		
悪性新生物	0.91	72		
胃の悪性新生物	0.84	69		
悪性結腸及び直腸の新生物	0.89	144		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.19	30	○	
肺の悪性新生物	1.06	310		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.48	132		
糖尿病	1.11	250		
性を除く心疾患（高血圧）	1.03	20		
急性心筋梗塞	1.16	75		
脳血管疾患	1.11	150		○
くも膜下出血	0.62	21		

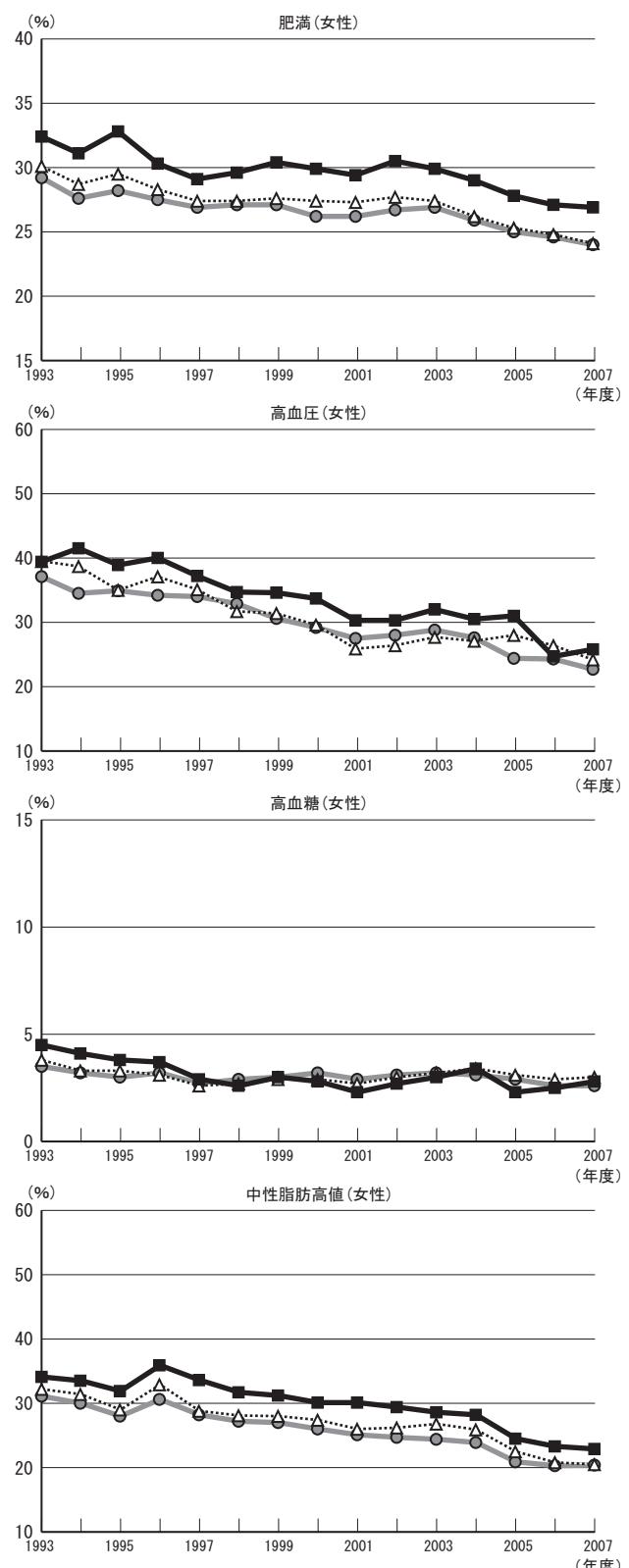
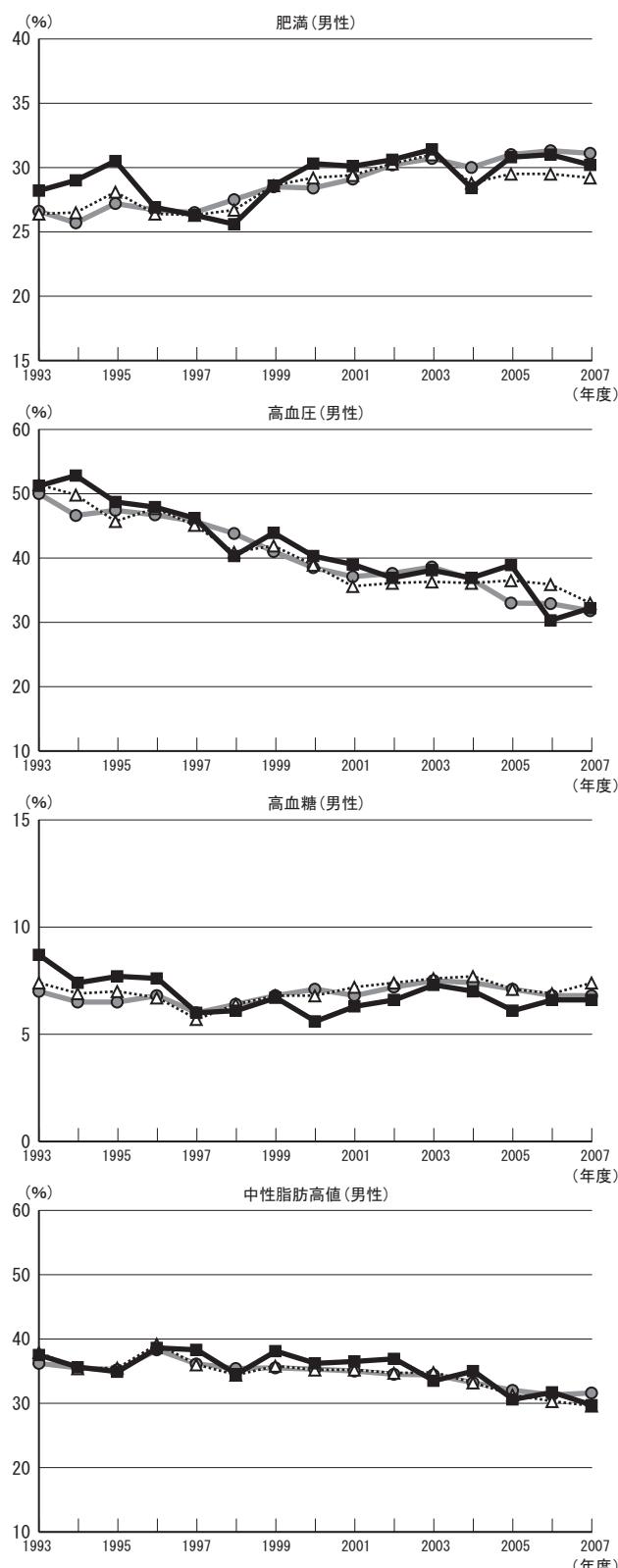


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.09	1839	○	
死 亡 数	1.01	438	○	
全死因	1.48	88		
悪性新生物	0.96	60		
胃の悪性新生物	0.89	33		
悪性結腸及び直腸の新生物	0.92	52		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	0.89	31		
肺の悪性新生物	0.72	13		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.92	20	○	○
乳房の悪性新生物	1.21	366		
子宮の悪性新生物	1.86	133		
糖尿病	1.12	263		
性を除く心疾患（高血圧）	1.24	38		
脳血管疾患	1.07	54		
くも膜下出血	1.10	162		
脳梗塞	0.84	32		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、女性では胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

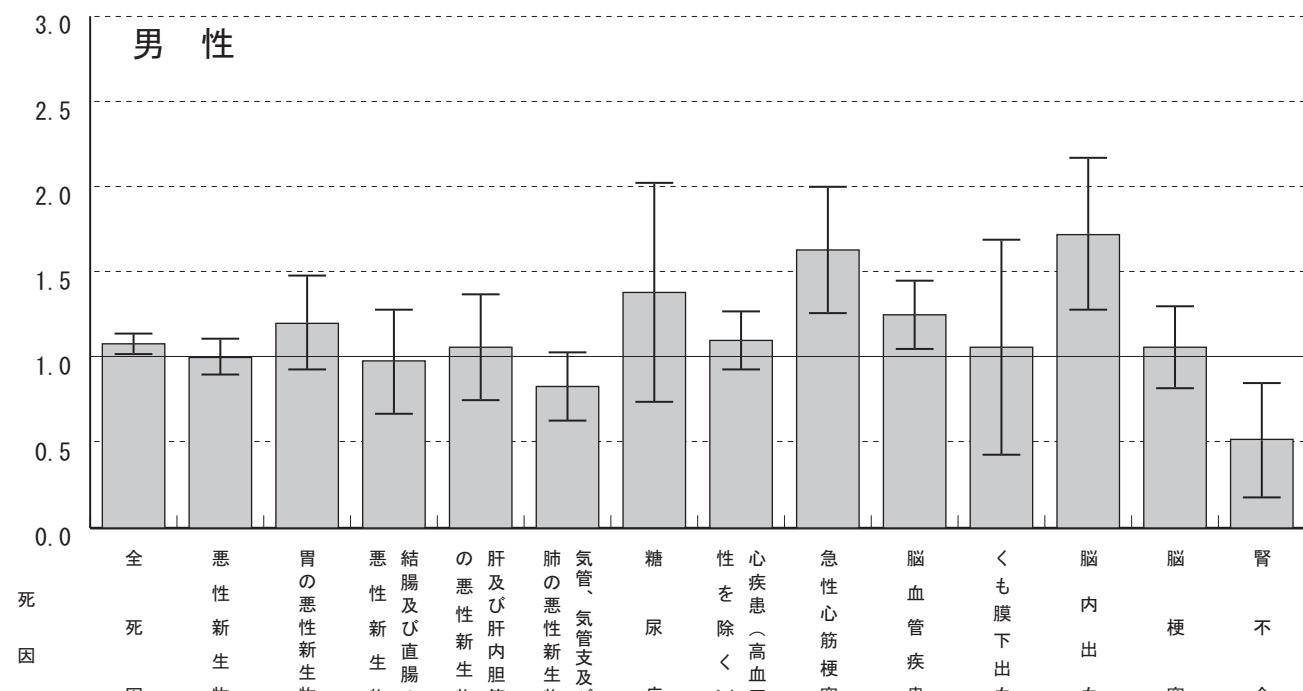
年齢調整有病率の経年度変化(かすみがうら市)

凡例
 08:茨城県
 59:土浦保健所
 8230:かすみがうら市

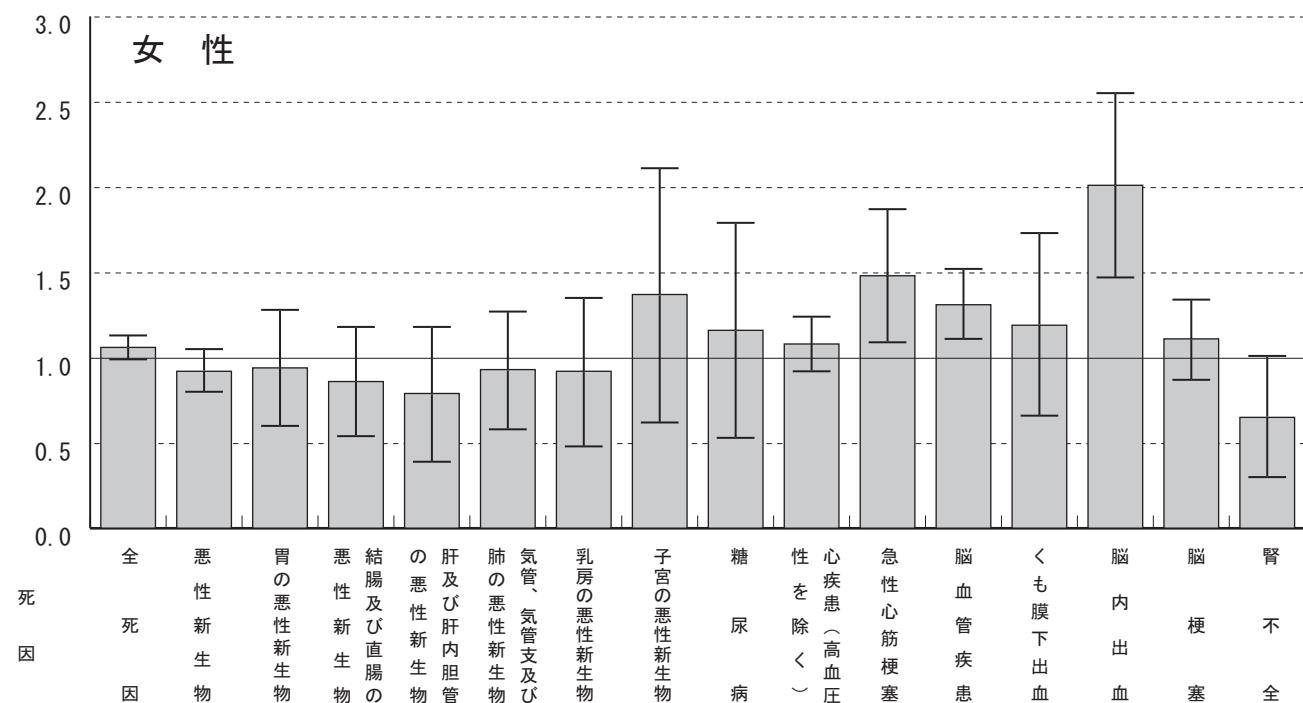


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目		○	○	○		○	○	○
県と比較して経年に高い項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年に低い項目								

かすみがうら市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.08	1.00	○	
死 亡 数	1151	363		
全国に比べて有意に高い			○	○
全国に比べて有意に低い				○

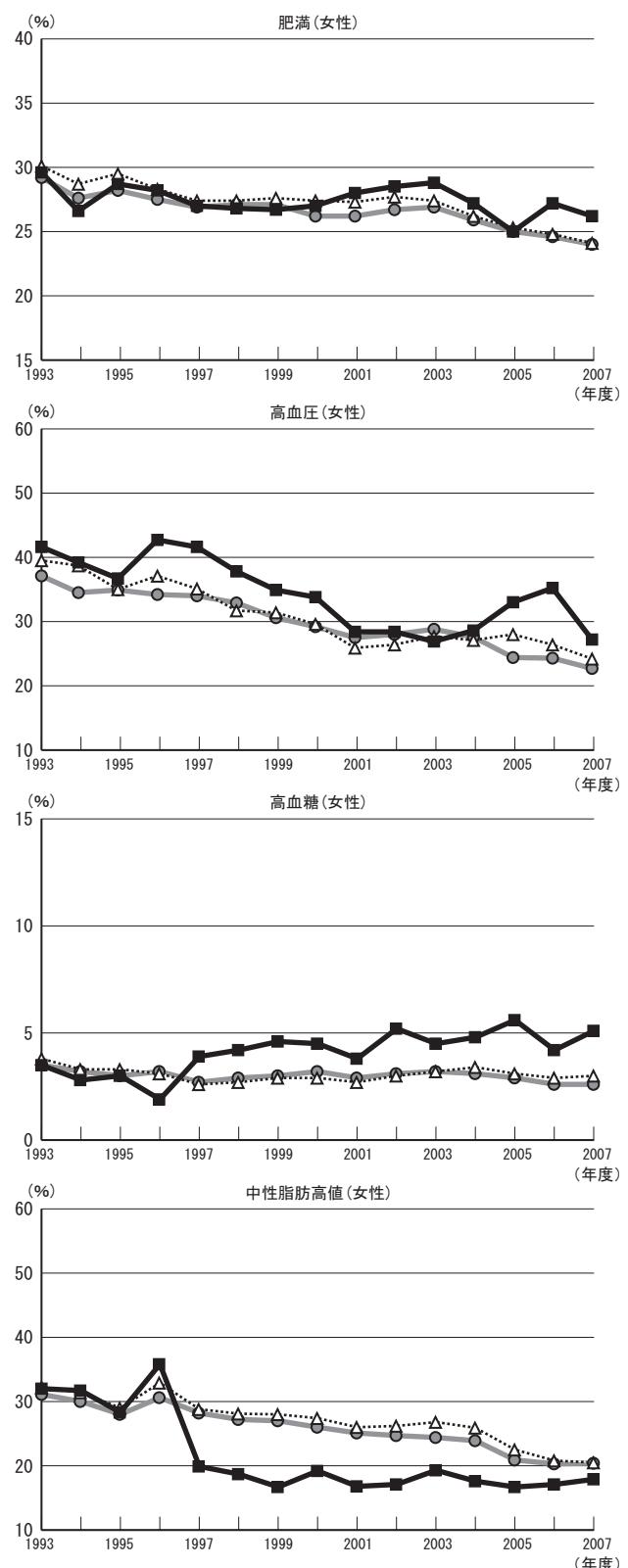
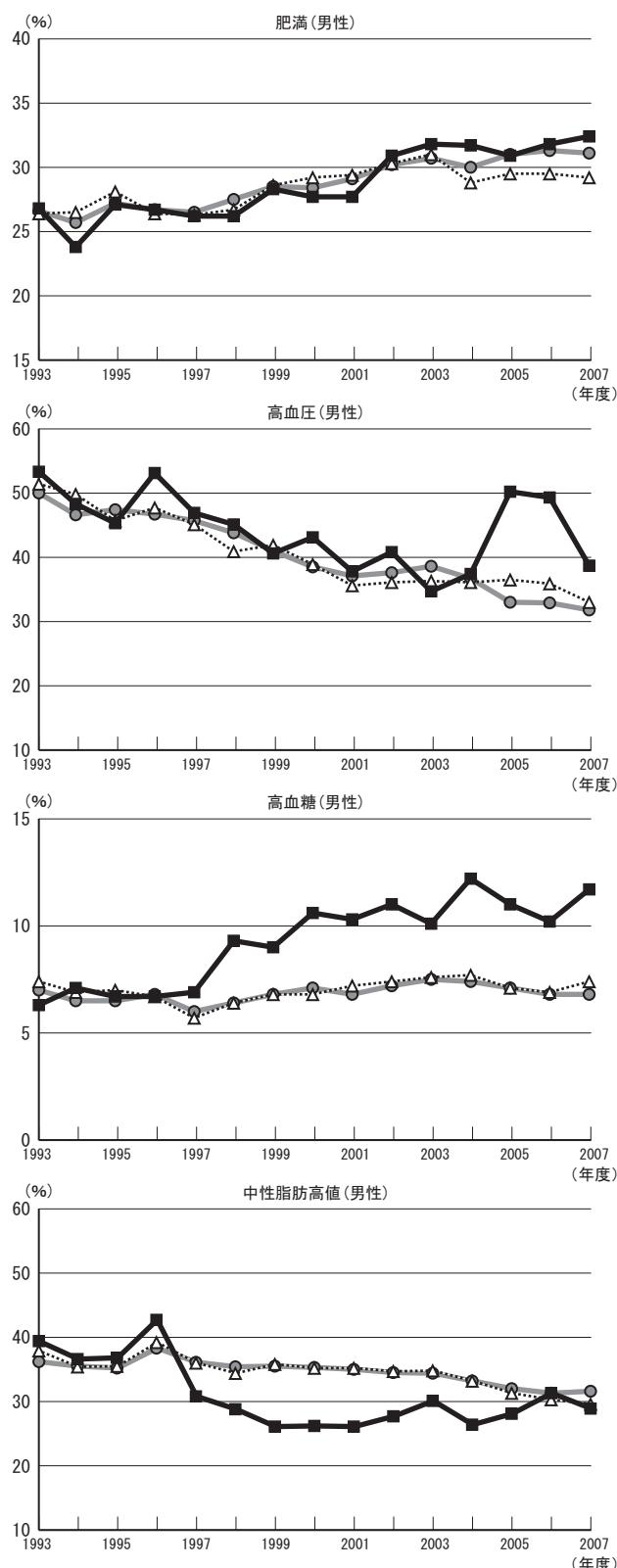


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.06	933		
死 亡 数	0.92	208		
全国に比べて有意に高い		29	○	○
全国に比べて有意に低い		28		○

男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

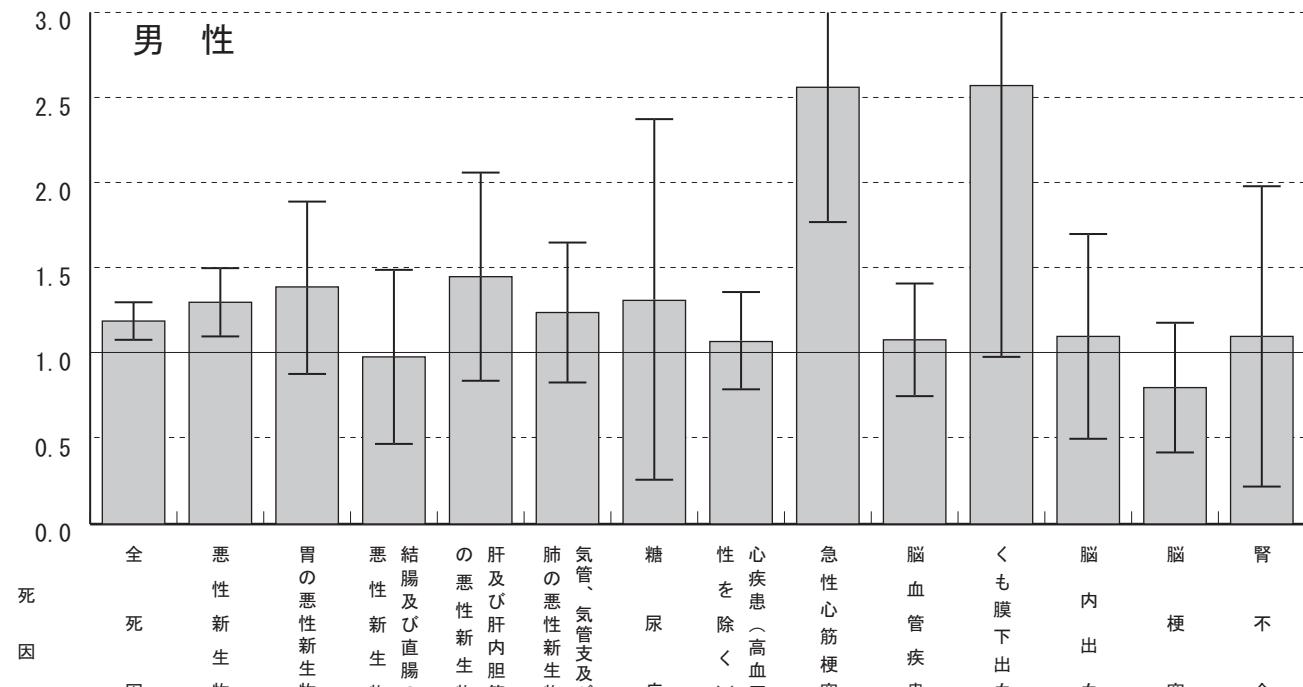
年齢調整有病率の経年度変化(美浦村)

凡例
 08:茨城県
 59:土浦保健所
 8442:美浦村

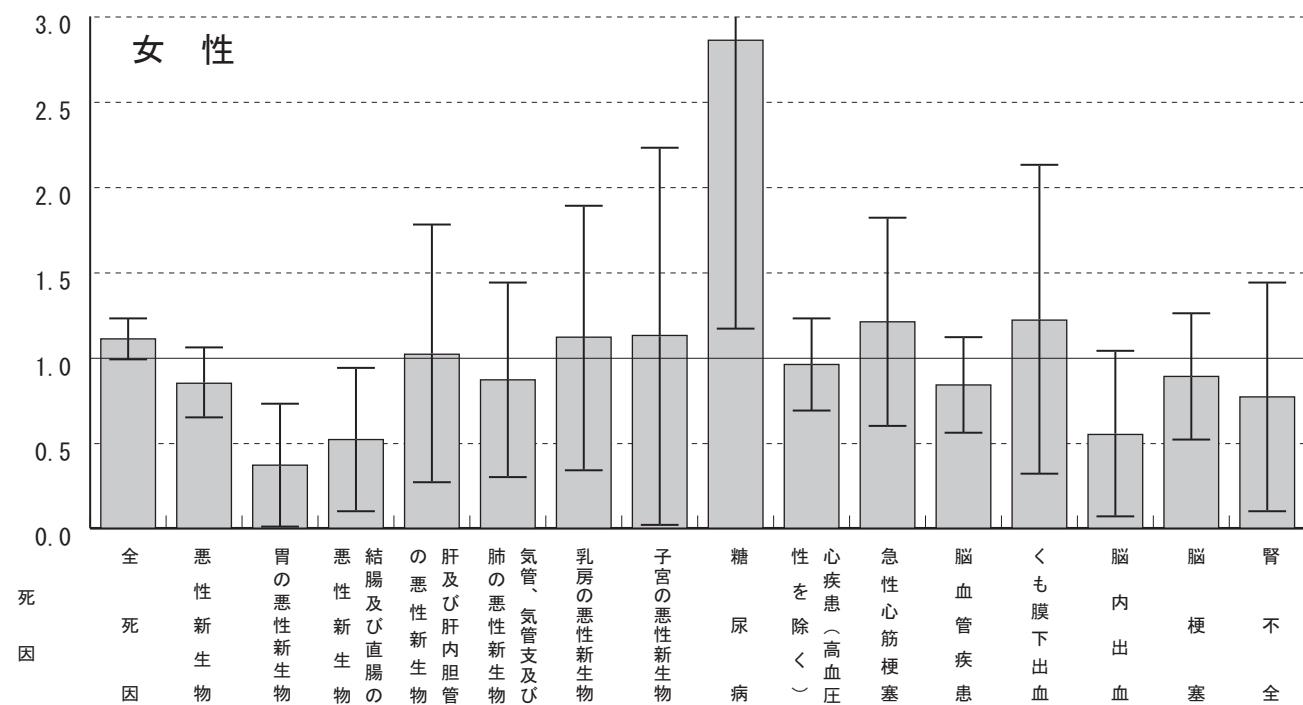


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○				○	○		
経年に下降傾向にある項目			○		○		○	○
県と比較して経年に高い項目			○	○	○	○		
県と比較して経年に低い項目							○	○

美浦村標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.19	429	○	
死 亡 数	1.30	163	○	
全国に比べて有意に高い	1.39	29		
全国に比べて有意に低い	0.98	14		
標準化死亡比	1.45	22		
死 亡 数	1.24	35		
全国に比べて有意に高い	1.31	6		
全国に比べて有意に低い	1.07	54	○	
標準化死亡比	2.56	40		
死 亡 数	1.08	41		
全国に比べて有意に高い	2.57	10		
全国に比べて有意に低い	1.10	13		
標準化死亡比	0.80	17		
死 亡 数	1.10	6		

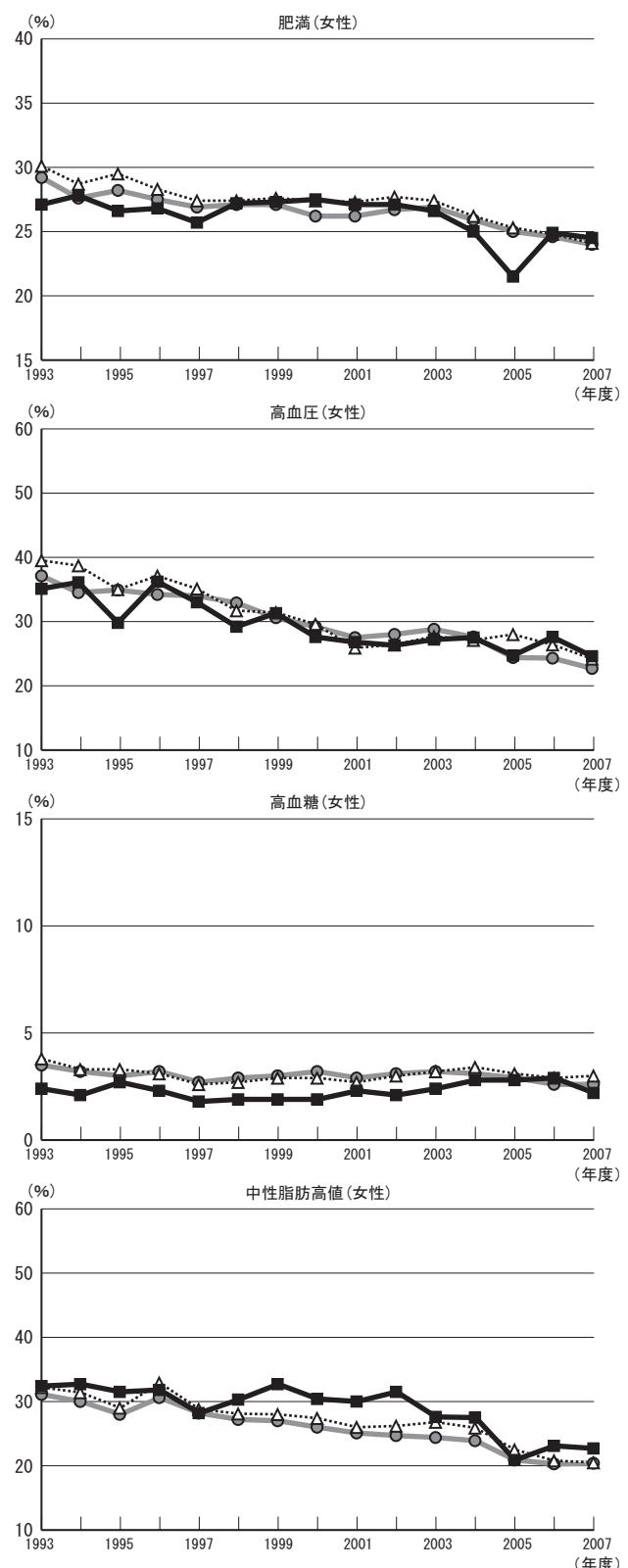
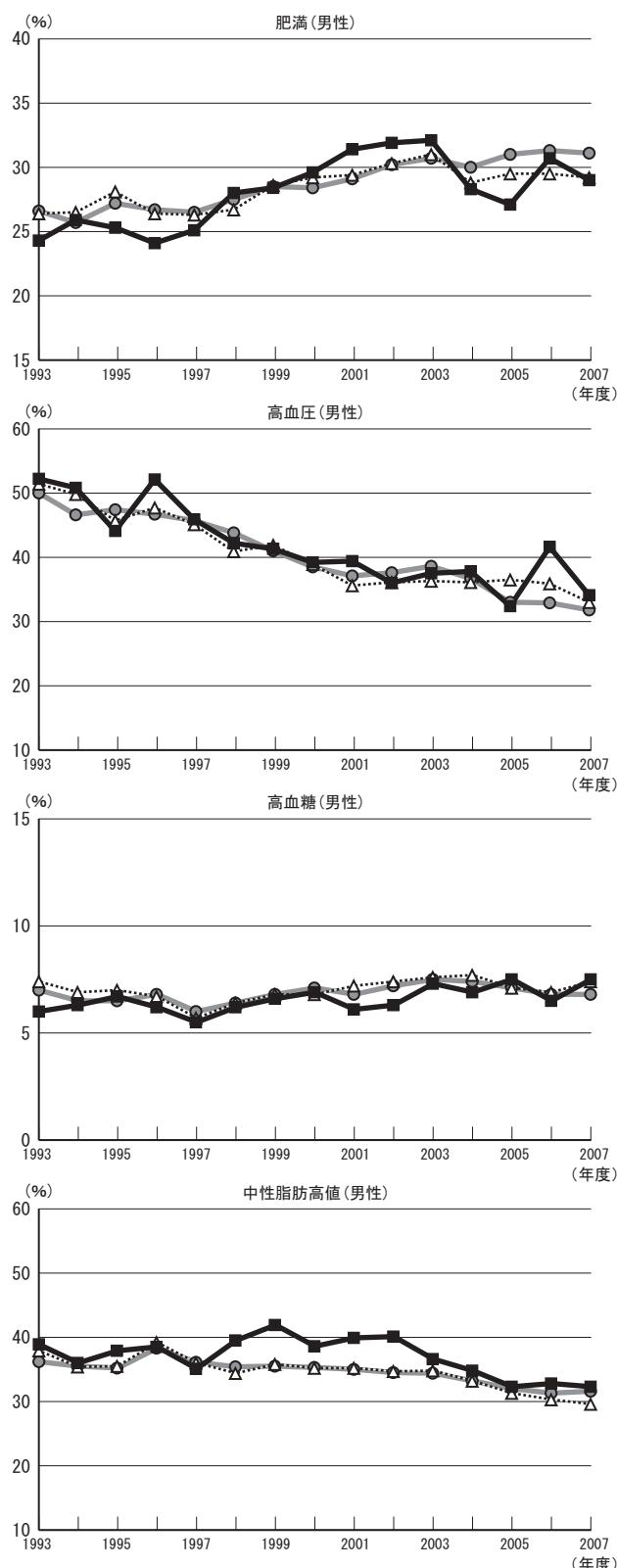


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.11	332		
死 亡 数	0.85	69		
全国に比べて有意に高い	0.37	4	○	
全国に比べて有意に低い	0.52	6	○ ○	
標準化死亡比	1.02	7		
死 亡 数	0.87	9		
全国に比べて有意に高い	1.12	8		
全国に比べて有意に低い	1.13	4	○	
標準化死亡比	2.86	11		
死 亡 数	0.96	50		
全国に比べて有意に高い	1.21	15		
全国に比べて有意に低い	0.84	34		
標準化死亡比	1.22	7		
死 亡 数	0.55	5		
全国に比べて有意に高い	0.89	22		
全国に比べて有意に低い	0.77	5		

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

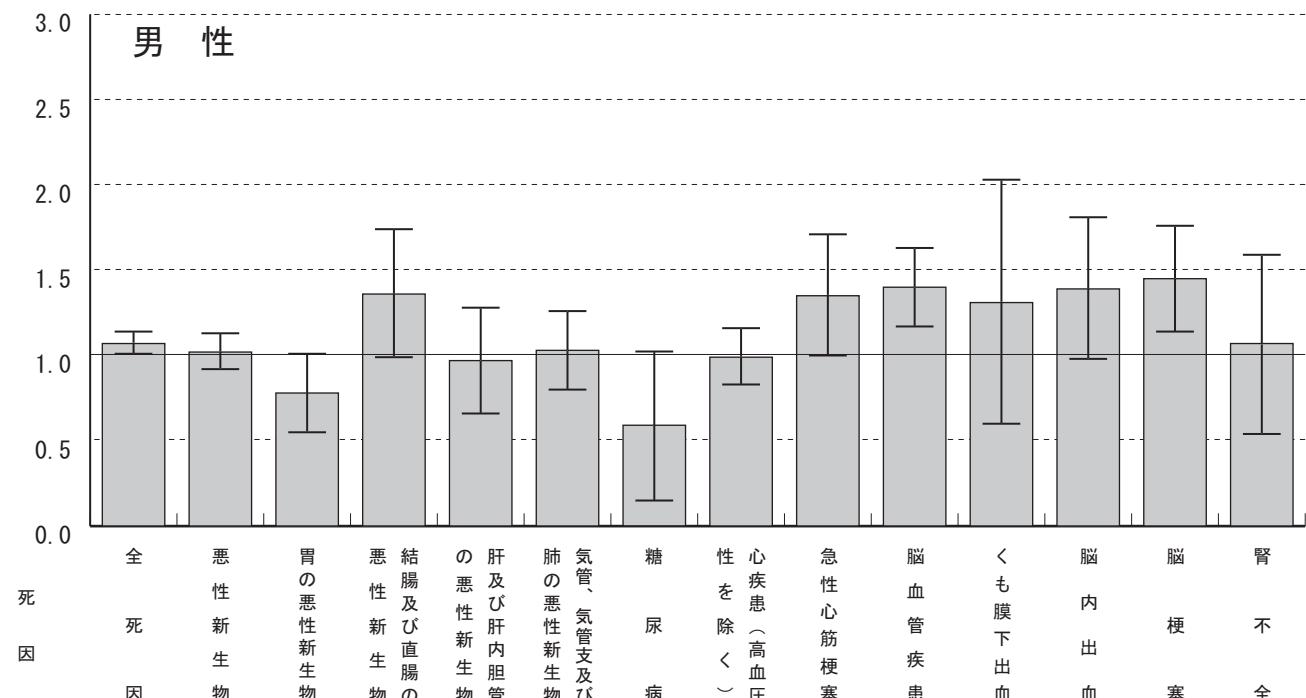
年齢調整有病率の経年度変化(阿見町)

凡例
 08:茨城県
 59:土浦保健所
 8443:阿見町

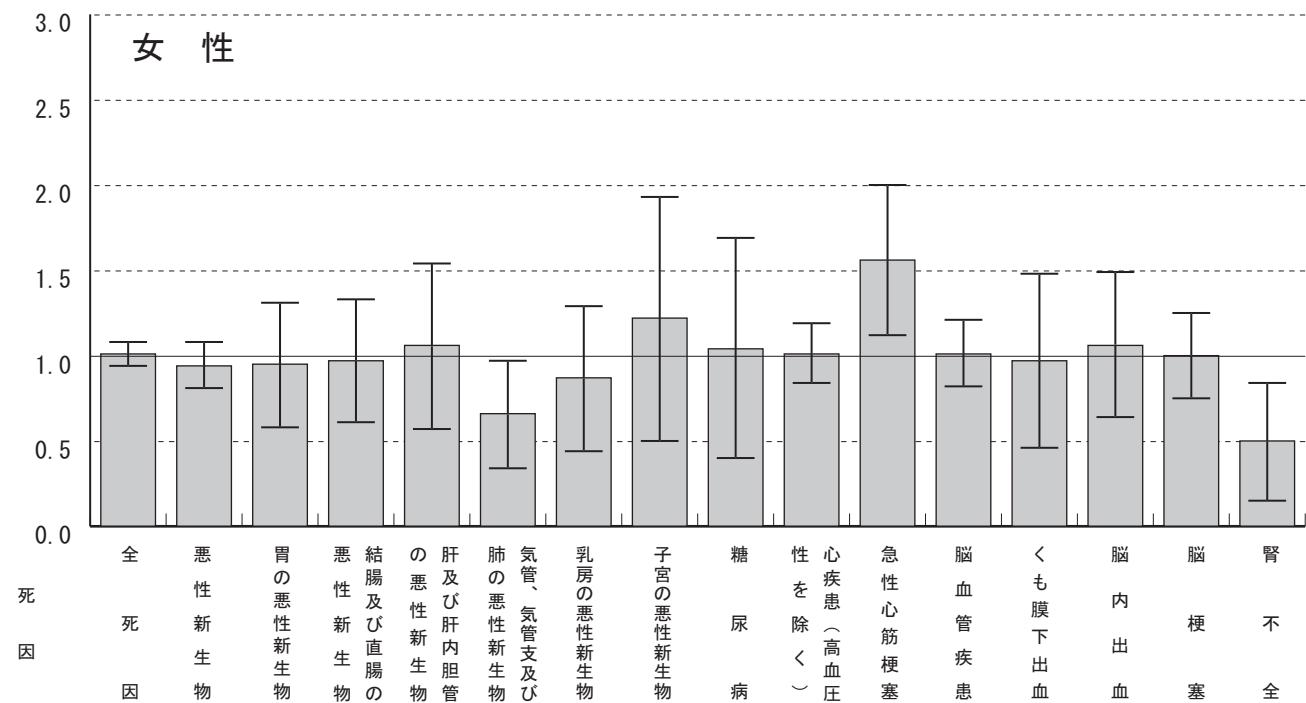


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○				○			
経年に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目			○				○	○
県と比較して経年に低い項目						○		

阿見町標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	1027	○	
死 亡 数	1.02	338		
全死因	0.78	43		
悪性新生物	1.36	51		
胃の悪性新生物	0.97	38		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.03	77		
肝及び胆管の悪性新生物	0.59	7		
肺の悪性新生物	0.99	134		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.35	56	○	
糖尿病	1.40	143		
性を除く心疾患（高血圧）	1.31	13		
急性心筋梗塞	1.39	43	○	
脳血管疾患	1.45	85		
くも膜下出血	1.07	16		
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

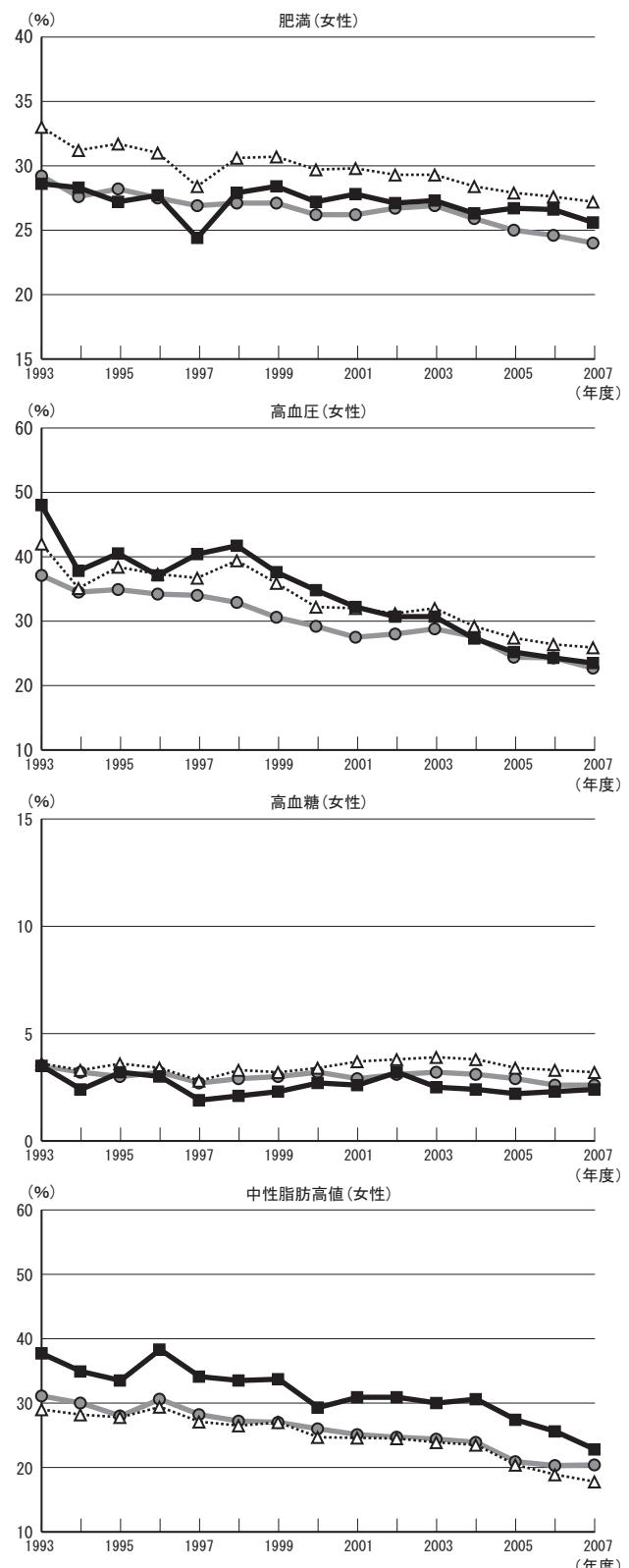
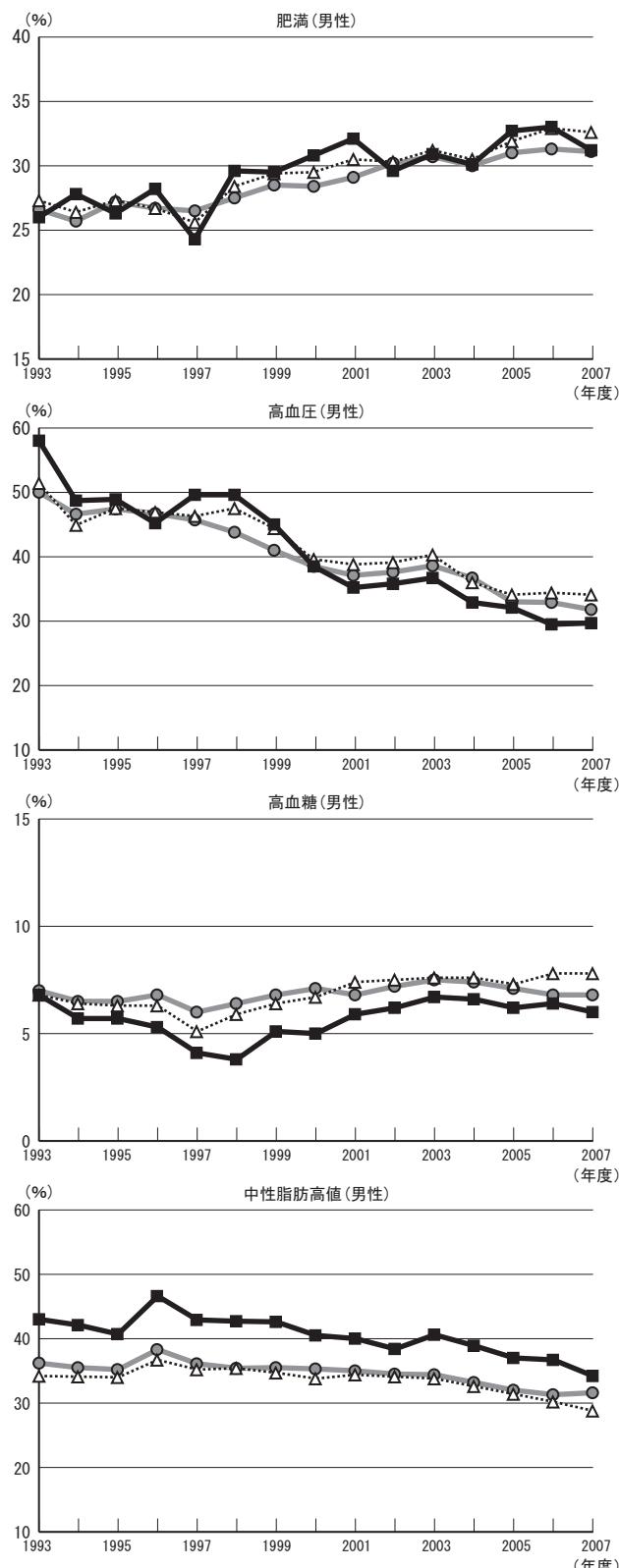


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.01	753		
死 亡 数	0.94	192		
全死因	0.95	26		
悪性新生物	0.97	28		
胃の悪性新生物	1.06	18	○	
結腸及び直腸の悪性新生物	0.66	17		
肝及び胆管の悪性新生物	0.87	16		
肺の悪性新生物	1.22	11		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.04	10		
乳房の悪性新生物	1.01	131	○	
子宮の悪性新生物	1.56	48		
糖尿病	1.01	102		
性を除く心疾患（高血圧）	0.97	14		
急性心筋梗塞	1.06	24		
脳血管疾患	1.00	61		○
くも膜下出血				
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

男性では脳血管疾患、女性では急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

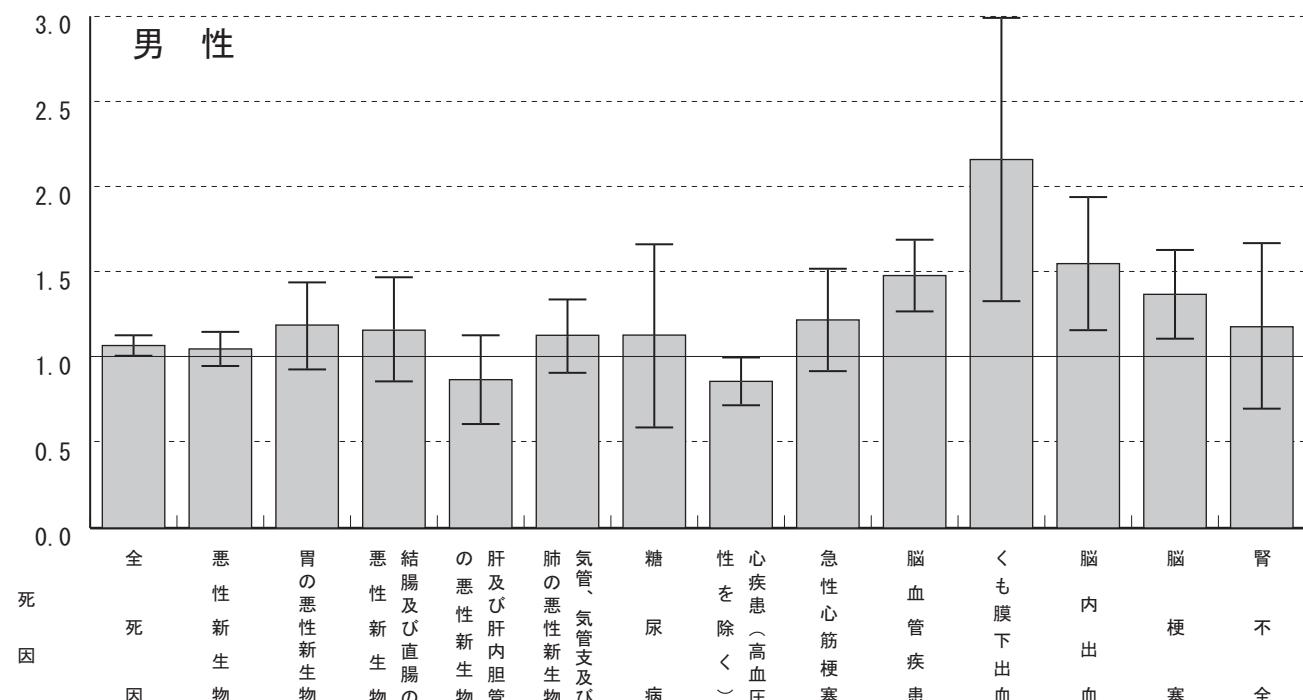
年齢調整有病率の経年度変化(結城市)

凡例
 08:茨城県
 62:筑西保健所
 8207:結城市

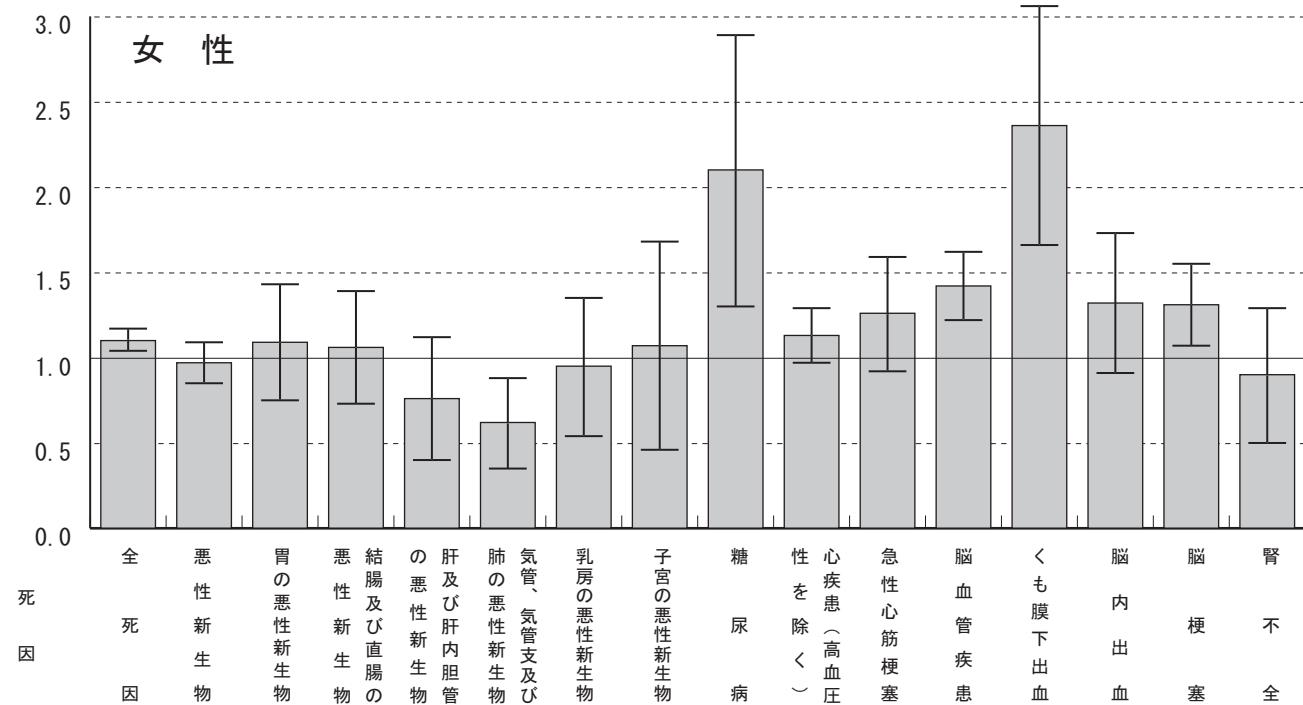


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目	○	○					○	○
県と比較して経年に低い項目					○	○		

結城市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	1296	○	
死 亡 数	1.05	439		
全死因	1.19	83		
悪性新生物	1.16	55		
胃の悪性新生物	0.87	43		
悪性新生物	1.13	108		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.13	17		
肝及び肝内胆管	0.86	147		○
肺の悪性新生物	1.22	64	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.48	194	○	○
糖尿病	2.16	26	○	○
性を除く心疾患 (高血圧)	1.55	60	○	
急性心筋梗塞	1.37	105	○	
脳血管疾患	1.18	23		

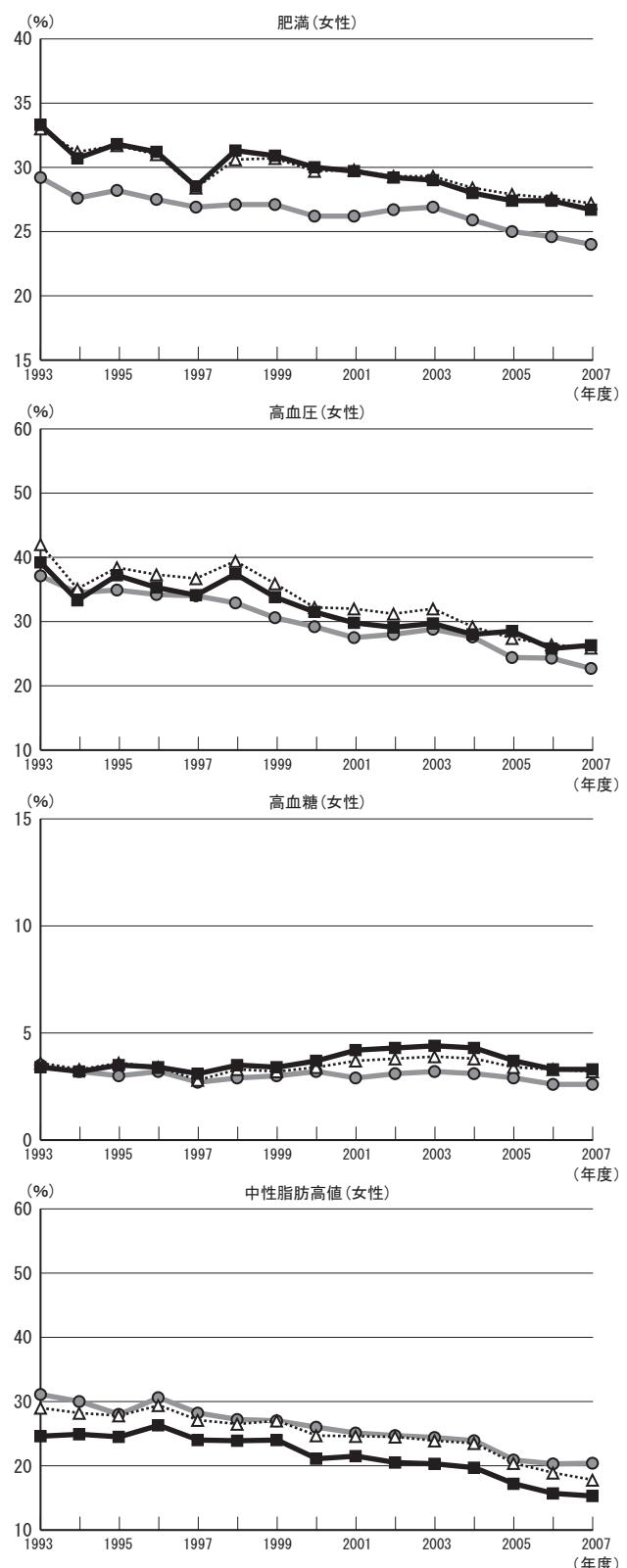
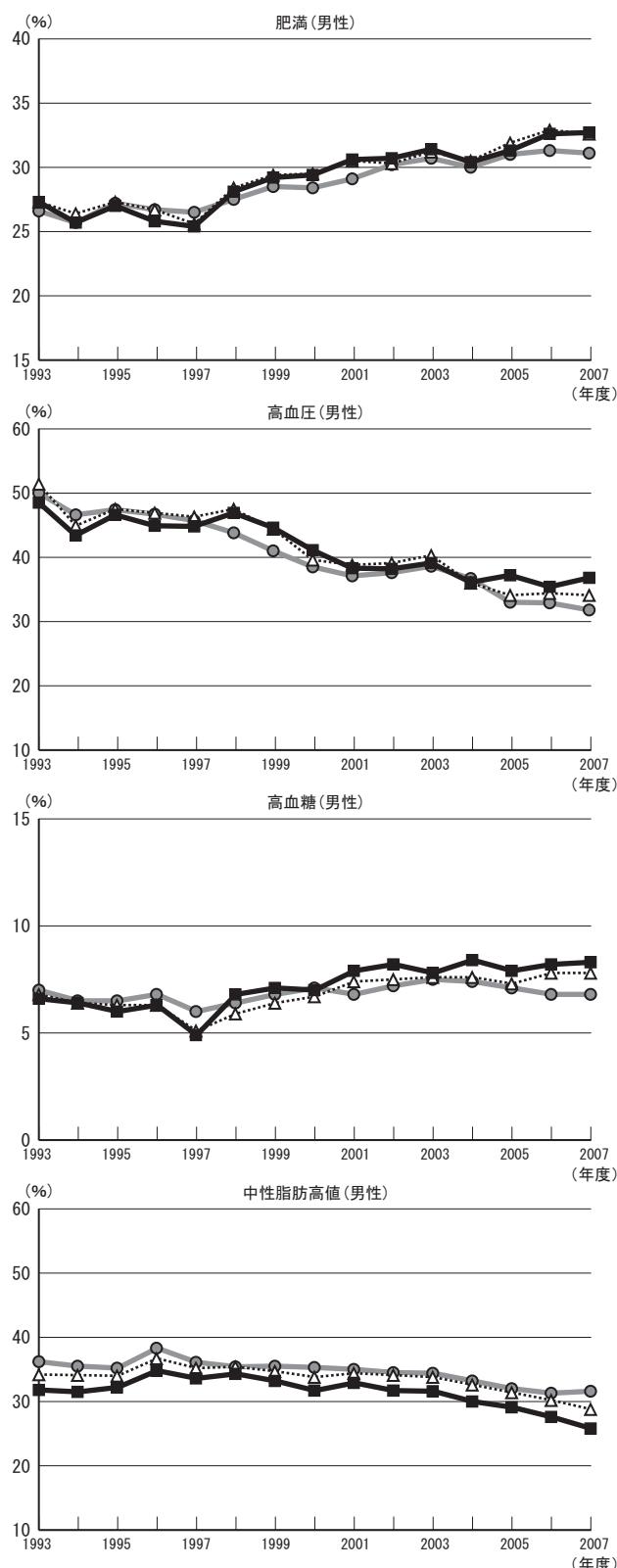


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.10	1103	○	
死 亡 数	0.97	255		
全死因	1.09	39		
悪性新生物	1.06	40		
胃の悪性新生物	0.76	17		○
悪性新生物	0.62	21		
結腸及び直腸の悪性新生物	0.95	21		
肝及び肝内胆管	1.07	12	○	
肺の悪性新生物	2.10	27		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.13	201		
乳房の悪性新生物	1.26	53	○	
子宮の悪性新生物	1.42	197	○	○
糖尿病	2.36	44		
性を除く心疾患 (高血圧)	1.32	40		○
急性心筋梗塞	1.31	112		
脳血管疾患	0.90	20		

男女とも脳血管疾患の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

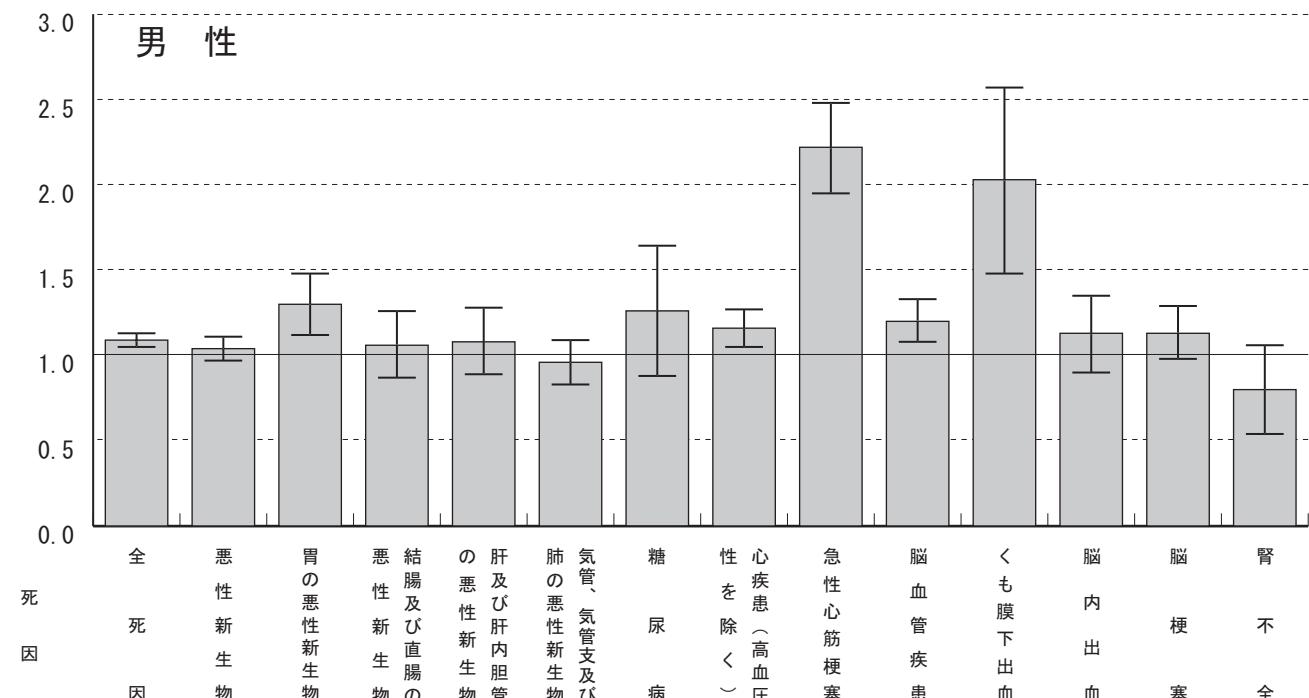
年齢調整有病率の経年度変化(筑西市)

凡例
 08:茨城県
 62:筑西保健所
 8227:筑西市

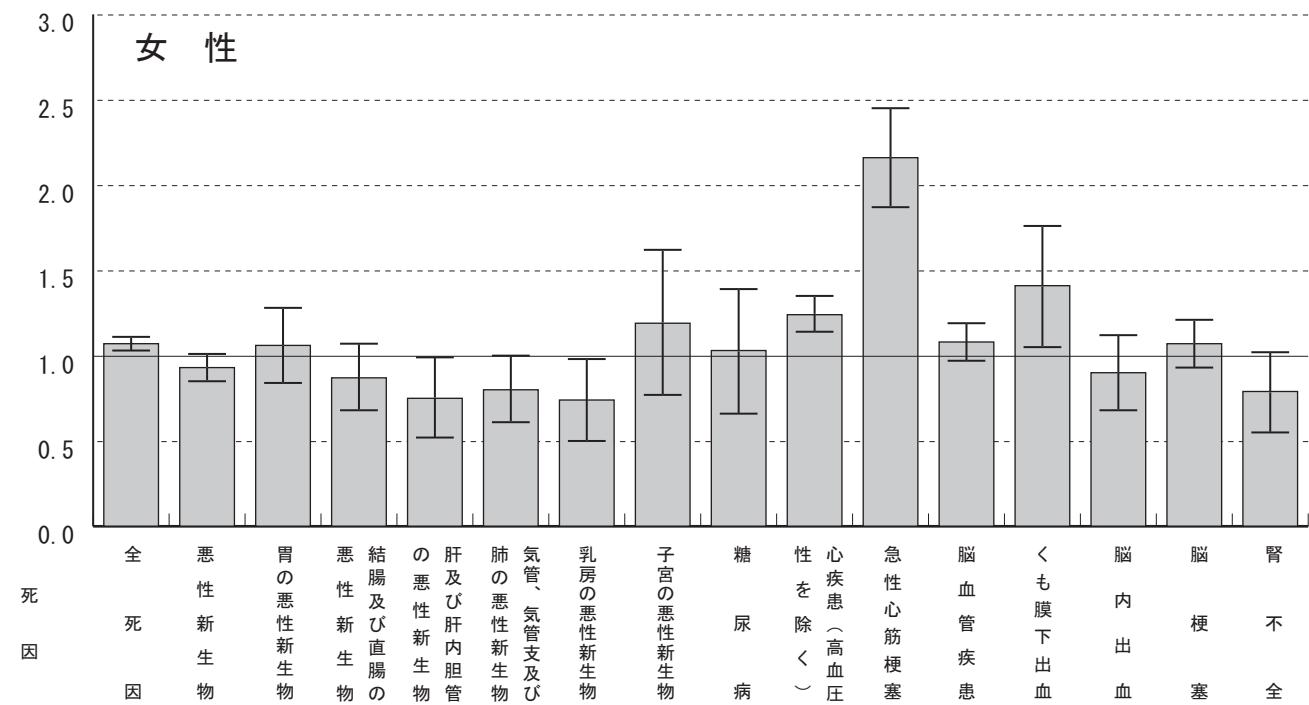


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○				○			
経年的に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目		○	○	○	○	○	○	○
県と比較して経年的に低い項目								

筑西市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.09	2977	○	
死 亡 数	1.04	964	○	
全死因	1.30	202		
悪性新生物	1.06	111		
胃の悪性新生物	1.08	117		
悪性結腸及び直腸の新生物	0.96	205		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.26	42	○	
肺の悪性新生物	1.16	450	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	2.22	262	○	
糖尿病	1.20	360	○	
性を除く心疾患（高血圧）	2.03	53		
急性心筋梗塞	1.13	97		
脳血管疾患	1.13	203		
くも膜下出血	0.80	36		
脳内出血	0.80			
脳梗塞	0.80			
腎不全	0.80			

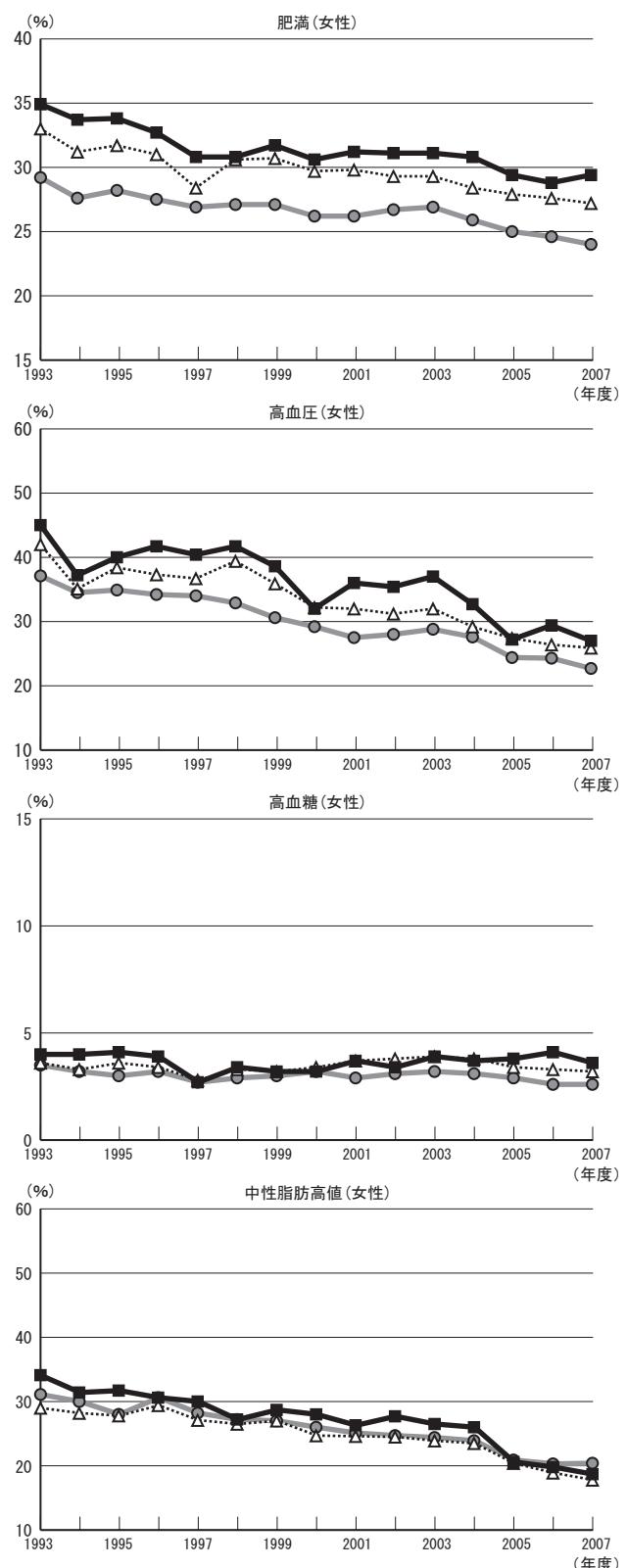
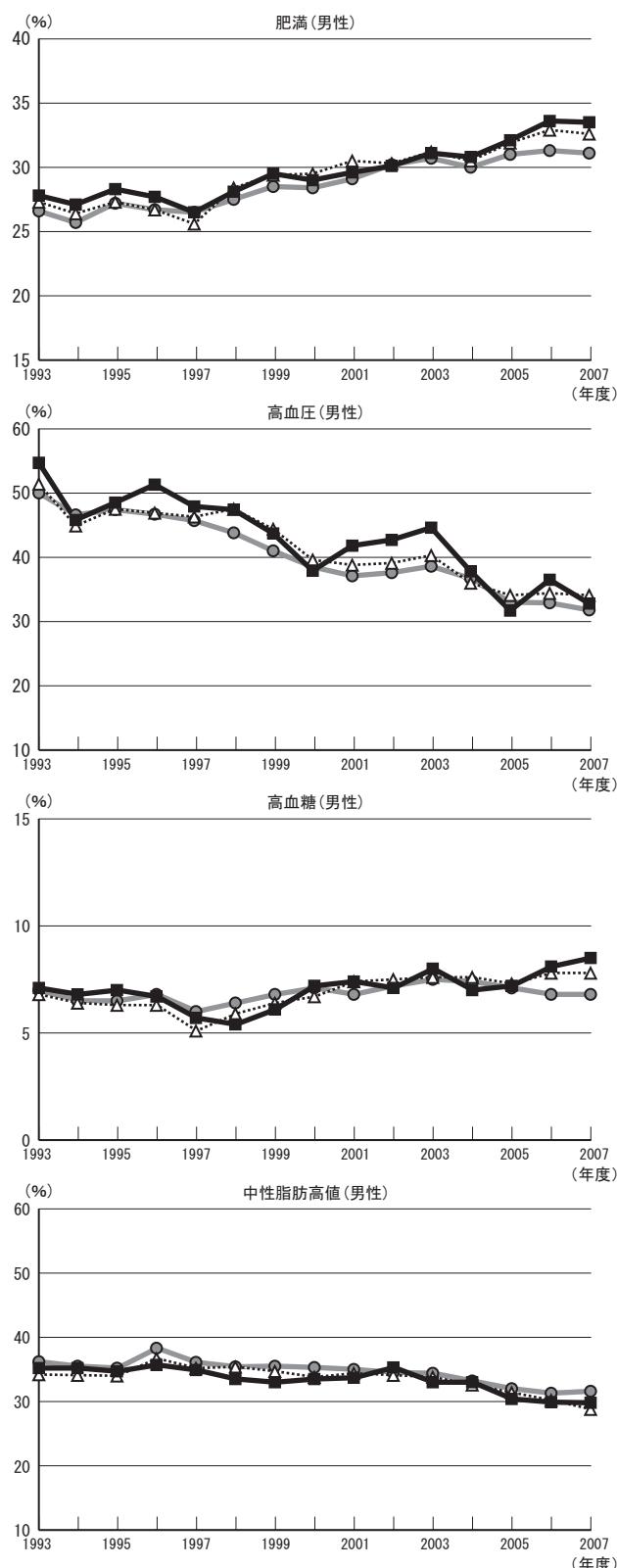


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	2522	○	
死 亡 数	0.93	561		
全死因	1.06	88		
悪性新生物	0.87	76		
胃の悪性新生物	0.75	39	○	
悪性結腸及び直腸の新生物	0.80	63		○
肝及び肝内胆管の悪性新生物	0.74	36		○
肺の悪性新生物	1.19	30		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.03	31	○	
乳房の悪性新生物	1.24	527	○	
子宮の悪性新生物	2.16	216	○	
糖尿病	1.08	355		○
性を除く心疾患（高血圧）	1.41	60		
脳血管疾患	0.90	64		
くも膜下出血	1.07	221		
脳内出血	0.79	42		
脳梗塞				
腎不全				

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。男性では脳血管疾患の死亡率も高く、女性でも高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性で胃がんの死亡率が高く、胃がん検診の積極的な推進が求められる。

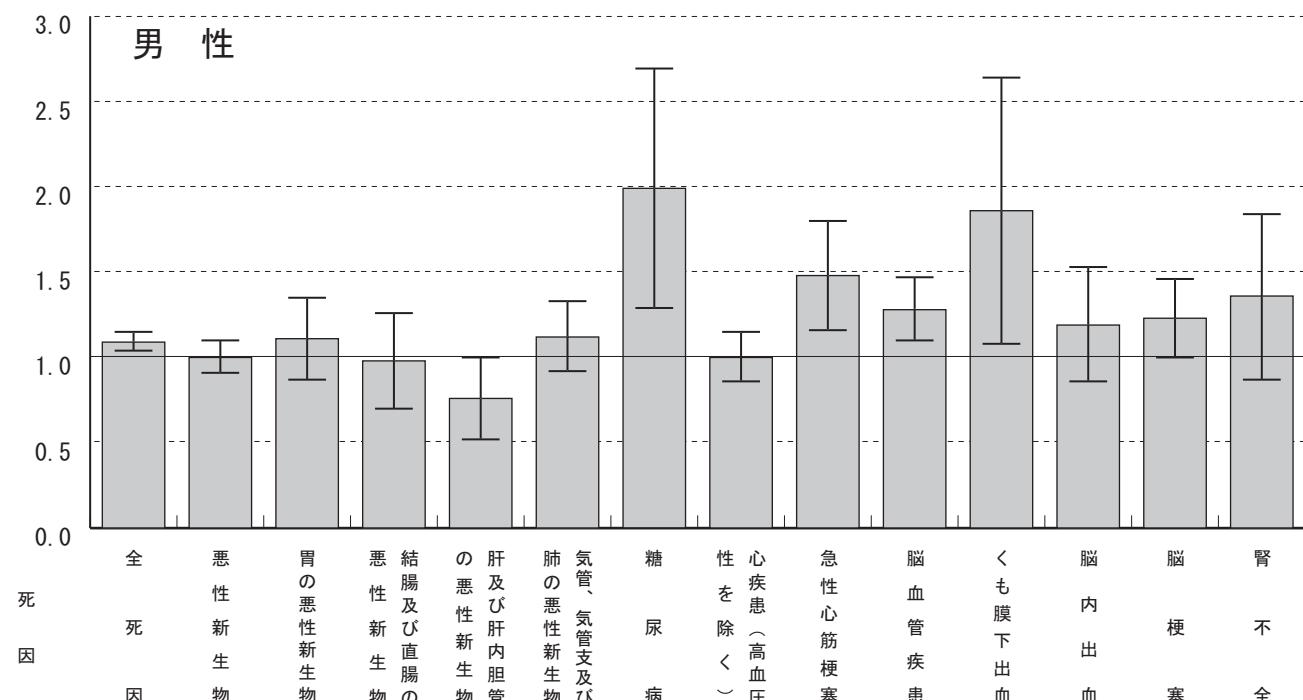
年齢調整有病率の経年度変化(桜川市)

凡例
 08:茨城県
 62:筑西保健所
 8231:桜川市

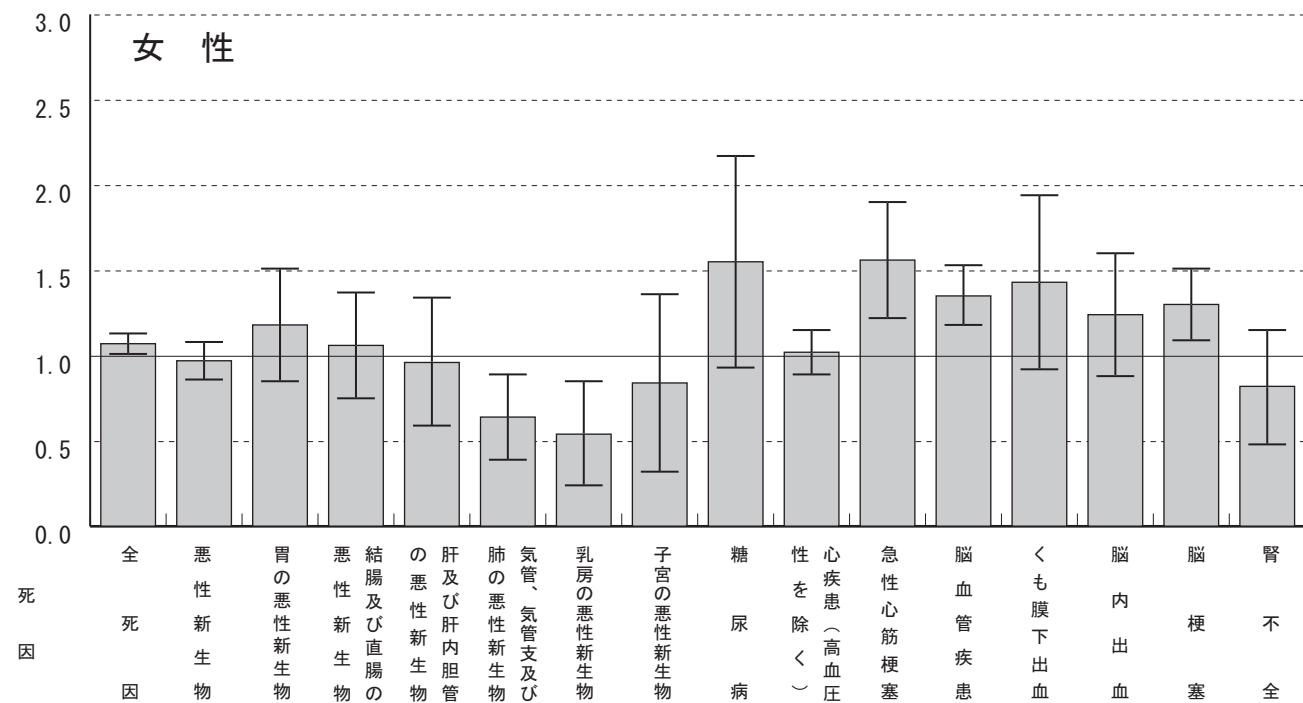


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○					○		
経年に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目	○	○	○	○		○		○
県と比較して経年に低い項目							○	

桜川市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.09	1.00	O	
死 亡 数	1422	437		
全国に比べて有意に高い				
全国に比べて有意に低い				

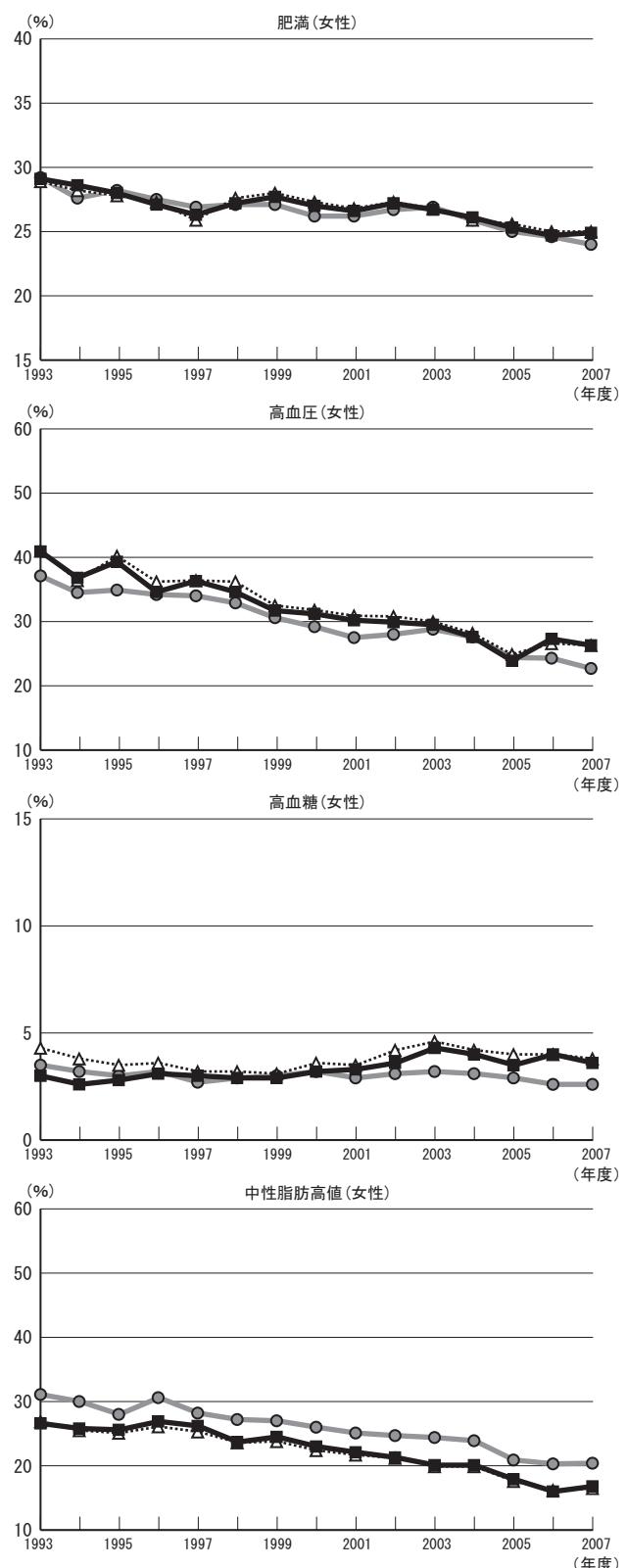
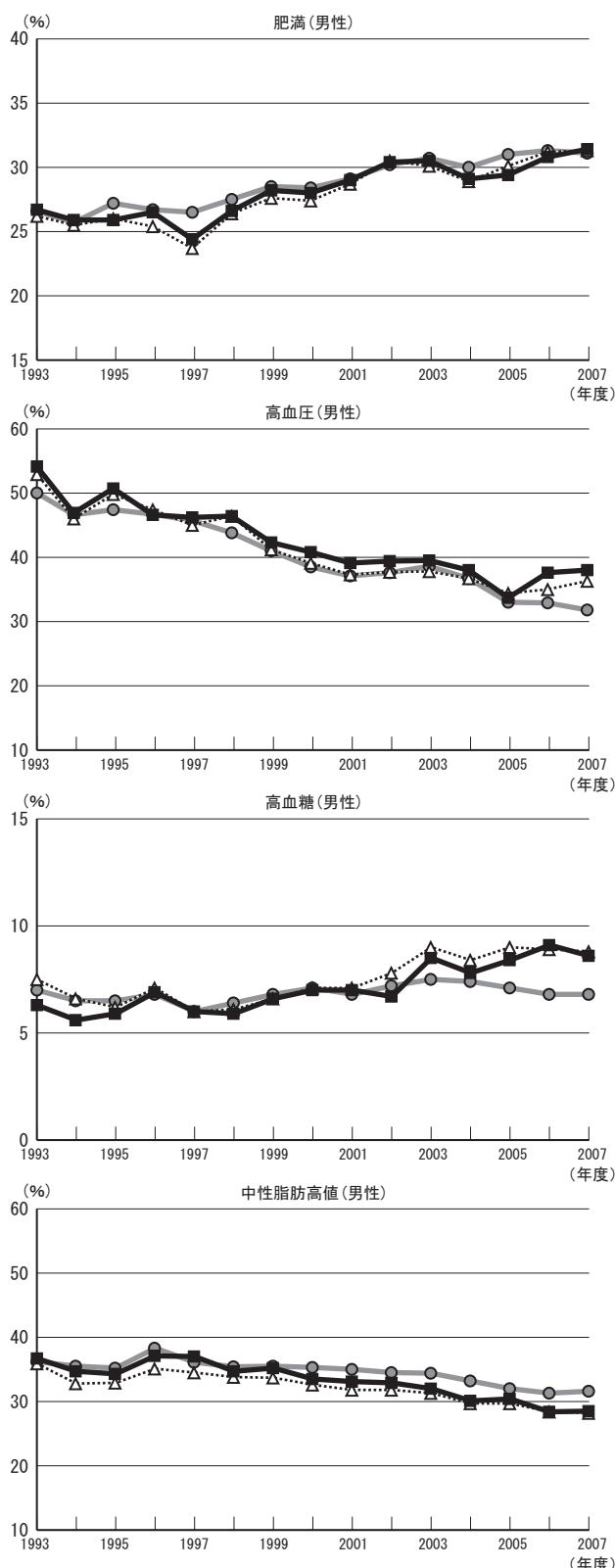


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	1296	O	
死 亡 数	290	49		
全国に比べて有意に高い				
全国に比べて有意に低い				

男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

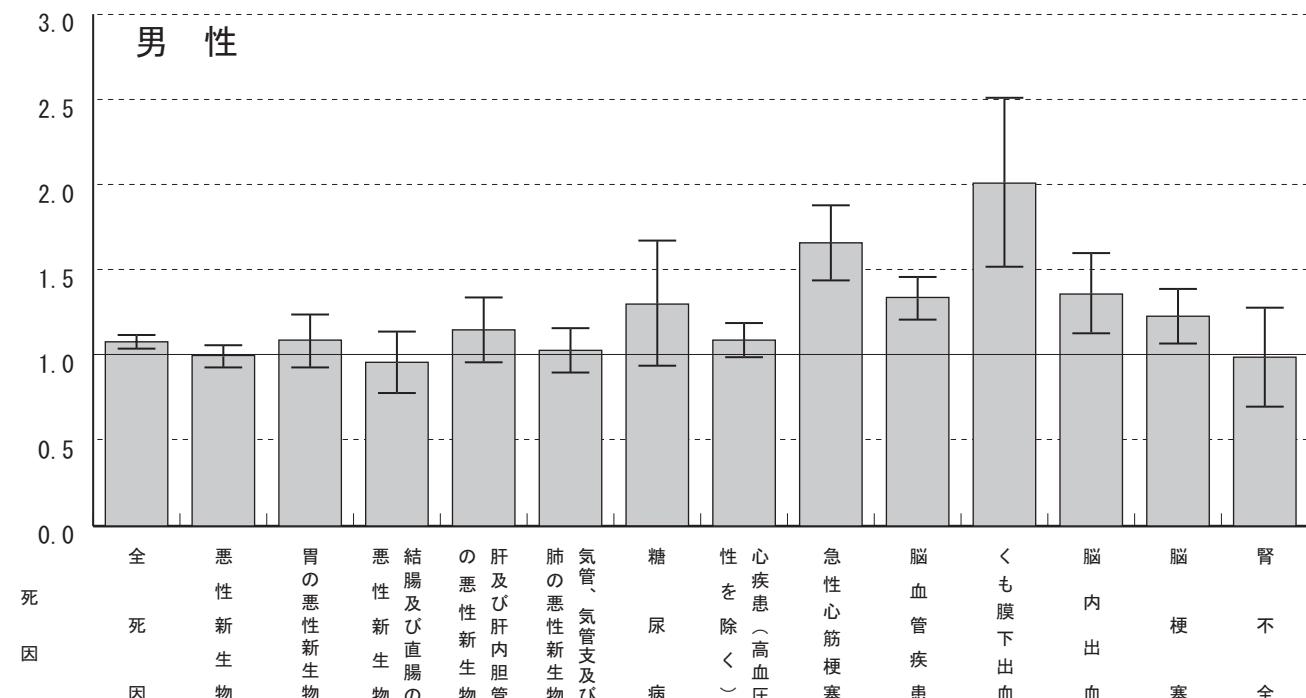
年齢調整有病率の経年度変化(古河市)

凡例
 08:茨城県
 ...△... 65:古河保健所
 -■- 8204:古河市

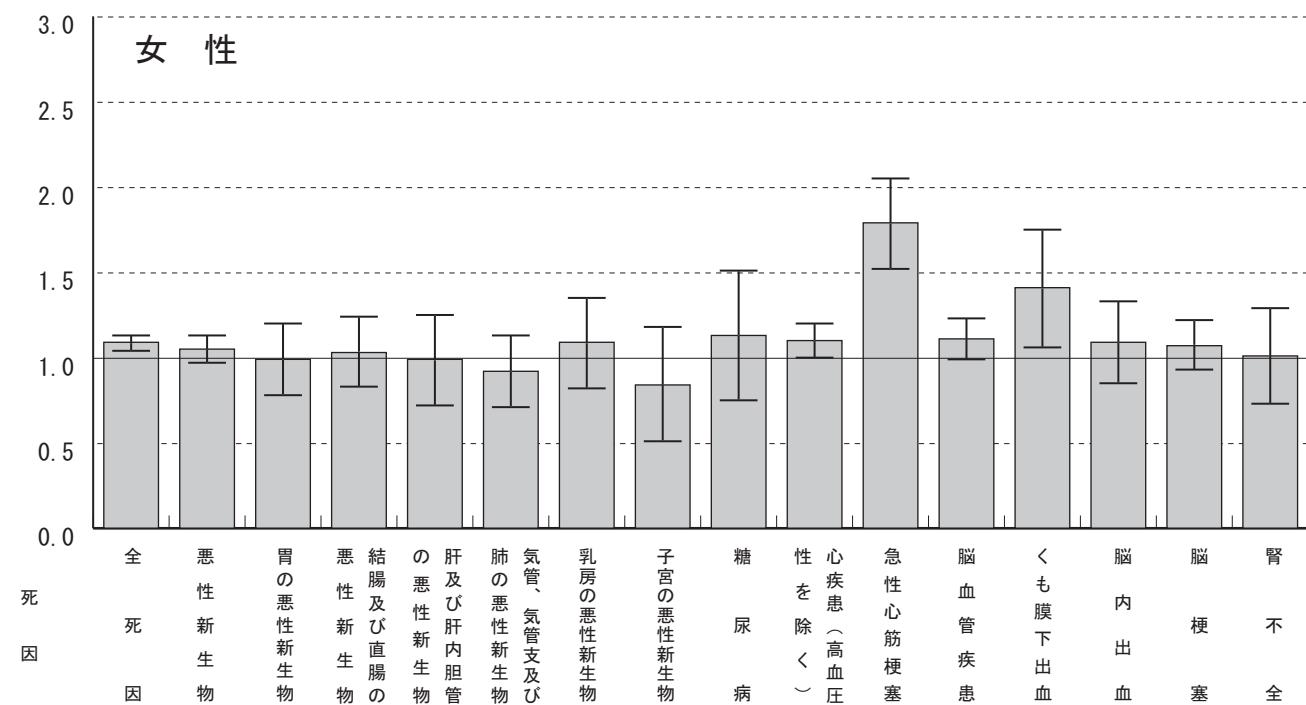


	肥満		高血压		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○				○	○		
経年に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目			○	○	○	○		
県と比較して経年に低い項目							○	○

古河市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.08	3226	○	
死 亡 数	1.00	1031		
全死因	1.09	188		
悪性新生物	0.96	113		
胃の悪性新生物	1.15	143		
悪性結腸及び直腸の新生物	1.03	241		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.30	49		
肺の悪性新生物	1.09	458	○	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.66	215	○	
糖尿病	1.34	425	○	
性を除く心疾患（高血圧）	2.01	63	○	
急性心筋梗塞	1.36	132	○	
脳血管疾患	1.23	223	○	
くも膜下出血	0.99	46		

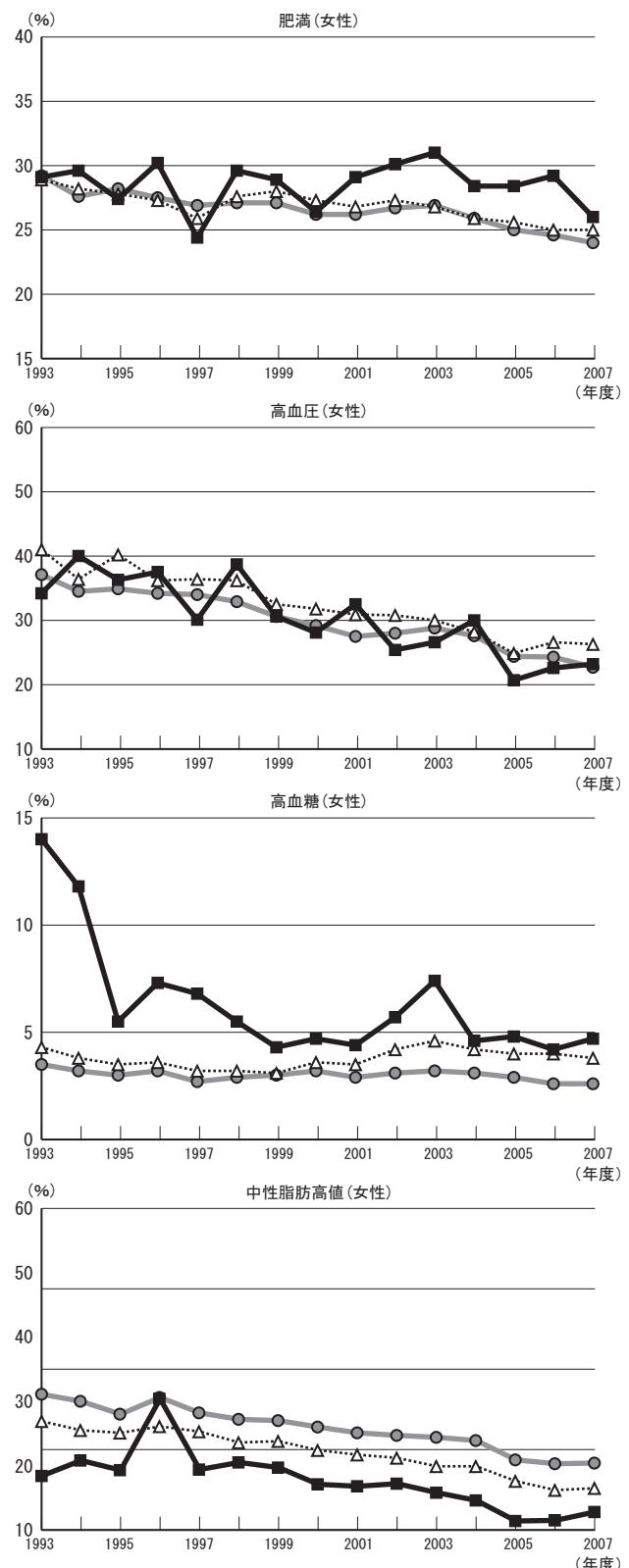
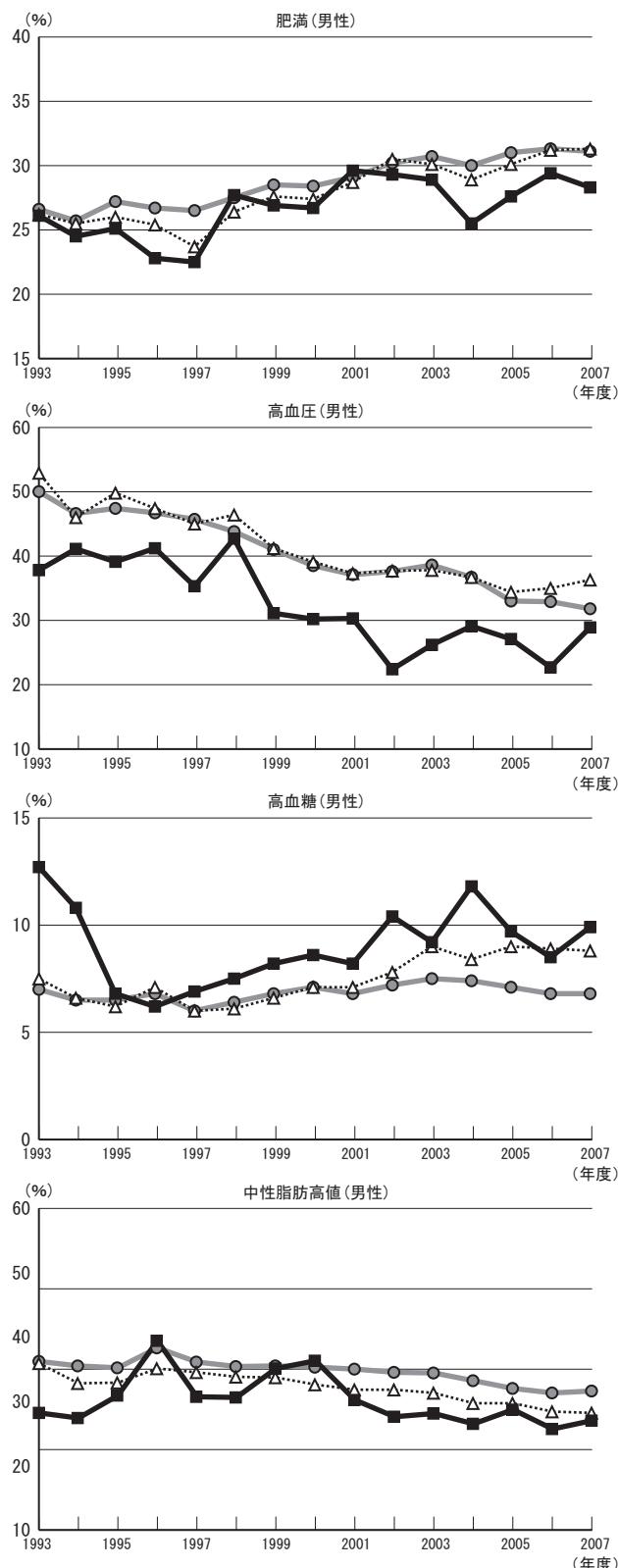


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.09	2539	○	
死 亡 数	1.05	671		
全死因	0.99	85		
悪性新生物	1.03	94		
胃の悪性新生物	0.99	53		
悪性結腸及び直腸の新生物	0.99	75		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	0.92	63		
肺の悪性新生物	1.09	24		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.84	34		
乳房の悪性新生物	1.13	446	○	
子宮の悪性新生物	1.10	173		
糖尿病	1.79	351	○	
性を除く心疾患（高血圧）	1.11	64		
急性心筋梗塞	1.41	77		
脳血管疾患	1.09	205		
くも膜下出血	1.07	51		
脳内出血	1.01			
脳梗塞				

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。男性では脳血管疾患の死亡率も高く、女性でも高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

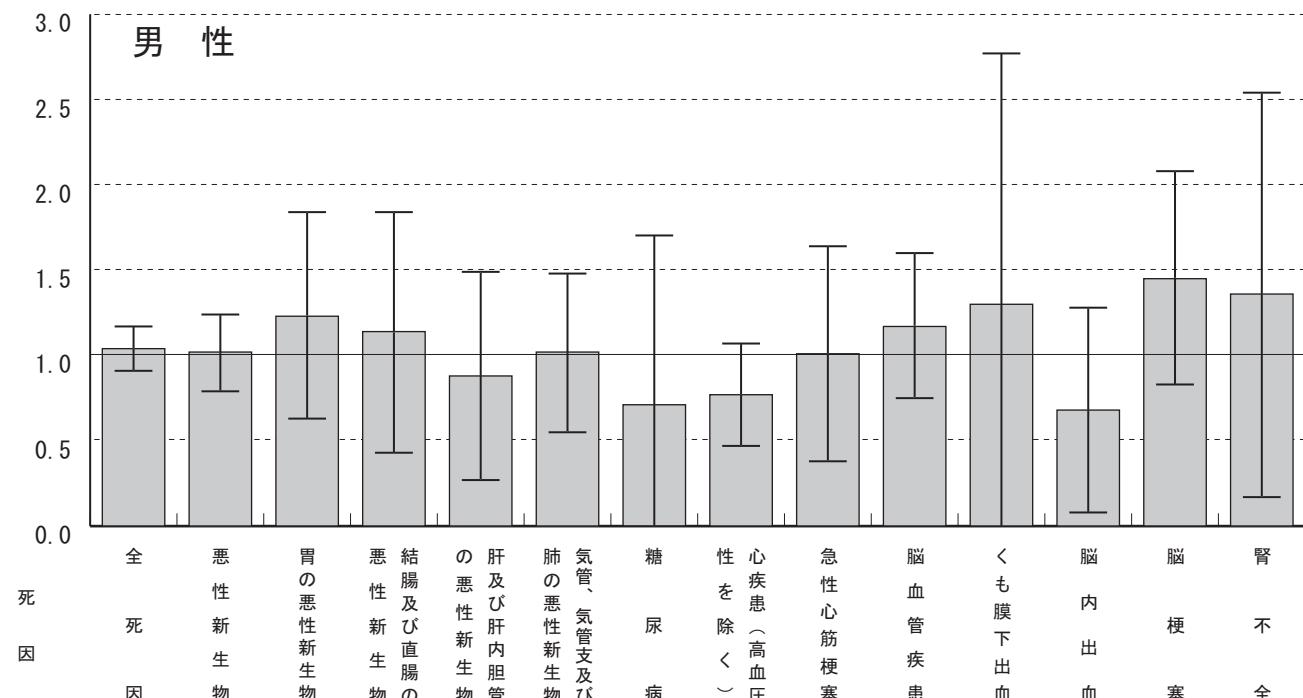
年齢調整有病率の経年度変化(五霞町)

凡例
 08:茨城県
 △:古河保健所
 ■:五霞町

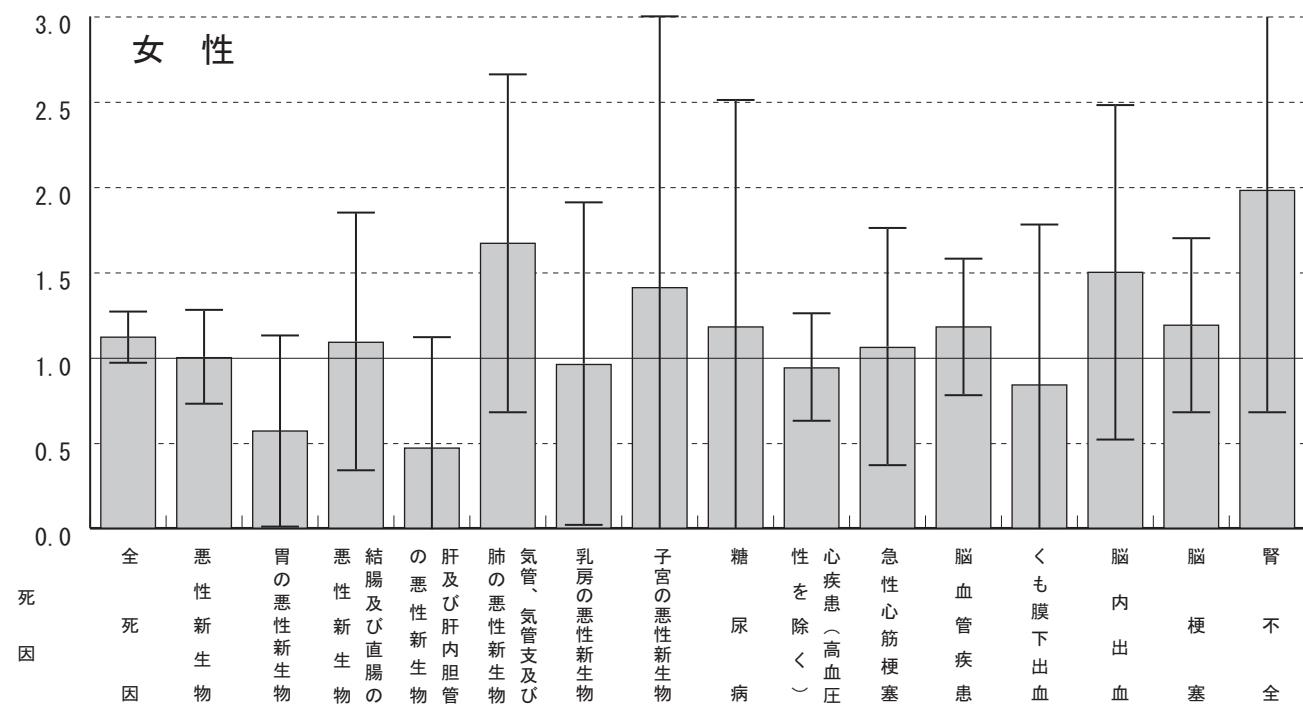


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○		○		○
県と比較して経年に高い項目				○		○		
県と比較して経年に低い項目	○		○				○	○

五霞町標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数
標準化死亡比	1.04	238
死 亡 数	79	16
全国に比べて有意に高い		
全国に比べて有意に低い		

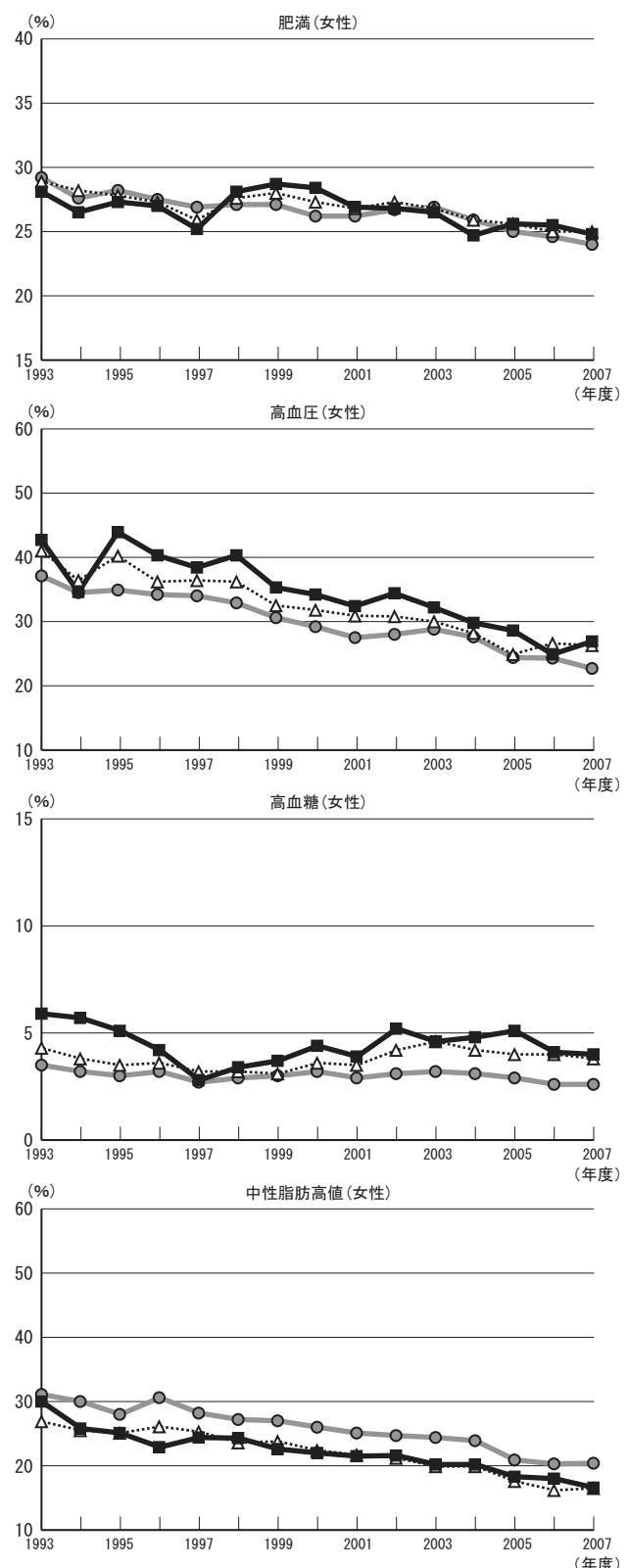
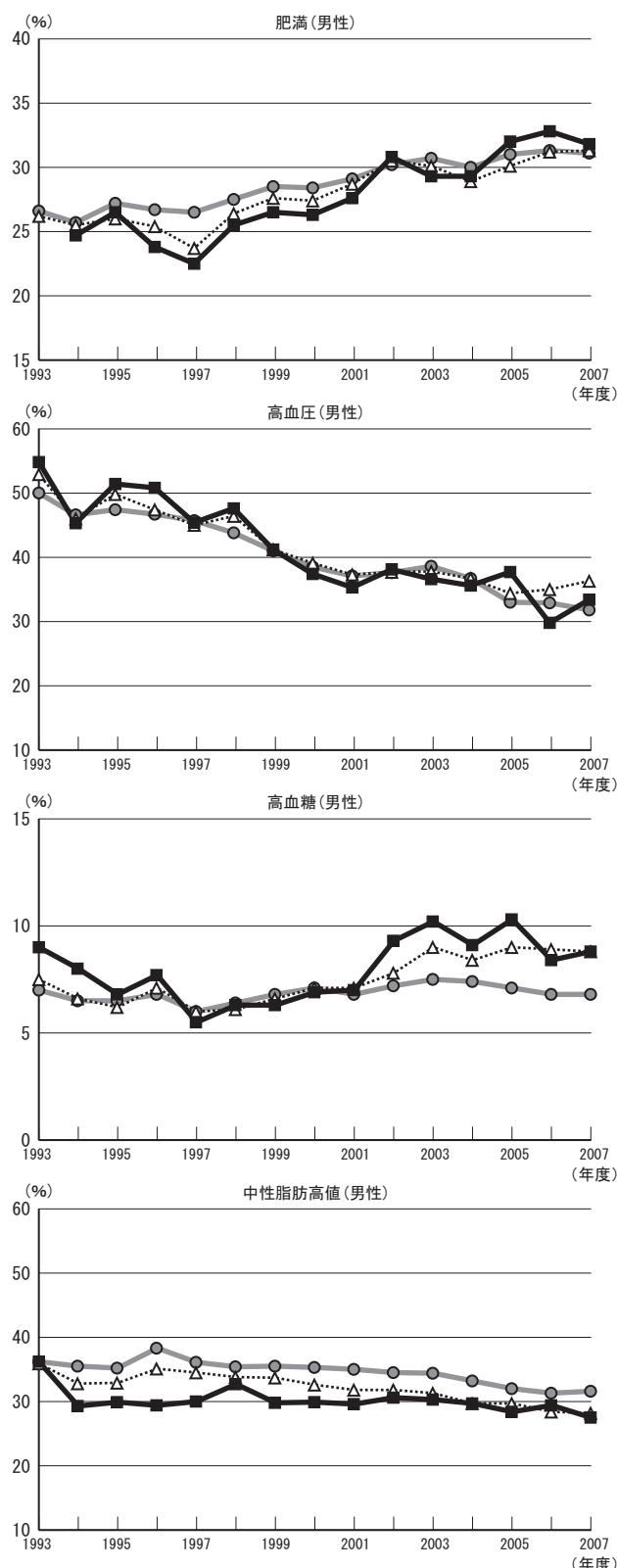


	標準化死亡比	死 亡 数
標準化死亡比	1.12	224
死 亡 数	51	4
全国に比べて有意に高い		
全国に比べて有意に低い		

死亡率はほぼ全国並み。今後とも、高血圧対策の推進や男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

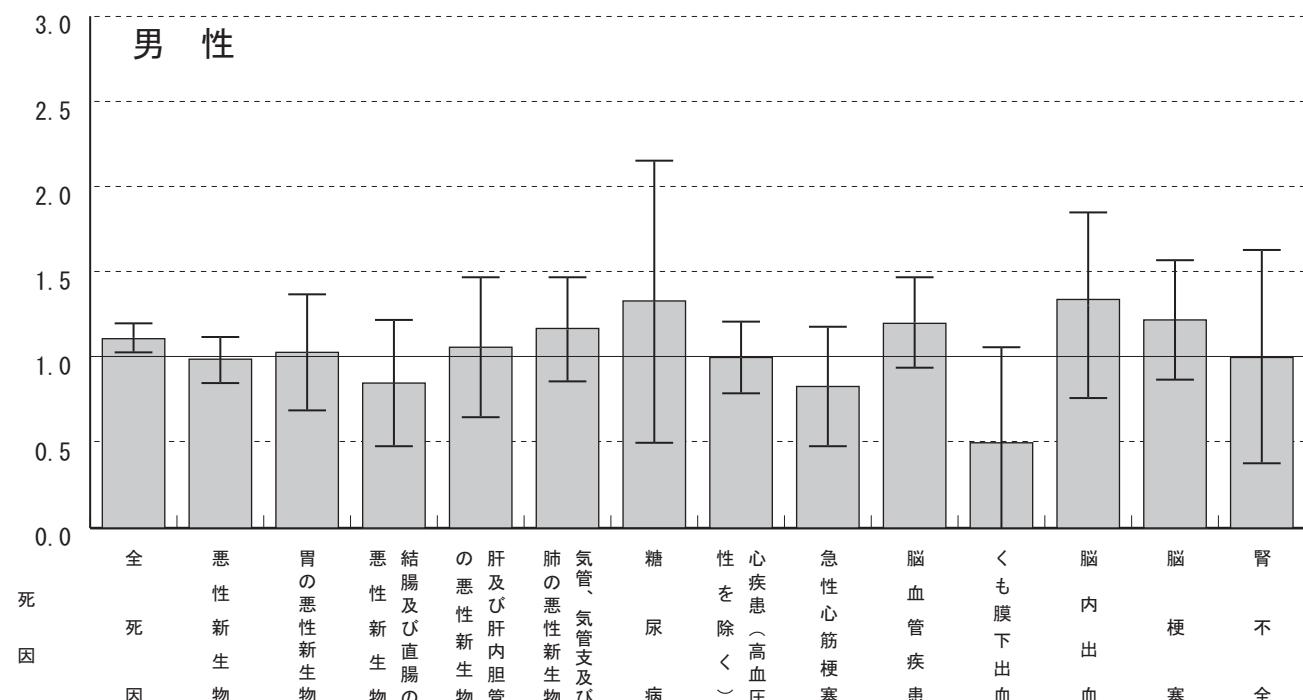
年齢調整有病率の経年度変化(境町)

凡例
 08:茨城県
 ...△... 65:古河保健所
 -■- 8546:境町

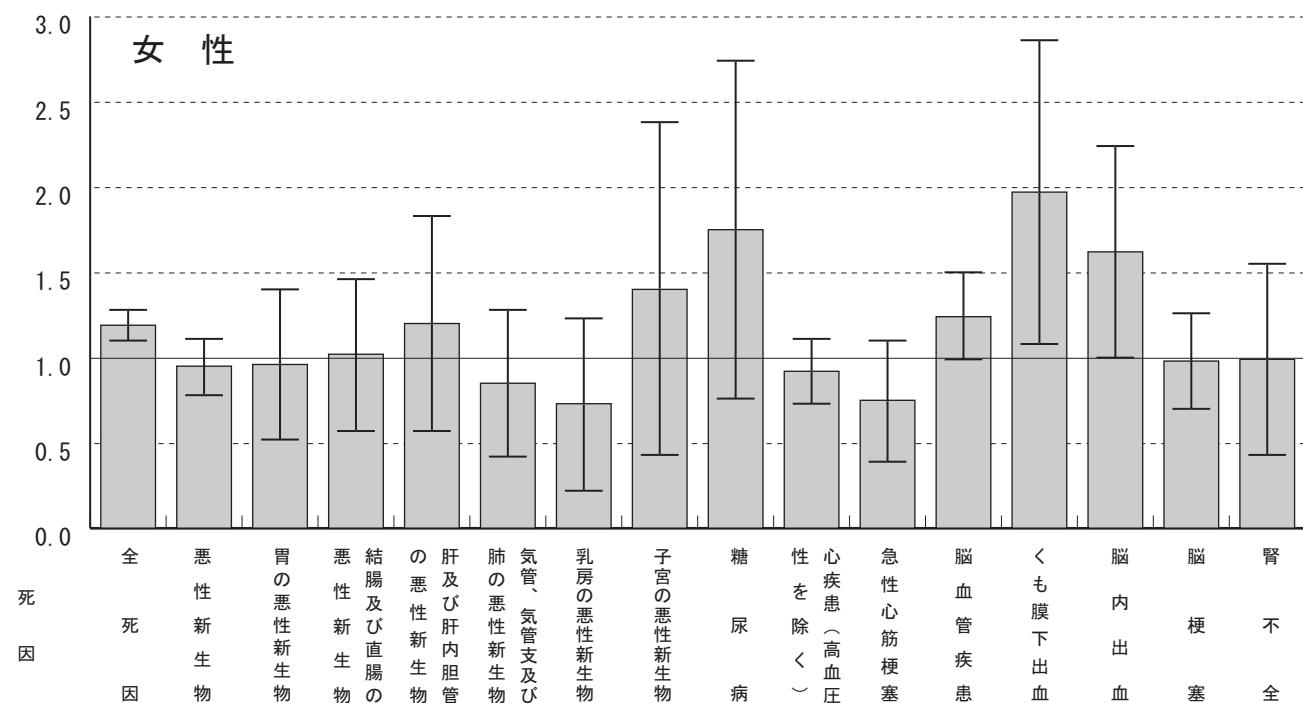


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○							
経年的に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目			○	○	○	○		
県と比較して経年的に低い項目	○						○	○

境町標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.11	683	○	
死 亡 数	207	207		
全国に比べて有意に高い	○			
全国に比べて有意に低い				

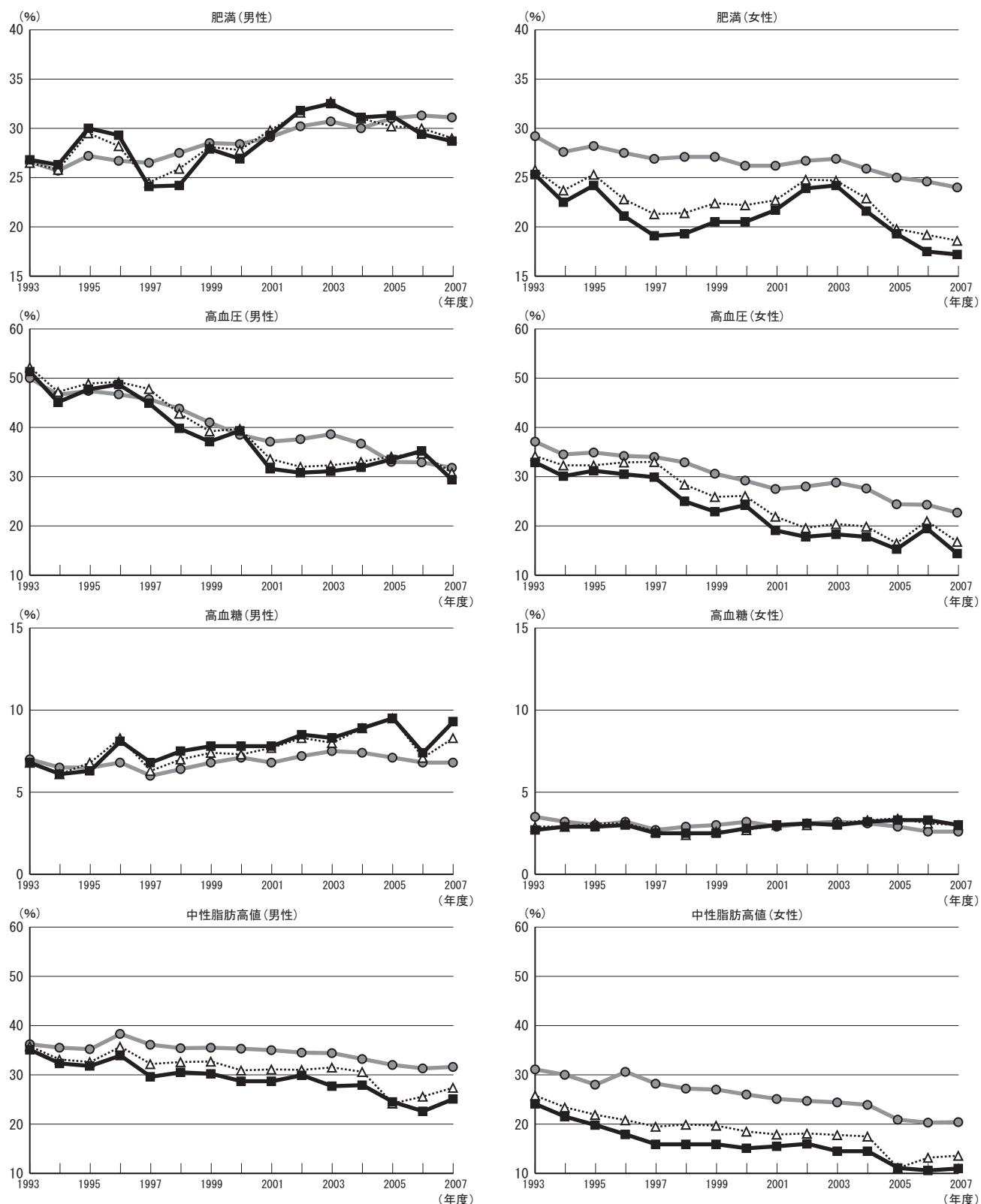


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.19	636	○	
死 亡 数	129	18		
全国に比べて有意に高い	○			
全国に比べて有意に低い				

男女とも脳血管疾患の死亡率が高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

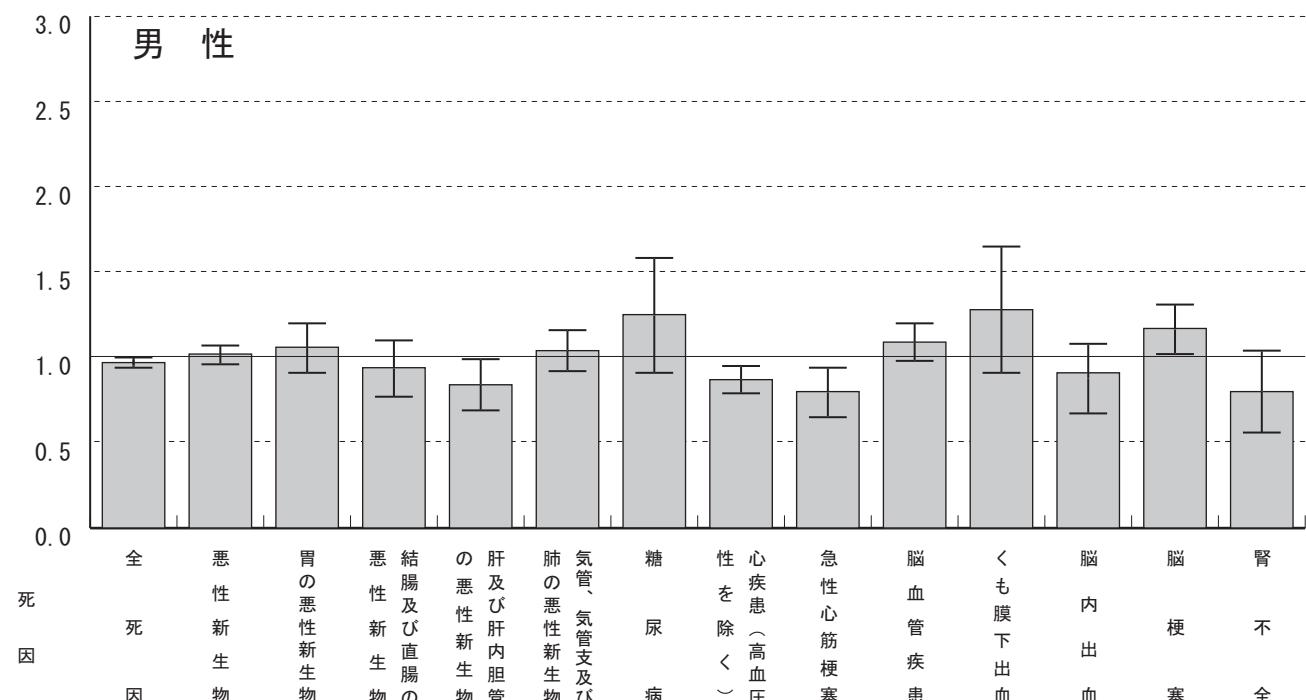
年齢調整有病率の経年度変化(つくば市)

凡例
 08:茨城県
 69:つくば保健所
 8220:つくば市

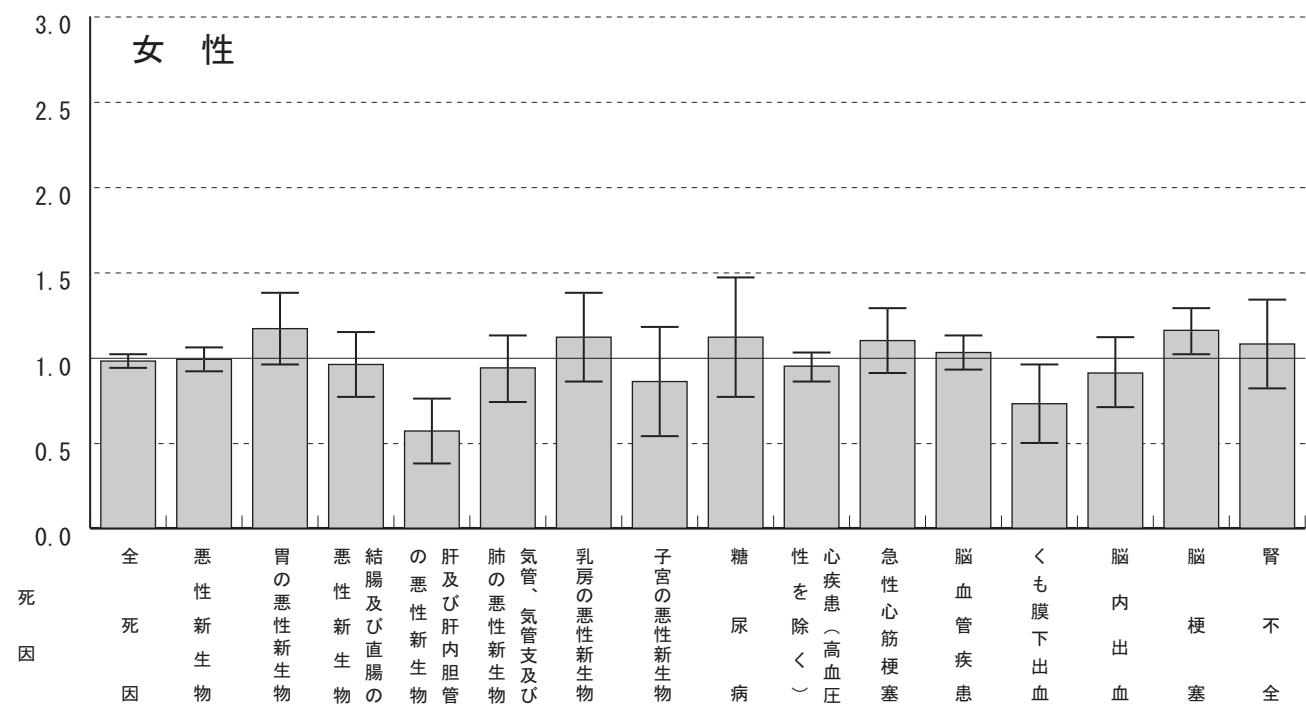


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○				○	○		
経年的に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目					○			
県と比較して経年的に低い項目			○	○			○	○

つくば市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.97	3372		
死 亡 数	1.02	1187		
全国に比べて有意に高い	1.06	206		
全国に比べて有意に低い	0.94	124	○	
	0.84	115		
	1.04	276		
	1.25	53		
	0.87	426		
	0.80	119		○
	1.09	405		
	1.28	46		
	0.91	100		
	1.17	252		
	0.80	44		

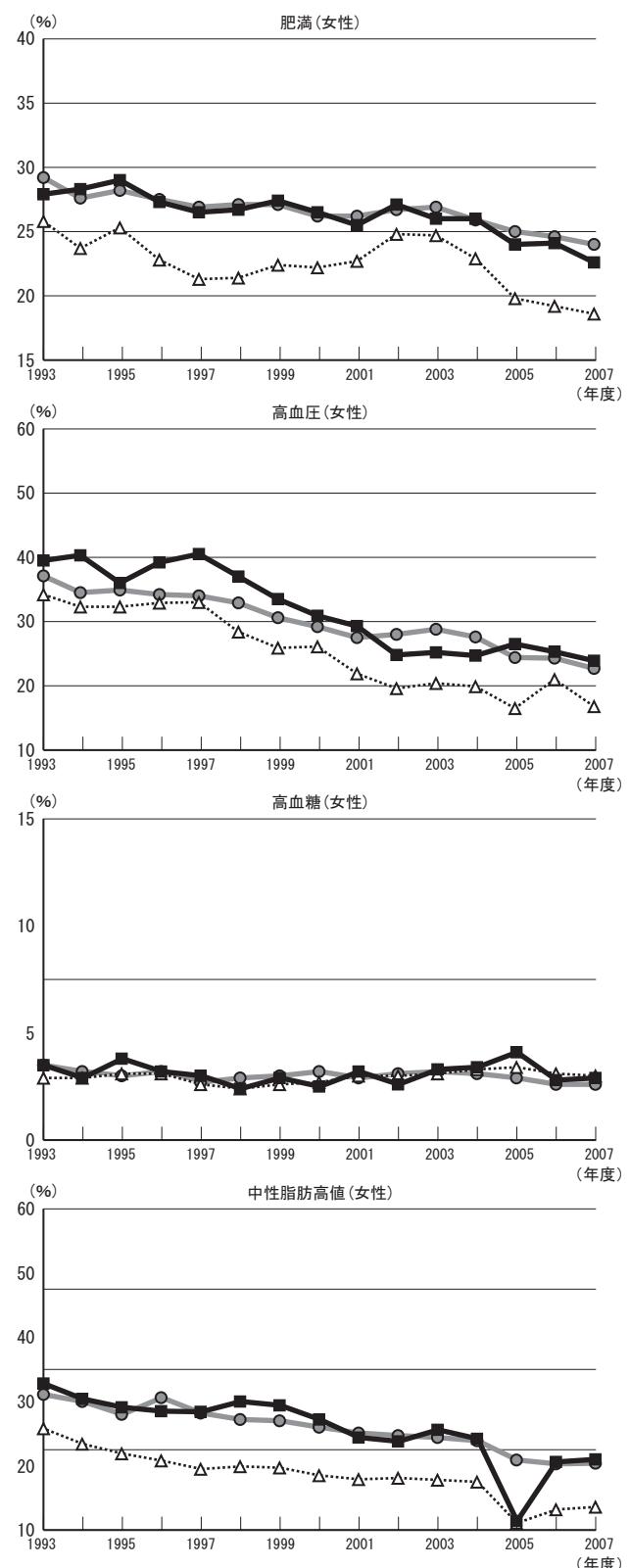
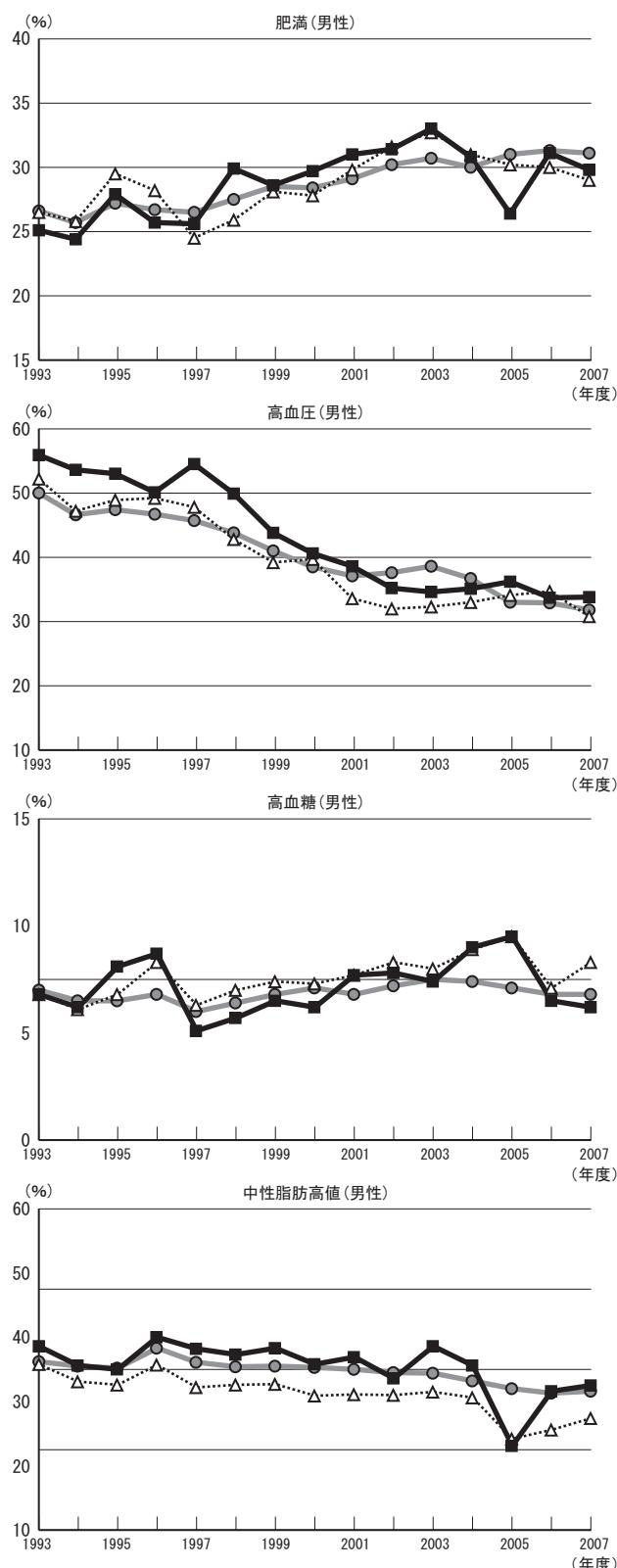


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.98	2758		
死 亡 数	0.99	730		
全国に比べて有意に高い	1.17	118		
全国に比べて有意に低い	0.96	101	○	
	0.57	35		
	0.94	88		
	1.12	73		
	0.86	28		
	1.12	40		
	0.95	469		
	1.10	129		
	1.03	397		
	0.73	38		○
	0.91	77		
	1.16	275		
	1.08	67		

男女とも脳血管疾患の死亡率が高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

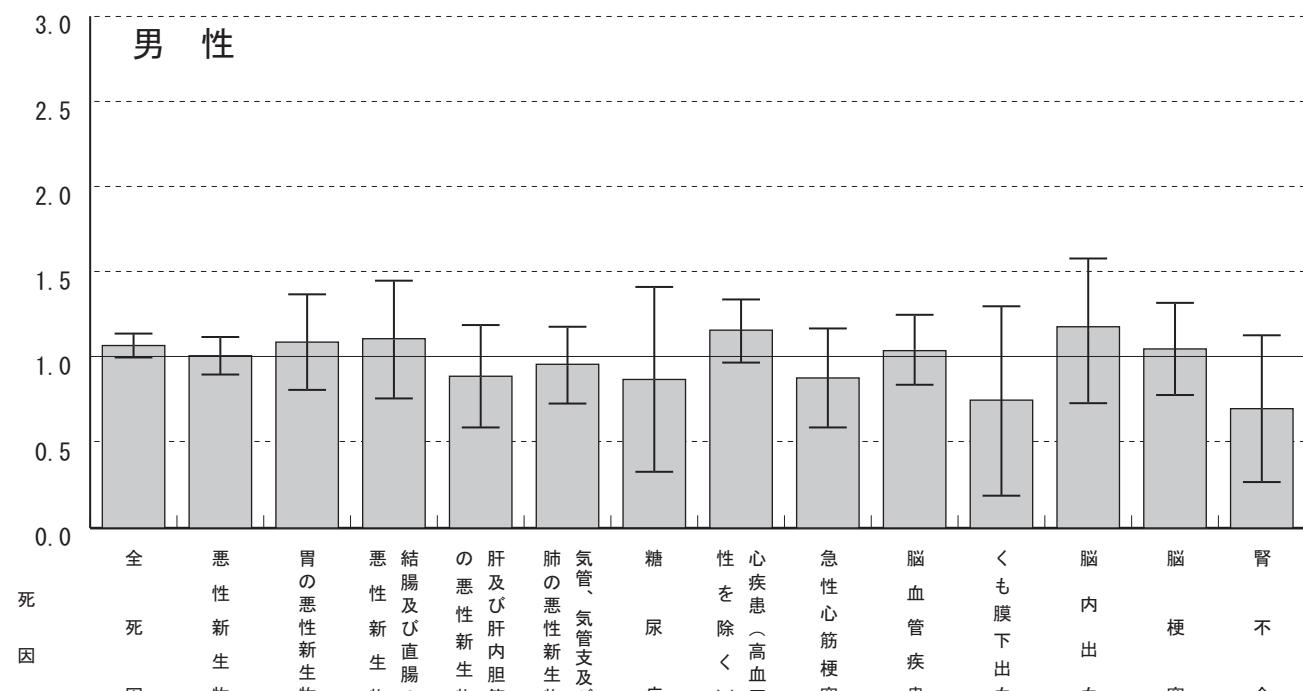
年齢調整有病率の経年度変化(つくばみらい市)

凡例
 08: 茨城県
 ...△... 69: つくば保健所
 ■ 8235: つくばみらい市

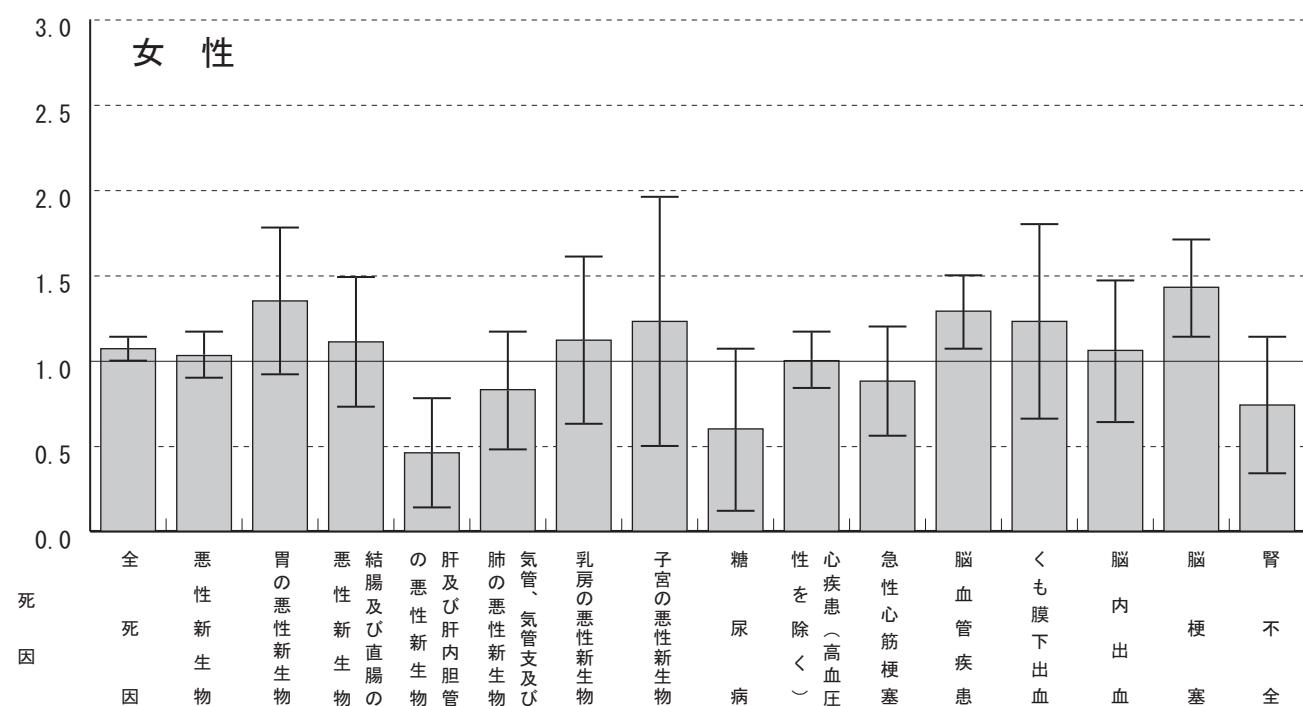


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○							
経年的に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目			○	○				○
県と比較して経年的に低い項目								

つくばみらい市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	980	○	
死 亡 数	321	58		
全国に比べて有意に高い				
全国に比べて有意に低い				

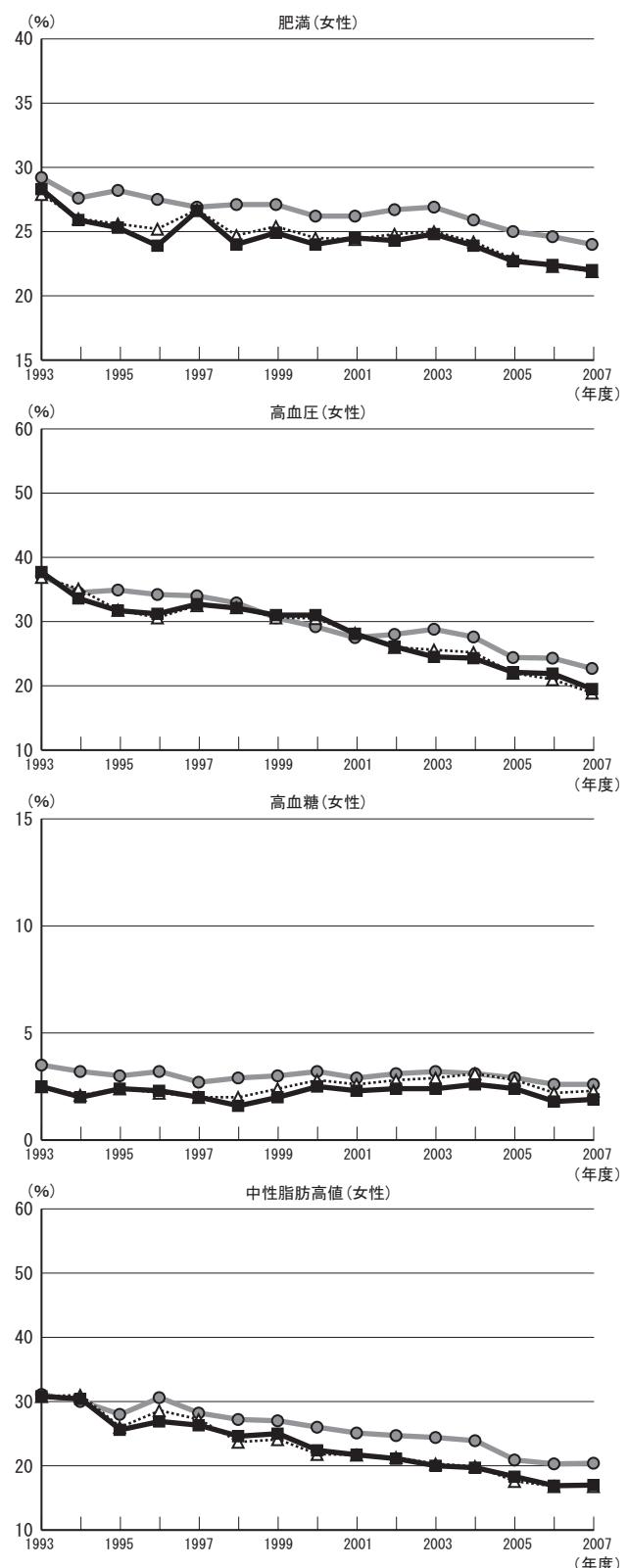
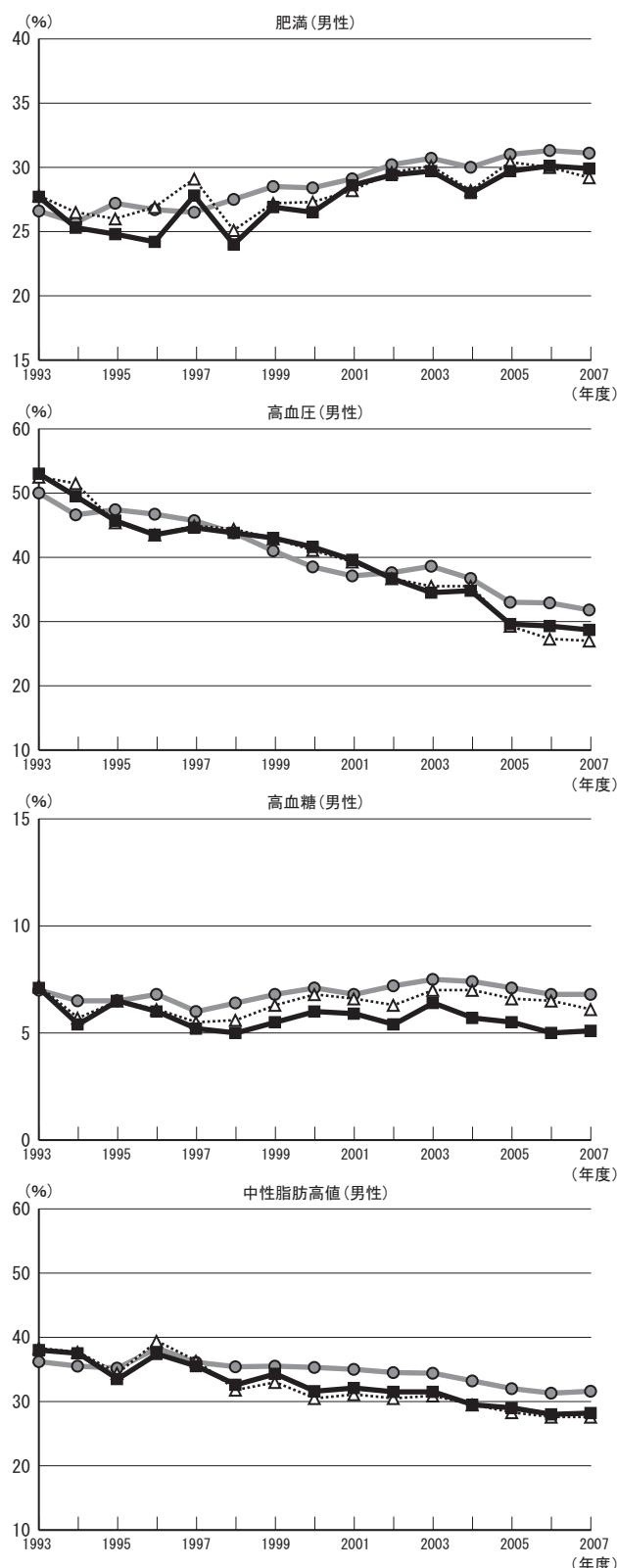


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	843		
死 亡 数	214	38		
全国に比べて有意に高い				
全国に比べて有意に低い			○	

女性で脳血管疾患の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

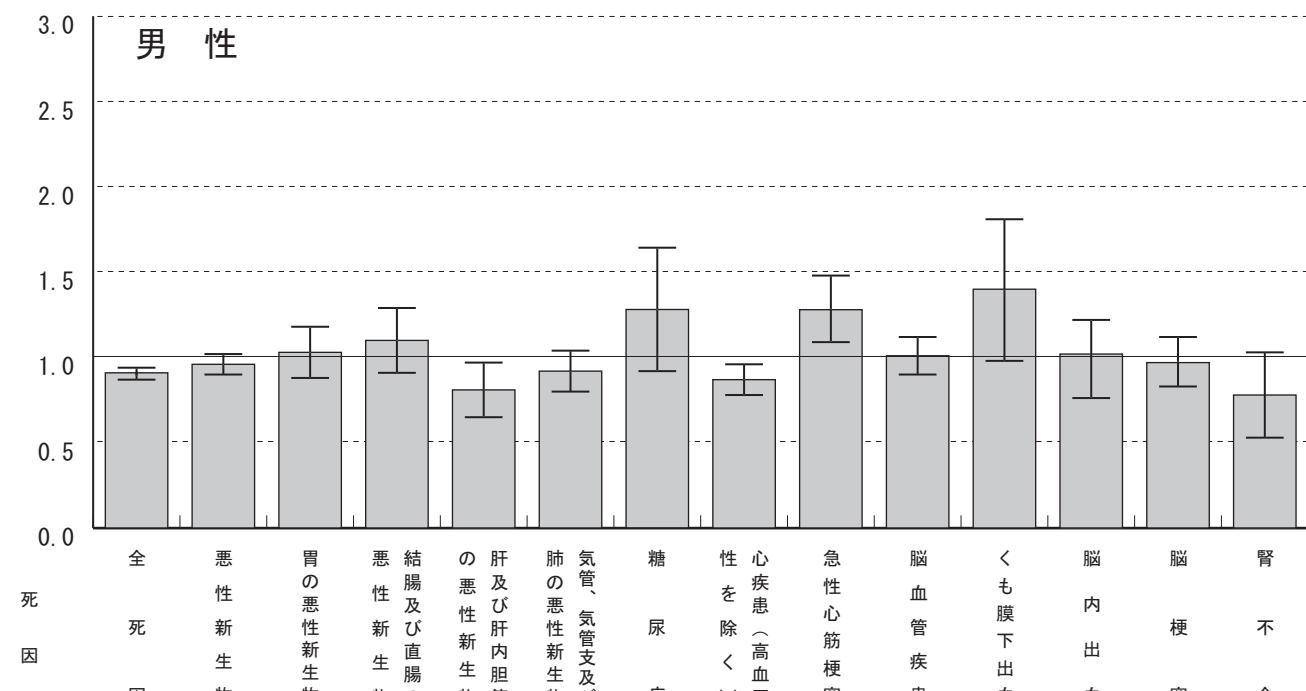
年齢調整有病率の経年度変化(ひたちなか市)

凡例
 08:茨城県
 70:ひたちなか保健所
 8221:ひたちなか市

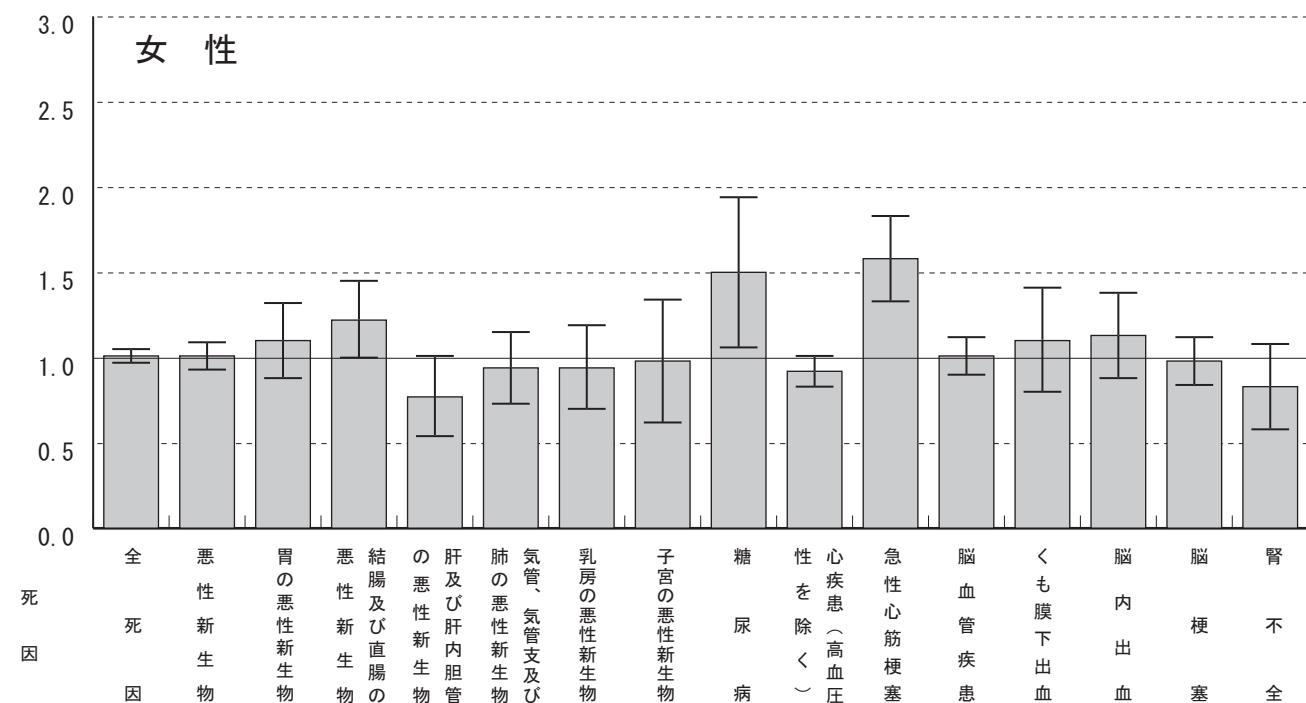


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目								
県と比較して経年に低い項目	○	○			○	○	○	○

ひたちなか市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.91	2769		○
死 亡 数	1011	182		○
全国に比べて有意に高い			○	
全国に比べて有意に低い				

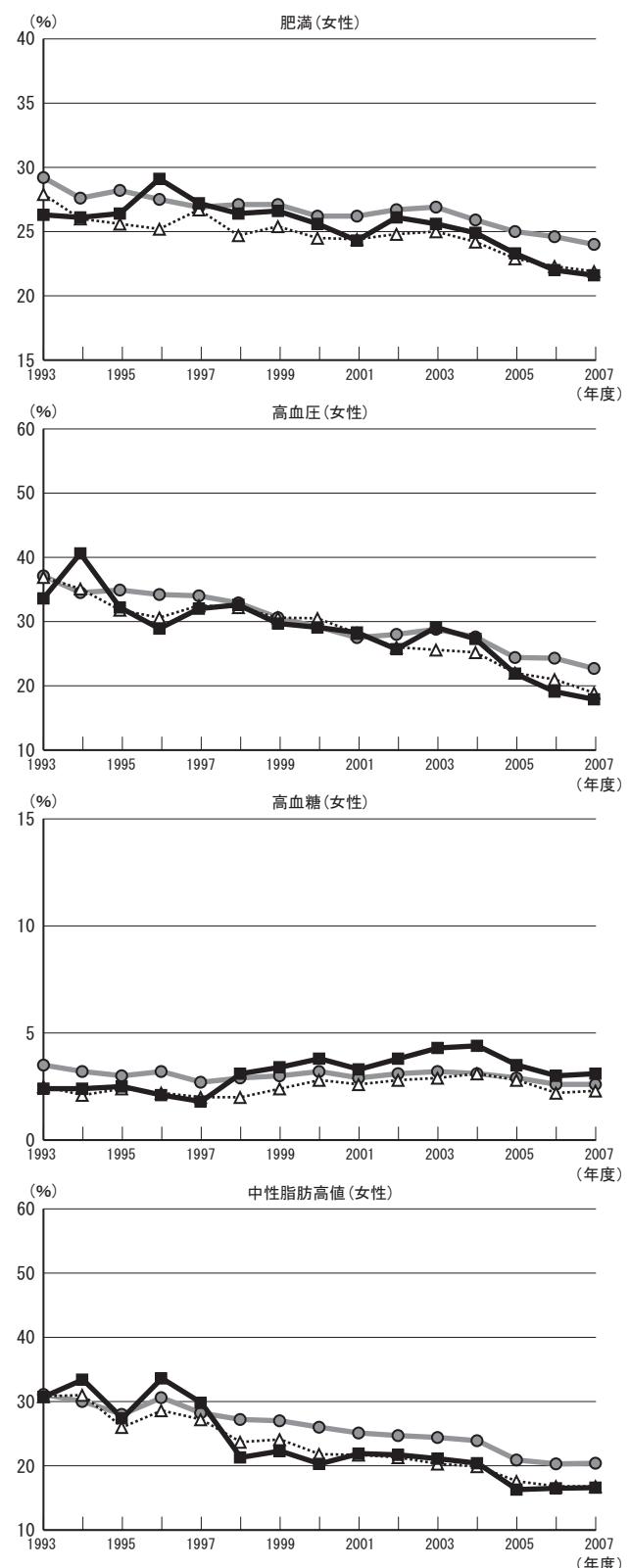
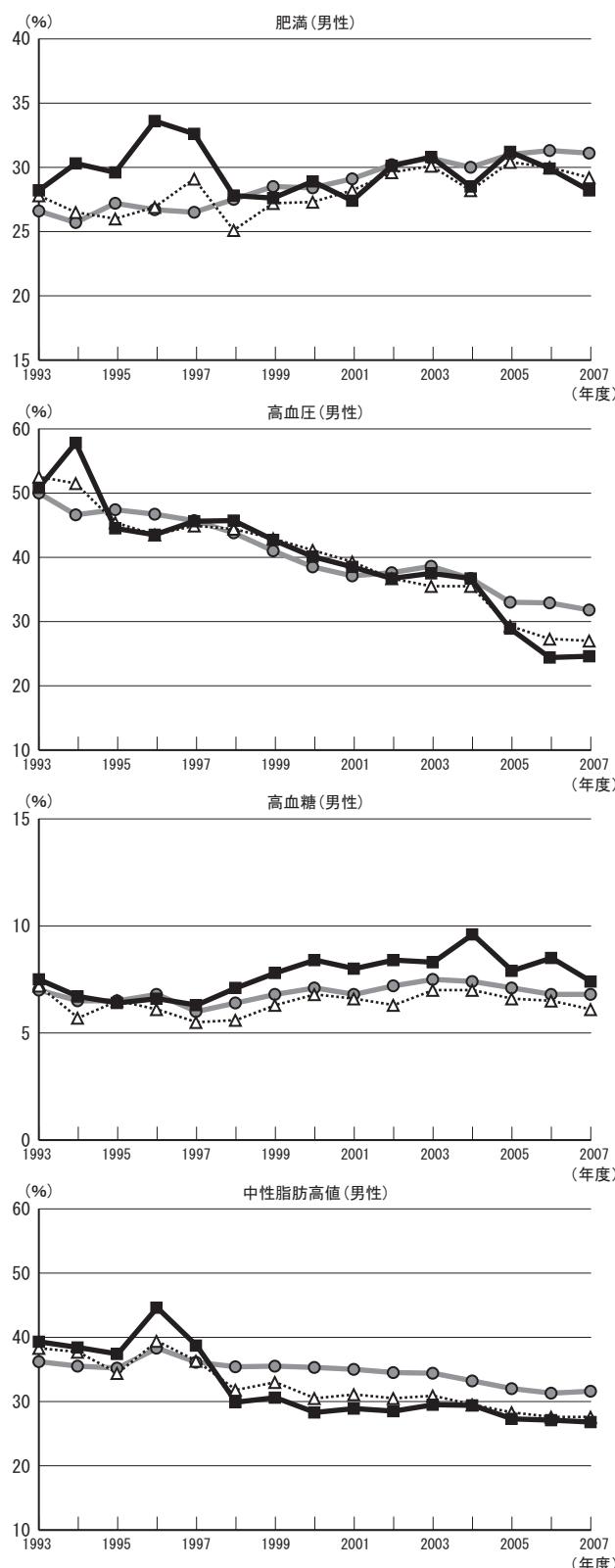


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.01	2360		
死 亡 数	645	95		
全国に比べて有意に高い			○	○
全国に比べて有意に低い				

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

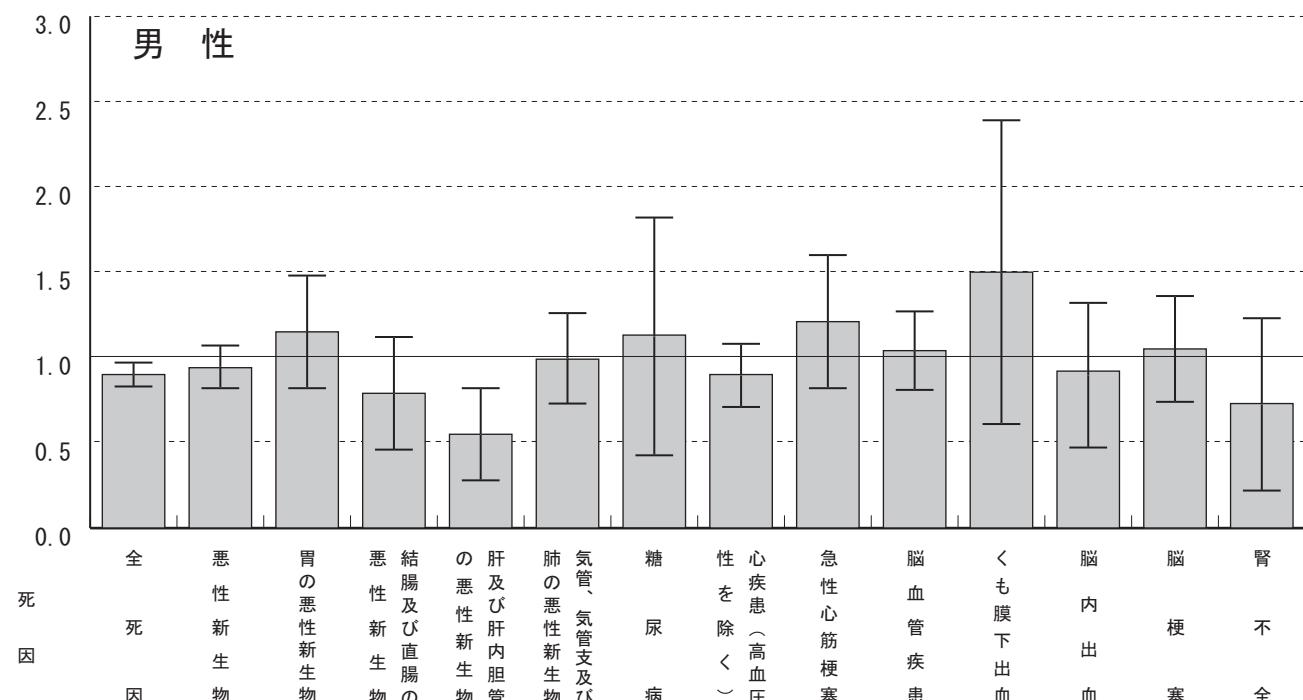
年齢調整有病率の経年度変化(東海村)

凡例
 08:茨城県
 ...△... 70:ひたちなか保健所
 ■ 8341:東海村

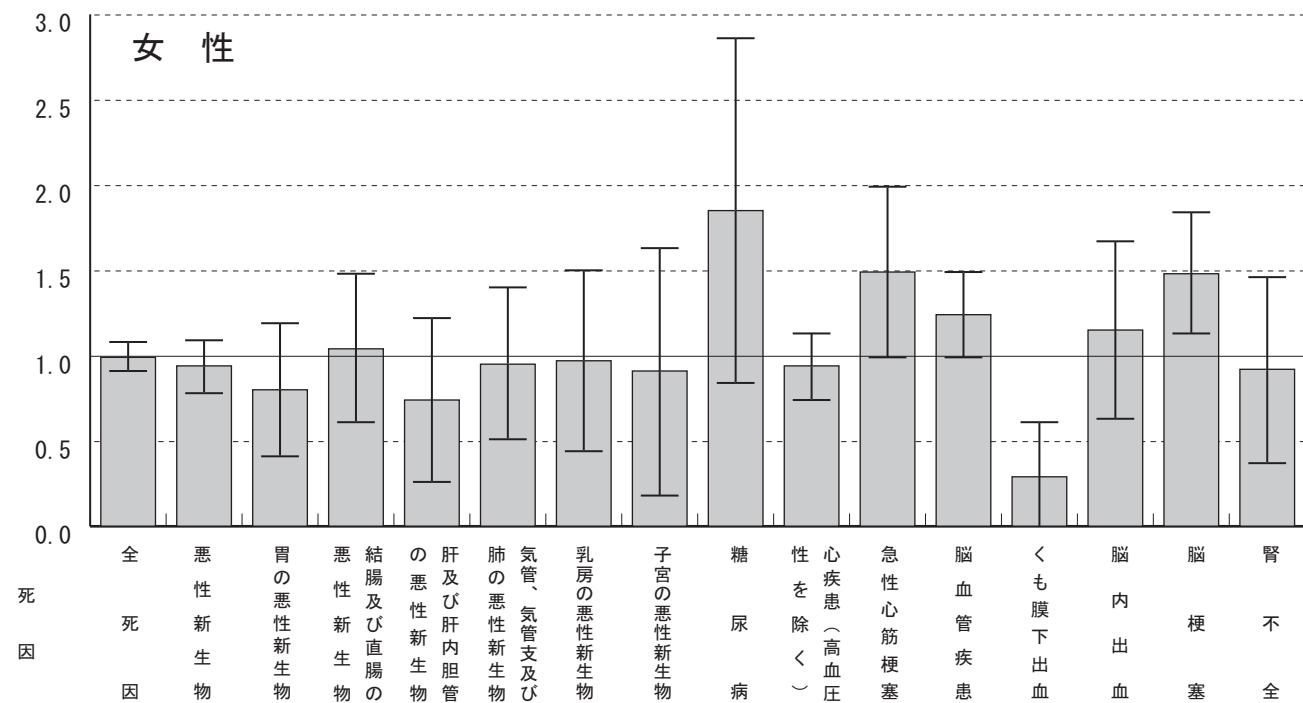


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目								
経年に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目	○					○	○	
県と比較して経年に低い項目		○	○	○			○	○

東海村標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.90	637		○
死 亡 数	0.94	231		
全死因	1.15	47		
悪性新生物	0.79	22		
胃の悪性新生物	0.55	16		○
結腸及び直腸の悪性新生物	0.99	55		
肝及び胆管の悪性新生物	1.13	10		
肺の悪性新生物	0.90	89		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.21	37		
糖尿病	1.04	78		
性を除く	1.50	11		
心疾患（高血圧）	1.04	21		
急性心筋梗塞	0.92	45		
脳血管疾患	1.05	8		
くも膜下出血	1.50			
脳内出血	0.92			
脳梗塞	1.05			
腎全	0.73			

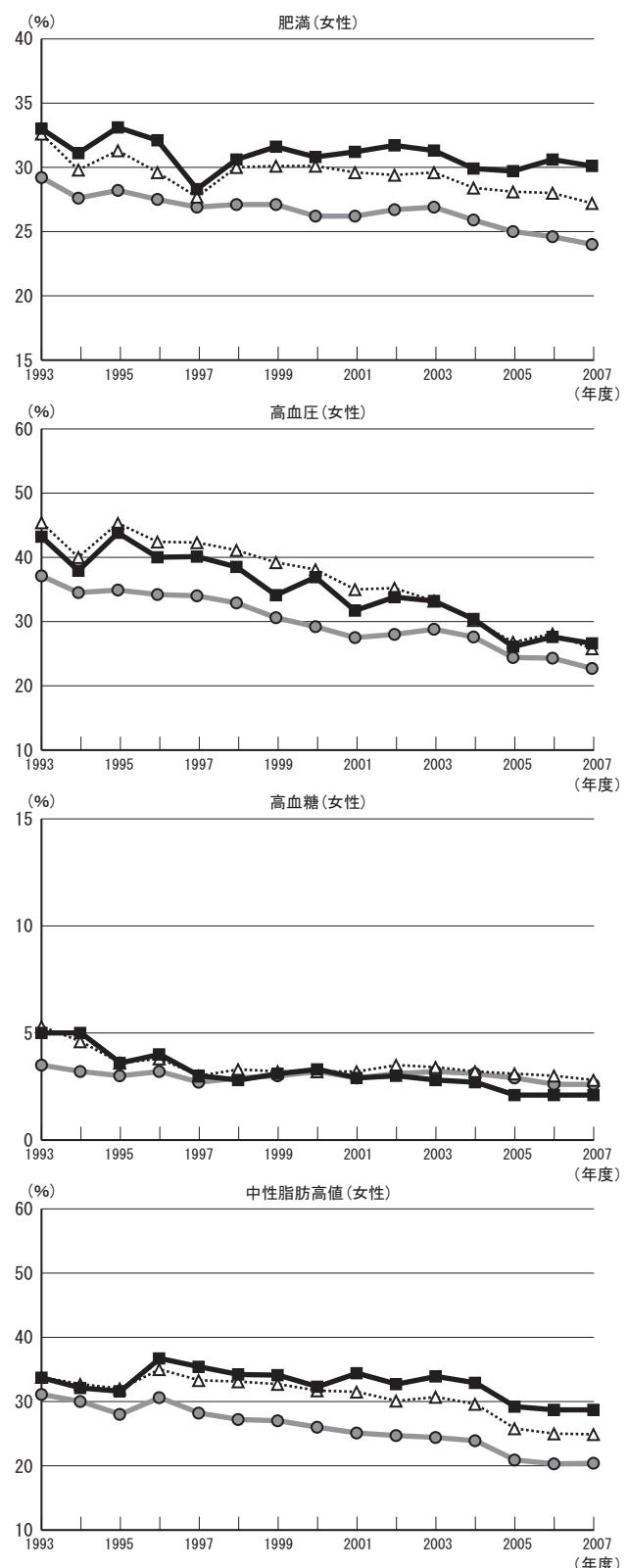
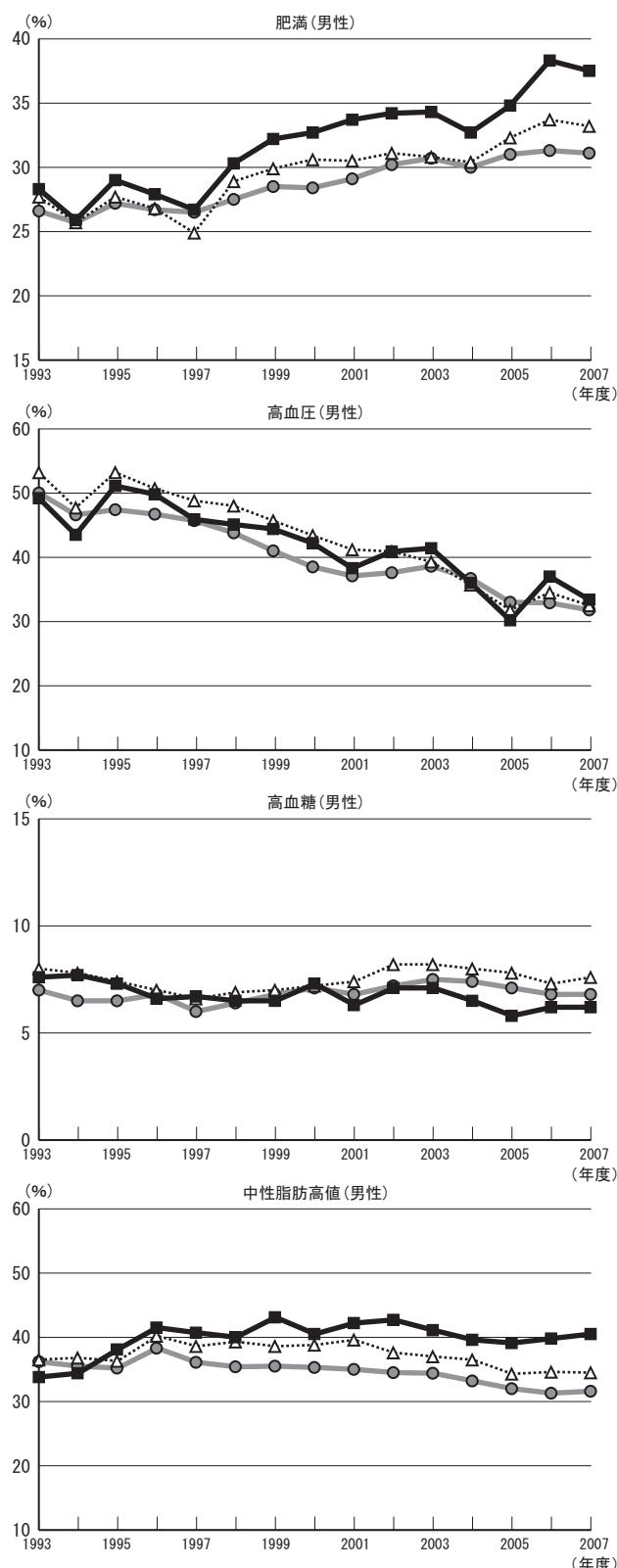


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	0.99	548		
死 亡 数	0.94	139		
全死因	0.80	16		
悪性新生物	1.04	22		
胃の悪性新生物	0.74	9		
結腸及び直腸の悪性新生物	0.95	18		
肝及び胆管の悪性新生物	0.97	13		
肺の悪性新生物	0.91	6		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.85	13		
乳房の悪性新生物	0.94	90		
子宮の悪性新生物	1.49	34		
糖尿病	1.24	93		
性を除く	0.29	3		○
心疾患（高血圧）	1.15	19		
急性心筋梗塞	1.48	68		
脳血管疾患	0.29	11		
くも膜下出血	0.29			
脳内出血	1.15			
脳梗塞	0.92			
腎全	0.92			

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

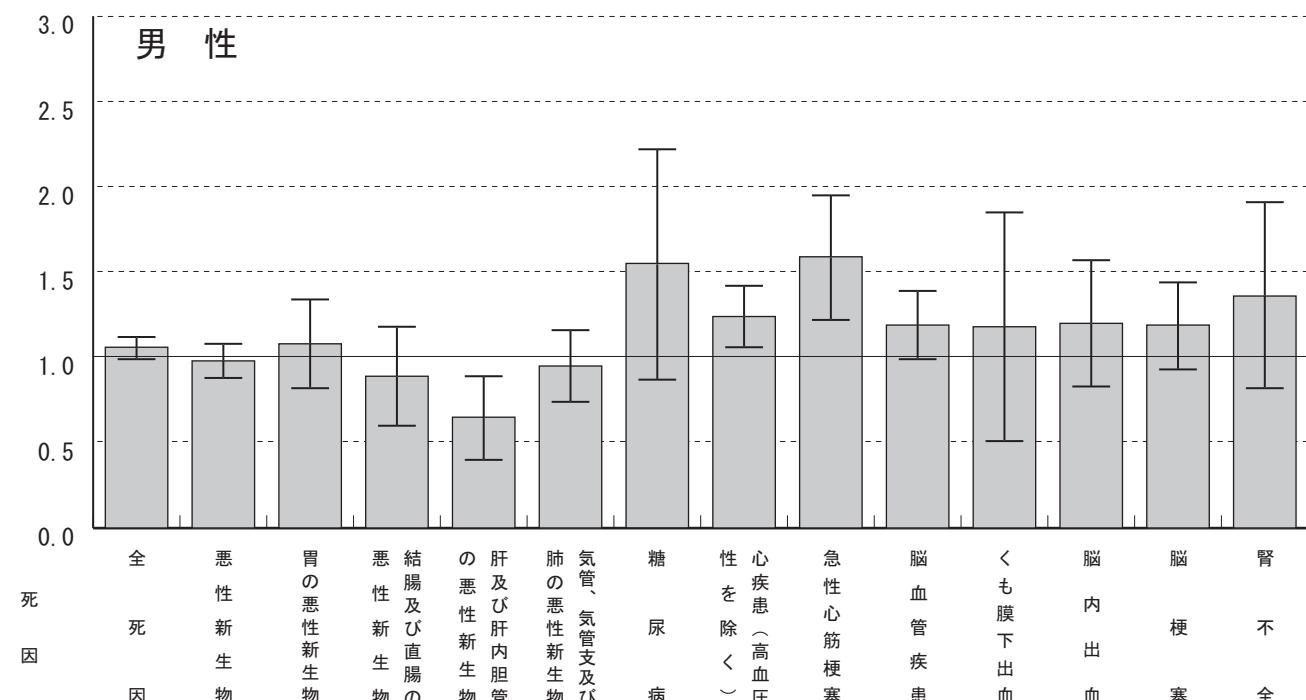
年齢調整有病率の経年度変化(下妻市)

凡例
 08:茨城県
 71:常総保健所
 8210:下妻市

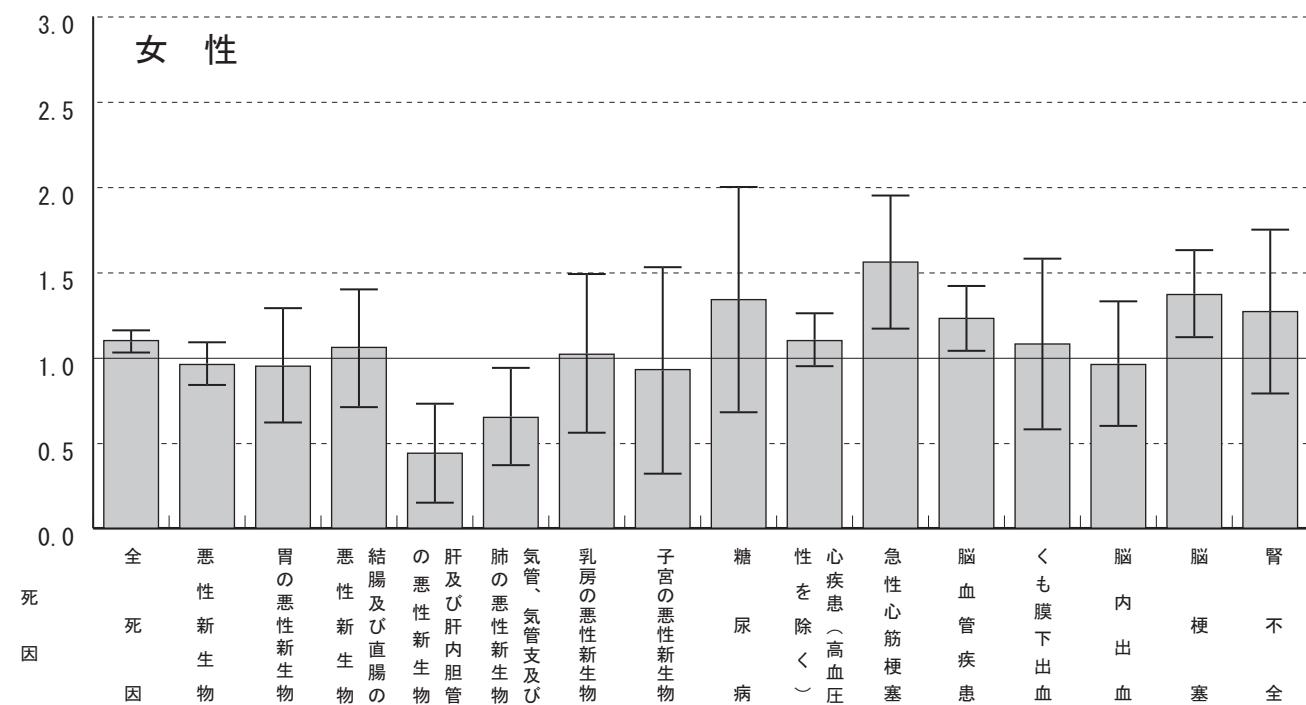


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○							
経年に下降傾向にある項目			○	○	○	○		○
県と比較して経年に高い項目	○	○	○	○			○	○
県と比較して経年に低い項目								

下妻市標準化死亡比（2003～2007）



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.06	1127		
死 亡 数	0.98	353		
全死因	1.08	65		
悪性新生物	0.89	36		
胃の悪性新生物	0.65	27		
悪性新生物	0.95	79		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.55	20	○	
肝及び肝内胆管	1.24	188	○	
肺の悪性新生物	1.59	73		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.19	139		
糖尿病	1.18	12		
性を除く心疾患	1.20	40		
急性心筋梗塞	1.19	83		
脳血管疾患	1.36	24		

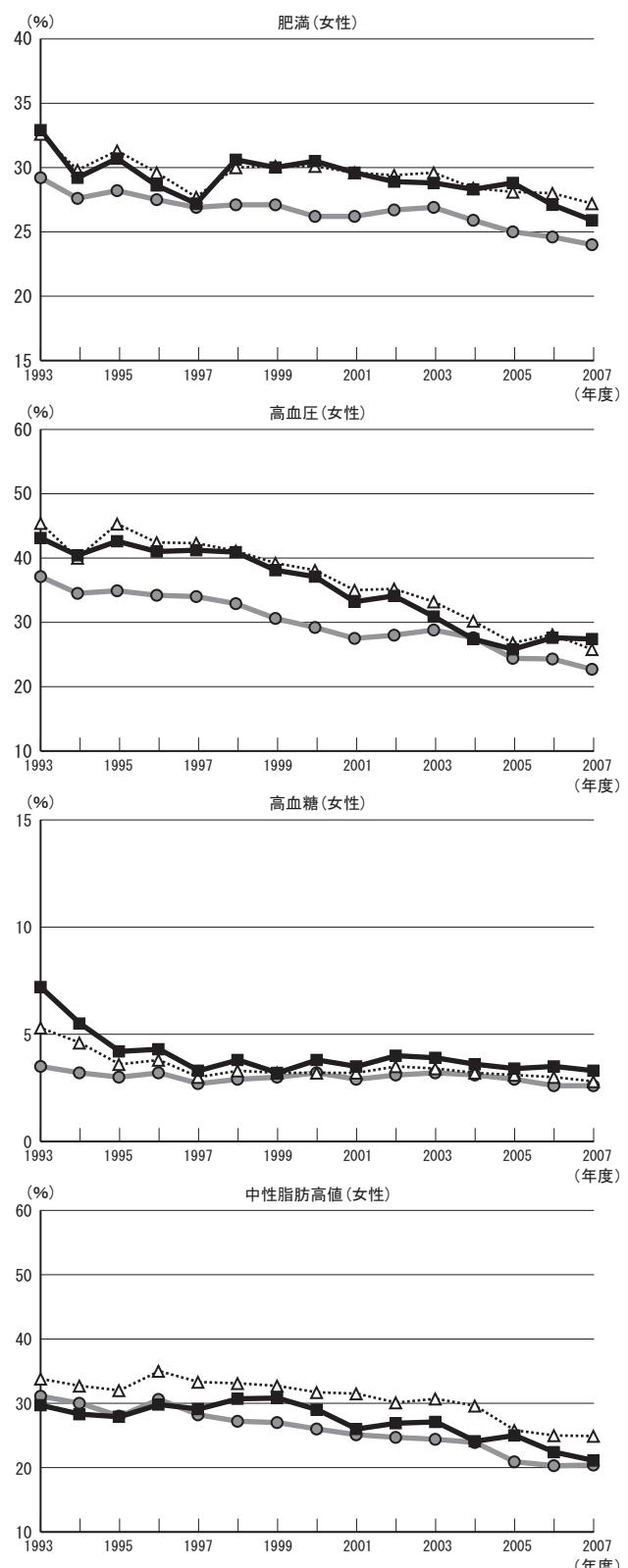
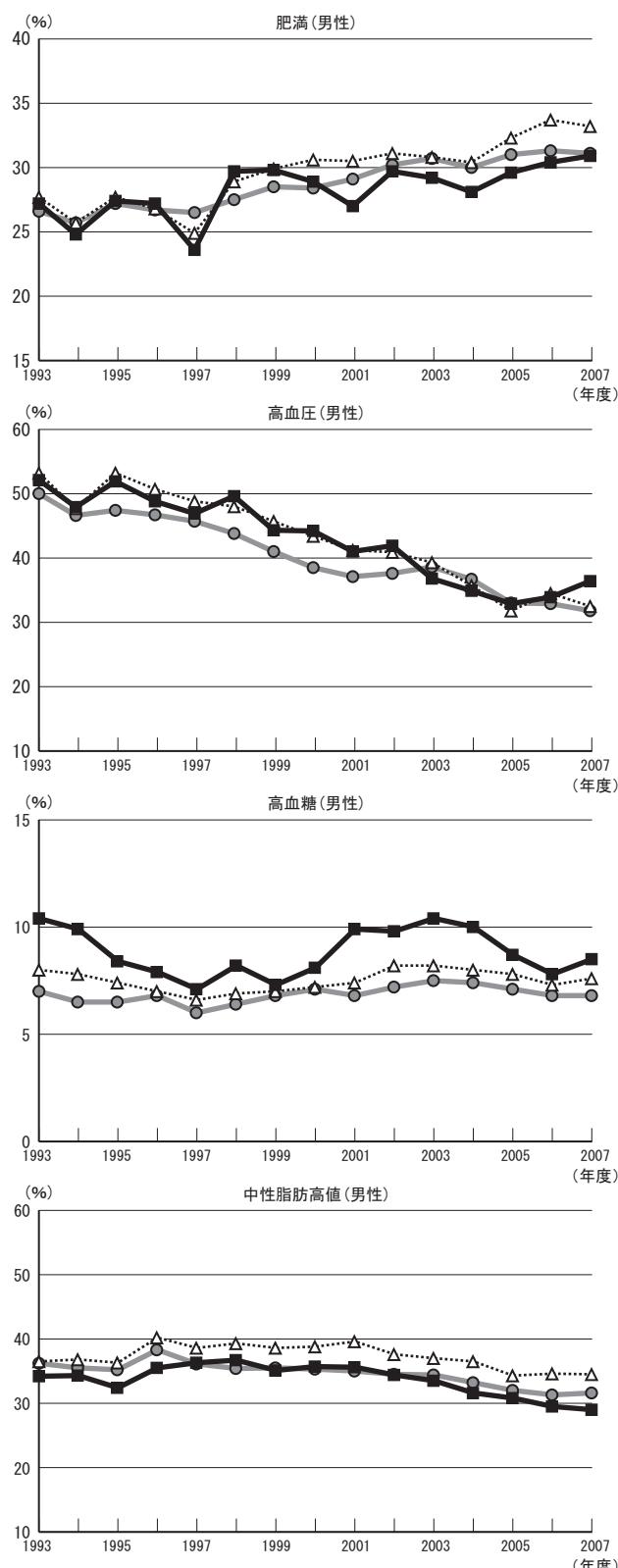


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.10	1022		
死 亡 数	0.96	227		
全死因	0.95	31	○	
悪性新生物	1.06	36		
胃の悪性新生物	0.44	9		
悪性新生物	0.65	20		
結腸及び直腸の悪性新生物	1.02	19		
肝及び肝内胆管	0.93	9		
肺の悪性新生物	1.34	16		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.10	186	○	
乳房の悪性新生物	1.56	62	○	
子宮の悪性新生物	1.23	161		
糖尿病	1.08	18		
性を除く心疾患	0.96	27		
心疾患(高血圧)	1.37	113	○	
急性心筋梗塞	1.27	27		
脳血管疾患				
くも膜下出血				
脳内出血				
脳梗塞				
腎不全				

男女とも急性心筋梗塞の死亡率が高い。女性では脳血管疾患の死亡率も高く、男性でも高めの傾向である。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

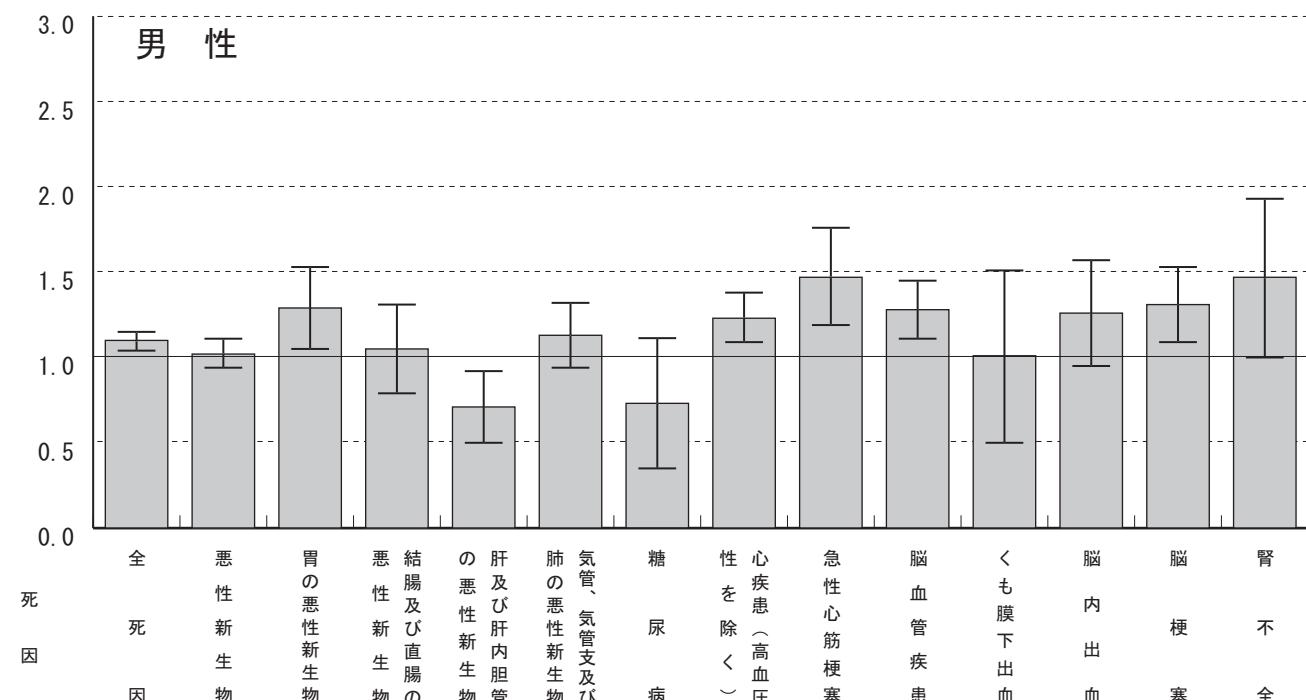
年齢調整有病率の経年度変化(常総市)

凡例
 08:茨城県
 71:常総保健所
 8211:常総市

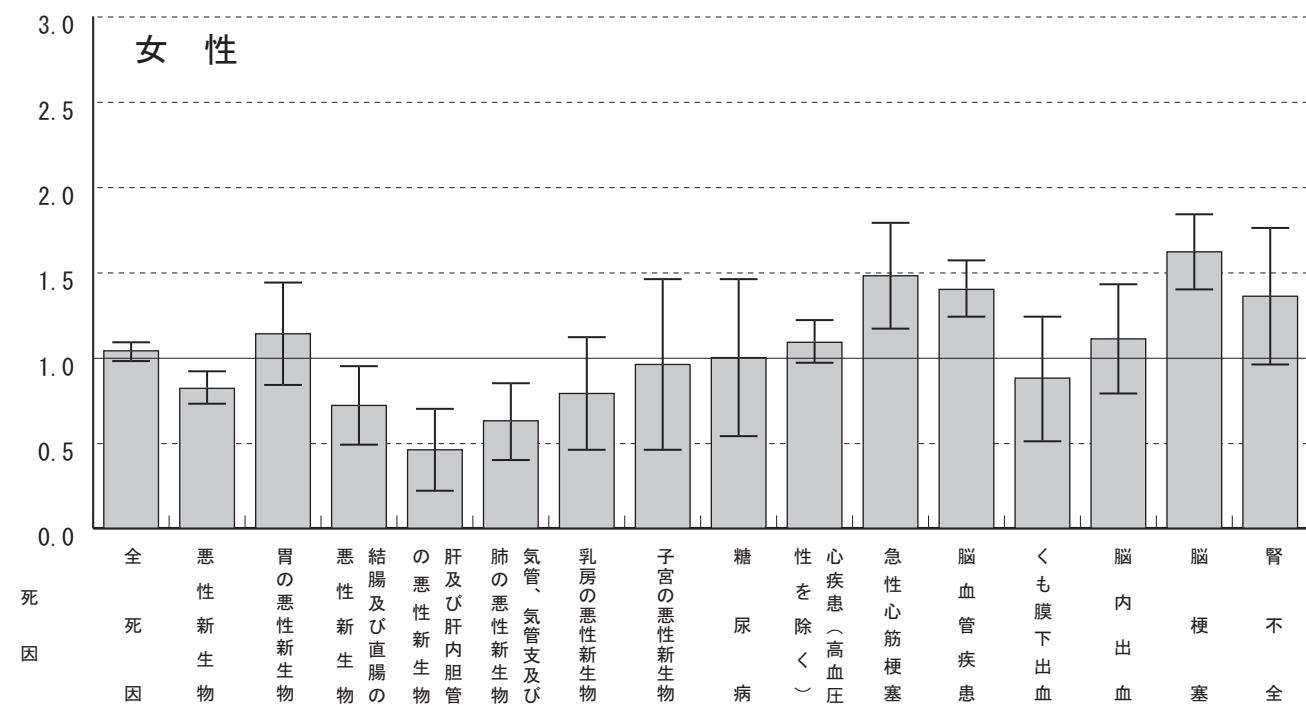


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○							
経年的に下降傾向にある項目		○	○	○		○	○	○
県と比較して経年的に高い項目		○	○	○	○	○		○
県と比較して経年的に低い項目	○						○	

常総市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.10	1721	○	
死 亡 数	1.02	545	○	
全国に比べて有意に高い	1.29	115		
全国に比べて有意に低い	1.05	63		○
	0.71	44		
	1.13	139		
	0.73	14		
	1.23	275	○	
	1.47	100	○	
	1.28	219	○	
	1.01	15		
	1.26	62		
	1.31	135	○	
	1.47	38	○	

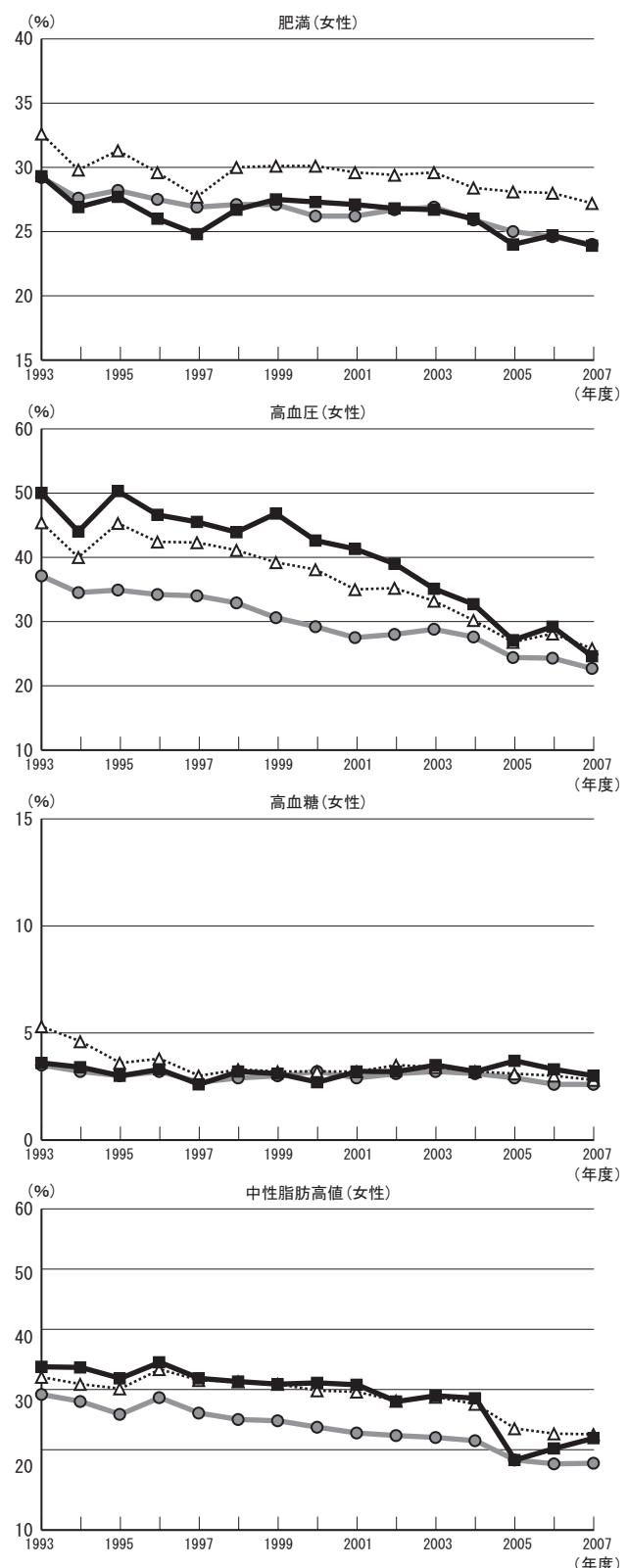
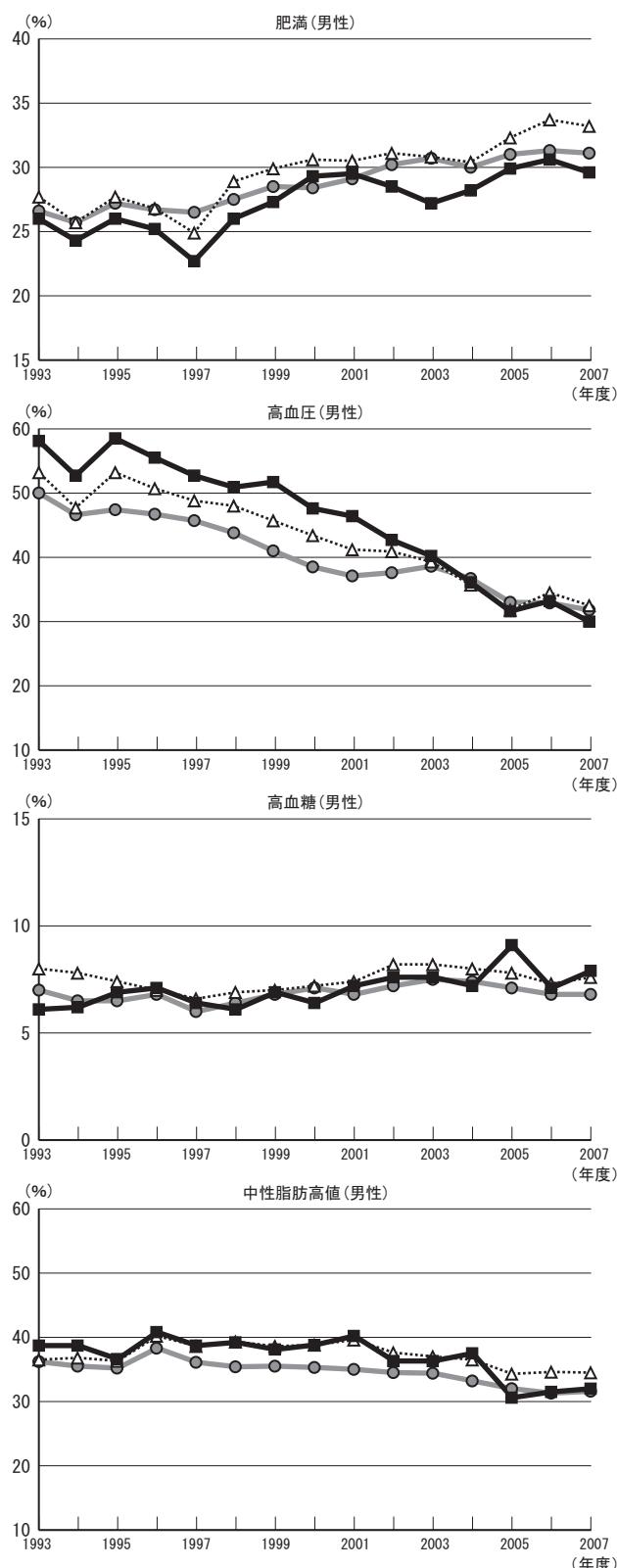


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.04	1465		
死 亡 数	0.82	292		
全国に比べて有意に高い	1.14	56		
全国に比べて有意に低い	0.72	37	○	○
	0.46	14	○	○
	0.63	29	○	○
	0.79	22		
	0.96	14		
	1.00	18		
	1.09	280	○	
	1.48	89	○	
	1.40	278		
	0.88	22		
	1.11	47		
	1.62	203	○	
	1.36	44		

男女とも脳血管疾患と急性心筋梗塞の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

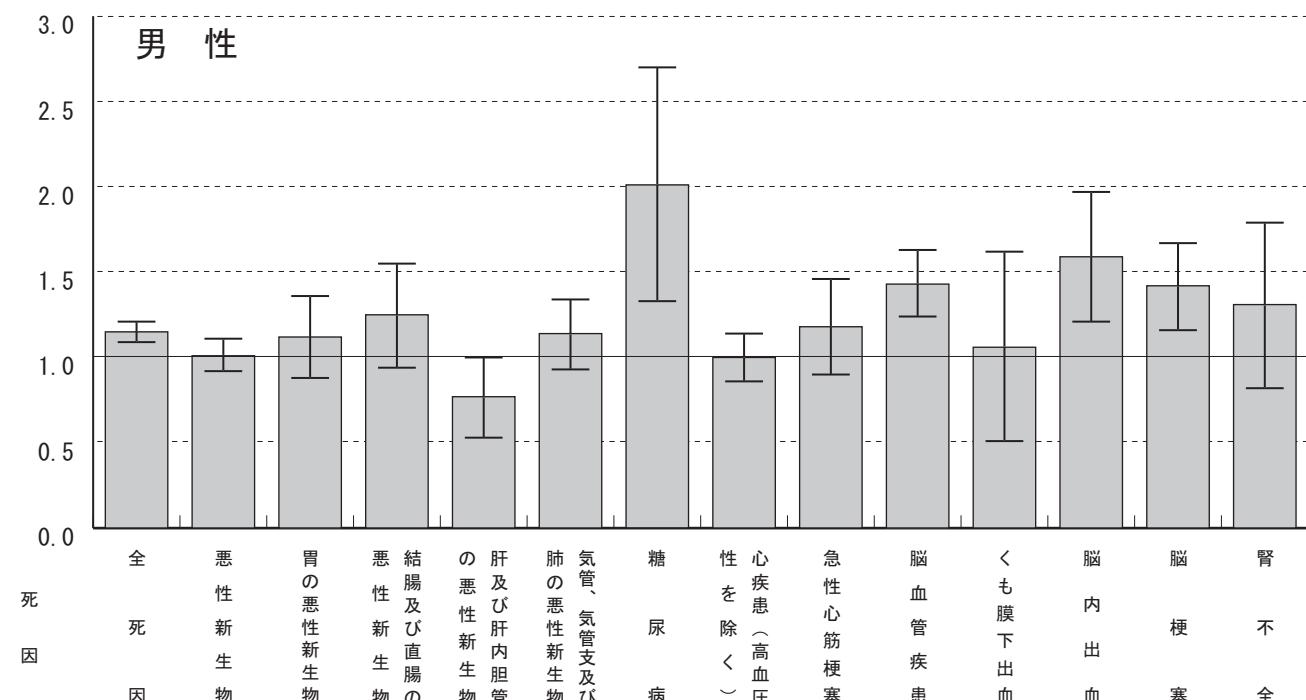
年齢調整有病率の経年度変化(坂東市)

凡例
 08:茨城県
 71:常総保健所
 8228:坂東市

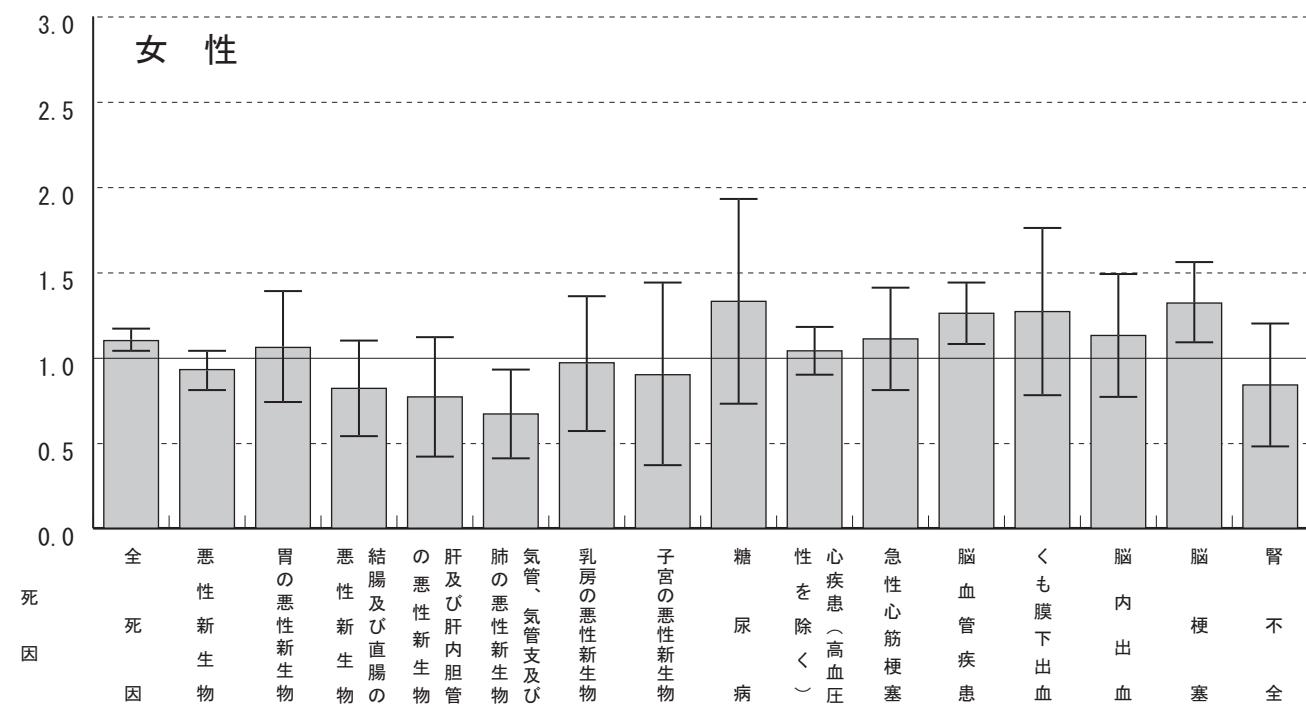


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年に上昇傾向にある項目	○					○		
経年に下降傾向にある項目			○	○			○	○
県と比較して経年に高い項目			○	○			○	○
県と比較して経年に低い項目	○							

坂東市標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.15	1531	○	
死 亡 数	1.01	461		
全国に比べて有意に高い	1.12	85		
全国に比べて有意に低い	1.25	64		○
標準化死亡比	0.77	41		
死 亡 数	1.14	119		
全国に比べて有意に高い	2.01	33	○	
全国に比べて有意に低い	1.00	188		
標準化死亡比	1.00	68		
死 亡 数	1.18	206	○	
全国に比べて有意に高い	1.43	14		○
全国に比べて有意に低い	1.06	67		○
標準化死亡比	1.43	120		
死 亡 数	1.59	28		
全国に比べて有意に高い	1.42			
全国に比べて有意に低い	1.31			

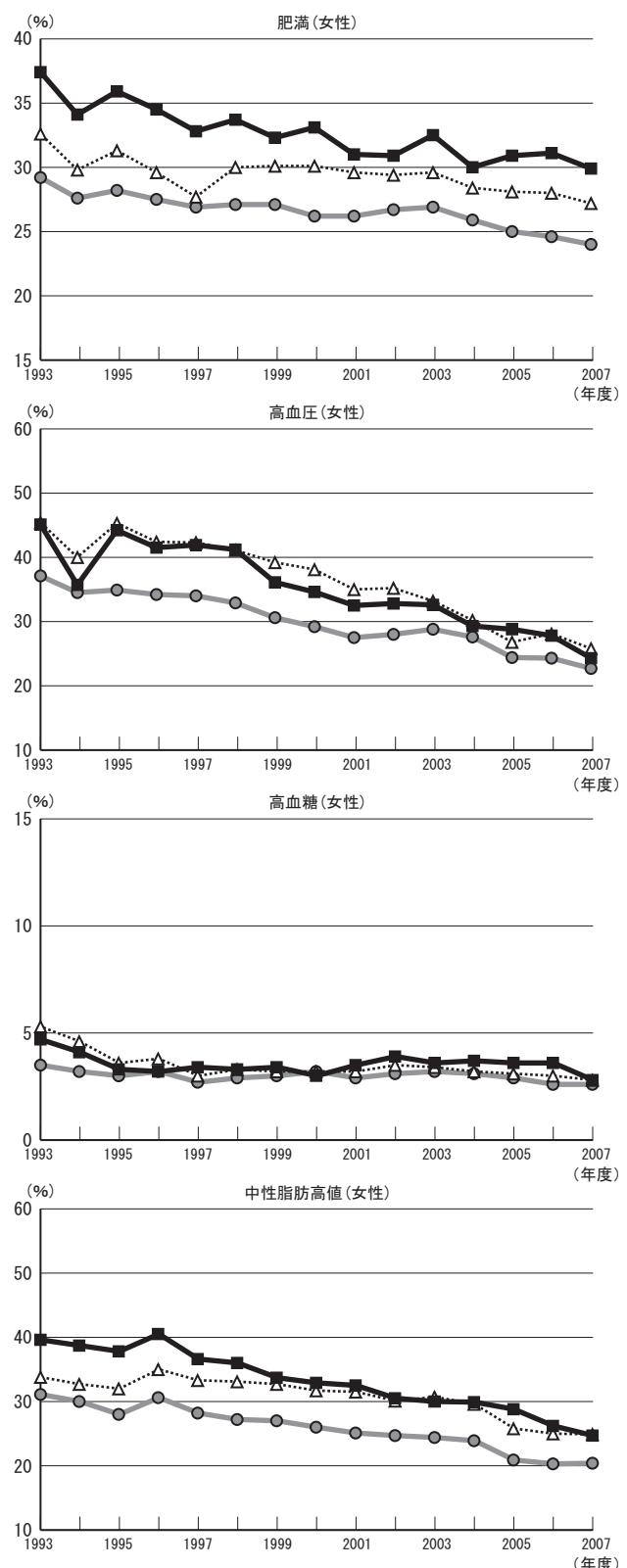
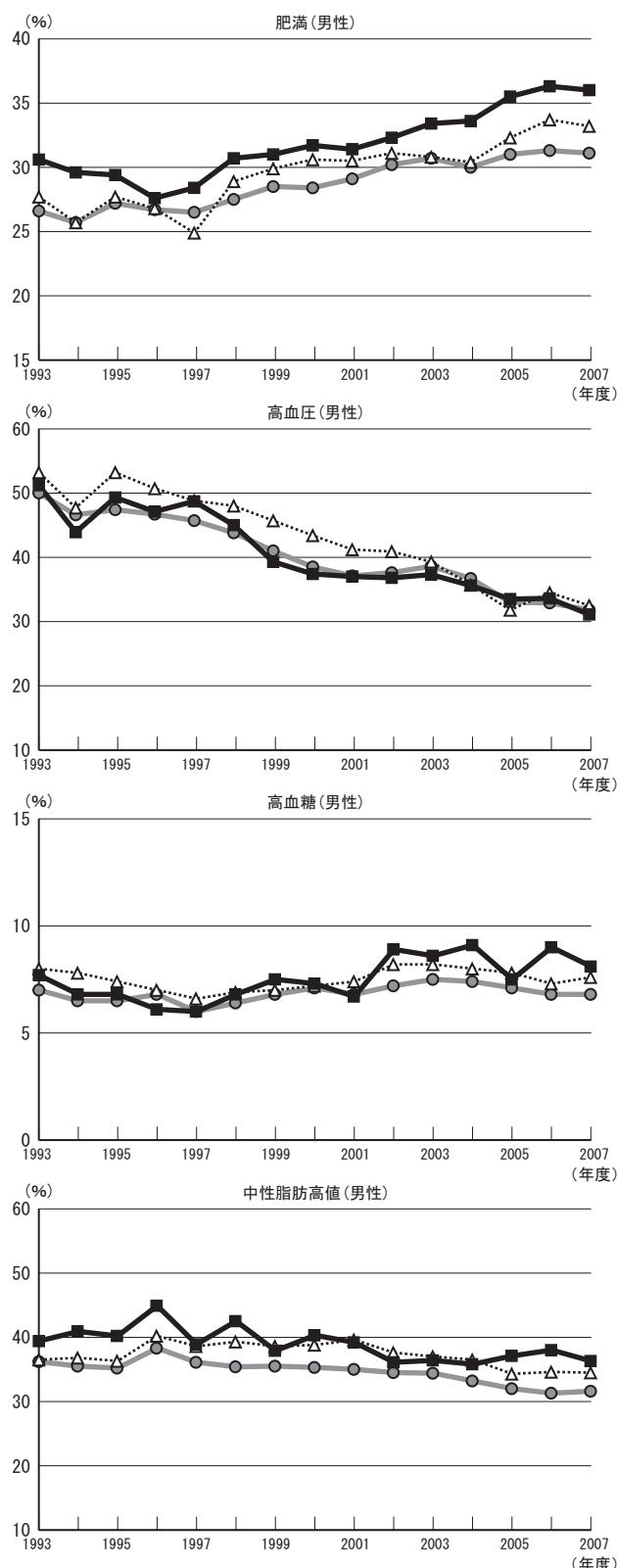


	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.10	1227	○	
死 亡 数	0.93	267		
全国に比べて有意に高い	1.06	42		
全国に比べて有意に低い	0.82	34		○
標準化死亡比	0.77	19		
死 亡 数	0.67	25		
全国に比べて有意に高い	0.97	23		
全国に比べて有意に低い	0.90	11		○
標準化死亡比	1.33	19		
死 亡 数	1.04	206		
全国に比べて有意に高い	1.11	52		
全国に比べて有意に低い	1.26	194	○	
標準化死亡比	1.27	26		
死 亡 数	1.13	38		○
全国に比べて有意に高い	1.32	127		
全国に比べて有意に低い	0.84	21		

男女とも脳血管疾患の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。

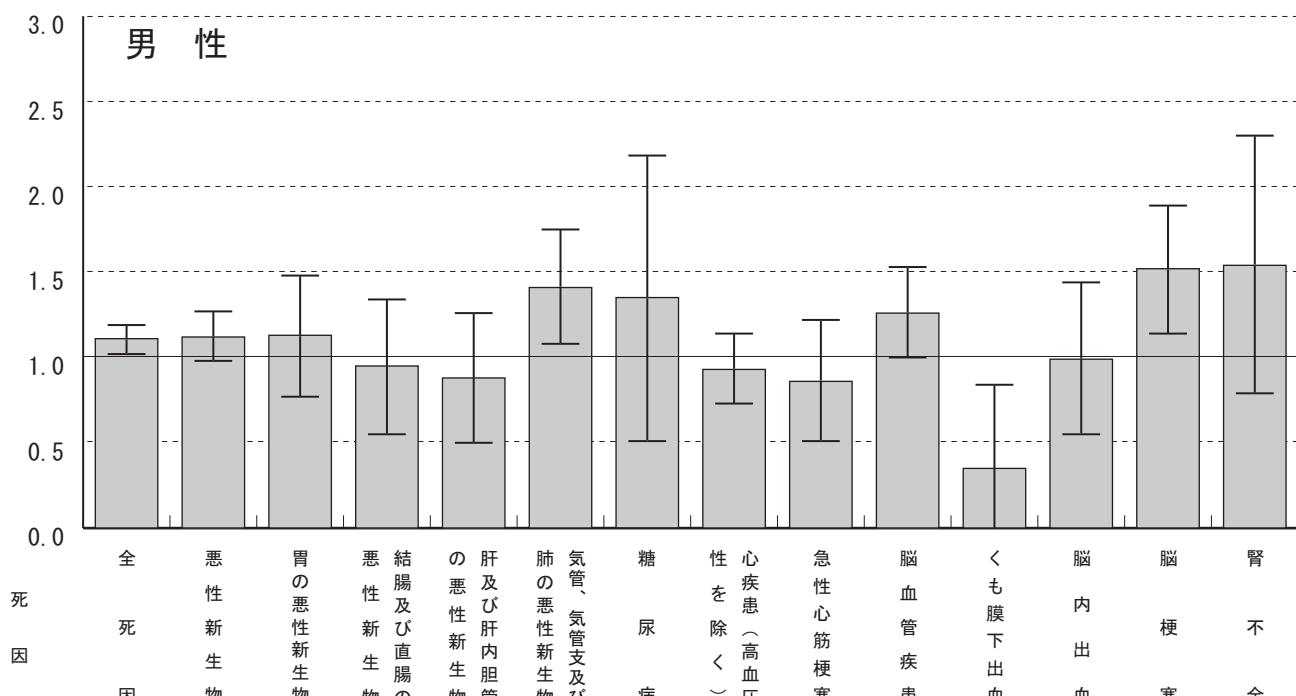
年齢調整有病率の経年度変化(八千代町)

凡例
 08:茨城県
 ...△... 71:常総保健所
 -■- 8521:八千代町

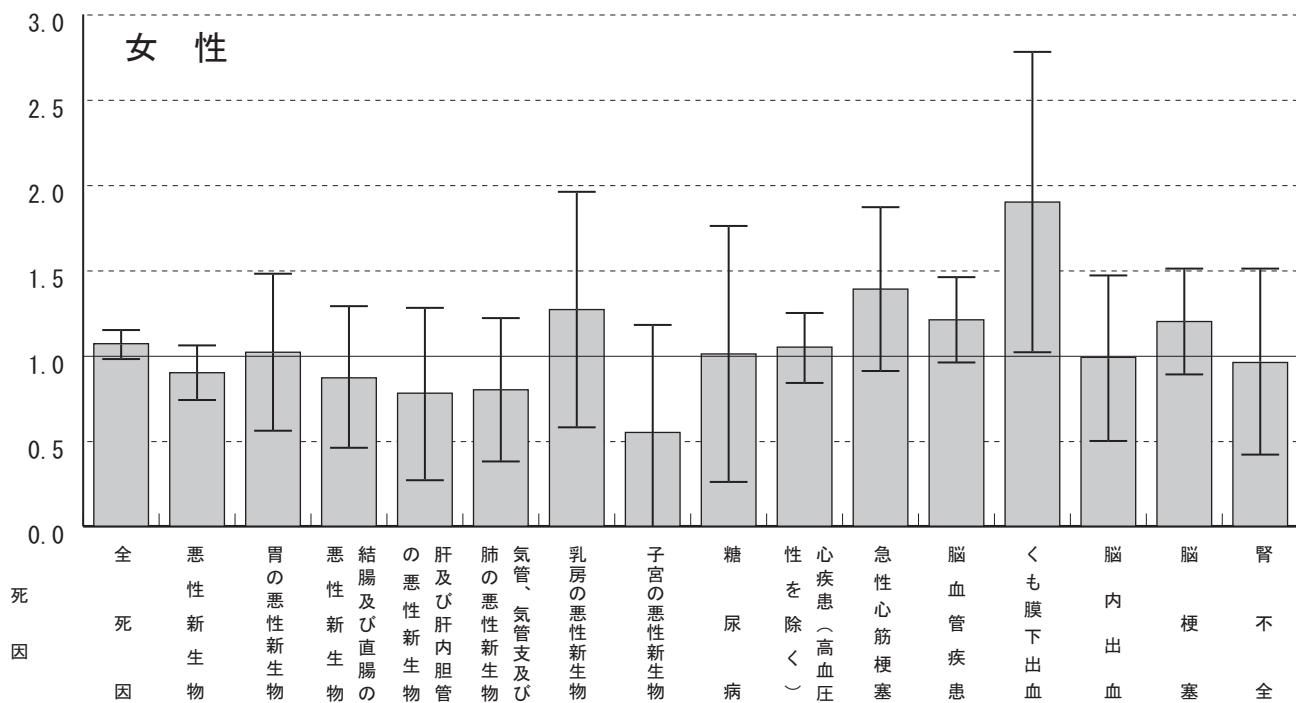


	肥満		高血圧		高血糖		中性脂肪高値	
	男	女	男	女	男	女	男	女
経年的に上昇傾向にある項目	○				○			
経年的に下降傾向にある項目		○	○	○			○	○
県と比較して経年的に高い項目	○	○			○	○	○	○
県と比較して経年的に低い項目								

八千代町標準化死亡比 (2003~2007)



	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.11	684	○	
死 亡 数	1.12	233		
全死因	1.13	39		
悪性新生物	0.95	22		
胃の悪性新生物	0.88	21	○	
悪性結腸及び直腸の新生物	1.41	68		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.35	10		
肺の悪性新生物	0.93	82		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.86	23		
糖尿病	1.26	86		
性を除く心疾患（高血圧）	0.35	2		○
急性心筋梗塞	0.99	19		
脳血管疾患	1.52	63		
くも膜下出血	1.54	16		
脳内出血				
脳梗塞				
腎全				



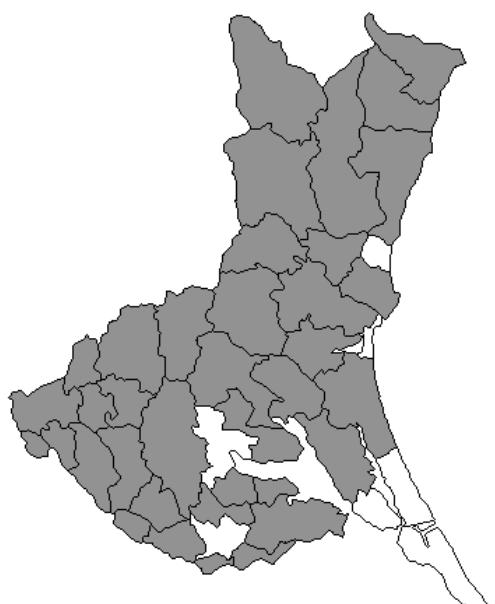
	標準化死亡比	死 亡 数	全国に比べて有意に高い	全国に比べて有意に低い
標準化死亡比	1.07	576	○	
死 亡 数	0.90	121		
全死因	1.02	19		
悪性新生物	0.87	17		
胃の悪性新生物	0.78	9		
悪性結腸及び直腸の新生物	0.80	14		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	1.27	13		
肺の悪性新生物	0.55	3		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.01	7		
乳房の悪性新生物	1.05	103		
子宮の悪性新生物	1.39	32		
糖尿病	1.21	92		
性を除く心疾患（高血圧）	1.90	18		
急性心筋梗塞	0.99	16		
脳血管疾患	1.20	58		
くも膜下出血	0.96	12		
脳内出血				
脳梗塞				
腎全				

男性で脳梗塞、女性でくも膜下出血の死亡率が高い。より一層の高血圧対策と男性での肥満対策が重要である。また、喫煙率の経年的な把握も必要であると思われる。さらに、男性で肺がんの死亡率が高く、肺がん検診の積極的な推進が求められる。

年齢調整有病率の経年度変化

■ 経年的に有意な上昇傾向
■ 経年的に有意な下降傾向
□ 有意差なし

肥満



2
1



2
1

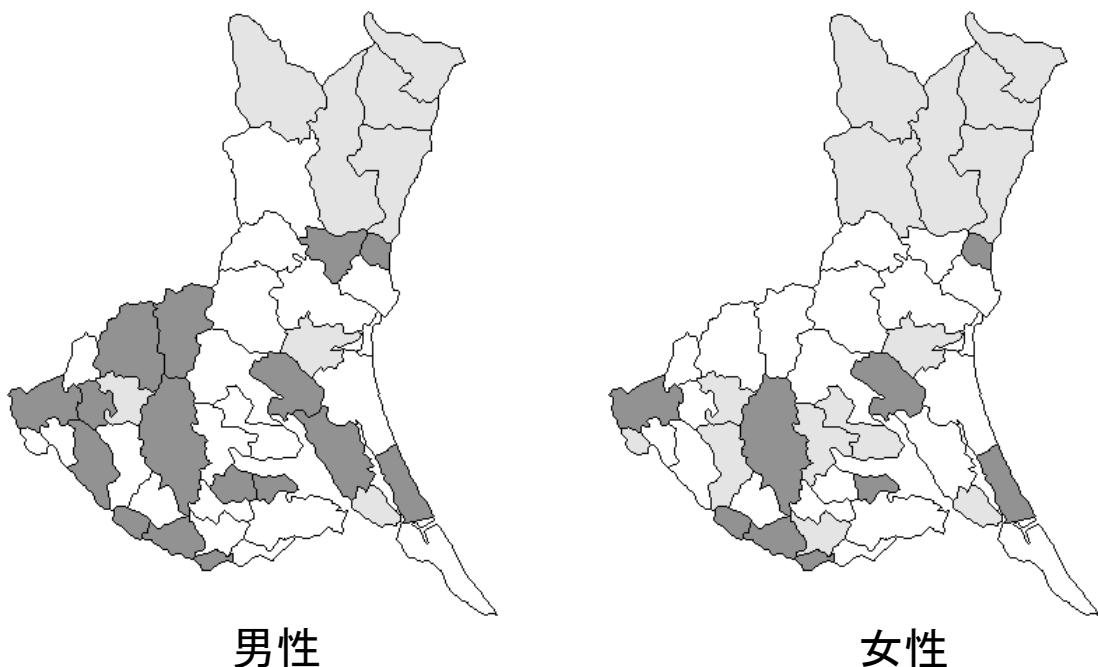
高血圧



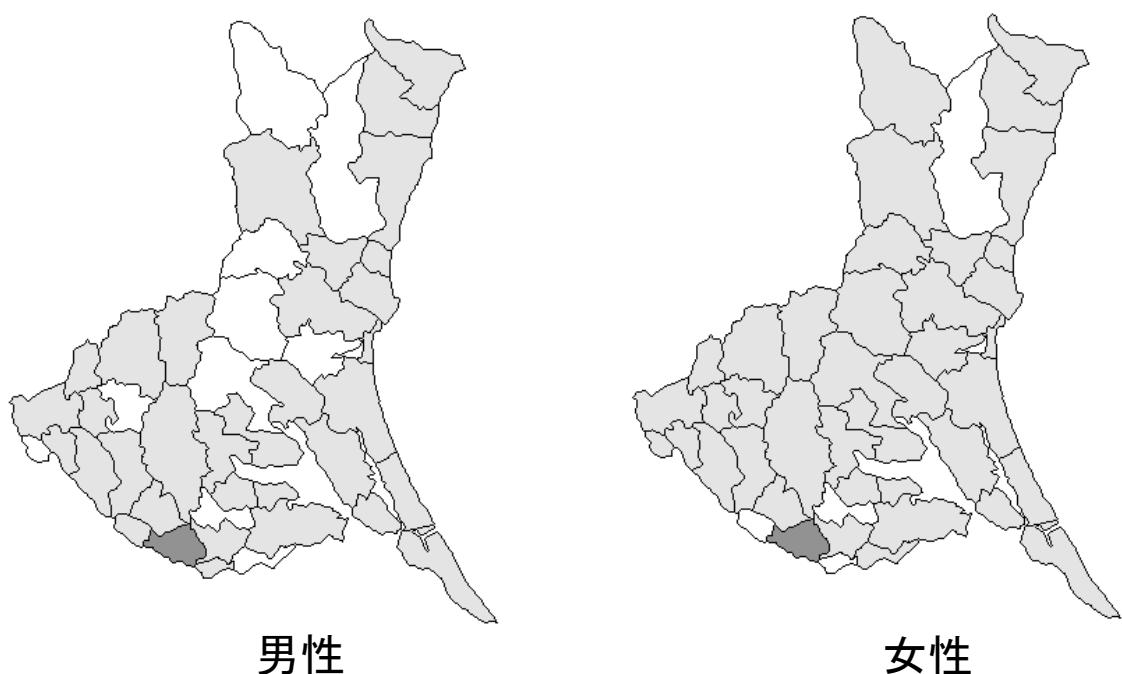
年齢調整有病率の経年度変化

■ 経年に有意な上昇傾向
■ 経年に有意な下降傾向
□ 有意差なし

高血糖



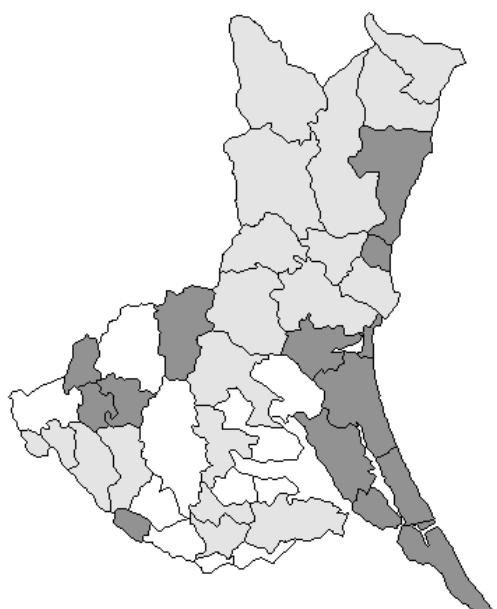
中性脂肪高値



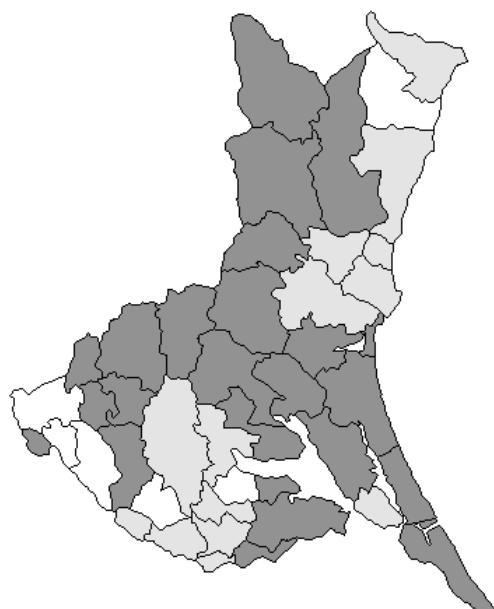
県平均と比較した年齢調整有病率の経年度変化

- 県平均と比較して経年的に有意な上昇傾向
- 県平均と比較して経年的に有意な下降傾向
- 有意差なし

肥満

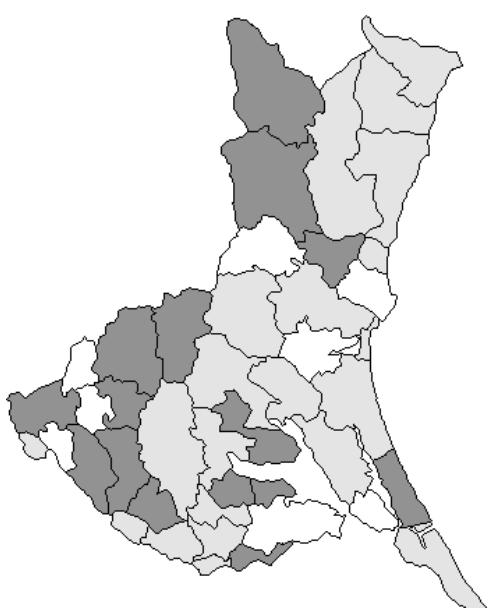


男性

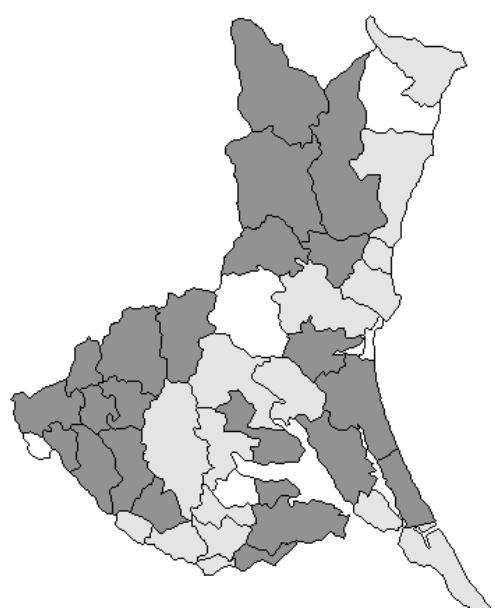


女性

高血圧



男性

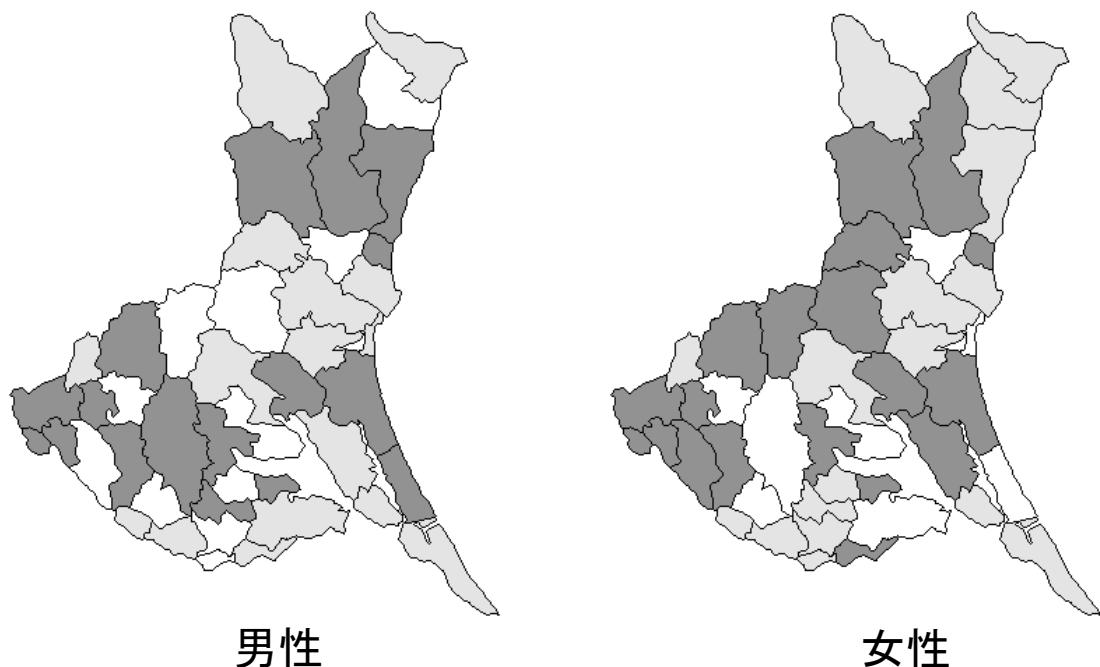


女性

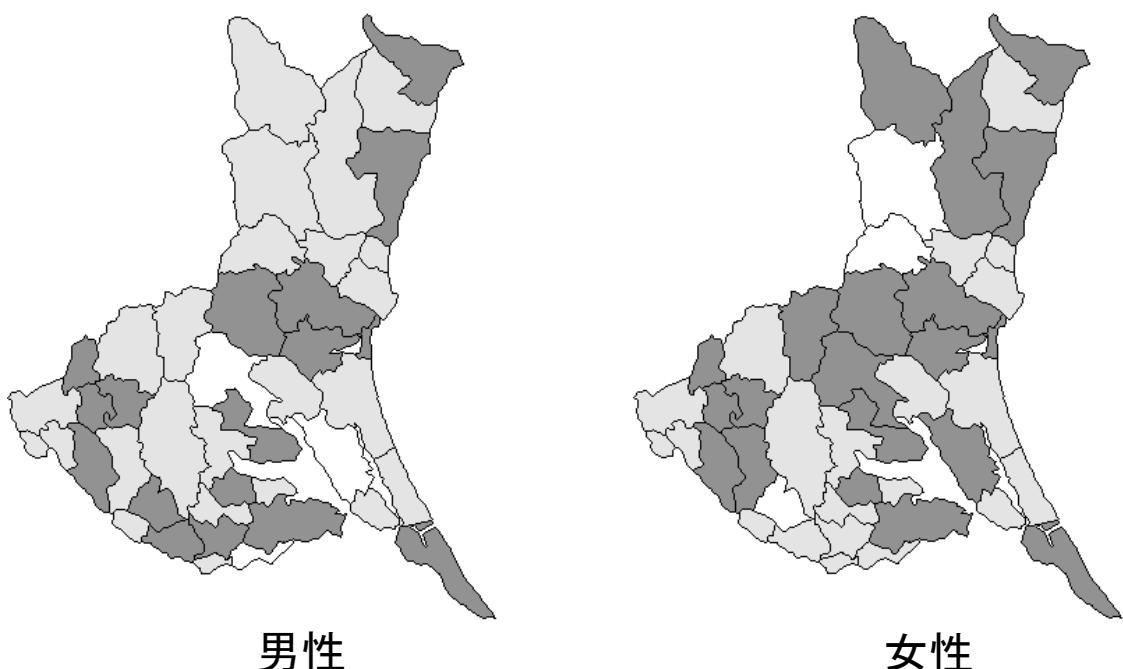
県平均と比較した年齢調整有病率の経年度変化

■ 県平均と比較して経年的に有意な上昇傾向
■ 県平均と比較して経年的に有意な下降傾向
□ 有意差なし

高血糖



中性脂肪高値



平成22年 茨城県市町村別健康指標IV

2010年3月

茨 城 県
茨城県立健康プラザ

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町993-2
電話:029-243-4171 FAX:029-243-9785